

シラバス2026

口腔保健学科

医療保健学概論

更新日：2025/08/13 14:52:51

開講年度	2026	学期	前期	科目コード	101010	授業コード	10101
担当教員	神 光一郎, 島田 明子, 藤井 孝政, 梶 貢三子, 米澤 美保子, 首藤 崇裕, 荒井 昌海						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	1年	曜日/時限	一		単位	1
	備考(配当)						

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
10101	1○ 4◎	1○ 4◎	歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士、社会福祉士

授業概要

本授業では、学生の皆さんが、歯科衛生士と歯科技工士の役割を認識し、これから始まる4年間の学習の心構えについて理解する。また、歯科医療従事者の一員として学生自身が目指すべき方向性について、最新の情報や知識を習得するとともに、高齢社会における歯科保健医療の役割とは何か、また生涯を通じた口腔ならびに全身の健康を実践するために何が必要であるかについて考える場とする。さらに、医療現場で求められる医科歯科連携について理解する。本授業は、7名の教員によるオムニバス形式により、面接授業で実施する。

到達目標

1	歯科保健医療の変遷を説明できる。
2	超高齢社会における歯科衛生士・歯科技工士の必要性を説明できる。
3	口腔保健学・口腔工学の課題について概説できる。
4	歯科衛生士の活動の場と業務内容を説明できる。
5	歯科衛生士、歯科技工士が置かれている状況を理解し、将来の歯科衛生士、歯科技工士像について概説できる。
6	歯科保健医療に影響を与える社会環境要因について説明できる。
7	口腔状況と全身の健康との関連について説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【面接講義】歯科衛生士、歯科技工士のあるべき姿とは（藤井 孝政） 1) 歯科保健医療の歴史・変遷の概説 2) これからの歯科保健医療の方向性について 3) 口腔保健学・口腔工学の課題
2	【面接講義】歯科保健医療を取り巻く社会環境とその影響（神 光一郎） 1) 歯科保健医療を取り巻く動向 2) 少子高齢社会がもたらす影響 3) 平均寿命と健康寿命 4) 少子高齢社会と社会保障
3	【面接講義】医療現場における医科歯科連携（島田 明子） 1) 超高齢社会の日本 2) 歯科衛生士・歯科技工士のポテンシャル 3) ネットワーキングの重要性
4	【面接講義】歯科技工士の活躍の場（首藤 崇裕） 1) 歯科技工士の業務内容について 2) 歯科技工士資格の現在の枠組み 3) 将来的に歯科技工士に求められる役割とは
5	【面接講義】医療現場における社会福祉専門職の役割（米澤 美保子） 1) 社会福祉とは 2) 社会福祉士の業務内容・役割 3) 医療現場における社会福祉専門職の役割
6	【面接講義】歯科衛生士の役割とは（梶 貢三子） 1) 歯科衛生士の業務内容・活躍の場 2) これから歯科衛生士に求められることとは 3) 歯科衛生士になるためには

7	【面接講義】歯科医療の目的と歯科衛生士、歯科技工士（荒井 昌海） 1) 歯科医療の目的とは（患者さんの立場から） 2) 診療現場における歯科医療とは 3) 診療現場における歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士の連携（チーム医療）
8	【面接講義】新たな歯科医療の展開（荒井 昌海） 1) デジタル・デンティストリーに基づく診療・歯科技工 2) 今後の新たな歯科医療の可能性 3) 歯科専門職に求められる知識・技術

成績評価の方法

学習の形式的効果を上げるため、授業中に口頭試問あるいはディスカッション等を随時取り入れ、当該内容に関する解説等により学生にフィードバックする。
（授業形式や授業内での態度評価は担当教員によりなる。）
なお、総合評価は授業範囲から出題した課題に対するレポートにより行うこととし、その評価はルーブリックにより行う。
評価基準は、レポート100%とする。

教科書

テキストは特に指定せず、必要に応じて配付資料あるいは板書、動画等により授業を行う。

授業外学修（予習・復習）

事前学習は特に必要としないが、7名の教員から提示された課題や問題意識、メッセージ等について、授業時間中に自身で理解するように努め、自己の考えや意見にしっかりと反映できるよう、十分に事後学習をしておくこと（目安時間：約30分）。

その他

参考資料	参考資料は特に指定せず、配付資料あるいは板書、動画等により授業を行う。
受講生への要望等	本授業は、これからの4年間の学習の心構えを理解し、歯科保健医療専門職として必要な知識や技能を学ぶための、最初の授業となります。 7名の経験豊富な教員がオムニバス形式で授業しますので、各先生が学生の皆さんに伝えたい内容やメッセージを聞き逃さずしっかりと理解し、歯科衛生士、歯科技工士としての第一歩を踏み出してください。また、質問は大歓迎です。
授業の質問対応、連絡先	質問対応は、在席時に牧野学舎の教員室で対応可能ですが、事前に授業用SNS（melly）で連絡した上で来てもらおうと確実です。また、授業用SNS（melly）でも随時対応します。

早期臨床体験学習

更新日：2025/09/24 16:18:52

開講年度	2026	学期	前期	科目コード	101020	授業コード	10102
担当教員	緒方 智壽子, 島田 明子, 神 光一郎, 梶 貢三子, 中塚 美智子, 藤井 孝政, 小正 聡, 藤田 暁, 三宅 晃子, 前嶋 亜優子, 谷 亜希奈, 首藤 崇裕, 大森 あかね, 武輪 敬心, 宮坂 佳代, 亀井 直子, 鶴木 叶恵, 方 思棋, 中井 知己, 黄 育清						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	1年	曜日/時限	－	単位	1	
	備考(配当)	必修科目					
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP		科目に関連する実務経験	
10102		2〇 H1◎		2〇 E4◎		歯科医師・歯科技工士・歯科衛生士	

授業概要

歯科医療従事者となることを目指す者として、医療人としての態度・職業意識・コミュニケーションの基盤をつくることを目的とする。
医療現場を体験することで診療室の雰囲気を感じ、患者診療のプロセスを観察することでチーム医療の中での自分の将来の役割を理解し歯科医療への関心を高める。また、挨拶、言葉遣い、身だしなみなどの基本マナーを実践的に学び、患者のプライバシーに配慮した接し方などチーム医療での立ち振る舞いを理解し、診療を受ける立場の体験を通じて患者心理や不安への配慮を学ぶ。

到達目標

1	口腔保健に関する知識、科学的探求心と向上心を養うことができる。
2	歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士、受付など職種ごとの役割を理解する。
3	今後学修する科目の必要性を理解する。
4	医療従事者としての身だしなみ、接遇の重要性を説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	3	6	7	
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	0			

授業計画

1	【講義】早期臨床体験学習の概要の説明（緒方、梶、三宅、小正、方、黄） 早期臨床体験学習のオリエンテーションで、附属病院の概要とルールおよび病院内での身だしなみと接遇の確認
2	【実習】体験実習1日目：附属病院の役割りと診療科案内（緒方、梶、三宅、小正、方、黄） 附属病院診療科各科の治療内容の概要
3	【実習】各科診療科説明1（各科医員） 各診療科医員より診療科と診療内容の説明
4	【実習】各科診療科説明2（各科医員） 各診療科医員より診療科と診療内容の説明
5	【演習】附属病院巡回見学とレポート作成（医療保健学部教員） 各診療科の診療と講義のまとめ
6	【実習】体験実習2日目：各診療科の臨床対応体験実習1（医療保健学部教員） グループに分かれて各診療科の体験実習
7	【実習】各診療科の臨床対応体験実習2（医療保健学部教員） グループに分かれて各診療科の体験実習
8	【講義】体験講義（歯科衛生士長：上野、技工士長：内藤） 附属病院歯科衛生士の役割りと歯科技工士の役割り
9	【演習】レポート作成（医療保健学部教員） 各診療科の診療と講義のまとめ
10	【実習】体験実習3日目：各診療科の臨床対応体験実習（医療保健学部教員） グループに分かれて各診療科の体験実習
11	【実習】各診療科の臨床対応体験実習（医療保健学部教員） グループに分かれて各診療科の体験実習
12	【講義】体験講義（医療保健学部教員、各科医員） 歯科臨床の基礎知識
13	【演習】レポート作成（医療保健学部教員） 各診療科の診療と講義のまとめ
14	【演習】グループ討論（医療保健学部教員） 各診療科の診療内容と体験実習のまとめとトピックについてプレゼン資料の作成

15	【演習】グループ発表（医療保健学部教員）牧野学舎 各診療科の診療内容と体験実習のまとめとトピックについてプレゼン資料の作成
16	【演習】グループ発表（医療保健学部教員）牧野学舎 早期臨床体験実習のプレゼンテーション

成績評価の方法

1. 学習態度
2. 早期臨床体験学習で学んだ内容や感想をレポートとして提出
3. グループ討論および発表への参加態度

上記1～3についてそれぞれA～Eの5段階で評価する。評価割合はすべての項目で100%とし、その総合評価を行う。

教科書

なし。但し、早期臨床体験学習の手引きをオリエンテーションまでに配信する。

授業外学修（予習・復習）

早期臨床体験学習を行うにあたってオリエンテーションを実施する。オリエンテーションの内容をよく予習・復習し学習に臨むこと。(約30分)

その他

参考資料	「人は見た目が9割」 佐藤綾子 新潮社 「心のふれあう患者接遇」 石井良子、石井美奈子 医学書院 「外来でのコミュニケーション技法」 飯島克己 日本醫事新報社
受講生への要望等	・時間を厳守すること。 その他、守るべき留意点については、オリエンテーション時に伝達します。
授業の質問対応、連絡先	学習中の質問等については、担当教員に直接質問すること。 その他の連絡先については、早期臨床体験学習で使用する手引きに記載。

医療倫理学

更新日：2025/09/13 14:19:05

開講年度	2026	学期	前期	科目コード	101030	授業コード	10103
担当教員	檉 則章						
備考							
配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	1年	曜日/時限	－		単位	1
	備考(配当)	必修科目					
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP		科目に関連する実務経験	
10103		2◎		2◎			

授業概要

現代医療を担う医療従事者の一員として身につけるべき倫理規範の正しい理解及び修得を授業目的とする。20世紀半ば以降、伝統的な医の倫理に代わる新しい医の倫理が求められるようになった背景について概説した後、歯科医療従事者としての職業倫理、患者の権利の尊重と感情面への配慮による患者本位の医療実践、生と死に関わる倫理的問題、先端医療に関わる倫理的問題について講義し、医療の倫理的問題について自ら考えることができるようにする。

到達目標

1	伝統的な医の倫理から現代の医療倫理学への転換について概説できる。
2	歯科医療従事者としての職業倫理について説明できる。
3	患者本位の歯科医療を実践するために患者の権利の尊重と感情面への配慮が重要であることを説明できる。
4	生と死に関わる倫理的問題について概説できる。
5	先端医療の倫理的問題について概説できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	0			

授業計画

1	【面接講義】現代社会と医療（檉 則章） 20世紀半ば以降、伝統的な医の倫理に代わる新しい医の倫理が求められるようになった背景、今日求められている医療のあり方について講義する。授業後、各回の到達目標と4択問題を毎回20分～30分かけて必ず復習すること。
2	【面接講義】患者の権利（檉 則章） 患者の権利について講義する。授業後、各回の到達目標と4択問題を毎回20分～30分かけて必ず復習すること。
3	【面接講義】インフォームドコンセント（檉 則章） インフォームドコンセントの歴史、定義、実際について講義する。授業後、各回の到達目標と4択問題を毎回20分～30分かけて必ず復習すること。
4	【面接講義】医学研究の倫理（檉 則章） 医学研究の倫理について講義する。授業後、各回の到達目標と4択問題を毎回20分～30分かけて必ず復習すること。
5	【面接講義】生命維持治療の拒否と差控え（檉 則章） 患者本人による生命維持治療の拒否と、患者以外の者による生命維持治療の差控えの決定について講義する。授業後、各回の到達目標と4択問題を毎回20分～30分かけて必ず復習すること。
6	【面接講義】安楽死（檉 則章） 安楽死の現状について講義する。授業後、各回の到達目標と4択問題を毎回20分～30分かけて必ず復習すること。
7	【面接講義】生命の「選別」（檉 則章） 新生児、胎児及び胚の選別の現状と倫理について講義する。授業後、各回の到達目標と4択問題を毎回20分～30分かけて必ず復習すること。
8	【面接講義】脳死と臓器移植 脳死は人の死か、脳死は臓器移植とどのように関連しているかについて講義する。授業後、各回の到達目標と4択問題を毎回20分～30分かけて必ず復習すること。

成績評価の方法

科目試験100％で評価する。本試験の成績評価で不可とされた学生には必要に応じて指導する。

教科書

教科書は特に指定せず、各回プリントを配布し、パワーポイントを使用して授業を行う。

授業外学修（予習・復習）

毎回ごとに詳細な到達目標と4択問題を提示しているので、授業後、必ずそれらについて毎回20分～30分かけて復習すること。

その他

参考資料	「生命倫理と医療倫理」第4版第2刷 伏木信次・榎則章・霜田 求編著 金芳堂 2022 ISBN978-4-7653-1816-7 C3047 歯科衛生学シリーズ「歯科医療倫理学」第1版第1刷 榎則章ほか 医歯薬出版 2023 ISBN978-4-263-42613-5 C3347
受講生への要望等	日ごろから新聞やネットで医療に関わる様々な問題についてチェックしておくこと。
授業の質問対応、連絡先	オフィスアワー：各回の授業後。

医療人キャリア形成論

更新日：2026/04/03 08:42:29

開講年度	2026	学期	前期	科目コード	101040	授業コード	10104
担当教員	中塚 美智子, 神 光一郎, 藤田 暁, 米澤 美保子, 高井 裕二, 谷 亜希奈, 首藤 崇裕, 大森 あかね, 寺島 雅子, 中井 知己						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	1年	曜日/時限	一		単位	1
	備考(配当)	必修科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
10104	1◎ H1○	1◎ E1○	歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士、社会福祉士

授業概要

大学生活は高校までとは大きく異なり、自分で考え、判断して動いていくようになります。また、本学では臨床実習があり、学生のうちから医療現場や福祉現場に出ることから、早い段階から礼儀やマナーを身につけ、社会に出る準備をせねばなりません。

本科目を受講して、1年生のうちから自分自身を見つめ、将来自分がどのような社会人、また医療人を目指すのかを考えていくとともに、今後の生活で取り組むべき自分の課題を見つけましょう。

大学、また社会で必要になる「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を身につけ、そのうえで医療人、社会人としてのキャリアデザインが構築できるようになりましょう。

到達目標

1	現在の日本の医療や社会について意見を述べたり、文章などで表現したりすることができる。
2	大学、また社会で必要になる「知識・技能」を身につけることができる。
3	大学、また社会で必要になる「思考力・判断力・表現力」を身につけることができる。
4	大学、また社会で必要になる「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を身につけることができる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	0	8		
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	0			

授業計画

1	【演習】大学で身につけることは何だろう（中塚、神、藤田、高井、米澤、首藤、谷、大森、寺島、中井） 大学とはどういうところか知ったうえで、大学生活は高校までとは何が異なるかを考え、グループでシェアリングする。医療系、医療系大学とはどのようなところかを知り、医療人になるために大学や学生生活の中で何を学び、何を身につけていかなければならないかを考え、文章で表現する。
2	【演習】コミュニケーション上手な医療人になろう①（外部講師、中塚、神、藤田、高井、米澤、首藤、谷、大森、寺島、中井） 将来社会人および医療人として必要な挨拶、正しい敬語の使用および礼儀、傾聴について、グループでロールプレイを通して学ぶ。
3	【演習】自分を相手に分かりやすく伝えよう①（中塚、神、藤田、高井、米澤、首藤、谷、大森、寺島、中井） 文の構造、文章を書く上での基本文法と注意点について学ぶ。自分の価値観、やりたいこと、好きなこと、得意なことなどについて、グループで話し合いながら探索し、自己PR文を作成する。
4	【演習】コミュニケーション上手な医療人になろう②（中塚、神、藤田、高井、米澤、首藤、谷、大森、寺島、中井） 自分の思考の傾向を知った上で、相手の気持ちをしっかり考えながら自分の気持ちや考え、信念をその場にふさわしい方法で表現するアサーションについて学ぶ。
5	【演習】自分を相手に分かりやすく伝えよう②（中塚、神、藤田、高井、米澤、首藤、谷、大森、寺島、中井） 人生設計について各自考え、グループでシェアリングし、そのような自分になるために今後どういったことを身につけていく必要があるかを、根拠を示しつつ文章で表現する。
6	【演習】世の中の気になることについて話し合おう（中塚、神、藤田、高井、米澤、首藤、谷、大森、寺島、中井） 与えられた問題について、グループ内で役割を決めて制限時間内でディスカッションし、根拠を示しつつ発表する。
7	【演習】医療業界、歯科医療業界とはどのようなところ？（外部講師、中塚、神、藤田、高井、米澤、首藤、谷、大森、寺島、中井） 現役歯科衛生士または歯科技工士の話を聴き（卒業生など、臨床、企業）、医療および歯科医療とはどういうものか、医療人にとって必要なものは何かをグループでディスカッションする。また歯科衛生士や歯科技工士にどのような素質や適性が必要か、根拠を挙げてグループ内で説明する。
8	【演習】社会人はどのような仕事をしているだろう（中塚、神、藤田、高井、米澤、首藤、谷、大森、寺島、中井） さまざまな業界で働いている、家族や親戚以外の社会人にインタビューした内容をグループでシェアし、発表する。

成績評価の方法

レポート（作文）60%、発表内容30%、受講態度（積極性など）10%で総合的に評価します。
レポートは毎回教員が添削を行い、コメントをつけて返します。

教科書

なし
必要に応じ、適宜資料を配付します。

授業外学修（予習・復習）

毎回講義後にテーマに基づいた文章を書き、提出します（30分）。

その他

参考資料	まんがでわかる LIFE SHIFT 星井博文他著 東洋経済新報社 新入試に強い！日本語論理トレーニング 15ステップですらすら書ける 出口汪の作文講座 出口 汪著 小学館 その他必要に応じて指示、また資料などを適宜配布します。
受講生への要望等	自分の人生を他人に決めてもらうことがないよう、大学生活を過ごす中で常に自分で考えることを意識しましょう。また、自分の意見を、根拠を挙げて言葉や文章で的確に表現できるようになりましょう。 第7回で、各自社会人に職業インタビューした内容を発表します。準備を進めておきましょう。
授業の質問対応、連絡先	質問対応は下記の通り行います。 ・授業用SNS（Melly）で予約し、対面で実施 平日8:45-18:30に予約したい旨連絡、日時を決め担当教員の研究室に来室、対面で実施

文章表現

更新日：2025/09/27 10:28:57

開講年度	2026	学期	前期	科目コード	102010	授業コード	12101
担当教員	大澤 茂男						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科， 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	1年,2年	曜日/時限	一	単位	1
	備考(配当)	必修科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
10201	1○ 5◎ H3○	1○ 5◎ E4○	大阪青山大学、米子高専

授業概要

日本語の文章を扱う力（表現力・理解力）を高めるためのトレーニングを中心に進めていく科目です。

文章の表現力を高めるためには、まずは「書くこと」の実践とその振り返りが重要です。授業のなかで、実際に文章を書き、受講者が相互に共有する機会も設けていきます。また一部にペアワークを取り入れ、アクティブなやり取りの中で自身の文章表現力を向上させるきっかけを作ります。

文章の理解力については、受講者の専攻分野などに関連する文章を用いて、読解スキルの向上をはかるための簡単な演習を行います。

また、日本語の文法や文の構造について、教員自作のドリル教材を用いて理解を深めていきます。

なお、授業にはノートパソコンを持参してください。課題の提出にはAポータルの「Melly」を活用します。

到達目標

1	文章を読んで、内容を的確に理解できる。
2	自身の考えや思いを適切に文章に表すことができる。
3	文章の読み書きに日ごろから親しむ態度を養う。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】科目概要を理解し、文章を試作する 本科目の到達目標を確認し、全8回の授業の流れを把握します。その後、自分の名前を題材とした文章を試作し、提出します。
2	【講義】文の構成要素を理解する(1) 文章とは「文」の連結体であり、「文」は「語」「語句」の集積体であることを理解します。特に分かりやすい一文一文を仕立てるためのポイントについて、演習問題に取り組みながら理解を深めます。また、前時の提出課題の一部紹介を行い、それを読んでコメントを書き、提出します。
3	【講義】文の構成要素を理解する(2) 前時に続き、文章とは「文」の連結体であり、「文」は「語」「語句」の集積体であることを理解していくため、演習問題に取り組みます。一部の品詞について掘り下げた演習も行います。加えて、ペアワーク『図形あて』を実施します。
4	【講義】文の構成要素を理解する(3) 受講者の興味関心が向きやすい文章を題材とし、熟語・語彙のドリル的な学修を行います。加えて、ペアワーク『ことばあて』を実施します。
5	【講義】文章の構成パターンを理解し、実作する 文章の構成パターンをいくつか紹介した後、シンプルな「三段構成」の文章を仕立てる実践を行います。「三段構成」とは「序論―本論―結論」という形ですが、よりシンプルに「はじめ―なか―おわり」ととらえ、簡単な構成表を作成してから文章作成を行います。
6	【講義】文章を要約する 比較的短い解説文や論説文を素材として、文章の要約を実践します。「分析読み」という簡単な手法を用いて要約文を作成します。
7	【講義】三段構成の文章を書く 医療分野に関連するエッセイなどを読み、文章の構成について理解を深めます。そのあとで、一つの共通題材を設定した三段構成の文章（600―800字程度）を執筆します。
8	【講義】文章の構成を中心とした学びの総括 前回までの各回の学びをふりかえり、文章の構成（三段構成およびその応用形としての四段構成）について、前時提出の作品を一部紹介しながら理解を深めていきます。授業アンケートについても説明します。

成績評価の方法

1) 授業内に作成する文章課題およびワークシート（50%）
2) 本試験（筆記試験）（50%）
上記の1)については提出後にポイントを付し、フィードバックします。一部のものを（氏名は伏せて）紹介することがあります。

教科書

なし。教員から講義内で扱う文章のプリントや自作のワークシートが配付されます。

授業外学修（予習・復習）

授業に臨む前に、Aポータルから配信されるメッセージを必ず読んでください。扱う資料の一部が添付配信され、あらかじめ行っておくべき学修が指示される場合があります。また、授業終了時にも次の回に向けた準備を指示する場合がありますので、それらに対応するための時間（各回概ね1～2時間程度）を授業外で確保しておいてください。

詳細については初回授業の中で伝えます。

その他

参考資料	○本田勝一『〈新版〉日本語の作文技術』朝日文庫 2015 ISBN978-4-02-261845-0 ○藤吉 豊, 小川 真理子『「文章術のベストセラー100冊」のポイントを一冊にまとめてみた。』日経B P 2021 ISBN-13・978-4822289065 ○中村 明『センスをみがく 文章上達事典』東京堂出版 2016 ISBN978-4-490-10885-9 ○石黒 圭『論文・レポートの基本』日本実業出版社 2012 ISBN-13・978-4534049278 ○瀬戸 賢一『日本語のレトリック: 文章表現の技法 (岩波ジュニア新書)』岩波書店 2002 ISBN-13・978-4005004188 など。 （これ以外の資料については授業時に各回のテーマに合わせて追加紹介します。）
受講生への要望等	この授業では、ほぼ毎回なにかを「書く」ことを課していきます。「書く」スキルを高めるためには、「書く」しかない、と心得てください。また、ペアワークに取り組むことがありますので、こちらの指示を踏まえながら、積極的に参加するよう心がけてください。
授業の質問対応、連絡先	直接の質問や要望は、下記宛のメールを活用してください。 s-oosawa@osaka-aoyama.ac.jp（本務校のメールアドレスです）

統計学

更新日：2025/10/02 17:15:59

開講年度	2026	学期	前期	科目コード	102020	授業コード	12102
担当教員	森 淳秀, 木村 満晃						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科， 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	1年，2年	曜日/時限	－		単位	1
	備考(配当)	必修科目					
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP		科目に関連する実務経験	
10202		1◎ 5○		1◎ 5○			

授業概要

データを集め、要約したり、分析したりする統計学の手法を学ぶ。講義を通して概念について知るだけでなく、ICTを活用してみずから課題に取り組むことにより、実際に使える知識を身につける。

到達目標

1	みずからデータを集めて要約することにより、図表を用いたプレゼンテーションを行うことができる。
2	疫学研究で用いられる様々な統計学の手法を歯科医療の問題に適用することができる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			

授業計画

1	【講義】情報と根拠 高校までに学んだことを駆使して、様々なデータを加工して情報にすることができる。様々な情報について、誰が誰に何のために発信したものかを調べることができる。根拠と意見の区別ができる。人間の集団を対象とする臨床的根拠と動物実験などの非臨床的根拠の区別ができる。EBMを説明することができる。
2	【講義】因果関係 要因（曝露）と症例（罹患）の区別および時間的な順序づけができる。RRとORを用いてそれらの関連の強さを調べることができる。関連の特異性や整合性を確認することができる。記述疫学・分析疫学・介入研究の違いについて説明することができる。コホート研究と患者対照研究の違いを説明することができる。各種研究の根拠の水準を序列化できる。
3	【講義】データ収集と記述統計 DMFT指数の計算ができる。地域フッ素症指数（CFI）の計算ができる。リッカード尺度の計算ができる。系統抽出法と多段階抽出法の違いを説明できる。層化抽出法について説明できる。様々なデータを尺度水準によって分類できる。データを要約する代表値を求め、図表を用いたプレゼンテーションを行うことができる。
4	【講義】平均の推定 平均の区間推定ができる。エラーバーのある平均の棒グラフと、標準偏差が付記された平均の棒グラフとを区別し、適切な棒グラフによってプレゼンテーションを行うことができる。前後比較における対応のある差の平均に関するペアも検定ができる。「降圧剤の効果」などの具体的な問題を解くことができる。
5	【講義】差の検定 表計算ソフトを利用して（対応のない）2群の平均の差に関するウエルチのも検定ができる。2群の中央値の差に関するマン・ホイットニーのU検定、対応のある差に関するウィルコクソンの符号順位検定、等分散3群の平均の非一様性に関するF検定、3群の中央値の差に関するクラスカル・ウォリス検定について、それぞれ説明することができる。
6	【講義】比率の推定と独立性検定 比率の区間推定ができる。比率のZ検定と比率の差のZ検定について説明することができる。自由度1の独立性カイ二乗検定ができる。「予防接種と罹患患者数」などの具体的な問題を解くことができる。サンプルサイズが小さい場合のフィッシャーの正確確率検定、自由度の高い場合の独立性検定、モデルがある場合の適合度検定について、それぞれ説明することができる。
7	【講義】回帰と相関 散布図を用いたプレゼンテーションを行うことができる。散布図に引かれた回帰直線について説明することができる。散布図からピアソンの相関係数のおよその値を読み取ることができる。スピアマンの順序相関係数について説明することができる。
8	【講義】重回帰とロジスティック関数 交絡バイアスと交絡因子について説明することができる。層化による交絡因子の特定ができる。重回帰分析による交絡バイアスの評価ができる。ロジスティック重回帰分析について説明することができる。スクリーニングにおけるROC曲線について説明することができる。

成績評価の方法

- ・ICTを活用した課題：各回5%を8回：計40%
- ・科目試験60%

毎回の授業で出された課題を1週間以内（曜日前日23:59まで）に提出する。正解するには授業を受けたうえで40分程度の試行錯誤が必要となる。自動で採点と

フィードバックが行われ、何度でも回答を修正することができるので、期限までに全問正解しなかった回は評価されない（0点）。期限を過ぎてから提出しても評価されないが、科目試験には類似問題が出題される。科目試験の結果については、対応する各回の課題の範囲ごとに正答率と注意すべきポイントをまとめてMellyで通知する。

教科書

歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み3 保健情報統計学／医歯薬出版株式会社／ISBN 978-4-263-42624-1

授業外学修（予習・復習）

毎回ICTを活用した課題に取り組むことによって予習と復習を行うことができる（目安時間：40分程度）。数量的リテラシーを強化したい人が自主的に参考資料を活用することも想定する（任意、質問は受け付ける）。

その他

参考資料	医療系を志す人のための基礎数学―微積分から統計学へ―／森淳秀／2020年／共立出版／ISBN 978-4-320-06194-1
受講生への要望等	教科書は授業を受けるときに必要である。課題にも教科書を用いた予習が含まれる。参考資料は任意であり、関連する数学の学修に用いることができる（歯学部 of 教科書）。
授業の質問対応、連絡先	mellyを利用して質問すること。普段は楠葉学舎 1 号館 4 階の数学研究室にいるので、直接質問することもできる。

心理学 I

更新日：2025/12/23 11:58:41

開講年度	2026	学期	前期	科目コード	102030	授業コード	12103
担当教員	武輪 敬心						
備考							
配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	1年,2年	曜日/時限	－		単位	1
	備考(配当)	必修科目					
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP		科目に関連する実務経験	
10203		1○ 2◎		1○ 2◎		公認心理師	

授業概要

心理学の扱う分野は多岐にわたり、発達や教育、集団・組織、産業など、各年代、集団ごとに特有の心理的課題が存在する。
本科目では、心理学の歴史と理論について学び、心の基本的な仕組みと機能、発達過程を理解し、人間関係の基礎となる、人間理解と自己理解を深める。

到達目標

1	人の心の基本的な仕組みと機能を理解し、環境との相互作用の中で生じる心理的反応を理解できる
2	人の成長・発達段階の各期に特有な心理的課題を理解できる

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【オリエンテーション・講義】オープニング・心理学の歴史 1) オリエンテーション 2) 心理学を学ぶ意義 (テキスト 1.1) 3) 心理学の歴史 (同 1.2～1.4)
2	【講義】心理学理論の発展 1) 生態学的心理学 (同 1.5～1.7) 2) 進化心理学的アプローチ 3) 認知行動科学 (同 12.2.3) 4) 行動遺伝学
3	【講義】心の基本的な仕組みと機能 ① 心の生物学的基盤 1) 脳の構造 (同 10.2) 2) 神経機能 (同 10.1) 3) 遺伝 (同 8.3.1)
4	【講義】心の基本的な仕組みと機能 ② 感情・動機づけ・欲求、感覚・知覚 1) 感情の仕組み・機能 (同 9.7～9.10) 2) 動機づけ理論 (同 9.1～9.6) 3) 知覚の情報処理過程 (同 2.2～2.3) 4) 感覚モダリティ (同 2.1) 5) アフォーダンス
5	【講義】心の基本的な仕組みと機能 ③ 学習・行動、認知 1) 馴化・鋭敏化 (同 3.1) 2) 古典的条件づけ (同 3.2) 3) 道具的条件づけ (同 3.3) 4) 記憶・注意 (同 2.3, 4.2～4.3) 5) 思考 (同 5.1) 6) 認知バイアス (同 5.6)
6	【講義】心の基本的な仕組みと機能 ④ 個人差、人と環境 1) 知能 (同 6.1～6.2) 2) パーソナリティ (同 8.) 3) 人と環境 (同 8.3) 4) 対人関係 (同 7.7) 5) 集団・組織 (同 11.2～11.4) 6) 自己
7	【講義】発達の定義と発達課題 1) 発達の定義 (同 7.1) 2) ライフステージと発達課題 (同 7.2)

8	【講義】心の発達の基盤 1) 認知発達理論（同 7.4） 2) 言語発達（同 7.5） 3) アタッチメント理論（同 7.6） 4) 道徳性の発達（同 11.1）
---	--

成績評価の方法

試験 100%

教科書

清水寛之・瀧川真也・横洋一・山本晃輔『ライブラリ 読んでわかる心理学 1 読んでわかる心理学』（2024）サイエンス社（ISBN-10：4781916163）

授業外学修（予習・復習）

【予習】授業計画のテーマに対応したテキストの章（授業計画に記載）を読みこむ（60～90分程度）

【復習】授業後にはテキストや配布資料を見直し、復習して、学習内容を定着させる（60～90分程度）

その他

参考資料	榎本博明『ライブラリ 心の世界を学ぶ6 はじめてふれる人間関係の心理学』（2018）サイエンス社 榎本博明『ライブラリ わかりやすい心理学6 わわかりやすいパーソナリティ心理学』（2020）サイエンス社 行場次朗・大淵憲一『ライブラリ 心理学の杜 1 心理学概論』（2021）サイエンス社 このほか、授業で随時紹介する。
受講生への要望等	基本的には講義形式だが、適宜ディスカッションを取り入れる。積極的に参加すること。
授業の質問対応、連絡先	原則、授業内で対応する。授業外は、mellyで質問を受けつける。対面を希望する場合、mellyでアポイントを取ること。

運動生理学

更新日：2025/10/09 13:17:18

開講年度	2026	学期	前期	科目コード	102040	授業コード	10105
担当教員	清水 正輝						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科， 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	1年	曜日/時限	一		単位	1
	備考(配当)	必修科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
10204	1◎ H2○	1◎ E2○	鍼灸師 スポーツトレーナー

授業概要

運動生理学では生理学や解剖学を基礎として、活動状態（運動時）における人体の働きについて、生理学的な機能あるいは構造学的変化について体系的に講義を行う。

運動時の筋・神経・呼吸・循環系の生理学的な機能及び働きあるいは構造学的変化について学ぶ。

運動にかかわるヒトの機能やスポーツ・運動による身体の変化について理解し、実学として、スポーツ活動や生活の中で役立てることができるようになることを目標とする。

到達目標

1	正しい運動方法と生理学的效果を理解できる。
---	-----------------------

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8	0		
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	0	0		

授業計画

1	【講義】運動生理学各論 1 運動生理学に関連する問題を解きながら 主に有酸素運動の知識を深める
2	【講義】運動生理学各論 2 運動生理学に関連する問題を解きながら 主に無酸素運動の知識を深める
3	【講義】運動生理学各論 3 運動生理学に関連する問題を解きながら 主に栄養学の知識を深める
4	【講義】運動生理学各論 4 運動生理学に関連する問題を解きながら 主にスポーツ障害予防の知識を深める
5	【講義】運動生理学各論 5 運動生理学に関連する問題を解きながら 主にスポーツ障害回復の知識を深める
6	【講義】運動生理学各論 6 運動生理学に関連する問題を解きながら 主に内科的疾患の知識を深める
7	【講義】運動生理学各論 7 運動生理学に関連する問題を解きながら 主に最新に知見について知識を深める
8	【講義】運動生理学各論 8 運動生理学に関連する問題を解きながら 主に実践的な知識を深める

成績評価の方法

筆記試験及びレポート課題から総合的に評価する。

- ・科目試験50%
- ・レポート課題50%(講義中に課題を提示し、最終講義時にレポートを返却する)

教科書

講義時に適宜、資料を配布する。

授業外学修（予習・復習）

授業前に骨格筋の名前や作用、生理学用語、運動方法について毎回60分予習すること。
授業で学習した内容について毎回60分間復習すること。

その他

参考資料	「運動生理学：生理学の基礎から疾病予防まで」 三共出版
受講生への要望等	積極的な参加態度を期待します。
授業の質問対応、連絡先	講義前後の時間 sanryoushi@yahoo.co.jp

物理学

更新日：2025/10/10 14:59:51

開講年度	2026	学期	前期	科目コード	102050	授業コード	1S101
担当教員	辻林 徹						
備考	ICTを活用した双方向型授業						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科， 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	1年	曜日/時限	一		単位	1
	備考(配当)	選択必修科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
10205	1◎	1◎	

授業概要

物理学の中でも、将来、歯科医療に従事する上で必要な、力学、波動、電磁気学の基本的な内容を、オンラインで配信する動画とプリントで学修する。オンライン講義で質問があるときは、恐れずにチャット機能を利用して欲しい。高等学校での物理の履修の有無に関わらず、数学が得意であったなら、講義内容を充分、理解することができる。

到達目標

1	物体に働く力が物体の運動を決めることを理解できる。
2	音波の性質を説明できる。
3	医療機器における電磁波の使用例を列挙できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	0			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			

授業計画

1	【講義】力学（１）（オンデマンド配信） 静止している物体に働く力について学修する。物体に働く力を直接、目で見えることは難しいので、ここから物理学が苦手になる人も多いと思われる。ただ、一度慣れてしまうと自然と力が見えてくるから不思議である。身近な現象を通じて、学修する。（テキスト第4章）
2	【講義】力学（２）（オンデマンド配信） ニュートンの運動方程式について学修する。古典力学の基本であるニュートンの運動方程式を学修し、力と加速度の関係を理解する。（テキスト第3章）
3	【講義】力学（３）（オンデマンド配信） 運動量について学修する。いわゆる運動の３法則、慣性の法則、運動方程式、作用反作用の法則は運動量に関する記述と捉えると、わかりやすい。演習問題も交えながら学修する。（テキスト第章）
4	【講義】力学（４）（オンデマンド配信） 仕事とエネルギーについて学修する。力学的エネルギー保存則について学修した後に、エネルギーがさまざまな形態を取ること、また、地球環境を考える上で最も重要な鍵となることを理解する。（テキスト第2章）
5	【講義】振動と波動（オンデマンド配信） 音波は、空気中のある場所における周期運動が波となって周囲に伝わる現象である。ここでは楽器を例にとり、波の基本的な性質について学修する。また、応用例としてドップラー効果についても学修する。音波の大きさについても学修する。（テキスト第13章）
6	【講義】電磁気学（オンデマンド配信） (古典)電磁気学はMaxwell方程式と呼ばれる４つの方程式によって記述される。これらの式の元となる、諸法則について学修する。（テキスト第6章）
7	【講義】透視の技法（オンデマンド配信） 医療関係の話題として、人体を透視するための療機器のしくみを学修する。CT・MRI・PETのしくみについて電磁気学などの物理学の知識を応用しながら学修する。（テキスト第15章）
8	【講義】まとめ（オンデマンド配信） これまでに学修したことを振り返り、演習問題に取り組む。

成績評価の方法

科目試験 約40%（フィードバック方法：直後に問題の解説を行い、自己の誤りに気付かせる）
レポート 約60%（フィードバック方法：Melly上で多く見られた間違いを指摘し、確認させる）

教科書

教養としての物理学入門、笠利彦弥・藤城武彦、講談社 2018 ISBN:978-4-06-512527-4

授業外学修（予習・復習）

【予習】前の回まで、どのようなことを学修したか、自分のノートを見返して下さい。自分の理解度を確認しながら、さらに深く、それまでの講義資料を見返して下さい（45分）。

【復習】学修した内容の要点を自分のノートにまとめて下さい（45分、下記「要望」参照）。

その他

参考資料	(1) 物理学の基礎 [1]力学、D. ハリディ 他 著、培風館 2002 ISBN：4-563-02255-1 (2) クイズで学ぶ 大学の物理 飽本一裕、講談社ブルーバックス 電子版 2016 ISBN：978-4-06-257328-3 (3) 医歯系の物理学、赤野松太郎・鮎川武二・藤城敏幸・村田浩、東京教学社 2015 ISBN：978-4-8082-2072-3
受講生への要望等	ノートと教科書を用意して下さい。ノートには、初めて接する物理学上の用語があれば、自分なりの解説を作して下さい。教科書は現在、電子書籍としてのみ刊行されています（以前は紙媒体で刊行されていました）。
授業の質問対応、連絡先	Mellyを利用して下さい。

化学

更新日：2025/10/01 15:28:06

開講年度	2026	学期	前期	科目コード	102060	授業コード	1S102
担当教員	藤原 真一						
備考	ICTを活用した双方向型授業						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科，大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	1年	曜日/時限	－	単位	1
	備考(配当)	選択必修科目				
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP		科目に関連する実務経験
10206		1◎		1◎		

授業概要

近年の歯科の治療技術あるいは材料の進歩は、化学の発達に伴っている。化学は物質の成り立ちと構造、性質および変化について原子や分子に着目して調べるとともに、物質を暮らしに安全かつ有意義に役立てることを目指す学問である。この科目では、人間が元素、原子、分子などの存在を知り、理論・法則を確立していくには、どのような観察・実験が行われたのか、その経緯を学ぶ。さらに、歯科医療人として必要な糖質・脂質・タンパク質等の生体関連物質の構造や機能などの基礎知識を学習する。

到達目標

1	原子の構造と電子配置を説明できる。
2	イオン結合と共有結合を説明できる。
3	固体・液体・気体の性質を説明できる。
4	防食法を列举できる。
5	生体構成物質の構造と機能を説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			

授業計画

1	【講義】物質の構造と原子の電子配置 ・原子の構造 ・原子の電子配置 ・物質質量
2	【講義】イオン結合と共有結合 ・イオン結合 ・共有結合 ・化学平衡 ・溶液の濃度
3	【講義】物質の三態 ・気体の法則 ・合金 ・相律と状態図
4	【講義】腐食と防食 ・腐食 ・防食法
5	【講義】有機化学の基本 ・官能基に基づく分類 ・有機反応の形式 ・化学反応式の作り方
6	【講義】糖質 ・糖質の構造と機能 ・解糖 ・食物繊維
7	【講義】脂質とタンパク質 ・脂質の構造、機能、代謝 ・タンパク質（アミノ酸）の構造と機能
8	【講義】酵素と核酸 ・アミノ酸の代謝 ・酵素 ・核酸の構造と機能

成績評価の方法

- ・確認テスト 30%
- ・科目試験 70%

毎回確認テストを実施する。

確認テストの解答は確認テスト提出締め切り後に例示する。

教科書

テキストは使用せず、毎回資料を配布する。

授業外学修（予習・復習）

講義中に、次の講義までに行うべき予習・復習を指示する。

各回予習1時間、復習1時間を目安とします。

その他

参考資料	「最新歯科衛生士教本 化学」 医歯薬出版
受講生への要望等	講義開始時または初期の段階で高校の化学の教科書を読み返しておくこと講義が理解しやすくなります。
授業の質問対応、連絡先	メールアドレス：fujiwara@cc.osaka-dent.ac.jp また、「melly」でも質問等を受け付けます。

生物学

更新日：2025/10/17 16:16:56

開講年度	2026	学期	前期	科目コード	102070	授業コード	1S103
担当教員	岡村 英幸						
備考	ICTを活用した双方向型授業						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科， 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	1年	曜日/時限	－	単位	1
	備考(配当)	必修科目				
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP		科目に関連する実務経験
10207		1◎		1◎		

授業概要

生命科学分野の専門性が高い専門基礎科目の学習がスムーズに行えるように、生物学・生命科学の基本知識を理解・習得することを目標とし、主に「細胞の構造と機能」、「人体の成り立ち」、「遺伝子の働き」などを中心に学習する。合わせて二週目の講義以降実施される小テストで理解度を確認する。

到達目標

1	生体を構成する高分子の構造と特徴を説明できる。
2	原核生物と真核細胞の違いを説明できる。
3	真核細胞を構成する構造の特徴と働きを説明できる。
4	細胞分裂の過程と仕組みを説明できる。
5	遺伝の規則性と遺伝子の働きの関係を説明できる。
6	遺伝子発現の過程と遺伝性疾患の発症原理を説明できる。
7	多細胞動物の胚発生の過程とメカニズムを説明できる。
8	ヒトの恒常性の維持と免疫系の働きの基本を説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			

授業計画

1	【講義】生体を構成する物質 1)タンパク質の基本構造と特徴 2)核酸の基本構造と特徴 3)リン脂質の基本構造と特徴
2	【講義】真核細胞の構造と機能 1 1)原核細胞と真核細胞、ウイルスの共通点・相違点 2)細胞膜の構造と機能
3	【講義】真核細胞の構造と機能 2 1)真核細胞の主要な細胞内小器官の特徴と機能 2)細胞内呼吸
4	【講義】細胞分裂と配偶子形成 1)真核細胞の体細胞分裂の過程 2)減数分裂の過程と配偶子形成の特徴 3)細胞周期
5	【講義】遺伝と遺伝子 1)遺伝子とはなにか 2)遺伝の法則と遺伝子
6	【講義】遺伝子の働き 1)セントラルドグマ 2)遺伝性疾患のメカニズム
7	【講義】脊椎動物の発生 1)両生類の胚発生過程 2)三胚葉と組織・器官 3)発生と再生医療
8	【講義】環境への応答と恒常性 1)恒常性とはなにかを概説 2)内分泌系 3)神経系 4)免疫系

成績評価の方法

- ・科目定期試験65%
 - ・各講義回ごとの復習課題35%
 - ・不合格者に対する再試験実施時には、科目再試験65%と別途課される提出課題35%で評価する。
-
- ・講義ごとの復習課題の解説は提出後、採点時に個別に行う。
 - ・科目定期試験の解説は再試験受験者を対象とした補講時に行う。
 - ・各講義回ごとの復習課題、ならびに再試験受験対象者へ課す提出課題は、正答率80%以上に達するまで返却と再提出を課す。

教科書

最新歯科衛生士教本「生物学」 医歯薬出版

授業外学修（予習・復習）

予習：各講義回の内容に関する教科書の該当箇所を一読しておくこと。復習：講義ごとの復習を30分～1時間程度行った上で、各講義回ごとに出される復習課題に取り組むこと。講義内容で理解できない部分は担当教員に質問をしてください。

その他

参考資料	サイエンスビュー生物総合資料 実教出版 他
受講生への要望等	復習により講義内容の理解を万全の物とすること。内容の理解に困難を覚える場合は休憩時間、放課後等に担当教員に質問し、定期試験までに解らない点を必ず解消すること。
授業の質問対応、連絡先	講義担当者メールアドレス：okamura@cc.osaka-dent.ac.jpへのメール、あるいは授業用SNS「melly」への投稿。 樟葉学舎1号館5階、生物学教室まで直接訪問も可（ただし上記メール・SNSにて事前にアポイントを取って下さい）

情報科学 I

更新日：2025/10/10 15:04:19

開講年度	2026	学期	前期	科目コード	103010	授業コード	10106
担当教員	山本 景一, 柿本 和俊, 石塚 丈晴, 岡本 雅子						
備考	ICTを活用した双方向型授業，アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科， 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	1
	備考(配当)	必修科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
10301	1○ 2◎ H1○	E1◎ E2○	

授業概要

コンピュータを利用したシステム構築の基礎を学修する科目である。コンピュータ、ソフトウェアの基礎理論、プログラミングやアルゴリズムの基礎、および表計算ソフトの演習を行う。テクノロジー系科目である。

到達目標

1	歯科医療従事者にとっての情報システムの重要性を説明できる。
2	情報科学に関する基礎理論を説明できる。
3	コンピュータシステムやITを理解し活用できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	6	2	0	0
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	0	0	0	0

授業計画

1	【対面講義】歯科医療における情報システムの重要性（柿本和俊） ・歯科医療のデジタル化 ・歯科医療における情報システムの活用 ・歯科衛生士/歯科技工士と医療DX
2	【対面講義】コンピュータ基礎1（石塚丈晴） ＜基礎理論＞ ・2進数・バイト・ビットの特徴 デジタル AI技術などの基本的な考え方
3	【対面講義】コンピュータ基礎2（石塚丈晴） ＜コンピュータ・システムの構成＞ ・コンピュータの構成（メモリ、プロセッサ、記憶媒体、他） ・システムの構成（クライアント、サーバ、WEB、システム評価、他）
4	【対面講義】情報デザイン・情報メディア（石塚丈晴） ・音声 / 静止画 / 動画（JPEG,MPEG,AR,VR）などの表現の基本的な仕組み ・GUI / メニュー / WEBなどのインターフェース設計 ・情報デザインの基本的な考え方
5	【対面講義】アルゴリズムとプログラミング（石塚丈晴） ・アルゴリズムとデータ構造 / 流れ図 ・プログラミングの役割 ・HTMLやXML等のデータ記述言語の役割と使い方（演習）
6	【対面講義】ソフトウェア（石塚丈晴） ・OS ・ファイル管理の考え方 ・オフィスツールなどのソフトウェアパッケージの基本的な機能と利用法 ・バックアップの基本的な考え方 ・オープンソースソフトウェア（OSS）の基本的な考え方
7	【対面演習】EXCEL演習1（岡本雅子） 表計算ソフトの基本的な使い方
8	【対面演習】EXCEL演習2（岡本雅子） データ可視化と基本的な分析

成績評価の方法

以下の通り評価する

- ・小レポート…40%
- ・定期試験……60%

レポートは評価を付けて返却、試験は科目試験評価後に科目mellyのタイムラインに要点と講評を掲載する。

教科書

授業中の配布資料

授業外学修（予習・復習）

予習（1時間）：関連するキーワードについて調べ予備知識としてまとめておく。
復習（1時間）：復習問題に取り組み、授業内容に関する理解を深める。

その他

参考資料	「よくわかるマスター ITパスポート試験 対策テキスト&過去問題集」、富士通ラーニングメディア、FOM出版、ISBN：978-4-86775-070-4
受講生への要望等	・毎授業、ノートPCを持参すること。 ・前日には充電と、タイミングによってはWindowsアップデートなどを済ませておくこと。 ・受講態度が著しく悪く、講師の注意にも改善がみられない場合、退室や受講不可など、必要に応じた厳正な対応を行います。上記受講態度には私語、携帯電話使用、授業に無関係なインターネット閲覧、他の受講生への迷惑行為などが含まれます。 ・課題作成のために自習が必要な場合があります。
授業の質問対応、連絡先	質問等で連絡したいときは授業用SNS「melly」を利用。

情報科学 II

更新日：2025/10/10 15:03:50

開講年度	2026	学期	後期	科目コード	103020	授業コード	10201
担当教員	山本 景一, 石塚 丈晴, 岡本 雅子						
備考	ICTを活用した双方向型授業，アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科，大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	1年	曜日/時限	－		単位	1
	備考(配当)	必修科目					
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP		科目に関連する実務経験	
10302		1◎ 4○ H1○		E1◎ E2○			

授業概要

コンピュータを利用したシステム構築の基礎を学修する科目である。データベースの利用、ネットワークのとセキュリティの基礎を修得する。テクノロジー系科目である。

到達目標

1	ネットワークの原理を説明できる。
2	情報セキュリティを説明できる。
3	コンピュータシステムやITを安全かつ効率的に利用・活用できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	6	2		
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【対面講義】データベース基礎（岡本雅子） ・データベース及びデータベース管理ソフト（DBMS）の意義・目的・考え方 ・データの分析・データベース設計・データモデルの考え方
2	【対面講義】データベース実装技術（岡本雅子） 同時実行制御・トランザクション処理・障害回復の基本的な考え方
3	【対面演習】データベース演習1（岡本雅子） Excelによるデータ操作演習1
4	【対面演習】データベース演習2（岡本雅子） Excelによるデータ操作演習2
5	【対面講義】ネットワークの種類と構成（石塚丈晴） ・インターネットの特徴と基本的な仕組み ・電子メールやインターネットサービスの特徴 ・通信プロトコルの必要性 ・ネットワークにおけるLANやWANの種類と構成
6	【対面講義】ネットワーク実装技術（石塚丈晴） ・インターネットやLANの接続装置の役割 ・IPアドレス（IPv6、V4）の考え方 ・移動体通信の規格 ・通信サービスの種類と特徴・課金・伝送速度、等
7	【対面講義】情報セキュリティの考え方（石塚丈晴） ・ネットワーク社会における安全な活動の観点から情報セキュリティの基本的な考え方（脅威と脆弱性） ・情報セキュリティポリシーの考え方
8	【対面講義】セキュリティ実装技術（石塚丈晴） ・マルウェア（コンピュータウイルス，スパイウェア，ランサムウェアなど） ・様々な攻撃手法（フィッシング、標的型攻撃、サイバー攻撃など） ・公開鍵基盤（PKI）などの暗号技術の仕組みと特徴、等

成績評価の方法

- 以下の通り評価する
- ・小レポート…40%
 - ・定期試験……60%

レポートは評価を付けて返却、試験は科目試験評価後に科目mellyのタイムラインに要点と講評を掲載する。

教科書

授業中の配布資料

授業外学修（予習・復習）

予習（1時間）：関連するキーワードについて調べ予備知識としてまとめておく。

復習（1時間）：復習問題に取り組み、授業内容に関する理解を深める。

その他

参考資料	「よくわかるマスター ITパスポート試験 対策テキスト&過去問題集」、富士通ラーニングメディア、FOM出版、ISBN：978-4-86775-070-4
受講生への要望等	・毎授業、ノートPCを持参すること。 ・前日には充電と、タイミングによってはWindowsアップデートなどを済ませておくこと。 ・受講態度が著しく悪く、講師の注意にも改善がみられない場合、退室や受講不可など、必要に応じた厳正な対処を行います。上記受講態度には私語、携帯電話使用、授業に無関係なインターネット閲覧、他の受講生への迷惑行為などが含まれます。 ・課題作成のために自習が必要な場合があります。
授業の質問対応、連絡先	質問等で連絡したいときは授業用SNS「melly」を利用。

英語

更新日：2025/09/28 13:22:36

開講年度	2026	学期	通年	科目コード	104010	授業コード	10301
担当教員	藤田 淳一, 岡 隼人						
備考	ICTを活用した双方向型授業，アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	1年	曜日/時限	—		単位	2
	備考(配当)	必修科目					
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP		科目に関連する実務経験	
10401		1○ 5◎		1○ 5◎			

授業概要

Talking About!のテキストでは、身近なものについて会話できるように、定型の質問文とそれに対する回答方法を学びます。また、英語で何か説明することを都道府県の名物を用いて学びます。もう一方のテキスト『スマホで学ぶ歯科英語』では、歯科衛生士のよく遭遇する場面を想定して英語で数行のセリフを即座に言える練習をします。任意でスマートフォンで自分の歯科衛生士役としての会話を撮影して提出してもらいます。必要があれば提出してもらった動画をこちらでチェックして各個別チャット欄にフィードバックを送ります。各自動画を視聴してもらい、練習して、会話の精度を上げてもらい、最終的に仕上げの対面授業として、チェアを用いた実習で外国人患者役と歯科衛生士役に分かれて、ロールプレイングでの練習を行います。

到達目標

1	英語で質問・回答・説明できる力を身に付ける。
2	外国人患者への対応に必要な英語を身につけることができる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	1		1	
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	14			

授業計画

1	【対面授業】Chapter 1 & Chapter 1 & Scene 1, 2 Talking about Music What's Jingsukan!? 受付 1・2
2	【遠隔授業】Chapter 4 & Chapter 4 Talking about Time What's Natto!?
3	【遠隔講義】Scene 3, 4 呼び出しと案内・医療面接－虫歯
4	【遠隔講義】Chapter 7 & Chapter 6 Talking about Your House and Neighborhood What's Shumai!?
5	【遠隔講義】Scene 5, 6 医療面接－歯肉トラブル・医療面接－既往歴
6	【遠隔講義】Chapter 8 & Chapter 7 Talking about School What's Wasabi!?
7	【遠隔講義】Scene 7, 8 医療面接－口腔ケア習慣 1・医療面接－口腔ケア習慣 2
8	【遠隔講義】Chapter 10 & Chapter 8 Talking about Amusement Parks What's "Morning"!?
9	【遠隔講義】Chapter 11 & Chapter 10 Talking about Mangas What's KUSHikatsu!?
10	【遠隔講義】Scene 9, 10 基本動作 1・基本動作 2
11	【遠隔講義】Chapter 13 & Chapter 11 Talking about Vacation What's Umeboshi!?
12	【遠隔講義】Scene 11, 12 歯磨き指導 1・歯磨き指導 2

13	【遠隔講義】Chapter 14 & Chapter 13 Talking about Movies What's Fugu!?
14	【遠隔講義】Scene 13, 14 処方箋と支払い・次回予約
15	【遠隔講義】実習に向けた課題 呼び出し・案内・医療面接－虫歯と歯肉トラブル
16	【対面実習】英語でチェア実習 第15回目の内容を実際にロールプレイング

成績評価の方法

考査得点……………70%（口頭試問をする場合もある）
 出席課題など…30%
 任意課題を提出すればその質と量に応じて加点する。

Examination

（中間試験）

第8回目の講義完了後に、1回目から8回目までの内容の試験を実施

（期末試験）

第16回目の講義完了後に、9回目から16回目までの内容の試験を実施

フィードバックは文面でMellyを通じて送る。

補習が必要な場合は個別で対応する。

教科書

Talking About! 第3版/ 藤田 淳一 他著 毘沙門書院

スマホで学ぶ歯科英語 / 岡 隼人 他著 毘沙門書院

授業外学修（予習・復習）

テキスト中の動画を見て予習と復習を行うこと。これを毎回30分程度行うこと。

その他

参考資料	
受講生への要望等	課題の提出締め切りを絶対守ること。任意動画の積極的な提出を期待する。
授業の質問対応、連絡先	基本的にMellyに個別連絡を使うこと。補習も随時受け付けています。 oka-h@cc.osaka-dent.ac.jp

英語コミュニケーション

更新日：2025/09/28 14:17:54

開講年度	2026	学期	前期	科目コード	104030	授業コード	20101
担当教員	藤田 淳一, 岡 隼人						
備考	ICTを活用した双方向型授業						
配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	2年	曜日/時限	ー	単位	1	
	備考(配当)	必修科目					
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP		科目に関連する実務経験	
10403		1○ 5◎		1○ 5◎			

授業概要

テキストを用いて英語でプレゼンする方法とエッセイを書く方法を学びます。英語でのプレゼン・エッセイにおいては、原因と結果、手順、長所と短所、比較などを基軸としてアウトラインの構成の仕方が複数あります。それらも身に付けてもらいます。任意でスマートフォンで自分の会話を撮影して提出してもらいます。その提出してもらった動画を必要な場合、こちらでチェックして各個別チャット欄にフィードバックを送ります。それでよりプレゼンの精度を上げてもらい、最終的に希望制の口頭試問で、プレゼン形式の試験を行います。また全員必須で期末筆記試験でエッセイを書いてもらいます。

到達目標

1	英語でプレゼンができてとエッセイが書ける。
2	プレゼンやエッセイの基軸となる様々な方法を修得できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	1			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	7			

授業計画

1	【対面講義】Chapter 1 Basic Format (Introduction-Body-Conclusion)を学ぶ How Mr. Mutti Spends His Holidays
2	【遠隔講義】Chapter 2 Cause and Effectを学ぶ The Causes of Poor Health
3	【遠隔講義】Chapter 4 Cause and Effectを学ぶ The Effects of Poor Tooth Brushing
4	【遠隔講義】Chapter 5 Pros and Consを学ぶ The Advantages and Disadvantages of Face Masks
5	【遠隔講義】Chapter 6 Pros and Consを学ぶ The Advantages and Disadvantages of Ear Phones
6	【遠隔講義】Chapter 8 Comparison and Contrastを学ぶ Two Sisters
7	【遠隔講義】Chapter 13 Processを学ぶ How to Improve Your English Conversation Skills
8	【遠隔講義】Chapter 14 Classificationを学ぶ Different Ways to Cook Eggs

成績評価の方法

考查得点80%（口頭試問を行う場合もある）
出席課題など20%
任意課題の質と量に応じて加点も行う。

第8回目の講義完了後に期末試験を実施する（1回目から8回目の内容）

フィードバックは文面でMellyを通じて送る。
補習が必要な場合は個別で対応する。

教科書

藤田 淳一、岡 隼人 他 『Presenting About! 英語でプレゼン』（第2版） 毘沙門書院 2026

授業外学修（予習・復習）

テキストのQRコードで動画見て30分程度の予習及び復習をすること。

その他

参考資料	なし
受講生への要望等	提出期限を絶対に守ること。任意課題をなるべく出すこと。
授業の質問対応、連絡先	Mellyの質問欄にて対応。 oka-h@cc.osaka-dent.ac.jp

歯学英语

更新日：2025/09/28 13:24:15

開講年度	2026	学期	後期	科目コード	104040	授業コード	20201
担当教員	藤田 淳一, 岡 隼人						
備考	ICTを活用した双方向型授業，アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科，大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	2年	曜日/時限	一		単位	1
	備考(配当)	必修科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
10404	1◎ 5○	1◎ 5○	

授業概要

テキストを用いて基本的な歯科医学英単語とフレーズをクイックレスポンスなどを通して「耳」で学びます。また一番重要と思われる「医療面接」を様々な状況を想定して実践的に学びます。任意でスマートフォンで自分の歯科衛生士役としての会話を撮影して提出してもらいます。必要な場合、提出してもらった動画をこちらでチェックして各個別チャット欄にフィードバックを送ります。より会話の精度を上げてもらい、最終的に仕上げる対面授業として、チェアを用いた実習で外国人患者役と歯科衛生士役に分かれて、ロールプレイングでの練習を行います。

到達目標

1	歯科医学英語について理解できる。
---	------------------

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
			1	
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	7			

授業計画

1	【遠隔講義】Lesson 1 Reception（受付）
2	【遠隔講義】Lesson 2 Calling and Guiding（呼び出しと案内）
3	【遠隔講義】Lesson 3 Medical Interview（医療面接－症状・治療に必要な情報編）
4	【遠隔講義】Lesson 4 Oral Care Interview（医療面接－口腔ケア編）
5	【遠隔講義】Lesson 5 Basic Procedures（基本動作）
6	【遠隔講義】Lesson 6 Peridental Probing（歯周病検査）
7	【遠隔講義】Lesson 8 Brushing Instructions（歯磨き指導・染め出し）
8	【実習】案内と医療面接と歯磨き指導（予定） チェア実習室でロールプレイングを行う。動画撮影と提出あり。

成績評価の方法

期末試験80%、提出課題など20%（口頭試問をする可能性あり。）

任意課題の質と量に応じて加点を行う。

第8回目の実習完了後に期末試験を実施（1回目から8回目の内容）

フィードバックは文面でMellyを通じて送る。
補習が必要な場合は個別で対応する。

教科書

歯科衛生士英語ワークブック 山本 一世 他著 永末書店

授業外学修（予習・復習）

授業前と後に動画を視聴（約30分）

その他

参考資料	なし
受講生への要望等	課題の提出締め切りを絶対に守ること。任意課題をなるべく提出すること。
授業の質問対応、連絡先	質問はMellyの質問欄で受け付けます。 補習も随時受け付けています。

解剖組織学

更新日：2025/09/17 18:42:07

開講年度	2026	学期	通年	科目コード	205010	授業コード	10302
担当教員	吉川 雅朗, 上村 守, 戸田 伊紀						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	1年	曜日/時限	一		単位	2
	備考(配当)	必修科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20501	1◎ H1○	1◎ E1○	死体解剖資格

授業概要

人体解剖学は医学・歯学の基礎となる学問で、ヒトの身体の構造を学ぶ。解剖学には臨床現場と同じようなヒトの身体を対象とする「解剖学」と、より細かな構造を対象とする「組織学」とがある。歯科領域で重要な口腔を含む顎顔面部は、全身の一部であり、全身と深く関わりをもっている。歯科領域に現れる疾患の多くも同様に全身状態と関わっている。解剖組織学においては、解剖学と組織学の両者について学修し、顎顔面部を主体にヒトの「からだ」の構造について理解する。

到達目標

1	頭部の骨について説明できる。
2	頭頸部の筋について説明できる。
3	口腔の構造と機能が説明できる。
4	消化器および呼吸器について説明できる。
5	内臓について説明できる。
6	頭頸部の脈管について説明できる。
7	頭部の神経について説明できる。
8	四大組織について説明できる。
9	頭部の発生について説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	16		2	
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】人体解剖学総論・組織学 1 人体解剖学総論 1) 身体的位置用語と方向用語について説明する。 2 組織学 1) 四大組織について説明する。
2	【講義】人体発生学 1 人体発生学 1) 三胚葉について説明する。 2) 頭部の発生について説明する。
3	【講義】頭部の骨 1 骨の総論 1) 骨の分類、構造、連結について説明する。 2 頭部の骨 1) 頭蓋について説明する。
4	【講義】脳頭蓋 1 脳頭蓋 1) 脳頭蓋の構成について説明する。 2) 蝶形骨について説明する。 3) 側頭骨について説明する。
5	【講義】顔面頭蓋 1 顔面頭蓋 1) 顔面頭蓋の構成について説明する。 2) 上顎骨について説明する。 3) 下顎骨について説明する。

6	【講義】頭蓋底 1 頭蓋底 1) 内頭蓋底について説明する。 2) 外頭蓋底について説明する。
7	【講義】頭頸部の筋（その１） 1 筋の総論 1) 筋の一般性状、分類について説明する。 2 頭部の筋 1) 表情筋について説明する。
8	【講義】頭頸部の筋（その２） 1 頭頸部の筋 1) 咀嚼筋について説明する。 2) 前頸筋について説明する。
9	【講義】口腔（その１） 1 口腔 1) 口腔粘膜について説明する。 2) 口唇、頬について説明する。 3) 口蓋について説明する。 4) 口底について説明する。 5) 舌について説明する。
10	【講義】口腔（その２）・咽頭 1 唾液腺 1) 唾液腺について説明する。 2 口峽 1) 口峽について説明する。 3 咽頭 1) 咽頭について説明する。
11	【講義】消化器、呼吸器 1 消化器 1) 消化管について説明する。 2) 肝臓、脾臓について説明する。 2 呼吸器 1) 気道について説明する。 2) 肺について説明する。
12	【講義】内蔵 1 泌尿・生殖器 1) 泌尿器・生殖器について説明する。 2 内分泌腺 1) 内分泌腺について説明する。 3 感覚器 1) 感覚器について説明する。
13	【講義】脈管 1 脈管の総論 1) 動脈、静脈、リンパ系について説明する。 2) 心臓について説明する。
14	【講義】頭頸部の脈管 1 頭頸部の脈管 1) 頭頸部の動脈について説明する。 2) 頭頸部の静脈について説明する。 3) 頭頸部のリンパ系について説明する。
15	【講義】神経 1 神経の総論 1) 神経について概説する。 2) 中枢神経について説明する。 3) 自律神経について説明する。
16	【講義】頭部の神経 1 脳神経 1) 脳神経について説明する。
17	【実習】骨学実習 1 骨学実習 [楠葉学舎第1実習室で行う] 1) 頭蓋標本を用いて頭蓋各部を観察し理解する。レポートを作成する。
18	【実習】骨学実習 1 骨学実習 [楠葉学舎第1実習室で行う] 1) 頭蓋標本を用いて頭蓋各部を観察し理解する。レポートを作成する。

成績評価の方法

- ・小テスト……………10%
- ・科目試験……………70%
- ・骨学レポート…20%

授業中に数回小テストを実施する。
小テストの解説は随時講義で行う。
レポートについては返却時にコメントする。

教科書

学生のための解剖・組織・発生学 第3版 諏訪文彦他著 医歯薬出版 ISBN978-4-263-42310-3
ページを提示し、図表などを参照しながら講義を進める。

授業外学修（予習・復習）

- 【予習】授業計画のタイトルに関する教科書のページを読む。（目安時間：約20分）
- 【復習】授業ノートの読み返しを行う。（目安時間：約30分）

その他

参考資料	最新歯科衛生士教本 人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学 医歯薬出版 最新歯科衛生士教本 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 医歯薬出版 最新歯科技工士教本 口腔・顎顔面解剖学 医歯薬出版 分担解剖学：1、2、3巻 金原出版 解剖学カラーアトラス 医学書院
受講生への要望等	講義中の私語は慎むこと。 骨学実習は、楠葉学舎実習室にて実施しますが、スマートフォンやタブレットなどの持込を不可とします。
授業の質問対応、連絡先	授業内容に関する質問は、「melly」でお願いします。なお、講義終了時も対応します。

口腔組織・発生学

更新日：2025/09/15 13:19:18

開講年度	2026	学期	後期	科目コード	205020	授業コード	10202
担当教員	中塚 美智子						
備考	ICTを活用した双方向型授業						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科， 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	1年	曜日/時限	一		単位	1
	備考(配当)	必修科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20502	1◎ H1○	1◎ E1○	歯科医師

授業概要

正常な歯系組織の微細構造について理解するため、口腔組織・発生学を学びます。また、ヒトの歯や歯周組織の構造、発生過程などについても学修します。さらに、近年歯の再生、インプラントを中心として歯科界では様々な研究が進んでおり、治療の幅が拡大しつつあることから、これら最新の研究および治療にも対応することができる人材になることを目指します。

対面講義ですが、場合によってオンデマンド講義を実施します。

講義終了後毎回その講義内容を振り返ったもの、また質問などを入力して提出します(ICT;授業用SNS「Melly」活用)。

到達目標

1	口腔内の正常な歯系組織の微細構造について、組織像を用いて説明できる。
2	歯および歯周組織の発生について、組織像を用いて説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	12	2		
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】歯の組織概説、エナメル質の性質 歯の組織について概説する。 エナメル質の性質について説明する。
2	【講義】エナメル質の構造、機能 エナメル質の組織構造および機能について説明する。
3	【講義】象牙質の構造および特徴、機能 象牙質の性質、機能、組織構造について説明する。
4	【講義】歯髄の構造および特徴、機能 歯髄の性質、機能、組織構造について説明する。
5	【講義】セメント質の構造および特徴、機能 セメント質の性質、機能、組織構造について説明する。
6	【講義】歯槽骨の構造および特徴、機能 歯槽骨の性質、機能、組織構造について説明する。
7	【講義】歯根膜の構造および特徴、機能 歯根膜の性質、機能、組織構造について説明する。
8	【講義】口腔粘膜の構造および特徴、機能 口腔粘膜の性質、機能、組織構造について説明する。
9	【講義】歯肉の構造および特徴、機能 歯肉の性質、機能、組織構造について説明する。
10	【講義】口腔軟組織の構造および特徴、機能 口腔軟組織の性質、機能、組織構造について説明する。
11	【講義】歯の発生 歯の発生について順序だてて説明する。
12	【講義】口腔内諸組織の発生 歯および口腔内諸組織の発生について順序だてて説明する。
13	【演習】顎関節の構造、歯の微細構造観察実習 顎関節の構造について説明する。 顎関節の発生について説明する。 歯周組織、口腔内諸組織の構造及び名称について、標本画像を用いて説明する。
14	【演習】歯系組織の微細構造観察実習 歯周組織、口腔内諸組織の構造及び名称について、標本画像を用いて説明する。

成績評価の方法

- ・科目試験……………70%
 - ・振り返り（講義の復習）…20%
 - ・課題（スケッチ）……………10%
- 上記で総合的に評価し、100点満点で60点以上を合格とします。

スケッチに関しては説明を行います。
小テストの解説は必要時に講義で行い、提出物については返却時に全体にコメントします。
なお、受講態度、提出物等本講義に関することについて合計3回注意を受けた場合は、原則評価を行いません。

教科書

（口腔保健学科）歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学（医歯薬出版）2022年、ISBN978-4-263-42605-0
（口腔工学科）最新歯科技工士教本 口腔・顎顔面解剖学（医歯薬出版）2023年、ISBN978-4-263-43161-0 C3347

授業外学修（予習・復習）

- 【予習】シラバスで次の講義の内容を確認し、教科書の該当箇所を読んで予習しておきましょう（目安時間：約20分）。
 - 【復習】毎講義後に、講義内容を忘れないよう各自定められた様式で振り返りを行い、指定のGoogle Formsにて提出してもらいます（ICT、目安時間：約30分）。
 - ・組織像に関するスケッチ課題を行い、提出してもらいます。
- ＊上記について、1回でも期限内に提出できなかったものがあるときは、いかなる理由があっても課題未提出とします。
＊提出、またその内容に疑義等がある場合、成績評価の方法に記載した通りの対応を行います。

その他

参考資料	なし
受講生への要望等	各自振り返りを通して、特に復習に力を入れてください。 講義の撮影および録音は厳禁です。 電子機器等の使用については教員の指示に従ってください。 わからないことがあればその講義終了直後に質問し、疑問点を解決しておきましょう。
授業の質問対応、連絡先	質問対応は下記の通り行います。 ＜対面講義実施時＞ ・授業用SNS（Melly）で予約後、対面で実施 平日8:45-18:30にMellyで連絡し、日時を決定したうえで医療保健学部1号館1215研究室に来室、対面で実施 ＜オンデマンド講義実施時（対面講義が実施できない時）＞ ・振り返り（講義の復習）に記入 ・授業用SNS「Melly」で平日8:45-18:30に送信

口腔解剖学

更新日：2025/09/15 13:21:58

開講年度	2026	学期	前期	科目コード	205030	授業コード	10107
担当教員	中塚 美智子						
備考	ICTを活用した双方向型授業						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科， 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	1年	曜日/時限	一		単位	2
	備考(配当)	必修科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20503	1◎ H1○	1◎ E1○	歯科医師

授業概要

ヒトの乳歯・永久歯の解剖学的名称、一般的な形態ならびにその特徴、異常形態や咬合の基礎について理解するために、口腔解剖学を学びます。また患者さんの手術に伴う入院中の口腔ケアや、話したり飲み込んだりする機能を回復するために使用する装置の製作など、医療現場で歯科衛生士ならびに歯科技工士が重要な役割を果たす機会が多くなっていることから、歯列の発育・成長、加齢変化などについても学習します。

対面講義ですが、場合により対面講義およびオンデマンド講義を実施します。

講義終了後毎回その講義内容を振り返ったもの、また質問などを入力して提出します(ICT;授業用SNS「Melly」活用)。

到達目標

1	ヒトの乳歯・永久歯の解剖学的名称、一般的な形態ならびにその特徴について説明できる。
2	歯の鑑別について説明できる。
3	歯列弓形態について説明できる。
4	咬合の基礎について説明できる。
5	歯および歯列弓の異常形態について説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	15			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【面接講義】歯の定義、歯式 歯の種類、数、機能などについて説明する。 歯の構造について説明する。 方向用語について説明する。 歯の記号について説明する。
2	【面接講義】歯の外形、方向用語 歯冠ならびに歯根、歯髓腔各部の名称について説明する。 各歯種の概略について説明する。 左右の鑑別に用いられる、歯に共通する特徴について説明する。
3	【面接講義】上顎切歯の形態 上顎中切歯、側切歯の形態的特徴について説明する。
4	【面接講義】下顎切歯の形態 下顎中切歯、側切歯の形態的特徴について説明する。
5	【面接講義】上下顎犬歯の形態 上下顎犬歯の形態的特徴について説明する。
6	【面接講義】上顎小白歯の形態 上顎小白歯の形態的特徴について説明する。
7	【面接講義】下顎小白歯の形態 下顎小白歯の形態的特徴について説明する。
8	【面接講義】上顎大白歯の形態 上顎大白歯の形態的特徴について説明する。 上顎大白歯の形態推移について説明する。
9	【面接講義】下顎大白歯の形態 下顎大白歯の形態的特徴について説明する。 下顎大白歯の形態推移について説明する。
10	【面接講義】乳歯と永久歯の形態の違い 乳歯と永久歯の形態的差異について説明する。
11	【面接講義】乳歯の形態的特徴 各乳歯の形態的特徴について説明する。

12	【面接講義】歯の異常、歯の加齢変化 歯の異常について説明する。 歯の加齢変化について説明する。
13	【面接講義】歯列弓の正常および異常形態 歯列弓の正常および異常形態について説明する。 歯列弓の発育および成長について説明する。
14	【面接講義】咬合 咬合の種類について説明する。 咬合、歯の萌出について説明する。
15	【面接講義】総まとめ 口腔解剖学で学んだ知識を用いて、歯の形態や機能について説明する。

成績評価の方法

科目試験70%、振り返り（講義の復習）20%、歯のスケッチ10%で評価し、100点満点で60点以上を合格とします。
振り返りについては、誤りが多かった問題を中心に、講義時に全体に解説します。
なお、受講態度、提出物等本講義に関することについて合計3回注意を受けた場合は、原則評価を行いません。

教科書

（口腔保健学科）歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学
（医歯薬出版）2022年、ISBN978-4-263-42605-0
（口腔工学科）最新歯科技工士教本 口腔・顎顔面解剖学
（医歯薬出版）2023年、ISBN978-4-263-43161-0 C3347

授業外学修（予習・復習）

【予習】シラバスで次の講義の内容を確認し、教科書の該当箇所を読んで予習しておきましょう（目安時間：約20分）。
【復習】毎講義後に、講義内容を忘れないよう各自定められた様式で振り返りを行い、指定のGoogle Formsにて提出してもらいます（ICT、目安時間：約30分）。
＊上記について、1回でも期限内に提出できなかったものがあるときは、いかなる理由があっても課題未提出とします。
＊提出、またその内容に疑義等がある場合、成績評価の方法に記載した通りの対応を行います。

その他

参考資料	歯の解剖学 第22版（金原出版）1997年、ISBN4-307-45007-8
受講生への要望等	各自振り返りを通して、特に復習に力を入れてください。 講義の撮影および録音は厳禁です。 電子機器等の使用については教員の指示に従ってください。 わからないことがあればその講義終了直後に質問し、疑問点を解決しておきましょう。
授業の質問対応、連絡先	質問対応は下記の通り行います。 ＜対面講義実施時＞ ・授業用SNS（Melly）で予約し、対面で実施 平日8:45-18:30に予約したい旨連絡、日時を決め医療保健学部1号館1215研究室に研究室に来室、対面で実施 ＜オンデマンド講義実施時（対面講義が実施できない時）＞ ・振り返り（講義の復習）に記入 ・授業用SNS「Melly」で平日8:45-18:30に送信

生理学

更新日：2025/09/25 16:19:29

開講年度	2026	学期	前期	科目コード	205040	授業コード	10108
担当教員	寒川 延子, 合田 征司, 井上 博						
備考	ICTを活用した双方向型授業、アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	1年	曜日/時限	一		単位	1
	備考(配当)	必修科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20504	1◎ H1○	1◎ E1○	歯科医師

授業概要

生命を維持するための機能（植物性機能）として、呼吸、消化、排泄、循環や、それらを調節する内分泌や自律神経系の機能がある。また、外界の変化に素早く反応する機能（動物性機能）には、情報を入力するための感覚機能、筋収縮による運動機能、思考や記憶を行なう中枢神経機能がある。これらの機能を行なう諸器官の正常な構造および機能を講義・実習を通して学ぶ。

本授業では、パワーポイントおよび板書を用いた教育を行う。

また、タブレット端末などICT技術を活用した双方向型授業も適宜行う。

実習においては、循環および皮膚感覚に関して相互実習を行い、事後にレポートを提出する。

到達目標

1	生体のホメオスタシス維持について説明できる。
2	体液の分類およびその産生と機能について説明できる。
3	神経系の機能と制御機構について説明できる。
4	呼吸器系の機能と制御機構について説明できる。
5	消化器系の機能と制御機構について説明できる。
6	泌尿器系の機能と制御機構について説明できる。
7	内分泌系と生殖器系の作用機序と生体制御機構について説明できる。
8	循環器系の機能と制御機構について説明できる。
9	感覚器系の機能と制御機構について説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	12		3	
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【面接講義】：生理学の意義・細胞・体液（教科書 p2～p18） 1 生理学の意義 1) 生理学を学ぶ意義と生命現象の特徴について概説する。 2) ホメオスタシス（生体恒常性）について説明する。 2 細胞 1) 細胞の基本構造と細胞内小器官の機能について説明する。 2) 細胞の基本的な機能（受動輸送、能動輸送ならびに興奮および電気現象）について説明する。 3 体液 1) 体液の組成について概説する。 2) 血液の組成について説明する。 3) 血球の種類と機能について説明する。 4) 血液凝固の機序について説明する。 5) 血液型（ABO式、Rh式）の分類方法について説明する。 6) リンパ液および脳脊髄液の機能について説明する。
2	【面接講義】：筋（教科書 p76～p82） 1 筋 1) 筋の種類について概説する。 2) 骨格筋収縮の種類とその過程について説明する。 3) 骨格筋の収縮の機序について説明する。 4) 筋電図について概説する。 5) 神経筋単位について説明する。 6) 筋の種類とその特性について説明する。

3	【面接講義】：神経（その1）（教科書 p84～p90） 1 神経（その1） 1）神経線維の基本構造と分類について説明する。 2）興奮伝導の原則について説明する。 3）シナプスにおける興奮伝達について説明する。 4）神経伝達物質について説明する。 5）神経系の分類について概説する。 6）自律神経機構について説明する。
4	【面接講義】：神経（その2）（教科書 p91～p96） 1 神経（その2） 1）脊髄反射について説明する。 2）脳幹（中脳、橋、延髄）の機能について説明する。 3）視床下部の機能について説明する。 4）大脳の構造と機能について概説する。 5）大脳皮質の構造と機能について概説する。
5	【面接講義】：呼吸（教科書 p30～p34） 1 呼吸 1）外呼吸と内呼吸について概説する。 2）肺気量の内訳について説明する。 3）胸式呼吸と腹式呼吸について説明する。 4）ガス交換の仕組みについて説明する。 5）血液の酸素解離曲線について説明する。 6）呼吸運動の調節機構について説明する。
6	【面接講義】：消化および吸収（教科書 p36～p42） 1 消化および吸収 1）消化の意義について概説する。 2）消化管各部での消化運動および消化酵素とその働きについて説明する。 3）消化運動と消化液の分泌機構について説明する。 4）各栄養素の吸収過程について説明する。 5）肝臓の機能について概説する。
7	【面接講義】：尿の生成および排出・代謝（教科書 p44～p52） 1 尿の生成および排出 1）腎ネフロンの構造と機能について説明する。 2）尿の一般性状について説明する。 3）尿の生成機序について説明する。 4）体液平衡の機能調節について概説する。 5）排尿機構について概説する。 2 代謝 1）栄養素のエネルギー量について概説する。
8	【面接講義】：体温（教科書 p54～p59） 1 体温 1）体温の変動とその原因について説明する。 2）体温の産生機構と放散の機序について説明する。 3）汗腺の種類と発汗の機序について説明する。 4）体温の恒常性維持機構について説明する。
9	【面接講義】：内分泌（その1）（教科書 p60～p66） 1 内分泌（その1） 1）内分泌器官の構造と機能について説明する。 2）各種ホルモンの調節作用について説明する。 3）各種ホルモンの作用および機能異常について説明する。
10	【面接講義】：内分泌（その2）・生殖（教科書 p66～p75） 1 内分泌（その2） 1）内分泌器官の構造と機能について説明する。 2）各種ホルモンの調節作用について説明する。 3）各種ホルモンの作用および機能異常について説明する。 2 生殖 1）女性の性周期の変化と性ホルモンの関係について説明する。 2）妊娠・分娩と性ホルモンの関係について説明する。
11	【面接講義】：体液の循環（教科書 p20～p28） 1 体液の循環 1）血液循環について説明する。 2）心筋の特性について説明する。 3）心拍数、心拍出量、脈波、心音について説明する。 4）心臓の電気現象（心室筋細胞の活動電位、心電図の基本波形）について説明する。 5）血圧について説明する。 6）血液循環の調節機構について説明する。 7）リンパ系の機能および循環について概説する。

12	【面接講義】：感覚（教科書 p98～p111） 1 感覚 1）感覚の分類および内容について説明する。 2）感覚の一般的特性について説明する。 3）特殊感覚（味覚以外）について説明する。
13	【実習】：生理学実習（その1）（循環および皮膚感覚に関する実習） 1 循環 1）脈拍数の測定について相互実習を行う。 2）血圧の測定（触診法、聴診法）について相互実習を行う。 2 皮膚感覚 1）皮膚表面における2点弁別閾を、身体各部位と顔面領域で相互実習にて計測する。
14	【実習】：生理学実習（その2）（循環および皮膚感覚に関する実習） 1 循環 1）脈拍数の測定について相互実習を行う。 2）血圧の測定（触診法、聴診法）について相互実習を行う。 2 皮膚感覚 1）皮膚表面における2点弁別閾を、身体各部位と顔面領域で相互実習にて計測する。
15	【実習】：生理学実習（その3）（循環および皮膚感覚に関する実習） 1 循環 1）脈拍数の測定について相互実習を行う。 2）血圧の測定（触診法、聴診法）について相互実習を行う。 2 皮膚感覚 1）皮膚表面における2点弁別閾を、身体各部位と顔面領域で相互実習にて計測する。

成績評価の方法

単位試験および実習レポートにより総合的に評価する。

- ・単位試験……………90%
- ・実習レポート…10%

実習レポートについては返却時にコメントする。

教科書

（両学科共通）歯科衛生士テキスト・生理学 学建書院

教科書に基づいて授業を行います。教科書を必ず持参してください。

講義資料を適宜配布する。

授業外学修（予習・復習）

予定された講義については教科書の該当項目を読んで予習すること。

受講当日に受講内容を教科書・参考図書と照らし合わせて復習することにより、知識の整理をすること。

（各回の総時間目安は予習と復習共に1時間程度）

その他

参考資料	（両学科共通）歯科衛生士教本 人体の構造と機能 医歯薬出版
受講生への要望等	事前学習により各回の気になる項目を列挙し、講義中や事後学習で整理するようにして下さい。 定期試験、今後の臨床科目講義や歯科衛生士国家試験のためにしっかりとノート作りをして下さい。
授業の質問対応、連絡先	質疑対応はメール（inoue-hi@cc.osaka-dent.ac.jp, sogawa-n@cc.osaka-dent.ac.jp）にて行います。 また実習の前後など入室時にも対応します。

口腔生理学

更新日：2025/09/25 16:04:04

開講年度	2026	学期	前期	科目コード	205050	授業コード	10109
担当教員	寒川 延子, 合田 征司, 井上 博						
備考	ICTを活用した双方向型授業、アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	1年	曜日/時限	一		単位	1
	備考(配当)	必修科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20505	1◎ H1○	1◎ E1○	歯科医師

授業概要

食べること（咬む、咀嚼）、しゃべること、味わうこと、顔貌を形成すること、表情をつくることなどの機能を口腔が担う。口腔は脳を含めて全身機能に影響を及ぼす極めて重要な器官であり、口腔が正常か異常かというのは全身疾患との関係からも無視できない。口腔生理学は医科生理学の一分野であるとともに、口腔は器官生理学または臓器生理学という分類領域における一部門でもある。歯科医学では口腔諸器官のことをとくに咀嚼系器官と呼び、いわゆる消化器系から独立した立場をとっている。この咀嚼系器官の正常な構造と機能を講義・実習を通して学ぶ。

本授業では、パワーポイントおよび板書を用いた教育を行う。

タブレット端末などICT技術を活用した双方向型授業を適宜行う。

実習においては、咀嚼能率、歯の位置感覚、咬合力および味盲に関して行い、事後にレポートを提出する。

到達目標

1	歯および歯周組織の機能について説明できる。
2	下顎位と下顎運動の制御機構について説明できる。
3	咀嚼機能と下顎反射の神経機能について説明できる。
4	嚥下と嘔吐の特徴と機序について説明できる。
5	唾液および唾液腺の機能について説明できる。
6	味覚を含む口腔諸器官の感覚について説明できる。
7	発声・構音および言語の機能について説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	12		3	
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【対面講義】：歯および歯の歯周組織の生理（その１）（教科書 p112～p118） 1 歯および歯周組織の生理 1）歯の硬組織の構造と物理化学的な性状について説明する。 2）歯髄の構造と機能について説明する。 3）歯周組織の構造について説明する。
2	【対面講義】：歯および歯の歯周組織の生理（その２）（教科書 p112～p118） 1 歯および歯周組織の生理 1）歯の硬組織の構造と物理化学的な性状について説明する。 2）歯髄の構造と機能について説明する。 3）歯周組織の構造について説明する。
3	【対面講義】：咬合および顎運動（その１）（教科書 p120～p126） 1 咬合および顎運動 1）各種下顎位について説明する。 2）矢状面における切歯点の運動について説明する。 3）水平面における切歯点の運動について概説する。
4	【対面講義】：咬合および顎運動（その２）（教科書 p120～p126） 1 咬合および顎運動 1）各種下顎位について説明する。 2）矢状面における切歯点の運動について説明する。 3）水平面における切歯点の運動について概説する。

5	【対面講義】：咀嚼および吸啜（その１）（教科書 p128～p135） 1 咀嚼 1) 咀嚼の意義と目的について概説する。 2) 咀嚼周期について説明する。 3) 咀嚼能率について説明する。 4) 咀嚼筋の構造と機能について説明する。 5) 下顎反射について説明する。 6) 咬合力と咀嚼力について説明する。 7) 口唇、舌の働きについて概説する。 2 吸啜 1) 吸啜反射について説明する。
6	【対面講義】：咀嚼および吸啜（その２）（教科書 p128～p135） 1 咀嚼 1) 咀嚼の意義と目的について概説する。 2) 咀嚼周期について説明する。 3) 咀嚼能率について説明する。 4) 咀嚼筋の構造と機能について説明する。 5) 下顎反射について説明する。 6) 咬合力と咀嚼力について説明する。 7) 口唇、舌の働きについて概説する。 2 吸啜 1) 吸啜反射について説明する。
7	【対面講義】：嚥下および嘔吐（その１）（教科書 p136～p139） 1 嚥下 1) 咽頭・喉頭の構造について説明する。 2) 嚥下反射について説明する。 3) 無歯顎者における嚥下について概説する。 4) 異常嚥下について概説する。 2 嘔吐 1) 嘔吐反射について説明する。
8	【対面講義】：嚥下および嘔吐（その２）（教科書 p136～p139） 1 嚥下 1) 咽頭・喉頭の構造について説明する。 2) 嚥下反射について説明する。 3) 無歯顎者における嚥下について概説する。 4) 異常嚥下について概説する。 2 嘔吐 1) 嘔吐反射について説明する。
9	【対面講義】：唾液腺および唾液（その１）（教科書 p140～p148） 1 唾液腺および唾液 1) 唾液腺の構造について説明する。 2) 唾液の生成機構について説明する。 3) 唾液分泌の神経機構について説明する。 4) 唾液の性状と組成について説明する。 5) 唾液の働きについて説明する。 6) 唾液と歯科臨床の関連性について説明する。
10	【対面講義】：唾液腺および唾液（その２）（教科書 p140～p148） 1 唾液腺および唾液 1) 唾液腺の構造について説明する。 2) 唾液の生成機構について説明する。 3) 唾液分泌の神経機構について説明する。 4) 唾液の性状と組成について説明する。 5) 唾液の働きについて説明する。 6) 唾液と歯科臨床の関連性について説明する。
11	【対面講義】：口腔感覚（教科書 p150～p157） 1 口腔感覚 1) 口腔粘膜の感覚点と感覚受容について説明する。 2) 歯根膜の感覚について説明する。 3) 咬合・歯の部位感覚の意義について説明する。 4) 口腔の深部感覚について概説する。 5) 口腔の痛覚の意義と特徴について説明する。

12	【対面講義】：味覚・発声および発音（教科書 p157～p170） 1 味覚 1) 味覚受容器の構造と機能について説明する。 2) 基本味の特性について説明する。 3) 味覚閾値について説明する。 4) 味盲について説明する。 5) 味覚の神経機構について説明する。 2 発声および発音 1) 発声器官の構造について説明する。 2) 発声の機構について概説する。 3) 音声の性状について説明する。 4) 音声の種類について概説する。 5) 言語音の形成について説明する。 6) 感覚性および運動性の言語中枢について概説する。 7) 歯科臨床と発音障害について説明する。
13	【実習】：口腔生理学実習（その1）（咀嚼能率、歯の位置感覚、咬合力および味盲に関する実習） 1 咀嚼能率 1) Manly らの方法にて咀嚼能率の測定を行う。 2 歯の位置感覚 1) 歯の位置感覚について相互実習を行う。 3 咬合力 1) それぞれの歯種の最大咬合力ついて、オクルーザルフォースメーター GM10を用いて相互実習を行う。 4 味盲 1) 味盲試験（PTC溶液に対する感受性を測定）を行う。
14	【実習】：口腔生理学実習（その2）（咀嚼能率、歯の位置感覚、咬合力および味盲に関する実習） 1 咀嚼能率 1) Manly らの方法にて咀嚼能率の測定を行う。 2 歯の位置感覚 1) 歯の位置感覚について相互実習を行う。 3 咬合力 1) それぞれの歯種の最大咬合力ついて、オクルーザルフォースメーター GM10を用いて相互実習を行う。 4 味盲 1) 味盲試験（PTC溶液に対する感受性を測定）を行う。
15	【実習】：口腔生理学実習（その3）（咀嚼能率、歯の位置感覚、咬合力および味盲に関する実習） 1 咀嚼能率 1) Manly らの方法にて咀嚼能率の測定を行う。 2 歯の位置感覚 1) 歯の位置感覚について相互実習を行う。 3 咬合力 1) それぞれの歯種の最大咬合力ついて、オクルーザルフォースメーター GM10を用いて相互実習を行う。 4 味盲 1) 味盲試験（PTC溶液に対する感受性を測定）を行う。

成績評価の方法

単位試験および実習レポートにより総合的に評価する。
単位試験 ：90％
実習レポート：10％

実習レポートについては返却時にコメントする。

教科書

（両学科共通）歯科衛生士テキスト・生理学 学建書院
教科書に基づいて授業を行います。教科書を必ず持参してください。
講義資料を適宜配布する。

授業外学修（予習・復習）

予定された講義については教科書の該当項目を読んで予習すること。
受講当日に受講内容を教科書・参考図書と照らし合わせて復習することにより、知識の整理をすること。
（各回の総時間目安は予習と復習共に1時間程度）

その他

参考資料	（両学科共通）歯科衛生士教本 歯と口腔の構造と機能 医歯薬出版
受講生への要望等	事前学習により各回の気になる項目を列举し、講義中や事後学習で整理するようにして下さい。 定期試験、今後の臨床科目講義や歯科衛生士国家試験のためにしっかりとノート作りをして下さい。
授業の質問対応、連絡先	質疑対応はメール（inoue-hi@cc.osaka-dent.ac.jp, sogawa-n@cc.osaka-dent.ac.jp）にて行います。 また実習の前後など入室時にも対応します。

生化学・栄養学

更新日：2026/02/19 14:56:19

開講年度	2026	学期	前期	科目コード	205060	授業コード	1H101
担当教員	吉川 美弘						
備考	ICTを活用した双方向型授業，アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科					
	配当時期	1年	曜日/時限	－		単位	1
	備考(配当)	必修科目					
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP		科目に関連する実務経験	
20506		1○ 5○ H1◎				歯科医師（教員歴20年）	

授業概要

授業概要
本講義では、歯科医療の基盤となる生化学・口腔生化学の基礎概念（構成要素、化学反応、エネルギー代謝、遺伝子発現、恒常性）と、臨床で必要となる栄養学の基礎（栄養素、消化・吸収、健康と栄養、食事と食品）を体系的に学ぶ。生化学を11回、栄養学を4回の通常講義で実施し、最終回に四肢択一100問の科目試験を行う。

到達目標

1	人体を構成する分子・マクロ分子とその物性を説明できる。
2	生体内化学反応（酵素、ATP、酸化還元）の基本原理を説明できる。
3	糖質・脂質・タンパク質代謝の経路と相互連関を概説できる。
4	遺伝子からタンパク質合成までの情報の流れ（セントラルドグマ）を説明できる。
5	恒常性の維持機構（ホルモン・受容体・シグナル伝達、酸塩基平衡）を説明できる。
6	栄養素の種類と働き、消化・吸収、健康づくりと食事・食品の基礎を説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	15			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	1章 人体の構成要素①（水・無機塩類・pHと緩衝系） ・生体を構成する主な元素・分子を説明できる。 ・pHと緩衝系の概念を説明できる。 ・血液の緩衝系の意義を述べられる。
2	1章 人体の構成要素②（アミノ酸・タンパク質構造） ・アミノ酸の基本構造と性質を説明できる。 ・タンパク質の一次～四次構造を区別できる。 ・構造と機能の関係を具体例で説明できる。
3	2章 人体における化学反応（酵素・ATP・酸化還元） ・酵素の特性（活性部位、基質特異性、阻害）を説明できる。 ・ATPと高エネルギー化合物の役割を説明できる。 ・酸化還元反応と補酵素の意義を述べられる。
4	3章 代謝総論・糖代謝①（解糖系・乳酸発酵） ・解糖系の経路とエネルギー収支を説明できる。 ・嫌気条件での乳酸発酵の意義を説明できる。 ・代謝調節の考え方を述べられる。
5	3章 糖代謝②（TCA回路・酸化的リン酸化） ・TCA回路の主反応と産物を説明できる。 ・電子伝達系とATP合成の関係を説明できる。 ・有酸素条件でのエネルギー産生を概説できる。
6	3章 脂質代謝（β酸化・脂肪酸合成・リポタンパク） ・脂肪酸のβ酸化とアセチルCoA産生を説明できる。 ・脂肪酸合成の概略を説明できる。 ・血中脂質輸送（リポタンパク）の役割を説明できる。
7	3章 アミノ酸・窒素代謝（アミノ酸分解・尿素回路） ・トランスアミナーゼと脱アミノ反応を説明できる。 ・尿素回路の目的と主要反応を説明できる。 ・糖原性／ケト原性アミノ酸を区別できる。

8	4章 代謝の相互関連（栄養状態別・ホルモン調節） ・食後・空腹・飢餓での代謝の違いを説明できる。 ・肝・筋・脂肪組織の代謝連携を説明できる。 ・インスリン・グルカゴン等による代謝調節を説明できる。
9	5章 遺伝子とタンパク質合成①（DNA構造・複製・修復） ・DNAの構造的特徴を説明できる。 ・半保存的複製の概念を説明できる。 ・DNA修復機構の意義を述べられる。
10	5章 遺伝子とタンパク質合成②（転写・翻訳） ・転写と翻訳の主要ステップを説明できる。 ・mRNA・tRNA・rRNAの役割を説明できる。 ・翻訳後修飾の意義を説明できる。
11	6章 恒常性の維持（ホルモン・受容体・シグナル伝達） ・ホルモンの分類と作用様式を説明できる。 ・受容体とセカンドメッセンジャーを説明できる。 ・酸塩基平衡と緩衝システムを関連づけて説明できる。
12	1章 栄養学と歯科衛生士／4章 健康と栄養（基礎） ・健康と栄養の関係を説明できる。 ・BMIと推定エネルギー必要量を算出できる。 ・日本人の食事摂取基準の概要を説明できる。
13	2章 栄養素の種類と働き（糖質・脂質・タンパク質） ・三大栄養素の機能を説明できる。 ・必須アミノ酸とアミノ酸スコアを説明できる。 ・脂肪酸の分類（n-6/n-3等）を説明できる。
14	2章／3章 ビタミン・ミネラル・食物繊維／消化・吸収 ・各ビタミン・ミネラルの主な働きを説明できる。 ・主要栄養素の消化・吸収の流れを説明できる。 ・口腔機能と栄養・嚥下の関連を説明できる。
15	5章 食事と食品（食事バランスガイド・食品群・成分表） ・食事バランスガイドの指標を説明できる。 ・食品群分類と活用例を説明できる。 ・食品成分表の基本的な見方を説明できる。
16	科目試験（四肢択一100問） 出題範囲：生化学・口腔生化学 1～6章、栄養学 1～5章（ブループリント参照） 試験ブループリント（目安） 【生化学・口腔生化学：70問】 ・1章 人体の構成要素 …… 15問 ・2章 人体における化学反応 ……10問 ・3章 糖質・脂質・タンパク質の代謝 …… 15問 ・4章 代謝の相互関連 …… 10問 ・5章 遺伝子とタンパク質合成 …… 10問 ・6章 人体における恒常性の維持 …… 10問 【栄養学：30問】 ・1章 栄養学と歯科衛生士 …… 5問 ・2章 栄養素の種類と働き …… 10問 ・3章 栄養素の消化・吸収 …… 5問 ・4章 健康と栄養 …… 5問 ・5章 食事と食品 …… 5問 ===== 【持ち込み許可】 筆記用具のみ =====

17	科目試験（再） 出題範囲：生化学・口腔生化学 1～6章、栄養学 1～5章（ブループリント参照） 試験ブループリント（目安） 【生化学・口腔生化学：70問】 ・1章 人体の構成要素 …… 15問 ・2章 人体における化学反応 ……10問 ・3章 糖質・脂質・タンパク質の代謝 …… 15問 ・4章 代謝の相互関連 …… 10問 ・5章 遺伝子とタンパク質合成 …… 10問 ・6章 人体における恒常性の維持 …… 10問 【栄養学：30問】 ・1章 栄養学と歯科衛生士 …… 5問 ・2章 栄養素の種類と働き …… 10問 ・3章 栄養素の消化・吸収 …… 5問 ・4章 健康と栄養 …… 5問 ・5章 食事と食品 …… 5問 ===== 【持ち込み許可】 筆記用具のみ =====
----	--

成績評価の方法

試験（四肢択一100問）100%で評価する。追試験の実施要領は学内規程に従う。

教科書

- 1. 歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能2 生化学・口腔生化学 医歯薬出版
(ISBN-978-4-263-42641-8)
- 2. 歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能3 栄養学 医歯薬出版
(ISBN-978-4-263-42639-5)

授業外学修（予習・復習）

予習：該当章の教科書を読み、キーワードを整理する（30～60分）。
復習：講義スライド・ノートをもとに要点を自分の言葉でまとめ、小テスト形式で確認する（30～60分）。

その他

参考資料	1. 第5版イラストでわかる歯科医学の基礎 村上秀明ほか監修 永末書店 2025 (ISBN 978-4-8160-1444-4) 2. スタンダード生化学・口腔生化学 第4版 荒川俊哉ほか編集 学建書院 2023 (ISBN 978-4-7624-2633-9) 3. コンパクト栄養学 改訂第4版 脊山洋右ほか監修 南江堂 2017 (ISBN 978-4-524-25945-8) 4. カラー図解 人体の細胞生物学 坂井建雄ほか編集 日本医事新報社 2018 (ISBN 978-4-7849-3232-0) 5. 基礎栄養学 第4版 田地陽一編 羊土社 2020 (ISBN 978-4-7581-1360-1) 6. 基礎栄養学ノート 第4版 田地陽一編 羊土社 2020 (ISBN 978-4-7581-1361-8) 7. 応用栄養学 改訂第2版 栢下 淳ほか編集 羊土社 2020 (ISBN 978-4-7581-1364-9) 8. 臨床栄養学 基礎編 改訂第2版 本田佳子ほか編集 羊土社 2016 (ISBN 978-4-7581-0882-9) 9. 臨床栄養学 疾患別編 改訂第2版 本田佳子ほか編集 羊土社 2016 (ISBN 978-4-7581-0883-6) 10. 歯科衛生士書き込み式学習ノート①専門基礎科目編（2025） 医歯薬出版 2025 (ISBN-978-4-263-42331-8) 11. 新食品成分表FOODS 2025 新食品成分表編集委員会編 東京法令出版 2025 (ISBN-978-4-8090-6603-0)
受講生への要望等	生化学は、歯科医療のあらゆる判断と処置の根拠となる基礎学です。生体分子・代謝・恒常性の理解は、う蝕・歯周疾患の病態把握や予防・栄養指導、材料選択や薬物療法に直結します。臨床への架け橋として、生化学を「自分の言葉で説明できる」レベルまで主体的に学修し、学んだ内容を臨床の場面に結び付けながら受講してください。
授業の質問対応、連絡先	メール対応 → y-yoshi@cc.osaka-dent.ac.jp 面 談 → メールにて予約

口腔生化学

更新日：2026/02/19 14:55:39

開講年度	2026	学期	前期	科目コード	205070	授業コード	1H102
担当教員	吉川 美弘						
備考	ICTを活用した双方向型授業，アクティブラーニング						
配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科					
	配当時期	1年	曜日/時限	－	単位	1	
	備考(配当)	必修科目					
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP		科目に関連する実務経験	
20507		1○ 5○ H1◎				歯科医師（教員歴20年）	

授業概要

【授業内容】
分子レベルで進歩する歯科医学を生涯にわたり自己研鑽し、歯科衛生士業務をとおして歯科医療に応用するために、生命現象を連続した化学反応として捉える習慣（生化学的思考）とその習慣を生涯にわたり持ち続ける意欲を身につけるとともに、口腔諸組織や唾液の成分を知り、口腔の二大疾患であるう蝕と歯周疾患の病因を理解する。

【授業方法】
通常講義形式で実施し、最終回に四肢択一100問の科目試験を行う。

到達目標

1	歯と歯周組織の組成を説明できる。
2	硬組織の代謝の概要を説明できる。
3	唾液成分とその機能を説明できる。
4	齲蝕と歯周疾患の病因を説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	0	15		
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	Ⅱ編 口腔の代謝と機能 1章 歯と歯周組織の生化学（p54～p67） 結合（支持）組織の特徴を説明できる。 細胞外マトリックスの概念を概説できる。 コラーゲンの構造と機能を説明できる。 【授業外学習】（90分） 教科書指定ページの予習・復習 歯科衛生士書き込み式学習ノート①Ⅰ編4章5の完成 =====
2	Ⅱ編 口腔の代謝と機能 1章 歯と歯周組織の生化学（p54～p67） プロテオグリカンの構造と機能を説明できる。 グリコサミノグリカンの構造を説明できる。 細胞外マトリックス成分の代謝の概要を説明できる。 【授業外学習】（90分） 教科書指定ページの予習・復習 歯科衛生士書き込み式学習ノート①Ⅰ編4章5の完成 =====
3	Ⅱ編 口腔の代謝と機能 1章 歯と歯周組織の生化学（p54～p67） 硬組織（歯・骨）の組成を比較できる。 ヒドロキシアパタイトの構造を説明できる。 硬組織に含まれる有機成分を説明できる。 硬組織特有の有機成分の特徴を説明できる。 エナメル質の微量成分を説明できる。 【授業外学習】（90分） 教科書指定ページの予習・復習 歯科衛生士書き込み式学習ノート①Ⅰ編4章6前半の完成 =====

4	Ⅱ編 口腔の代謝と機能 2章 硬組織の生化学（p68～p81） 骨代謝、歯の形成 石灰化の仕組みの概要を説明できる。 基質小胞によるコラーゲン性石灰化を説明できる。 骨改造現象（骨のリモデリング）を説明できる。 骨芽細胞の働きを説明できる。 破骨細胞の働きを説明できる。 【授業外学習】（90分） 教科書指定ページの予習・復習 歯科衛生士書き込み式学習ノート①Ⅰ編4章6前半の完成 =====
5	Ⅱ編 口腔の代謝と機能 2章 硬組織の生化学（p68～p81） 骨代謝、歯の形成 骨改造現象（骨のリモデリング）を説明できる。 骨芽細胞の働きを説明できる。 破骨細胞の働きを説明できる。 【授業外学習】（90分） 教科書指定ページの予習・復習 歯科衛生士書き込み式学習ノート①Ⅰ編4章6後半の完成 =====
6	Ⅱ編 口腔の代謝と機能 2章 硬組織の生化学（p68～p81） カルシウム代謝 カルシウムの生体内での機能を説明できる。 カルシウムの体内への吸収を説明できる。 カルシウムの恒常性維持の仕組みを説明できる。 【授業外学習】（90分） 教科書指定ページの予習・復習 歯科衛生士書き込み式学習ノート①Ⅰ編4章6後半の完成 =====
7	Ⅱ編 口腔の代謝と機能 2章 硬組織の生化学（p68～p81） カルシウム代謝 副甲状腺ホルモンの働きを説明できる。 ビタミンDの活性化の仕組みを説明できる。 活性型ビタミンDの働きを説明できる。 カルシトニンの働きを説明できる。 【授業外学習】（90分） 教科書指定ページの予習・復習 歯科衛生士書き込み式学習ノート①Ⅱ編3章6の完成 =====
8	Ⅱ編 口腔の代謝と機能 3章 唾液の生化学（p82～p87） 唾液の作用を説明できる。 唾液中の主なタンパク質の機能を説明できる。 唾液中の主な無機成分の機能を説明できる。 【授業外学習】（90分） 教科書指定ページの予習・復習 歯科衛生士書き込み式学習ノート①Ⅱ編3章6の完成 =====
9	Ⅱ編 口腔の代謝と機能 4章 唾液の生化学（p82～p87） 唾液の消化作用に関与する成分を列举できる。 唾液の抗菌作用に関与する成分を列举できる。 唾液の緩衝作用に関与する成分を列举できる。 【授業外学習】（90分） 教科書指定ページの予習・復習 歯科衛生士書き込み式学習ノート①Ⅲ編2章14～15の完成 =====
10	Ⅱ編 口腔の代謝と機能 4章 唾液の生化学（p82～p87） 唾液の石灰化促進・抗脱灰作用に関与する成分を列举できる。 唾液の潤滑作用に関与する成分を列举できる。 唾液のカルシウム結合性タンパク質の性状を説明できる。 ペリクル（獲得被膜）の形成過程を説明できる。 【授業外学習】（90分） 教科書指定ページの予習・復習 歯科衛生士書き込み式学習ノート①Ⅲ編2章14～15の完成 =====

11	Ⅱ編 口腔の代謝と機能 4章 プラークの生化学 (p88～p119) バイオフィルムの概念を説明できる。 【授業外学習】(90分) 教科書指定ページの予習・復習 歯科衛生士書き込み式学習ノート①Ⅲ編2章14～15の完成 =====
12	Ⅱ編 口腔の代謝と機能 4章 プラークの生化学 (p88～p119) 菌体外多糖の種類を列挙できる。 菌体外多糖の合成過程を説明できる。 【授業外学習】(90分) 教科書指定ページの予習・復習 歯科衛生士書き込み式学習ノート①Ⅲ編2章14～15の完成 =====
13	Ⅱ編 口腔の代謝と機能 4章 プラークの生化学 (p88～p119) 菌体外多糖の分解酵素を列挙できる。 プラーク細菌による酸産生過程を説明できる。 【授業外学習】(90分) 教科書指定ページの予習・復習 歯科衛生士書き込み式学習ノート①Ⅲ編2章14～15の完成 =====
14	Ⅱ編 口腔の代謝と機能 4章 プラークの生化学 (p88～p119) 酸とアパタイトの反応を説明できる。 ステファン曲線が示す内容を説明できる。 【授業外学習】(90分) 教科書指定ページの予習・復習 歯科衛生士書き込み式学習ノート①Ⅲ編2章14～15の完成 =====
15	Ⅱ編 口腔の代謝と機能 4章 プラークの生化学 (p88～p119) う蝕の発症機序を説明できる。 エナメル質表面の再石灰化を説明できる。 【授業外学習】(60分) 教科書指定ページの予習・復習 歯科衛生士書き込み式学習ノート①Ⅲ編2章14～15の完成 =====
16	科目試験 四肢択一問題 (MCQ) 70問を出題 【試験範囲】 Ⅱ編 口腔の代謝と機能 (p54～p119) 1章 歯と歯周組織の生化学 (p54～p67) およそ20問 2章 硬組織の生化学 (p68～p81) およそ30問 3章 唾液の生化学 (p82～p87) およそ20問 4章 プラークの生化学 (p88～p119) およそ30問 【持ち込み許可】 筆記用具のみ 【授業外学習】(300分) 予習：科目試験に備え、学習内容を復習する。 復習：科目試験の内容を復習し、省察する。 =====

17	Ⅱ編1～4章 歯と口の生化学（p50～p113） 【対象者】 口腔生化学 不合格者 【科目試験内容に対する指導】 細胞外マトリックス成分の代謝の概要を説明できる。 硬組織（歯・骨）の組成を比較できる。 ヒドロキシアパタイトの構造を説明できる。 硬組織に含まれる有機成分を説明できる。 カルシウムの生体内機能を説明できる。 カルシウムの恒常性維持の仕組みを説明できる。 石灰化の仕組みの概要を説明できる。 骨改造現象（骨のリモデリング）を説明できる。 唾液の作用とそれに関連する成分を説明できる。 ペリクル（獲得被膜）の形成過程を説明できる。 菌体外多糖の合成過程を説明できる。 ステファン曲線が示す内容を説明できる。 う蝕の発症機序を説明できる。 う蝕予防に関するフッ素の働きを説明できる。 代用甘味料の種類を列挙できる。 【授業外学習】（90分） 予習：科目試験（再）に備え、学習内容を復習する。 復習：科目試験の内容を復習し、省察する。 =====
18	科目試験（再） 四肢択一問題（MCQ）70問を出題 【試験範囲】 Ⅱ編 口腔の代謝と機能 1章 歯と歯周組織の生化学（p54～p67） およそ20問 2章 硬組織の生化学（p68～p81） およそ30問 3章 唾液の生化学（p82～p87） およそ20問 4章 プラークの生化学（p88～p119） およそ30問 【持ち込み許可】 筆記用具のみ 【授業外学習】（300分） 予習：科目試験（再）に備え、学習内容を復習する。 復習：科目試験（再）の内容を復習し、省察する。 =====

成績評価の方法

試験（四肢択一100問）100%で評価する。持込可：筆記用具のみ。追試験の扱いは学内規程に従う。

教科書

1. 歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能2 生化学・口腔生化学 医歯薬出版
(ISBN-978-4-263-42641-8)
2. 歯科衛生士書き込み式学習ノート①専門基礎科目編（2025） 医歯薬出版 2025
(ISBN-978-4-263-42331-8)

授業外学修（予習・復習）

予習：該当章を通読し、重要語句（ECM、石灰化、PTH/ビタミンD、唾液成分、バイオフィーム等）を整理する（30～60分）。
復習：講義ノートをもとに、図解（経路・関係図）と要点要約を作成し、小テスト形式で確認する（30～60分）。

その他

参考資料	1. 第5版イラストでわかる歯科医学の基礎 村上秀明ほか監修 永末書店 2025 (ISBN 978-4-8160-1444-4) 2. スタンダード生化学・口腔生化学 第4版 荒川俊哉ほか編集 学建書院 2023 (ISBN 978-4-7624-2633-9) 3. コンパクト栄養学 改訂第4版 脊山洋右ほか監修 南江堂 2017 (ISBN 978-4-524-25945-8) 4. カラー図解 人体の細胞生物学 坂井建雄ほか編集 日本医事新報社 2018 (ISBN 978-4-7849-3232-0) 5. 口腔生化学 第6版 早川太郎ほか監修 医歯薬出版 2018 (ISBN 978-4-263-45822-8)
受講生への要望等	生化学は、歯科医療のあらゆる判断と処置の根拠となる基礎学です。生体分子・代謝・恒常性の理解は、う蝕・歯周疾患の病態把握や予防・栄養指導、材料選択や薬物療法に直結します。臨床への架け橋として、生化学を「自分の言葉で説明できる」レベルまで主体的に学修し、学んだ内容を臨床の場面に結び付けながら受講してください。
授業の質問対応、連絡先	メール対応→ y-yoshi@cc.osaka-dent.ac.jp 面 談→ メールにて予約

--	--

病理学・口腔病理学

更新日：2025/11/07 09:48:57

開講年度	2026	学期	後期	科目コード	205080	授業コード	1H201
担当教員	岡村 友玄						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科					
	配当時期	1年	曜日/時限	一		単位	2
	備考(配当)	必修科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20508	1○ H1◎ H3○		歯科医師

授業概要

歯科医学は、健康を維持するために非常に重要な学問である。歯科疾患は口腔領域のみならず全身とも深くかかわりあっている。病理学・口腔病理学は、病気の理論を明らかにする学問であり、病因、発症機序、転帰ならびに予後について系統的に学ぶ。まず疾病の原因と病態に関する基礎的知識を体系的に修得するため、それぞれの臓器組織に現れる同じ種類の病変群を一括して病理学総論として学ぶ。そして、顎・顔面・口腔の疾患を理解するため、口腔病理学で口腔領域に生ずる各種疾患について習得する。病理・口腔病理学で得た知識を歯科臨床で活用することが、この授業の目的である。

到達目標

1	病理学で何を学ぶかを説明できる。
2	循環障害を説明できる。
3	代謝障害を説明できる。
4	増殖と修復を説明できる。
5	炎症および免疫と免疫異常について説明できる。
6	腫瘍の定義、形態、原因および発生について説明できる。
7	腫瘍の組織学的分類を説明できる。
8	歯の異常を説明できる。
9	歯の機械的損傷、歯の化学的損傷・歯の沈着物を説明できる。
10	う蝕を説明できる。
11	象牙質・セメント質の増生、歯髄の病変を説明できる。
12	歯周組織の病変を説明できる。
13	口腔の創傷治癒、口腔粘膜の病変、エプーリス、口腔領域の奇形、顎骨の病変を説明できる。
14	口腔領域の嚢胞、歯源性腫瘍、非歯源性腫瘍、唾液腺の疾患を説明できる。
15	う蝕と歯周組織の病変を説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	30			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】病因論、先天異常（口腔領域の奇形）について（その1） ＜病因論＞ 病気の原因を病因といい、大きく内因と外因に分けられる内因は、生体の内部に存在するもので素因、遺伝、免疫、内分泌異常などがある。外因は、体外に存在するもので物理的因子、化学的因子、生物学的因子、栄養障害がある。これらの項目について学ぶ。 ＜先天異常＞ 生まれつきみられる身体的異常や機能異常で、遺伝的要因と環境要因で起こる。まず、遺伝子、染色体遺伝の基本様式を学び、遺伝子異常ならびに染色体の異常による疾患ならびに口腔領域の奇形について学ぶ。 【予習】教科書 p14-25を読む（目安時間20分） 第1章「病理学概論」、第2章「病因論」 【復習】章の最後の「復習しよう」の問題を解く（目安時間 約5分）
---	---

2	【講義】病因論、先天異常（口腔領域の奇形）について（その２） <病因論> 病気の原因を病因といい、大きく内因と外因に分けられる内因は、生体の内部に存在するもので素因、遺伝、免疫、内分泌異常などがある。外因は、体外に存在するもので物理的因子、化学的因子、生物学的因子、栄養障害がある。これらの項目について学ぶ。 <先天異常> 生まれつきみられる身体的異常や機能異常で、遺伝的要因と環境要因で起こる。まず、遺伝子、染色体遺伝の基本様式を学び、遺伝子異常ならびに染色体の異常による疾患ならびに口腔領域の奇形について学ぶ。 【予習】教科書 p14-25を読む（目安時間20分） 第1章「病理学概論」、第2章「病因論」 【復習】章の最後の「復習しよう」の問題を解く（目安時間 約5分）
3	【講義】循環障害（その１） <循環障害> 血管系とリンパ管系に分けられ、そこには種々の病気が発生する。全身の循環障害、局所の循環障害、傍側循環、水腫について学ぶ。 【予習】教科書 p26-34を読む（目安時間20分） 第4章「循環障害」 【復習】章の最後の「復習しよう」の問題を解く（目安時間 約5分）
4	【講義】循環障害（その２） <循環障害> 血管系とリンパ管系に分けられ、そこには種々の病気が発生する。全身の循環障害、局所の循環障害、傍側循環、水腫について学ぶ。 【予習】教科書 p26-34を読む（目安時間20分） 第4章「循環障害」 【復習】章の最後の「復習しよう」の問題を解く（目安時間 約5分）
5	【講義】代謝障害（その１） <代謝障害> 種々の原因で代謝異常を起こした場合細胞や組織の機能は低下する。とくに形態的变化がみられる状態を退行性病変といい、変性・萎縮・壊死に分類される。 【予習】教科書 p35-43を読む（目安時間20分） 第4章「循環障害」 第5章「代謝障害」 【復習】章の最後の「復習しよう」の問題を解く（目安時間 約5分）
6	【講義】代謝障害（その２） <代謝障害> 種々の原因で代謝異常を起こした場合細胞や組織の機能は低下する。とくに形態的变化がみられる状態を退行性病変といい、変性・萎縮・壊死に分類される。 【予習】教科書 p35-43を読む（目安時間20分） 第4章「循環障害」 第5章「代謝障害」 【復習】章の最後の「復習しよう」の問題を解く（目安時間 約5分）
7	【講義】増殖と修復（その１） <増殖と修復> 生体に加わって種々の刺激に対する生体の反応の修復過程であり生体が適応する現象である。これらの肥大と増生、再生、化生、肉芽組織、創傷の治癒、基質化、異物の処理について学ぶ。 【予習】教科書 p44-51を読む（目安時間20分） 第6章「増殖と修復」 【復習】章の最後の「復習しよう」の問題を解く（目安時間 約5分）
8	【講義】増殖と修復（その２） <増殖と修復> 生体に加わって種々の刺激に対する生体の反応の修復過程であり生体が適応する現象である。これらの肥大と増生、再生、化生、肉芽組織、創傷の治癒、基質化、異物の処理について学ぶ。 【予習】教科書 p44-51を読む（目安時間20分） 第6章「増殖と修復」 【復習】章の最後の「復習しよう」の問題を解く（目安時間 約5分）
9	【講義】炎症（その１） <炎症> 生体が傷害性の刺激を受けた場合、局所ならびに全身的に生じる防御反応である。炎症の原因、炎症細胞、急性・慢性炎症、組織学的変化、炎症の分類について学ぶ。 【予習】教科書 p52-65を読む（目安時間20分） 第7章「炎症」 【復習】章の最後の「復習しよう」の問題を解く（目安時間 約5分）

10	【講義】炎症（その2） ＜炎症＞ 生体が傷害性の刺激を受けた場合、局所ならびに全身的に生じる防御反応である。炎症の原因、炎症細胞、急性・慢性炎症、組織学的変化、炎症の分類について学ぶ。 【予習】教科書 p52-65を読む（目安時間20分） 第7章「炎症」 【復習】章の最後の「復習しよう」の問題を解く（目安時間 約5分）
11	【講義】免疫と免疫異常（その1） ＜免疫と免疫異常＞ 免疫とは自己か非自己かを認識して、非自己の場合、特異的に排除する働きである。アレルギーは免疫反応が生体を傷害し、病的状態を引き起こすことである。自己免疫異常は自分自身の細胞に対して免疫反応が働き障害を起こす事である。移植と免疫では、移植の種類など、これらについて学ぶ。 【予習】教科書 p66-73を読む（目安時間20分） 第8章「免疫と免疫異常」 【復習】章の最後の「復習しよう」の問題を解く（目安時間 約5分）
12	【講義】免疫と免疫異常（その2） ＜免疫と免疫異常＞ 免疫とは自己か非自己かを認識して、非自己の場合、特異的に排除する働きである。アレルギーは免疫反応が生体を傷害し、病的状態を引き起こすことである。自己免疫異常は自分自身の細胞に対して免疫反応が働き障害を起こす事である。移植と免疫では、移植の種類など、これらについて学ぶ。 【予習】教科書 p66-73を読む（目安時間20分） 第8章「免疫と免疫異常」 【復習】章の最後の「復習しよう」の問題を解く（目安時間 約5分）
13	【講義】腫瘍の定義、形態、原因および発生 身体を構成する細胞が非合目的、不可逆的、自律性、過剰ないし無制限に増殖するものである。腫瘍の形態、原因、発生などを学ぶ。 【予習】教科書 p74-83を読む（目安時間20分） 第9章「腫瘍」 【復習】章の最後の「復習しよう」の問題を解く（目安時間 約5分）
14	【講義】腫瘍の組織学的分類 腫瘍の組織学的分類を学ぶ。 【予習】教科書 p74-83を読む（目安時間20分） 第9章「腫瘍」 【復習】章の最後の「復習しよう」の問題を解く（目安時間 約5分）
15	【講義】歯の異常（その1） 歯の異常は、歯の形成・萌出過程に種々の刺激が加わると歯に異常がみられ、歯の大きさの異常、数の異常、構造の異常、色の異常位置の異常、萌出の異常、咬合の異常について学ぶ。 【予習】教科書 p86-93を読む（目安時間20分） 第1章「歯の異常」 【復習】章の最後の「復習しよう」の問題を解く（目安時間 約5分）
16	【講義】歯の異常（その2） 歯の異常は、歯の形成・萌出過程に種々の刺激が加わると歯に異常がみられ、歯の大きさの異常、数の異常、構造の異常、色の異常位置の異常、萌出の異常、咬合の異常について学ぶ。 【予習】教科書 p86-93を読む（目安時間20分） 第1章「歯の異常」 【復習】章の最後の「復習しよう」の問題を解く（目安時間 約5分）
17	【講義】歯の機械的損傷、歯の化学的損傷・歯の沈着物について（その1） ＜歯の機械的損傷＞ 歯に外部からの物理的な力によって歯が欠損や損傷を起こすことであり、咬耗、摩耗、アブフラクション、破折などがある。 ＜歯の化学的損傷＞ 化学的物質が歯に作用して歯質の白濁や欠損を生じることであり、酸蝕症がある。 ＜歯の沈着物＞ プラークや歯石があり、着色には内因性と外来性のものがある。 これらのことについて学ぶ。 【予習】教科書 p93-103を読む（目安時間20分） 第2章「歯の機械的損傷」 第3章「歯の化学的損傷」 第4章「歯の沈着物と着色」 【復習】章の最後の「復習しよう」の問題を解く（目安時間 約5分）

18	【講義】歯の機械的損傷、歯の化学的損傷・歯の沈着物について（その２） ＜歯の機械的損傷＞ 歯に外部からの物理的な力によって歯が欠損や損傷を起こすことであり、咬耗、摩耗、アブフラクション、破折などがある。 ＜歯の化学的損傷＞ 化学的物質が歯に作用して歯質の白濁や欠損を生じることであり、酸蝕症がある。 ＜歯の沈着物＞ プラークや歯石があり、着色には内因性と外来性のものがある。 これらのことについて学ぶ。 【予習】教科書 p93-103を読む（目安時間20分） 第2章「歯の機械的損傷」 第3章「歯の化学的損傷」 第4章「歯の沈着物と着色」 【復習】章の最後の「復習しよう」の問題を解く（目安時間 約5分）
19	【講義】う蝕（その１） ＜う蝕＞ 口腔内細菌の作用により歯質が崩壊する疾患を齲蝕という。う蝕の病因、進行による特徴、病理組織学的特徴などについて学ぶ。 【予習】教科書 p104-111を読む（目安時間20分） 第5章「う蝕」 【復習】章の最後の「復習しよう」の問題を解く（目安時間 約5分）
20	【講義】う蝕（その２） ＜う蝕＞ 口腔内細菌の作用により歯質が崩壊する疾患を齲蝕という。う蝕の病因、進行による特徴、病理組織学的特徴などについて学ぶ。 【予習】教科書 p104-111を読む（目安時間20分） 第5章「う蝕」 【復習】章の最後の「復習しよう」の問題を解く（目安時間 約5分）
21	【講義】象牙質・セメント質の増 歯が完成した後に、象牙質やセメント質が増生や肥大を起こし、第二、第三象牙質の形成、象牙粒、セメント質粒について学ぶ。 【予習】教科書 p112-114を読む（目安時間20分） 第6章「象牙質・セメント質の増生」 第7章「歯髄の病変」 【復習】章の最後の「復習しよう」の問題を解く（目安時間 約10分）
22	【講義】歯髄の病変 歯髄には、退行性病変や炎症が発生し変性や萎縮が生じる。 歯髄炎は、歯髄に生じる炎症性病変で、その分類と臨床・病理組織学的特徴について学ぶ。 【予習】教科書 p115-120を読む（目安時間20分） 第7章「歯髄の病変」 【復習】章の最後の「復習しよう」の問題を解く（目安時間 約10分）
23	【講義】歯周組織の病変（根尖部歯周組織・辺縁部歯周組織の病変）（その１） 歯周組織の病変には、根尖部歯周組織の病変と辺縁部歯周組織の病変がある。根尖部に生じる病変は根尖性歯周炎といわれ、歯根膜に生じる急性漿液根尖性歯肉炎から歯根嚢胞まで種々に分類される。辺縁性歯周炎は、歯周病ともいわれ辺縁部歯肉から発症する。 咬合性外傷は、歯根膜や歯槽骨に生じる外傷性変化である。これらの病変について学ぶ。 【予習】教科書 p121-139を読む（目安時間20分） 第8章「根尖部歯周組織の病変」 第9章「歯周組織の病変」 【復習】章の最後の「復習しよう」の問題を解く（目安時間 約10分）
24	【講義】歯周組織の病変（根尖部歯周組織・辺縁部歯周組織の病変）（その２） 歯周組織の病変には、根尖部歯周組織の病変と辺縁部歯周組織の病変がある。根尖部に生じる病変は根尖性歯周炎といわれ、歯根膜に生じる急性漿液根尖性歯肉炎から歯根嚢胞まで種々に分類される。辺縁性歯周炎は、歯周病ともいわれ辺縁部歯肉から発症する。 咬合性外傷は、歯根膜や歯槽骨に生じる外傷性変化である。これらの病変について学ぶ。 【予習】教科書 p121-139を読む（目安時間20分） 第8章「根尖部歯周組織の病変」 第9章「歯周組織の病変」 【復習】章の最後の「復習しよう」の問題を解く（目安時間 約10分）
25	【講義】口腔の創傷治癒、口腔粘膜の病変 口腔の創傷治癒：抜歯創の治癒と抜歯後の偶発症を学ぶ。 口腔粘膜には、種々の原因により粘膜に多くの病変が発生する。 【予習】教科書 p140-147を読む（目安時間20分） 第10章「口腔の創傷治癒」 第11章「口腔粘膜疾患」 【復習】章の最後の「復習しよう」の問題を解く（目安時間 約10分）

26	【講義】エプーリス、口腔領域の奇形、顎骨の病変 歯肉に生じる反応性の腫瘍のエプーリスおよび口腔領域の奇形および顎骨の病変を学ぶ。 【予習】教科書 p148-156を読む（目安時間20分） 第12章「エプーリス」 第13章「口腔領域の奇形」 第14章「顎骨の病変」、 【復習】章の最後の「復習しよう」の問題を解く（目安時間 約10分）
27	【講義】口腔領域の嚢胞、歯源性腫瘍の疾患 口腔領域には、病的空洞を有する嚢胞が多数発生する。 歯源性腫瘍は、歯を形成する組織に由来する腫瘍のことをいう。これらのことについて学ぶ。 【予習】教科書 p157-181を読む（目安時間10分） 第15章「口腔領域の嚢胞」 第16章「歯源性腫瘍」 【復習】章の最後の「復習しよう」の問題を解く（目安時間 約5分）
28	【講義】非歯源性腫瘍、唾液腺の疾患 歯の形成に関連しない組織から発生する非歯源性腫瘍がある。唾液腺には、炎症性疾患や腫瘍発生する。これらのことについて学ぶ。 【予習】教科書 p171-181を読む（目安時間10分） 第17章「非歯源性腫瘍」 第18章「唾液腺の疾患」、 【復習】章の最後の「復習しよう」の問題を解く（目安時間 約5分）
29	【講義】う蝕・辺縁性歯周炎の組織像（その１） 歯科２大疾患であるう蝕と歯周炎の病理組織像を理解するためにそれぞれの病理組織像（画像）の特徴を理解する。
30	【講義】う蝕・辺縁性歯周炎の組織像（その２） 歯科２大疾患であるう蝕と歯周炎の病理組織像を理解するためにそれぞれの病理組織像（画像）の特徴を理解する。

成績評価の方法

講義開始と終了前に小テストを行い講義のフィードバックを行う。講義のフィードバックを目的とした小テストは成績を評価しない。
成績評価は科目試験のみ（100％）である。科目試験では、記述式問題を出題する場合もある。

教科書

書籍タイトル：病理学（新・歯科衛生士教育マニュアル）
編集：田中昭男、谷口邦久、長谷川博雅、前田初彦
出版社：クインテッセンス出版株式会社
出版年：2017年
ISBN978－7812－0182－5 C3047

教科書に沿って講義を行う。

授業外学修（予習・復習）

予習は、授業計画の各章について教科書を読む（およそ30分）。
復習は、各章の最後の「復習しよう」の問題を解く（およそ10分）。

その他

参考資料	書籍タイトル：病理学総論にもとづく口腔病理学 編集：井上 孝、田中昭男、長谷川博雅 出版社：永末書店 出版年：2018年 ISBN 9784816013362
受講生への要望等	病理学・口腔病理学では、基礎と臨床に関連した科目で実際の患者さんの病変を学ぶ学問である。 全回出席すること。講義終了後の確認の問題は、必ず復習すること。
授業の質問対応、連絡先	オフィスアワーは、前期開始後に提示します。授業用SNS「melly」で対応します。

免疫・微生物学

更新日：2025/12/25 11:06:17

開講年度	2026	学期	後期	科目コード	205090	授業コード	1H202
担当教員	真下 千穂, 沖永 敏則, 南部 隆之, 円山 由郷, 瀧川 博樹						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科					
	配当時期	1年	曜日/時限	－	単位	2	
	備考(配当)	必修科目					
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP		科目に関連する実務経験	
20509							

授業概要

本科目では、歯科医療に不可欠な微生物学および免疫学の基礎知識を体系的に学ぶ。ヒトに病原性を示す微生物の特徴、感染成立のしくみ、抗微生物薬の作用機序、消毒・滅菌の原理、免疫応答の基本（自然免疫・獲得免疫）などを理解することで、臨床現場で必要となる感染予防の科学的根拠を身につける。さらに、う蝕・歯周病・口腔カンジダ症など口腔疾患に関連する口腔常在細菌叢（オーラルマイクロバイオータ）の構成とその役割、宿主免疫応答との関連について学ぶ。微生物学実習では、実際に微生物をハンドリングすることにより、無菌操作、細菌の分離・培養、染色法、顕微鏡観察など基礎的な実験技術を習得する。また、無菌操作の概念、清潔・不潔の区別、消毒薬・抗菌薬の効果を実地的に体験することにより、感染対策をより深く学ぶ。

これらを通じて、歯科衛生士として求められる口腔疾患の予防指導に必要な知識および臨床現場での感染管理能力を養う。

到達目標

1	歯科衛生士に必要な微生物学・免疫学の基礎知識を習得する。
2	感染症の成立を理解し、感染防止対策について説明できる。
3	口腔感染症（う蝕・歯周病など）の成立を説明できる。
4	口腔微生物に対する生体防御機構を説明できる。
5	口腔常在菌と全身疾患の関りについて説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	24		6	
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】微生物学総論（真下千穂） ・ヒトに病原性を示す微生物の種類
2	【講義】感染と発症（真下千穂） ・宿主と病原微生物 ・感染の成立
3	【講義】細菌の特徴（基本構造、増殖様式）（瀧川博樹） ・形態 ・基本構造 ・増殖様式 ・代謝 ・培養法
4	【講義】細菌の病原性（瀧川博樹） ・細菌の構造と病原性 ・外毒素・内毒素
5	【講義】病原性細菌①（真下千穂） ・代表的なグラム陽性菌
6	【講義】病原性細菌②（真下千穂） 代表的なグラム陽性菌
7	【講義】病原性細菌③（真下千穂） ・マイコプラズマ・リケッチア・クラミジア
8	【講義】真菌の特徴（基本構造、増殖様式、感染症）（円山由郷） ・形態 ・増殖様式 ・感染症
9	【講義】ウイルスの特徴（基本構造、増殖様式、感染症）（円山由郷） ・形態 ・増殖様式 ・感染症

10	【講義】その他の病原微生物（円山由郷） ・原虫・寄生虫 ・プリオン
11	【講義】化学療法と薬剤耐性（南部隆之） ・抗微生物薬の種類 ・抗微生物薬の作用機序 ・薬剤耐性機構
12	【講義】院内感染対策①（真下千穂） ・消毒 ・滅菌
13	【講義】院内感染対策②（真下千穂） ・標準予防策 ・感染経路別予防策
14	【講義】免疫学総論（沖永敏則） ・生体防御機構
15	【講義】免疫担当細胞（沖永敏則） ・免疫担当細胞の種類と特徴
16	【講義】自然免疫（沖永敏則） ・自然免疫機構
17	【講義】獲得免疫（沖永敏則） ・獲得免疫機構
18	【講義】ワクチン（円山由郷） ・ワクチンの種類と作用機序
19	【講義】アレルギーと自己免疫疾患（南部隆之） ・アレルギーと自己免疫疾患の発症機構
20	【講義】口腔常在菌（円山由郷） ・口腔常在細菌叢構成細菌とその働き ・デンタルプラークの形成
21	【講義】う蝕（瀧川博樹） ・う蝕原性細菌 ・う蝕の発症機序
22	【講義】歯周病（瀧川博樹） ・歯周病原細菌 ・歯周病の発症機序
23	【講義】口腔微生物と全身疾患（真下千穂） ・全身疾患との関り
24	【講義】口腔免疫（真下千穂） ・口腔防御機構 ・唾液の抗菌因子 ・歯肉溝の免疫学的特徴
25	【実習】実習①（沖永敏則、真下千穂、南部隆之、円山由郷、瀧川博樹） ・消毒・滅菌の基本的操作 ・手指衛生の評価
26	【実習】実習②（沖永敏則、真下千穂、南部隆之、円山由郷、瀧川博樹） ・グラム染色法
27	【実習】実習③（沖永敏則、真下千穂、南部隆之、円山由郷、瀧川博樹） ・無菌操作 ・口腔常在菌の培養 ・抗菌薬の効果
28	【実習】実習④（沖永敏則、真下千穂、南部隆之、円山由郷、瀧川博樹） ・細菌の観察（光学顕微鏡・位相差顕微鏡）
29	【実習】実習⑤（沖永敏則、真下千穂、南部隆之、円山由郷、瀧川博樹） ・抗原抗体反応（イムノクロマトグラフィー）
30	【実習】実習⑥（沖永敏則、真下千穂、南部隆之、円山由郷、瀧川博樹） ・まとめ（結果判定と考察）

成績評価の方法

単位試験および実習レポートにより総合的に評価する

単位試験 ：70%

実習レポート ：30%

教科書

疾病の成り立ち及び回復過程の促進2 微生物学 医歯薬出版

講義資料を適宜配布する。

授業外学修（予習・復習）

予習は、予定された講義について教科書の該当項目を読んでおくこと。
復習は、配布プリントの内容を整理し、課題・演習問題を理解することを目標にする。

その他

参考資料	
受講生への要望等	実習では、培養した病原微生物を扱います。感染事故防止のため、実習時の服装・行動などについては、科目担当者の指示に必ず従って下さい。感染リスクが高いと判断された場合には実習の受講はできません。
授業の質問対応、連絡先	授業用SNS(Melly)もしくはメールで予約後、対面で実施します。

薬理学

更新日：2025/12/12 10:38:06

開講年度	2026	学期	後期	科目コード	205100	授業コード	10203
担当教員	福田 伊津子						
備考	ICTを活用した双方向型授業						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科， 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	1年	曜日/時限	一		単位	1
	備考(配当)	必修科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20510	1◎ H1○	1◎ E1○	

授業概要

薬理学は、薬物を生体に与えた場合に生体が現す反応を研究する科学である。薬理学の背景には解剖学、生理学、生化学、微生物学、病理学などがあり、これらの科目を包括した総合的な専門基礎科目であり、その習得は重要である。本授業では、薬物の作用、薬物動態、薬物の取り扱い等の薬理学の基本的知識を修得する。また、各論として、末梢神経系、中枢神経系、循環器系、腎臓、呼吸器系、消化器系、血液に作用する薬物を理解する。
google classroomを利用した双方向型授業。

到達目標

1	薬物の作用、薬物動態、薬物の適用方法について説明できる。
2	薬物の作用に影響を与える要因、薬物の副作用、薬物の取り扱い、薬物と法律・薬物と医薬品について説明できる。
3	末梢神経系、中枢神経系に作用する薬物を説明できる。
4	循環器系に作用する薬物を説明できる。
5	消化器系に作用する薬物を説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			

授業計画

1	【講義】薬物の作用 薬物とは、薬理学とは 薬物療法の種類 薬理作用の様式、基本形式、分類 用量反応関係と薬用量 薬理作用の機序 （予習）教科書I編1章を読む。（目安時間：約20分） （復習）薬物の作用についてまとめる。（目安時間：約30分）
2	【講義】薬物動態、薬物の適用方法の種類と特徴 薬物動態 適用方法の種類 生物学的利用能 （予習）教科書I編2、3章を読む。（目安時間：約20分） （復習）薬物動態、薬物の適用方法の種類と特徴についてまとめる。（目安時間：約30分）
3	【講義】薬物の作用に影響を与える要因、薬物の副作用、有害作用、医薬品を適用する際の注意 薬効に影響する因子・生体の感受性 薬物の連用、併用、相互作用 薬物の副作用、有害作用 医薬品を適用する際の注意 （予習）教科書I編4、5、6章を読む。（目安時間：約20分） （復習）薬物の作用に影響を与える要因、薬物の副作用、有害作用、医薬品を適用する際の注意についてまとめる。（目安時間：約30分）
4	【講義】薬物の取り扱い、薬物と法律・薬物と医薬品 薬物の取り扱い 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律 日本薬局方 薬物の表示と保存、取締法 （予習）教科書I編7、8章を読む。（目安時間：約20分） （復習）薬物の取り扱い、薬物と法律・薬物と医薬品についてまとめる。（目安時間：約30分）

5	【講義】末梢神経系に作用する薬物、中枢神経系に作用する薬物 自律神経作動薬、遮断薬 中枢神経に作用する薬物 全身麻酔薬 GABA受容体作動薬、遮断薬 中枢神経興奮薬 （予習）教科書II編2章、3章を読む。（目安時間：約30分） （復習）末梢神経系に作用する薬物、中枢神経系に作用する薬物についてまとめる。（目安時間：約30分）
6	【講義】循環器系に作用する薬物、腎臓に作用する薬物 循環器系に作用する薬物 腎臓の機能と生理 利尿薬 （予習）教科書II編4、5章を読む。（目安時間：約20分） （復習）循環器系に作用する薬物、腎臓に作用する薬物についてまとめる。（目安時間：約30分）
7	【講義】消化器系に作用する薬物、血液に作用する薬物 消化器系に作用する薬物 止血機構、血液に関連する薬物 （予習）教科書II編7、8章を読む。（目安時間：約20分） （復習）消化器系に作用する薬物、血液に作用する薬物についてまとめる。（目安時間：約30分）
8	【講義】ビタミンとホルモン、免疫と薬、悪性腫瘍と薬 ビタミン、ホルモン 免疫応答のメカニズム、免疫に関連する薬物 悪性腫瘍とは、抗悪性腫瘍薬 （予習）教科書II編1章、9章、10章を読む。（目安時間：約20分） （復習）ビタミンとホルモン、免疫と薬、悪性腫瘍と薬についてまとめる。（目安時間：約30分）

成績評価の方法

科目試験(70%)および授業中に実施する小テスト(30%)を総合的に評価する。
やむを得ない理由で授業中に実施する小テストを提出できない者については、レポートを課す。
小テストの解説は、適宜講義で行う。

教科書

歯科衛生学シリーズ 疾病の成り立ち及び回復過程の促進 3 薬理学 第2版
鈴木邦明ほか 医歯薬出版株式会社
ISBN 978-4-263-42638-8

授業外学修（予習・復習）

授業計画に記載の予習・復習を行う。

その他

参考資料	なし
受講生への要望等	なし
授業の質問対応、連絡先	神戸大学大学院農学研究科・福田伊津子 メールアドレス itsuko@silver.kobe-u.ac.jp

歯科薬理学

更新日：2025/12/12 10:38:35

開講年度	2026	学期	前期	科目コード	205110	授業コード	2H101
担当教員	福田 伊津子						
備考	ICTを活用した双方向型授業						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科					
	配当時期	2年	曜日/時限	－		単位	1
	備考(配当)	必修科目					
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP		科目に関連する実務経験	
20511		1○ H1◎					

授業概要

歯科薬理学では薬理学の基本的知識を踏まえ、歯・口腔の予防と治療のための薬物について、その専門的知識を修得する。具体的には、局所麻酔薬などの末梢神経系作用薬、抗炎症薬、鎮痛薬、抗感染症薬、消毒薬、歯内治療薬、歯周疾患治療薬、う蝕予防薬、洗口薬、顎・口腔疾患に用いる薬物について取り扱う。google classroomを利用した双方向型授業。

到達目標

1	炎症の過程と抗炎症薬について作用機序と薬理作用を説明できる。
2	鎮痛薬と局所麻酔薬について作用機序と薬理作用を説明できる。
3	抗感染症薬と消毒薬について作用機序と薬理作用を説明できる。
4	う蝕予防薬、歯内療法薬、歯周疾患治療薬について作用機序と薬理作用を説明できる。
5	顎・口腔粘膜疾患に用いる薬物について作用機序と薬理作用を説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			

授業計画

1	【講義】炎症と薬 炎症とは 抗炎症薬 解熱鎮痛薬 （予習）教科書Ⅱ編12章を読む。（目安時間：約20分） （復習）炎症の過程と抗炎症薬についてまとめる。（目安時間：約20分）
2	【講義】痛みと薬 痛覚の発生と伝導 オピオイド系鎮痛薬 非オピオイド計鎮痛薬 神経障害性疼痛治療薬 （予習）教科書Ⅱ編13章を読む。（目安時間：約20分） （復習）鎮痛薬についてまとめる。（目安時間：約20分）
3	【講義】局所麻酔薬 局所麻酔薬の作用機構 局所麻酔薬の効果に影響を与える因子 血管収縮薬の併用 局所麻酔薬の化学構造と分類、適用法、生体に対する作用 （予習）教科書Ⅱ編14章を読む。（目安時間：約20分） （復習）局所麻酔薬についてまとめる。（目安時間：約20分）
4	【講義】抗感染症薬 感染症と抗感染症薬 抗感染症薬の作用と副作用 主な抗感染症薬 （予習）教科書Ⅱ編15章を読む。（目安時間：約20分） （復習）抗感染症薬についてまとめる。（目安時間：約20分）
5	【講義】消毒に使用する薬 消毒薬の作用、分類 主な消毒薬 HBVおよびHIVに対する消毒薬 （予習）教科書Ⅱ編16章を読む。（目安時間：約20分） （復習）消毒薬についてまとめる。（目安時間：約20分）

6	【講義】う蝕予防薬、歯内療法薬、歯周疾患治療薬 フッ化物の臨床応用 歯髄の保存、根幹治療、象牙質知覚過敏症に用いる薬物 歯周治療における薬物療法、洗口薬、口臭治療に用いる薬物 （予習）教科書II編17～19章を読む。（目安時間：約20分） （復習）う蝕予防薬、歯内療法薬、歯周疾患治療薬についてまとめる。（目安時間：約20分）
7	【講義】顎・口腔粘膜疾患と薬 炎症性疾患、口腔粘膜疾患に用いる薬物 顎関節症に用いる薬剤 口腔乾燥症、神経疾患に用いる薬物 （予習）教科書II編20章を読む。（目安時間：約20分） （復習）炎症性疾患、口腔粘膜疾患に用いる薬物についてまとめる。（目安時間：約20分）
8	【講義】補講 これまでの講義内容を振り返り、総復習します。また、代謝性疾患治療薬、漢方医学と薬物についても解説します。 （予習）教科書II編11章、21章を読む。（目安時間：約20分） （復習）これまでの講義内容に加えて、代謝性疾患治療薬、漢方医学と薬物についてまとめる。（目安時間：約30分）

成績評価の方法

科目試験(70%)および授業中に実施する小テスト(30%)を総合的に評価する。
やむを得ない理由で授業中に実施する小テストを提出できない者については、レポートを課す。
小テストの解説は、適宜講義で行う。

教科書

歯科衛生学シリーズ 疾病の成り立ち及び回復過程の促進 3 薬理学 第2版
鈴木邦明ほか 医歯薬出版株式会社
ISBN 978-4-263-42638-8

授業外学修（予習・復習）

授業計画に記載の予習・復習を行う。

その他

参考資料	なし
受講生への要望等	臨床に沿った講義となるので、臨床科目と関連付けて取り組んでほしい。
授業の質問対応、連絡先	神戸大学大学院農学研究科・福田伊津子 itsuko@silver.kobe-u.ac.jp

歯科材料学

更新日：2025/09/25 13:03:29

開講年度	2026	学期	後期	科目コード	205120	授業コード	1H203
担当教員	橋本 正則						
備考							
配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科					
	配当時期	1年	曜日/時限	－		単位	1
	備考(配当)	必修科目					
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP		科目に関連する実務経験	
20512		1○ H1◎				歯科医師	

授業概要

歯科診療補助は、歯科衛生士の重要な業務の一つであり、その業務の際には、様々な歯科材料を取り扱うことになる。この授業では、歯科衛生士が取り扱う主な歯科材料についての基本的な知識の習得を目的とする。授業は、板書やPower Pointを使用した対面形式で行う。「歯科材料」（医歯薬出版）を教科書として、授業中に配布するプリントの内容を中心に授業を進める。

到達目標

1	臨床で使用する様々な歯科材料の取り扱いを説明できる。
2	歯科材料の組成・成分とその役割について説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【面接授業】歯科材料学概論 1) 口腔診療に用いられる歯科材料とその基礎知識について述べる。 2) 臨床で使用される歯科材料を有機、無機、金属および複合材料に分類して説明する。
2	【面接授業】歯科衛生士にかかわる材料 1) 臨床で歯科衛生士が多くかかわる歯科材料について説明する。 2) 歯面研磨剤および小窩裂溝充填塞材（シーラント）について説明する。
3	【面接授業】印象材 1) 口腔治療における印象採得の重要性と印象材の所要性質について述べる。 2) 寒天、アルジネートおよびゴム質印象材を中心に説明する。
4	【面接授業】石膏模型 1) 石膏の模型材料としての所要性質と特性について説明する。
5	【面接授業】合着・接着材 1) 合着材・接着材の種類、組成および特性について説明する。 2) グラスアイオノマーセメントおよび接着性レジンセメントを中心に説明する。
6	【面接授業】成形歯冠修復材 1) 修復材料としてのコンポジットレジンについて説明する。
7	【面接授業】仮封材、暫間修復材 1) 仮封材および暫間修復材について説明する。
8	【面接授業】金属、セラミックス、その他の歯科材料 1) 金属およびセラミックス材料について概説する。 2) その他の歯科材料としてジルコニアおよびインプラントなどについて説明する。

成績評価の方法

科目試験および受講態度から総合的に成績評価する。
授業中に、前の授業内容のフィードバックを行っている。
・科目試験…80％
・受講態度…20％

教科書

歯科衛生学シリーズ 「歯科材料」全国歯科衛生士教育協議会 監修 （医歯薬出版）
（2024 ISBN978-4-263-42612-8 C3347）

授業外学修（予習・復習）

【予習】講義の前には、教科書の該当箇所に目を通す（約30分）
【復習】毎回の授業内容を、配布プリントの内容を中心に復習する（約30分）

その他

参考資料	イラストと写真でわかる 「歯科材料の基礎」 著：竹澤保政（未永書店） （ISBN978-4-8160-1211-2）
受講生への要望等	歯科診療補助は歯科衛生士の重要な業務の一つです。その際には、様々な歯科材料を取り扱いますが、その取扱いが、歯科治療の成否を分けることもあるということを認識して、この授業に取り組んでください。
授業の質問対応、連絡先	質問等をしたい場合は在室時（1号館1階 1121）にはいつでも可能ですが、「melly」で事前に連絡してくれれば便利かと思えます。

衛生学・公衆衛生学

更新日：2026/02/19 14:39:09

開講年度	2026	学期	後期	科目コード	206010	授業コード	1H204
担当教員	神 光一郎						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科					
	配当時期	1年	曜日/時限	－	単位	2	
	備考(配当)	必修科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20601	2◎ H1○ H3○		歯科医師

授業概要

わが国の衛生・公衆衛生は、社会環境の変化や国民の生活習慣の多様化などを背景とし、国民の疾病予防、健康の保持増進に対する意識の変化も伴って、従来行われてきた感染症の予防対策および第二次予防（疾病の早期発見・治療）から、生活習慣の改善および第一次予防（健康増進）へとシフトしてきている。

本講義では、学生が、将来の医療従事者として必要となる健康の保持増進に関する知識を習得・理解するだけに止まらず、生活環境対策や人口問題、さらには国民の生活の場である地域における取組みや貢献等について幅広く理解を深めることを目的とする。

また、媒体として可能な限り視覚素材を頻用し、一方向性ではなく双方向性・参加型方式で行う。具体的には、あらかじめ準備学習の課題を与え、講義中に準備学習課題の解説を行い、学生個々人が理解度を深めることができるようにする。

到達目標

1	衛生・公衆衛生の概念を説明できる。
2	健康の概念および健康の保持増進について概説できる。
3	わが国における人口の動態・静態等の保健医療情報について概説できる。
4	疫学の概念および疫学の研究方法について説明できる。
5	わが国における環境を取り巻く状況について把握し、環境基準、環境保全対策について説明できる。
6	感染症の予防・流行防止の基本的考え方および対策について説明できる。
7	ライフステージに応じた歯科保健対策について概説できる。
8	地域における健康づくりの取組みについて説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	15			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【参加型面接講義】衛生学・公衆衛生学とは 1) 衛生学・公衆衛生学序論についての概説 2) 公衆衛生と地域保健 3) 社会環境と疾病構造の変化 （準備学習）健康日本21について調べる（30分）
2	【参加型面接講義】健康の概念、プライマリヘルスケアとヘルスプロモーション 1) 健康の概念についての概説 2) 生活習慣病と健康との関連 3) ヘルスプロモーションとは 4) 健康日本21についての概説 5) NCDとは （準備学習）予防医学における3相5段階について調べる（30分）
3	【参加型面接講義】予防医学の概念、疫学の定義と疫学研究の方法 1) 疾病の要因 2) Leavell&Clarkの予防概念 3) 疫学とは 4) 疫学の概念 5) 疫学研究の方法 （準備学習）わが国の人口構造について調べる（30分）

4	【参加型面接講義】わが国と世界の人口の動向、人口構造の変化と高齢化 1) 世界の人口 2) わが国の人口 3) 人口統計の種類 4) 人口動態統計の現況 5) 平均余命と平均寿命 （準備学習）人間の温熱感覚に影響する要因について調べる（30分）
5	【参加型面接講義】健康と環境との関連（1） 1) 環境の概念 2) 空気と健康 3) 空気の異常成分 4) 温熱環境と影響因子 （準備学習）人間の温熱感覚に影響する要因について調べる（30分）
6	【参加型面接講義】健康と環境との関連（2） 1) 空気と健康、空気の異常成分 2) 温熱環境、温熱感覚 3) 水と健康（上水と下水） 3) 放射線と健康 4) 住居・衣服と健康 （準備学習）地球温暖化について調べる（30分）
7	【参加型面接講義】地球環境の変化と健康への影響、公害問題とその原因物質 1) 地球温暖化 2) 酸性雨 3) オゾン層の破壊、その他 4) 公害問題とその原因物質 （準備学習）歯科診療所から発生する廃棄物について調べる（30分）
8	【参加型面接講義】廃棄物処理 1) 一般廃棄物 2) 産業廃棄物 3) 感染性廃棄物 4) 廃棄物の処理（バイオハザードマーク、マニフェスト制度） （準備学習）感染症対策の3原則について調べる（30分）
9	【参加型面接講義】感染症の概念と感染症の予防対策 1) 感染源、感染経路、宿主の感受性 2) 感染症対策の3原則 3) 感染症対策上の問題点（耐性菌、日和見感染、新興・再興感染症） 4) 院内感染対策（スタンダードプリコーション） （準備学習）感染症の分類について調べる（30分）
10	【参加型面接講義】感染症の分類と動向 1) わが国における感染症対策の変遷 2) 予防接種法と予防接種の対象感染症（A類・B類疾病）、ワクチンの種類 3) 学校における感染症の予防 4) 感染症の分類（一類・二類・三類・四類・五類・指定） （準備学習）食中毒の分類について調べる（30分）
11	【参加型面接講義】食品と健康 1) 食中毒の疫学 2) 食中毒の種類と原因 3) 食品の安全性の確保（HACCP） 4) 健康食品の分類・表示（一般食品、保健機能食品、特別用途食品） 5) 食品添加物 （準備学習）日本人の食事摂取基準について調べる（30分）
12	【参加型面接講義】日本人の食事摂取基準 1) 日本人の食事摂取基準 2) 国民栄養の現状と問題点（国民健康・栄養調査結果より） 3) 健康づくりのための食生活指針と食育 4) 食事バランスガイド （準備学習）保健所と市町村保健センターについて調べる（30分）

13	【参加型面接講義】地域保健の新たな概念 1) 地域保健の概念、組織と役割（保健所・市町村保健センター） 2) ヘルスプロモーション 3) ソーシャルキャピタル 4) ノーマライゼーション 5) 地域保健活動の進め方 6) ポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチ （準備学習）母子保健事業について調べる（30分）
14	【参加型面接講義】母子保健、学校保健 1) 母子保健の意義と概要 2) 母子保健の取組み・事業 3) 母子保健における口腔保健 4) 歯科健康診査（妊産婦・1歳6か月・3歳児） 5) 学校保健の領域 6) 歯科健康診断と事後処置 7) 歯科衛生士の役割 （準備学習）歯の酸蝕症の特徴について調べる（30分）
15	【参加型面接講義】産業保健、成人・高齢者保健、まとめ 1) 産業保健の概念 2) 職業性歯科疾患（歯の酸蝕症） 3) 産業保健活動 4) 成人・高齢者の健康管理・保健事業 5) 課題に対するアプローチ、考え方の概説 6) 指定課題に対するレポート作成

成績評価の方法

事前に与えた予習課題に対する理解度および講義終了時に課すレポートを講義の理解度として評価する。

形成的評価は定期試験により行う。

- ・講義の理解度……………10%
- ・指定課題に対するレポート…10%
- ・科目試験……………80%

課題に対するフィードバックとして、講義中に課題解決の視点について解説するとともに、公衆衛生学的意義・論点についてコメントする。

また、指定課題に対するレポート評価はルーブリックにより行う。

教科書

歯科衛生学シリーズ「歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学」 医歯薬出版株式会社（ISBN978-4-263-42622-7）

関連資料（講義で使用した資料）は適宜配付する。

授業外学修（予習・復習）

当該科目では、事前に予習しておく課題を与える（目安時間：約30分）ので、事前に必ず教科書等により指示された内容について理解した上で講義に臨むこと。

その他

参考資料	「スタンダード衛生・公衆衛生 第17版」 学建書院（ISBN978-4-7624-8625-8）
受講生への要望等	本学問は、基本的に丸覚えする教科ではありません。現在の衛生・公衆衛生を取り巻く環境や状況をしっかりと理解し、医療従事者として国民の健康の保持増進をどのように推進していくべきなのかを考えることが重要であり、本講義の求める最終到達目標です。所掌範囲が広く内容も捉えにくい科目ですが、しっかりと準備学習して講義に臨んでください。
授業の質問対応、連絡先	質問対応は、在席時に牧野学舎の教員室で対応可能ですが、事前に授業用SNS（melly）で連絡した上で来てもらおうと確実に。また、授業用SNS（melly）でも随時対応します。

口腔衛生学

更新日：2025/08/13 14:46:40

開講年度	2026	学期	前期	科目コード	206020	授業コード	2H102
担当教員	神 光一郎, 前嶋 亜優子, 亀井 直子, 濱本 愛子						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科					
	配当時期	2年	曜日/時限	一		単位	2
	備考(配当)	必修科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20602	1○ 5○ H1◎		歯科医師、歯科衛生士

授業概要

う蝕減少傾向が顕著となっている現状を鑑みると、個人に対する口腔疾患の予防はもちろんのこと、全身の健康の基盤となるべき口腔の健康の保持増進を達成することが、我々の貢献すべき大きな目標となる。本講義では、学生が、歯科疾患の治療とは異なる「口腔を健康なまま維持する」ために必要となる考え方や実践等についての知識を習得し、併せてその課題・問題の考察や解決能力を発揮できることを目的とする。

本講義形式は、学生が一方向の知識伝達型の講義および実習に終始することがないように、双方向性の対話（問いかけ）・学生の参加型方式とし、必要に応じてディスカッションを行い学生の理解を深める。

到達目標

1	歯・口腔の健康の定義を説明できる。
2	歯・口腔の健康を保持・増進する手段について概説できる。
3	う蝕および歯周病の発生原因について説明できる。
4	う蝕および歯周病の予防方法について説明できる。
5	口腔と全身の健康との関係について説明できる。
6	口臭の分類と発生要因について説明できる。
7	フッ化物歯面塗布の手技について実践できる。
8	う蝕活動性試験の意義と評価基準について概説できる。
9	歯科疾患の指標について実践できる。
10	災害時の歯科保健活動について概説できる。
11	国際保健・国際交流について概説できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	11		4	
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【面接講義】口腔衛生学の意義と方向性、歯・口腔の健康とは（神 光一郎） 1) 口腔衛生学の意義 2) 歯科保健医療を取り巻く背景 3) 口腔の健康と全身の健康との関連性 4) 歯科疾患予防（第一次・二次・三次予防） （準備学習）唾液の作用について調べる（30分）
2	【面接講義】歯と口腔環境、歯・口腔の不潔（神 光一郎） 1) 口腔の機能と唾液の作用 2) 歯の付着物・沈着物（プラーク、歯石） 3) ステファンカーブとは 4) ペリクルとプラーク形成 5) 歯石の分類（歯肉縁上歯石と縁下歯石） （準備学習）歯磨剤の基本成分と薬効成分を調べる（30分）
3	【面接講義】口腔清掃の意義・方法、歯磨剤について（神 光一郎） 1) プラークコントロールとは 2) 口腔清掃法について 3) 口腔清掃用具について 4) 歯磨剤の分類と効用 5) ブラッシングの方法、ブラッシングによる為害作用 （準備学習）う蝕の発生要因について調べる（30分）

4	【面接講義】う蝕の疫学的特性（神 光一郎） 1) う蝕の有病状況（公的統計調査結果から） 2) う蝕の発生要因について 3) う蝕の進行と症状 （準備学習）う蝕の活動性とは何かを調べる（30分）
5	【面接講義】う蝕の活動性とう蝕活動性試験、う蝕の予防方法（神 光一郎） 1) う蝕の活動性とは 2) う蝕活動性試験の目的と所要要件 3) う蝕活動性試験の種類 4) う蝕の発生要因に対する予防手段 （準備学習）歯のフッ素症の疫学的特性について調べる（30分）
6	【面接講義】フッ化物の性状と意義、フッ化物によるう蝕予防（神 光一郎） 1) フッ化物がう蝕予防に応用されるまでの経緯 2) フッ化物の性状、分布 3) フッ化物の代謝、毒性（歯のフッ素症） 4) フッ化物のう蝕予防機序 5) フッ化物の全身的应用法について 6) フッ化物の局所的应用法について 7) フッ化物のう蝕予防効果 （準備学習）口臭症の国際分類について調べる（30分）
7	【面接講義】歯周病の疫学的特性と予防法、その他の歯科疾患の予防（神 光一郎） 1) 歯周病の疫学的特性、歯周疾患の有病状況 2) 歯周病の分類と発生要因 3) 歯周病の進行と症状 4) 歯周病と全身との関連 5) 歯周病の予防方法 6) 不正咬合の予防 7) 口臭の国際分類と予防 （準備学習）様々な歯・口腔の疾患・異常について調べる（30分）
8	【面接講義・実習オリエンテーション】口腔衛生学実習の説明（神、前嶋、亀井、濱本）・口腔疾患・異常の予防 1) 実習帳の配付・説明 2) フッ化物歯面塗布法について 3) う蝕活動性試験について 4) 様々な歯・口腔の疾患・異常の予防 （準備学習）実習帳の内容について熟読する（60分）
9	【実習】口腔衛生学実習（1-1）フッ化物歯面塗布（神、前嶋、亀井、濱本） 1) 歯垢染色の実践 2) 歯口清掃状態の診査法と評価（PCR、OHI） 3) フッ化物歯面塗布の手法、塗布後の保健指導
10	【実習】口腔衛生学実習（1-2）フッ化物歯面塗布（神、前嶋、亀井、濱本） 1) 歯垢染色の実践 2) 歯口清掃状態の診査法と評価（PCR、OHI） 3) フッ化物歯面塗布の手法、塗布後の保健指導 （復習課題）実習内で出されたレポート課題を作成する（60分）
11	【実習】口腔衛生学実習（2-1）う蝕活動性試験（神、前嶋、亀井、濱本） 1) う蝕活動性およびう蝕活動性試験の意義 2) 唾液流量の測定（安静時・刺激時） 3) 唾液中微生物酸化還元能の測定 4) 唾液中ミュータンス菌量の測定 5) 唾液中乳酸桿菌量の測定 6) 歯垢の酸産生能試験の実施 7) 菌培養後の結果判定
12	【実習】口腔衛生学実習（2-2）う蝕活動性試験（神、前嶋、亀井、濱本） 1) う蝕活動性およびう蝕活動性試験の意義 2) 唾液流量の測定（安静時・刺激時） 3) 唾液中微生物酸化還元能の測定 4) 唾液中ミュータンス菌量の測定 5) 唾液中乳酸桿菌量の測定 6) 歯垢の酸産生能試験の実施 7) 菌培養後の結果判定 （復習課題）実習内で出されたレポート課題を作成する（60分） （準備学習）歯科疾患の指標について調べる（30分）

13	【面接講義】歯科疾患の指標（神 光一郎） 1) う蝕に関する指標 2) 歯周病に関する指標 3) 口腔清掃状態に関する指標 4) 歯のフッ素症に関する指標 5) 不正咬合に関する指標 （準備学習）被災地での歯科保健活動について調べる（30分）
14	【面接講義】災害時の歯科保健・国際保健（神 光一郎） 1) 大規模災害時の保健医療対策 2) 被災地での歯科保健活動 3) 国際協力と国際交流 4) 主な国際保健医療協力の状況 5) 国際保健活動に関わる機関 6) 世界の口腔保健の現状 7) ユニバーサル・ヘルス・カバレッジとは
15	【面接講義】講義・実習の総括（神 光一郎） 1) 講義内容から出題された課題について検討 2) 口腔衛生学の意義について検討 3) 講義・実習のまとめ

成績評価の方法

講義開始時には前回授業内容について小テストを行い、講義中には簡単な口頭試問を行う。

最終講義では教員から提示した課題に関してディスカッションを行う。

形成的評価として科目試験を実施し、口腔衛生学実習のレポート評価と併せて総合的に評価する。

- ・実習（口頭試問およびレポート）…20%
- ・科目試験……………80%

小テストやレポートについては、授業時間内で解説・フィードバックする。

なお、実習では、フッ化物の局所応用、う蝕活動性試験の他、与えられた臨床的課題に対してグループワークを行う。

教科書

「歯科衛生士テキスト 口腔衛生学第4版」学建書院（ISBN978-4-7624-5177-5）

なお、準備学習用に毎回資料を配付する。

授業外学修（予習・復習）

講義終了時に、次の講義履修までに準備学修（予習）しておく内容（目安時間：約30分）について指示する。また、講義開始時に行った小テストの内容については、講義中に正答を導くポイントを解説し、学生自身で確認・学修する。準備学習（予習）と小テストの復習は30分程度で行うことができる内容とする。

その他

参考資料	歯科衛生学シリーズ 「歯・口腔歩健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学」医歯薬出版 また、授業中に適宜参考資料を配付する。
受講生への要望等	口腔衛生学とは、口腔疾患の予防だけではなく、口腔の健康の保持増進を達成するためにどのような課題があり解決していけばよいかを考える学問です。併せて、口腔内診査やフッ化物歯面塗布の実践などの臨床的手技を取得する科目でもあります。数ある教科の中で、このような基礎的な要素と臨床的な要素とを学ぶために幅広い視野を持って考察する学問はありません。それゆえ、様々な角度から歯科保健医療を視ることができる面白さがある反面、歯科臨床に局限しない大きなフィールドを扱う難しさもあります。普段からの準備学習をしっかりと行ってください。
授業の質問対応、連絡先	質問対応は、在席時に牧野学舎の教員室で対応可能ですが、事前に授業用SNS（melly）で連絡した上で来てもらおうと確実です。また、授業用SNS（melly）でも随時対応します。

社会学

更新日：2025/10/02 11:03:48

開講年度	2026	学期	後期	科目コード	206030	授業コード	20202
担当教員	伊東 香純						
備考							
配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	2年	曜日/時限	－		単位	2
	備考(配当)	必修科目					
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP		科目に関連する実務経験	
20603		3◎ 5○ H2○		3◎ 5○ E2○			

授業概要

本講義では、社会学の基本的な概念や理論を学習し、社会的視点から世界を観察、分析する力を養う。家族や病院などの身近なテーマと、国際協力やグローバル化などの身近に感じにくいテーマ両方について、「常識」とされていることを批判的、相対的に検討していく。

到達目標

1	社会学の基本的な概念や理論を理解できる。
2	関心のあるテーマを見出し、社会学の基本的な概念や理論を用いて、批判的、相対的に考察できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	15			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】オリエンテーション、社会学の方法・視点 ◆授業の予定、成績評価の仕方 ◆社会学とは？社会とは？
2	【講義】社会福祉制度の歴史 ◆国家が貧困者を支援するという考え方の始まり、広まり ◆日本の社会福祉制度の仕組み——社会保険方式と公費負担方式、福祉六法
3	【講義】生活保護制度 ◆4つの原則、4つの原理 ◆不正受給は大きな問題なの？
4	【講義】少子高齢社会 ◆少子高齢化がたいへんだ、と騒ぐべきか ◆優生政策の歴史と主張
5	【講義】階級制度、教育制度 ◆格差はどうやって生じるのか ◆格差に教育はどう作用するのか
6	【講義】家族制度 ◆家族分析の基本概念と変化 ◆男が仕事、女が家庭、はどう批判されてきたか
7	【講義】障害の社会モデル ◆障害は個人にあるか、社会にあるか ◆府中療育センター闘争
8	【講義】介助の現場 ◆府中療育センター・その後 ◆重度訪問介護を使って地域で生きる
9	【講義】在日コリアン ◆なぜ「異文化理解」だけではうまくいかないか ◆在日コリアンの歴史
10	【講義】グローバル・エイズ ◆グローバルエイズの状況 ◆治療薬のアクセスを巡るグローバルな社会運動
11	【講義】国際協力 ◆国際協力の背景を理解する ◆「支援」は現地でどう受け入れられているの？
12	【講義】医療化 ◆病気、障害は作り出されたもの？ ◆医療化の例：ADHD、脱医療化の例：同性愛

13	【講義】ジェンダー ◆性をめぐるさまざまな現象の整理 ◆「性同一性障害」という診断の問題
14	【講義】リスク社会 ◆リスクを誰が引受けるかが重要な社会 ◆事例：新型インフルエンザのリスクを巡る社会現象
15	【講義】自己決定？ ◆自己決定の定義の難しさ ◆自己決定を状況に則して考えてみよう

成績評価の方法

- ・授業参加度…60%
- ・科目試験……40%

授業参加度は、コミュニケーションペーパーの記述にもとづいて評価する。コミュニケーションペーパーは、次の回の講義でよく書いているものを紹介、解説してフィードバックをおこなう。この積み重ねを科目試験（最終レポート）に向けた練習と位置づけ、要旨をまとめたり自分の考えを書いたりすることに慣れる。

教科書

特に指定しない。資料を配布する予定。

授業外学修（予習・復習）

参考書、及び講義内で紹介した書籍の中で関心をもったものを読む。新聞や書籍、インターネットなどから世の中の動きについての情報を取得し関心をもつ。
 必要な時間：事前学修15分、事後学修60分ほど

その他

参考資料	長谷川公一・浜日出夫・藤村正之・町村敬志，2007，『社会学』有斐閣。 宇都宮京子（編），2009，『よくわかる社会学 [第2版]』ミネルヴァ書房。 中川輝彦・黒田浩一郎（編著），2010，『よくわかる医療社会学』ミネルヴァ書房。 西原和久・杉本学（編），2021，『マイノリティ問題から考える社会学・入門——差別をこえるために』有斐閣。 木村至聖，2022，『歴史と理論からの社会学入門』ナカニシヤ出版。
受講生への要望等	講義内容については、進捗状況によって多少変更する場合がある。
授業の質問対応、連絡先	連絡先 email: itokasumi24@gmail.com

社会福祉論Ⅰ

更新日：2025/12/23 11:44:21

開講年度	2026	学期	前期	科目コード	206040	授業コード	10110
担当教員	武輪 敬心						
備考							
配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	1年	曜日/時限	－	単位	2	
	備考(配当)	必修科目					
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP		科目に関連する実務経験	
20604		3◎ H2○		3◎ E2○		社会福祉士	

授業概要

本講義では、私たちの生活を支える社会福祉について、その根拠となる法や社会福祉の各分野について学ぶ。私たちに保障されている「健康で文化的な生活」をおくる権利が、何らかの理由で侵害されたときに生活を支える社会福祉の制度や政策について学ぶとともに、現代の社会問題を、講義を通して理解する。

到達目標

1	社会福祉の理念、社会福祉の制度・政策の全体的な体系を理解できる
2	社会問題と社会構造の関係の視点から、現代の社会問題について理解できる
3	福祉政策を捉える基本的な視点として、概念や理念を理解するとともに、人々の生活上のニーズと福祉政策の過程を結びつけて理解できる
4	福祉サービスの供給と利用過程について理解できる

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	15			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】貧困問題 ホームレス支援の現状について学び、社会問題としての貧困問題について理解を深める。
2	【講義】「自己責任」と社会福祉 自己責任論が社会でどのように用いられるかを考察し、社会福祉の役割について学ぶ。
3	【講義】健康で文化的な生活 日本国憲法第25条「生存権」および「国の生存権保障義務」について学び、健康で文化的な生活について学ぶ。
4	【講義】社会福祉の法 社会福祉に関する法律と各種の政令、省令等について学ぶ。
5	【講義】公的扶助① 生活保護制度の原理と原則について、また扶助の内容を学ぶ。
6	【講義】ソーシャルワークとソーシャルワーカー ソーシャルワークの定義や役割と機能、ソーシャルワーカーと呼ばれる人たちについて学ぶ。
7	【講義】公的扶助② 生活保護以外の公的扶助制度やそのほかの低所得者支援制度について学ぶ。
8	【講義】こども家庭福祉① こどもの権利とこども家庭福祉制度について学ぶ。
9	【講義】こども家庭福祉② こども虐待問題と要保護児童への支援について学ぶ。
10	【講義】障害者福祉① 障がいの理解と差別解消へのあゆみについて学ぶ。
11	【講義】障害者福祉② 障がいのある人を支える保健福祉制度について学ぶ。
12	【講義】高齢者福祉① 老人福祉法の理念および高齢化の現状と高齢者の生活課題について学ぶ。 さらに、視聴覚教材もしくはゲストスピーカーによる講義から、高齢者福祉の実際を学ぶ。
13	【講義】高齢者福祉② 高齢者の介護問題と介護保険制度について学ぶ。
14	【講義】地域福祉 地域福祉および地域福祉推進の担い手について学ぶ。
15	【講義】社会福祉論Ⅰのまとめ 人間の尊厳、社会正義、平和主義について学ぶ。

成績評価の方法

- ・小レポート 40%（4回程度）
- ・試験 60%

小レポートについて、授業内でフィードバックする。

教科書

大久保秀子（2025）『新・社会福祉とは何か 第5版』中央法規（ISBN：978-4-8243-0307-3）

授業外学修（予習・復習）

- ・健康と生活に関するニュースに注目し、自分なりの考えをまとめる（毎日10～20分程度）。
- ・授業後にはテキストとノートを見直し、復習する（60～90分程度）。

その他

参考資料	藤田哲也、安形元伸（2024）『「そだちあい」のための子ども家庭福祉』ミネルヴァ書房 葛西リサ（2023）『13歳から考える 住まいの権利』かもがわ出版 與那嶺司、渡辺裕一、永野咲編著（2023）『基礎ゼミ 社会福祉学』世界思想社 この他、授業時に適宜紹介する。
受講生への要望等	基本的には講義形式で進めるが、適宜、ディスカッションを取り入れる。積極的に参加すること。
授業の質問対応、連絡先	原則、授業時間内に対応する。授業時間外は、mellyおよび研究室で対応する。対面を希望する場合は、mellyでアポイントを取る。

口腔衛生管理学

更新日：2025/08/15 14:02:47

開講年度	2026	学期	後期	科目コード	206050	授業コード	3H201
担当教員	神 光一郎						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科					
	配当時期	3年	曜日/時限	－		単位	1
	備考(配当)	必修科目					
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP		科目に関連する実務経験	
20605		3○ H1○ H2◎				歯科医師	

授業概要

我々歯科保健医療従事者が安定した歯科保健医療を国民に提供し医療貢献するためには、診療（供給）側の状況および患者（需要）側の状況をしっかりと掌握し、保健医療行動に繋げることが前提となる。また、医療従事者として遵守しなければならない根拠（法律）や他職種の業務範囲・役割、および歯科医療従事者との連携・協同について理解し行動することが求められている。

本講義では、学生自身が歯科医療従事者の需給状況、患者の歯科保健医療に対する満足度などについて考察するとともに、歯科保健医療に関わる職種と連携・協同体制についても学ぶ。

講義は双方向性の対話（問いかけ）方式で実施し、学生が理解を深めることができるようにする。

到達目標

1	わが国の歯科需給状況と患者の通院行動を概説できる。
2	わが国の歯科保健医療制度を概説できる。
3	チーム歯科医療や多職種連携・協働について説明できる。
4	医療や介護の現場で活躍する職種とその役割について説明できる。
5	国家統計調査および歯科保健統計の概要について説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【面接講義】わが国の歯科の需給状況と患者の通院行動 1) 歯科保健医療の需要量 2) 患者の通院行動 3) 歯科医療機関の状況 4) 歯科保健医療の供給量 5) 歯科医療従事者の状況 （準備学習）歯科衛生士の業務範囲について調べる（30分）
2	【面接講義】歯科衛生士と法律（1）歯科三法 1) 歯科衛生士法の目的と歯科衛生士の業務範囲 2) 歯科医師法の概要 3) 歯科技工士法の概要 （準備学習）医療機関の種類について調べる（30分）
3	【面接講義】歯科衛生士と法律（2）その他の歯科関連法 1) 歯科口腔保健の推進に関する法律の概要 2) 医療法とその範囲 3) 医療機関の種類（診療所、病院） 3) 医療安全の確保 4) 地域保健法の概要 5) 健康増進法とその範囲 6) 市町村実施の保健事業について （準備学習）医療関係職種の業務について調べる（30分）

4	【面接講義】医療関係職種とその業務・法律 1) 看護師と保健師助産師看護師法の概要 2) 臨床検査技師、診療放射線技師の役割と法 3) 言語聴覚士の役割と法 4) 医師の役割と法 5) 薬剤師の役割と法 6) 薬事に関連する法規 7) 保健衛生に関連する法規 8) その他の衛生法規 (準備学習) 多職種連携・協同について調べる (30分)
5	【面接講義】チーム医療と多職種連携・協同 1) 歯科医療機関でのチーム医療 2) 医療の連携・協同、地域連携クリティカルパスとは 3) 地域包括ケアシステムについて 4) 周術期における口腔チェック 5) 全身疾患（糖尿病・心疾患）と口の健康 (準備学習) 疫学研究の方法について調べる (30分)
6	【面接講義】疫学の定義 1) 疫学とは 2) 疫学研究の方法と特徴 3) 横断研究と縦断研究 4) 介入研究 (準備学習) データの尺度について調べる (30分)
7	【面接講義】衛生統計の基礎 1) 母集団と標本抽出 2) スクリーニング検査 3) データの尺度 4) 代表値（平均値、中央値、最頻値、分散、標準偏差） 5) 集計方法（単純集計・クロス集計） 6) 分析方法（相関分析、検定） (準備学習) 人口動態統計について調べる (30分)
8	【面接講義】国家統計調査と歯科保健統計、授業のまとめ 1) 国家統計調査の種類と情報、把握できる事項 2) 歯科保健統計に関する情報 3) 講義の総括・まとめ

成績評価の方法

講義開始時には、前回講義内容についてディスカッション・試問を行う。
学生には、ディスカッション・試問のポイント、および課題に対するアプローチ・考え方の解説により、フィードバックを行う。
形成的評価として科目試験を実施し総合的に評価する。
・ディスカッション・試問…10%
・科目試験……………90%

教科書

歯科衛生学シリーズ「歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み 2 保健・医療・福祉の制度」医歯薬出版（ISBN978-4-263-42623-4）
なお、準備学習（予習）用に毎回資料を配付する。

授業外学修（予習・復習）

講義終了時に、次の講義履修までに準備学修（予習）しておく内容（目安時間：約30分）について資料配布する。また、講義開始時に行ったディスカッション・試問の内容については、講義中に正答を導くポイントを解説し、学生自身で確認・学修する。ディスカッション・試問の復習は30分程度で行うことができる内容とする。

その他

参考資料	「歯科衛生士テキスト 口腔衛生学 第4版」学建書院（ISBN978-4-7624-5177-5） 「歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み 1 保健生態学第3版」医歯薬出版（ISBN978-4-263-42862-7） また、授業中に適宜参考資料を配付する。
受講生への要望等	歯科衛生士の果たすべき役割は、歯科診療所で歯科疾患の予防処置や診療補助に従事することだけではありません。特に、超高齢社会に突入しているわが国では、歯科医療従事者に求められる需要は大きく様変わりしてきています。少々難しい内容を扱う講義ですが、受講生の皆さんが現在そしてこれからの歯科医療の在り方について考えるきっかけとなることが、本講義の意義です。受け身ではなく自ら考える講義として臨んでください。
授業の質問対応、連絡先	質問対応は、在席時に牧野学舎の教員室で対応可能ですが、事前に授業用SNS（melly）で連絡した上で来てもらおうと確実です。また、授業用SNS（melly）でも随時対応します。

社会調査学

更新日：2025/09/29 22:54:07

開講年度	2026	学期	前期	科目コード	206060	授業コード	20102
担当教員	竹田 達生						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科， 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	1
	備考(配当)	必修科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20606	1○ H2◎	1○ E2◎	臨床心理士、公認心理師

授業概要

国民の実態を把握し、施策等に反映していくために社会調査は不可欠である。しかし、インターネットの普及により情報が氾濫している現在において、適切な調査方法・分析に基づく情報ばかりとは限らない。専門家自身が調査法に関する知識を熟知していない場合、患者や利用者に不利益な情報を与える可能性があるがゆえ、正しい知識の習得は専門家として不可欠である。

この科目では社会調査の目的や倫理、方法論などの基本事項を講義形式で習得するとともに、パソコン（主にEXCEL）を使用した演習形式によって調査用紙の作成やデータ整理の仕方、分析法について学習する。また研究や国家試験に必要な最低限の知識についても学習する。

事後学習として、melly上にて配布したデータ等を用いて課題を行い、期日までに提出する。

到達目標

1	社会調査を実施するための基本的事項を理解する
2	社会調査を実施する上での注意事項が説明できる
3	各調査方法の特徴の違いが説明できる
4	調査目的に応じた調査法を選ぶことができる
5	データに即した分析方法を選ぶことができる
6	EXCELで図表を作成することができる
7	EXCELでデータの分析を行うことができる

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	社会調査とは 【講義】 ・社会調査とは ・社会調査の対象と目的 ・社会調査の種類 （予習）身近な社会調査に資料等について調べる（60分） （復習）講義内で出された課題を行う（60分）
2	社会調査における倫理と個人情報保護 【講義】 ・社会調査における倫理とは ・個人情報保護 ・社会調査の実施プロセス ・調査依頼の書き方 （予習）個人情報を取り扱う責任について調べる（60分） （復習）講義内で出された課題を行う（60分）
3	社会調査の方法とアンケート用紙の作成 1 【講義】 ・量的調査と質的調査 ・測定尺度の種類について ・回答法の種類について 【演習】 ・フェイスシートの作り方（Word） （予習）データの種類について調べる（60分） （復習）講義内で出された課題を行う（60分）

4	社会調査の方法とアンケート用紙の作成 2 【講義】 ・ 横断的調査と縦断的調査 ・ 質問紙法 ・ 観察法 ・ 面接法 【演習】 ・ 分析ツールの設定（EXCEL） ・ ピボットテーブルの使い方（EXCEL） （予習） アンケートによる調査方法について調べる（60分） （復習） 講義内で出された課題を行う（60分）
5	量的調査法と量的データの分析（記述統計） 【講義】 ・ 代表値と散布度 ・ 図表の活用方法の読み取り方 【演習】 ・ 基本統計量の算出（EXCEL） （予習） 高等学校で習った統計学について復習しておく（60分） （復習） 講義内で出された課題を行う（60分）
6	量的データの分析（相関） 【講義】 ・ 因果関係と相関関係の違い ・ 相関係数の評価 【演習】 ・ 図表の作成①（EXCEL） （予習） 原因と結果の関係について調べる（60分） （復習） 講義内で出された課題を行う（60分）
7	量的データの分析（差の検定） 【講義】 ・ 統計的仮説検定の手順 ・ 測定尺度の種類と検定方法の選び方 ・ パラメトリック検定とノンパラメトリック検定 ・ t 検定と分散分析 【演習】 ・ 分析ツールを使った分析（EXCEL） （予習） 平均値を指標とした調査について調べる（60分） （復習） 講義内で出された課題を行う（60分）
8	質的調査法 【講義】 ・ 質的研究の特徴 ・ 質的研究法の紹介（KJ法とグラウンデッドセオリー） 【演習】 ・ データのまとめ方（EXCEL） （予習） 質的研究の長所と短所について調べる（60分） （復習） 講義内で出された課題を行う（60分）
9	試験

成績評価の方法

- ・ 課題レポート…40%
- ・ 到達度テスト…60%

授業中に数回レポートを実施する
レポートの解説は随時講義で行う

教科書

各回、merryにて資料を配布する

授業外学修（予習・復習）

【予習】 Word及びExcelの基本的な操作に慣れておくこと（目安時間：約60分）
【復習】 前回の講義内容が次回講義と関係することが多いため、復習として配布プリントを読み返すこと。加えて、merry上で配布したデータを用いてデータ解析を行うこと（目安時間：約60分）

その他

参考資料	社会福祉調査の基礎、杉本敏夫 (監修)、橋本有理子 (編集)、ミネルヴァ書房、2021 ISBN-10 : 4623091600 ISBN-13 : 978-4623091607 ソーシャルワーカーのための社会調査の基礎、米川和、北大路書房、2013 ISBN-10 : 4762827991 ISBN-13 : 978-4762827990 Excelによるアンケート調査の第一歩、辻義人、ナカニシヤ出版、2014 ISBN-10 : 4779508207 ISBN-13 : 978-4779508202 社会福祉調査の基礎、一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟 (編集)、中央法規出版、2021 ISBN-10 : 4762827991 ISBN-13 : 978-4762827990
受講生への要望等	注意事項としてノートパソコン(WordとExcel)とUSBメモリ等を用意しておいてください(必要な場合、適宜指示します)。 携帯電話やスマートフォンの使用は指示がない限り使用禁止です。講義前に電源を切るかマナーモードにしてください。 基礎的な統計の知識が必要となる回もあるため、不安な者は記述統計や確率統計について予め調べておくことをお勧めします。
授業の質問対応、連絡先	講義に関する質問があれば、授業用SNS（melly）にて受付します。回答は次回の講義中に行います。

医療制度 I

更新日：2025/08/15 14:19:50

開講年度	2026	学期	後期	科目コード	206070	授業コード	20203
担当教員	神 光一郎						
備考	アクティブラーニング						
配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	2年	曜日/時限	－	単位	1	
	備考(配当)	必修科目					
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP		科目に関連する実務経験	
20607		1◎ 3○ H1○		1◎ 3○ E1○		歯科医師	

授業概要

本講義は、学生の皆さんが、先進国でも類を見ない国民皆医療保険制度ならびに社会保険制度の仕組みと特徴について、医療制度を取り巻く社会環境要因や生活環境の変化・動向を理解したうえで説明できるようになることを目的として行う。

本講義では、パワーポイント資料や最新のデータ、配付資料等を題材にディスカッションを多用し、学生が歯科医療に携わる医療人として医療制度の仕組み・概念等についての理解を深めることができるようにする。また、学生が将来的な当該制度への関わり方や考え方について考えることができる講義とする。

到達目標

1	わが国の社会保険制度を概説できる。
2	わが国の医療保険制度の仕組みについて説明できる。
3	医療制度を圧迫する要因について概説できる。
4	国民医療費および歯科医療費の現状について説明できる。
5	今後の医療制度の在り方について自身の考えを説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【面接講義・ディスカッション】わが国と世界の医療制度 1) 世界の主要国における医療制度の概要について 2) 国民皆医療保険制度とその意義について (準備学習) 社会経済状況の変化について調べる (30分)
2	【面接講義・ディスカッション】わが国の医療制度を取り巻く現状 1) 人口の減少 2) 少子高齢社会 3) 地域コミュニティの希薄化 4) その他医療制度に影響を及ぼす要因について (準備学習) 社会保険とはなにかについて調べる (30分)
3	【面接講義・ディスカッション】社会保険の中の医療制度 1) 社会保険とは 2) 社会保険制度の種類・概要について (準備学習) 医療保険の種類について調べる (30分)
4	【面接講義・ディスカッション】わが国の医療制度の実際 1) 医療保険制度の概要（仕組み）について 2) 医療保険制度の種類と保険者、被保険者 3) 保険料の負担割合について (準備学習) 医療機関の種類と役割について調べる (30分)
5	【面接講義・ディスカッション】医療機関の種類と役割 1) 医療機関の種類と役割 2) 本学附属病院における歯科診療の実際 3) 地域連携室の役割 4) 口腔診査における歯式 5) 診療録と歯科技工指示書について (準備学習) 国民医療費とはなにかについて調べる (30分)

6	【面接講義・ディスカッション】国民医療費と歯科医療費 1) 保険診療と自費診療 2) 歯科診療報酬制度 3) 国民医療費とは 4) 国民医療費の内訳 5) 歯科医療費とは （準備学習）わが国の医療制度の課題について調べる（30分）
7	【面接講義・ディスカッション】わが国の医療制度の課題 1) 日本の医療政策について 2) 少子高齢社会の影響 3) 医療費の負担増加 4) 病院・診療所の本来の機能とは 5) 国の医療政策への対応 （準備学習）社会保障給付費とはなにかについて調べる（30分）
8	【面接講義・ディスカッション】社会保障給付費について 1) 国の財政・予算の状況 2) 社会保障給付費とは 3) わが国と世界主要国の比較 4) 社会保障給付費で示される数値の意味とは

成績評価の方法

- ・本講義は、一方向性による「知識の伝達授業」だけではなく、学生とのディスカッションを行う。
- ・前回の講義内容について毎回小テストを実施する。その答案は採点の上返却し、次回講義において解説することにより学生にフィードバックする。
- ・講義に際しては、事前に予習課題を与え、その内容について授業中に口頭試問およびディスカッションを行い、その結果を授業の理解度として評価する。
- ・形成的評価は科目試験により行う。
- ・評価比率は以下とする。
 小テストおよびレポート…10%
 講義の理解度……………10%
 科目試験……………80%
 レポート評価はルーブリックにより行う。

教科書

教科書は特に指定しない。授業中に適宜資料を配付し、テキストとして使用する。

授業外学修（予習・復習）

当該科目では、講義終了時に、次回の講義履修までに準備学修（予習）しておく内容（目安時間：約30分）について資料配布する。その内容について口頭試問を行うので、事前に必ず自学自習しておくこと。

その他

参考資料	授業中に適宜資料を配付する。
受講生への要望等	一方通行の講義は可及的に行わず、皆さんの意見をもとにディスカッションを行い、わが国の医療制度についての考えを深めていきたいと考えています。講義中は、積極的にディスカッションに参加してください。
授業の質問対応、連絡先	質問対応は、在席時に牧野学舎の教員室で対応可能ですが、事前に授業用SNS（melly）で連絡した上で来てもらおうと確実です。また、授業用SNS（melly）でも随時対応します。

医療制度Ⅱ

更新日：2025/08/15 14:45:42

開講年度	2026	学期	後期	科目コード	206080	授業コード	40201
担当教員	神 光一郎						
備考	アクティブラーニング						
配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	4年	曜日/時限	－		単位	1
	備考(配当)	必修科目					
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP		科目に関連する実務経験	
20608		1◎ 3○ H1○		1◎ 3○ E1○		歯科医師	

授業概要

本科目では、学生が既に第2学年の「医療制度Ⅰ」で学んだ医療制度の知識に基づき、学生が臨床の現場や歯科技工所で行われている診療の実際について理解を深める。また、歯科医療と深く関わる介護保険制度や生活保護制度、児童虐待防止対策などの社会保障の概要についても理解する。併せて、本科目の実施時期が第4学年後期であることを踏まえ、本講義内容の知識・理解度が学士試験ならびに国家試験の合格に繋がるレベルに到達することを目途とする。

本講義では教員からの一方通行の知識習得のための講義ではなく、学生が各項目ごとに主体的に課題や問題に取り組む講義とする。

到達目標

1	わが国の医療制度を説明できる。
2	診療報酬の仕組みを説明できる。
3	歯科医療と関わる社会保障制度について概説できる。
4	歯科診療報酬点数について概説できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【双方向性・参加型面接講義】わが国の社会保険制度 1 1) 社会保険制度 2) 保険診療の流れ 3) わが国の医療保険の特徴 4) わが国の医療保険の種類
2	【双方向性・参加型面接講義】わが国の社会保険制度 2 1) 年金保険 2) 雇用保険 3) 労働者災害補償保険 (準備学習) 介護保険制度について調べる (30分)
3	【双方向性・参加型面接講義】介護保険制度について 1) 介護保険の保険者・被保険者 2) 介護保険制度の概要 3) 介護保険と口腔衛生関連サービス 4) 介護保険施設
4	【双方向性・参加型面接講義】生活保護制度、児童虐待 1) 公的扶助とは 2) 生活保護の現状 3) 児童虐待の現状 4) 児童虐待への対応、防止の取組み (準備学習) 医療従事者数と医療施設数について調べる (30分)
5	【双方向性・参加型面接講義】医療の現況、国民医療費 1) 医療従事者数、医療施設数 2) 国民医療費 3) 歯科医療費

6	【双方向性・参加型面接講義】歯科医療管理 1) 臨床（診療）管理 2) 歯科医療とコンプライアンス 3) POSとは 4) 医療情報の取扱い 5) 歯科医療における安全管理 （準備学習）社会保障給付費について調べる（30分）
7	【面接講義・確認テスト】社会保障給付費と地域保健の新たな概念 1) 財政と予算 2) 社会保障給付費とは 3) 地域保健の新たな概念（ヘルスプロモーション、ソーシャルキャピタル、ノーマライゼーション） 4) 確認テスト
8	【面接講義・確認テスト】歯科診療報酬制度 1) 保険診療の概念 2) 歯科診療報酬について 3) 歯科点数表の特徴 4) 歯科診療報酬の算定単位 5) 確認テスト

成績評価の方法

毎講義の最初に、前回の講義に関する確認テスト（目安時間：30分）を行い、授業の理解度（復習度）を評価する。その後テスト内容の解説を行う（目安時間：40分）。解答は採点およびコメントを付与し返却し、学生に復習の材料としてフィードバックする。

評価比率は以下とし、別途科目試験は行わない。

- ・確認テスト：授業の理解度（復習度）…80%
- ・授業態度（ルーブリックに基づく）……20%

教科書

本講義では、毎回課題を与え、その解説資料を適宜配付するため、特定の使用テキストはない。

授業外学修（予習・復習）

本講義では事前に予習課題を与えるので、本講義を受講する際には必ず予習（目安時間：約30分）して臨み、解答が間違った箇所・内容については復習（目安時間：約30分）を怠らず行うこと。

また、本科目の評価は、講義内で行うテスト等により行い科目試験は行わないので、講義をしっかりと聞くこと。

その他

参考資料	教科書は特に指定しない。講義中に適宜資料を配付する。
受講生への要望等	本講義は第4学年後期に実施されるので、学士試験や国家試験を念頭に置いた双方向性・参加型形式とし、学生の皆さんをサポートできるような講義内容にしたいと考えています。指定された範囲・内容の予習と、課題問題の解答・解説後の復習を必ず行ってください。
授業の質問対応、連絡先	質問対応は、在席時に牧野学舎の教員室で対応可能ですが、事前に授業用SNS（melly）で連絡した上で来てもらおうと確実に。また、授業用SNS（melly）でも随時対応します。

社会保障論Ⅰ

更新日：2025/09/14 18:05:19

開講年度	2026	学期	前期	科目コード	206090	授業コード	10111
担当教員	岸本 貴士						
備考							
配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)	必修科目					
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP		科目に関連する実務経験	
20609		1○ 3◎ H2○		1○ 3◎ E2○		社会福祉士	

授業概要

社会保障とは、一人ひとりの人間が、健康で文化的な生活を送ることができるように、疾病、失業、死亡、老齢、障害、出産、多子など、人間が出くわすであろう問題について、個人や家族ではなく、「社会の責任」で解決するための制度である。社会保障（制度）の本質・概要・課題について具体的に理解するために、本授業では、社会保障の基本原理（生活問題の理解、社会保障の理念の変遷、人権と社会保障ほか）を整理したうえで、各種制度（公的医療保険、高齢者福祉と介護保険、労働、年金、生活保護、子ども家庭福祉、障がい者福祉など）を概観する。諸外国の社会保障や社会福祉専門職に資する個別課題（性的マイノリティ支援ほか）も紹介する。

到達目標

1	社会保障（制度）の本質・概要・課題について把握できる。
2	社会保障の諸課題を自らの日常生活の中に見出して理解できる。
3	社会保障の諸課題の解決に向けた方法等について具体的に考えることができる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	15			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】オリエンテーション、社会保障とは何か（概念、源流と役割） 社会保障の概念、源流と役割について整理する。特に「人権と社会保障」への視座を検討し、諸外国での社会保障制度や昨今の社会保障をめぐる諸問題について認識を深める。 1) 生活問題について 2) 諸外国の社会保障の源流 3) 社会保障の役割と機能 4) 基本的人権と社会保障 5) 社会保障理念の変遷 （到達目標） ◎社会保障の概念、源流と役割を理解する ・生活問題について説明ができる ・社会保障の基本原理について説明できる ・「人権と社会保障」について理解できる・社会保障と生活問題の関係が理解できる
2	【講義】社会保障のあゆみ 前回に引き続き、社会保障の概念、源流と役割について整理する。特に「人権と社会保障」への視座を検討し、諸外国での社会保障制度や昨今の社会保障をめぐる諸問題について認識を深める。 1) 前回のおさらい 2) 社会保障・社会福祉の歴史の概観 3) イギリス・ドイツの社会保障の歴史的特質 4) 第2次世界大戦後の社会保障の発展 5) 「人権」と「思いやり」について 6) 田中芳樹『銀河英雄伝説』から民主主義や人権を検討する① （到達目標） ◎社会保障の概念、源流と役割を理解する ・社会保障・社会福祉の歴史について理解できる ・「人権」と「思いやり」の違いを区別できる ・「人権と社会保障」について理解できる・社会保障と生活問題の関係が理解できる

3	【講義】社会保障の制度体系 前回に引き続き、社会保障の概念、源流と役割について整理する。特に「人権と社会保障」への視座を検討し、諸外国での社会保障制度や昨今の社会保障をめぐる諸問題について認識を深める。 1) 社会保障の体系 2) 社会保険・社会扶助 3) 日本における社会保障体系 4) 社会保障に関する課題 5) 昨今の社会保障をめぐる情勢 6) 田中芳樹『銀河英雄伝説』から民主主義や人権を検討する② (到達目標) ◎社会保障の概念、源流と役割を理解する ・社会保険と社会扶助について説明できる ・昨今の社会保障をめぐる情勢について理解できる ・「人権と社会保障」について理解できる・社会保障と生活問題の関係が理解できる
4	【講義】公的医療保険制度① 公的医療保険制度の概略を整理し、被用者保険や国民健康保険によって今日の国民皆保険体制に至る変遷について概観する。毎年膨大な医療費が必要となっている昨今の公的医療保険制度をめぐる諸問題についても検討する。 1) 公的医療保険制度とは 2) 被用者保険と国民健康保険 (到達目標) ◎公的医療保険制度の種類を理解する ・公的医療保険制度の概略を説明できる ・被用者保険と国民健康保険について説明できる ・後期高齢者医療制度について説明できる ・公的医療保険制度をめぐる諸問題（財政問題等）について理解できる
5	【講義】公的医療保険制度② 前回講義に引き続き、公的医療保険制度の概略を整理し、被用者保険や国民健康保険によって今日の国民皆保険体制に至る変遷について概観する。毎年膨大な医療費が必要となっている昨今の公的医療保険制度をめぐる諸問題についても検討する。 1) 前回のおさらい 2) 後期高齢者保健制度 3) 公的医療保険制度をめぐる諸問題について (到達目標) ◎公的医療保険制度の種類を理解する ・公的医療保険制度の概略を説明できる ・被用者保険と国民健康保険について説明できる ・後期高齢者医療制度について説明できる ・公的医療保険制度をめぐる諸問題（財政問題等）について理解できる
6	【講義】高齢者福祉と介護保険制度① 高齢者福祉の変遷等について考察する。「措置から契約へ」「介護の社会化」をめざした介護保険制度導入の背景やその後を概観しながら、社会福祉制度全体へのインパクトや高齢者福祉をめぐる諸問題について整理する。 1) 介護保険制度の概略について 2) 介護保険制度導入の変遷について 3) 介護保険制度と他の制度との関連 4) 高齢者福祉と介護保険の諸課題について (到達目標) ◎高齢者をめぐる法制度を理解する ・介護保険制度の概略を説明できる ・介護保険制度導入の変遷について理解できる ・高齢者福祉と介護保険の諸問題について理解できる
7	【講義】高齢者福祉と介護保険制度② 前回講義に引き続き、介護保険制度導入からの変遷等について考察する。「措置から契約へ」「介護の社会化」をめざした介護保険制度導入の背景やその後を概観しながら、社会福祉制度全体へのインパクトや高齢者福祉をめぐる諸問題について整理する。 1) 前回のおさらい 2) 介護保険制度と他の制度との関連 3) 高齢者福祉と介護保険の諸課題について (到達目標) ◎高齢者をめぐる法制度を理解する ・介護保険制度の概略を説明できる ・介護保険制度導入の変遷について理解できる ・高齢者福祉と介護保険の諸問題について理解できる

8	【講義】生活困窮者支援制度と生活保護① 生活保護制度の概略について考察する。公的扶助の発展過程を考えながら、「健康で文化的な最低限度の生活」と「自立」をめぐる諸問題についても検討する。 1) 生活保護制度とは 2) 公的扶助の発展過程 3) 生活保護の基本原則と基本原則 4) 生活保護をめぐる諸問題について (到達目標) ・生活保護制度について説明できる ・公的扶助の発展過程について理解できる ・生活保護の基本原則と基本原則を理解できる
9	【講義】生活困窮者支援制度と生活保護② 生活保護制度の概要を踏まえた上で、生活困窮者自立支援制度について考察する。生活困窮者自立支援制度の概要をおさえながら「健康で文化的な最低限度の生活」と「自立」をめぐる諸問題についても検討する。 1) 前回のおさらい 2) 生活困窮者自立支援制度について 3) 「自立」をめぐる論点について 4) 生活保護をめぐる諸問題について (到達目標) ・生活保護制度について説明できる ・生活保護の基本原則と基本原則を理解できる ・生活困窮者自立支援制度について理解できる
10	【講義】労働問題と労災保険・雇用保険① 社会に出て「働く」と、さまざまな法制度で労働者は守られる。ここでは労働者を守る法制度とともに、労災保険、雇用保険の概略について考察する。昨今のワークライフバランスについても考えていく。 1) 労働者を守る法制度について 2) 労災保険とは 3) 労働をめぐる諸問題について (到達目標) ◎労働問題と関連する法制度を理解する ・労災保険について説明できる ・労働者を守る法制度や労働・雇用をめぐる諸問題を理解できる
11	【講義】労働問題と労災保険・雇用保険② 社会に出て「働く」と、さまざまな法制度で労働者は守られる。ここでは労働者を守る法制度とともに、労災保険、雇用保険の概略について考察する。昨今のワークライフバランスについても考えていく。 1) 前回のおさらい 2) 雇用保険とは 3) 労働や雇用をめぐる諸問題について (到達目標) ◎労働問題と関連する法制度を理解する ・雇用保険について説明できる ・労働者を守る法制度や労働・雇用をめぐる諸問題を理解できる
12	【講義】年金制度 年金制度の概略・変遷を考察する。昨今の老後破産や下流老人に代表される「老後生活と年金」めぐる諸問題を概観し高齢者の生活問題についての認識も深める。 1) 「老後生活と年金」に関する諸問題について 2) 年金制度について 3) 高齢者の生活保障について (到達目標) ◎年金制度の体系を理解する ・年金制度の概略を説明できる ・高齢者の生活保障に向けた問題等について理解できる

13	【講義】障がい者福祉 障がい者福祉制度について考察する。障がい者福祉思想と法体系への理解とともに、障がい者の生活保障の視座から今日の障がい者福祉の諸問題について整理する。 1) 障がい者福祉とは 2) 障がい者福祉の思想と法体系 3) 高齢者・障がい者の生活保障について (到達目標) ◎障がい者福祉の体系を理解する ・障がい者福祉の概略を説明できる ・高齢者・障がい者の生活保障に向けた問題等について理解できる
14	【講義】子ども・家庭福祉 子どもや家庭をめぐる諸制度について考察する。保育、社会的養護、子育て支援、就学援助等の諸制度の理解とともに、子どもの貧困問題は、「大人の貧困が根底にある」との視座について検討する。 1) 子ども・家庭をめぐる状況について 2) 保育、児童相談所、社会的養護について 3) 子育て支援・就学援助について 4) 子どもの貧困と「大人の貧困」 (到達目標) ◎子ども福祉をめぐる法制度を理解する ・子ども家庭をめぐる状況について理解できる ・子ども家庭福祉をめぐる諸制度について説明できる ・子どもの貧困について理解できる
15	【講義】社会保障と医療・社会福祉専門職 これまでの社会保障諸制度についての振り返りを行いながら、医療・社会福祉専門職として生活問題をどうとらえどう問題解決に向けた動きができるのか検討する。また個別課題（性的マイノリティ支援等）を例にしながらソーシャルアクションについての認識を深めていく。 1) 社会保障諸制度の振り返り 2) 生活問題の解決に向けた視座について 3) 「制度のはざま」問題について 4) ソーシャルアクションと人権・社会保障について ◎医療・社会福祉専門職として社会保障への視座を理解する ・生活問題の解決への視座について理解できる ・人権への視座とソーシャルアクションの必要性について理解できる

成績評価の方法

- ・科目試験……………70%
- ・授業態度……………10%（毎回授業後にミニツツペーパーを提出、次回授業で教員コメントでフィードバック）
- ・課題レポート…20%（課題レポートについては課題提出後の授業にてコメントを行う）

教科書

村田隆史、曾我千春、長友薫輝編著（2024）『基礎から考える社会保障：私たちの生活を支える制度と仕組み』自治体研究社

授業外学修（予習・復習）

- ・レポートの書き方やノートの取り方について事前に理解しておくこと（解説書があるので読むなどで対応）
- ・該当する教科書の章をあらかじめ読み、授業後はノートを見直すこと（授業日に1時間）
- ・新聞やニュース等にある社会保障・社会福祉にかかわる記事等をまとめておくこと（毎日20分程度）
- ・授業中に、全授業にかかわるレポートのテーマを指定するので、指定された期日までに1200字程度でまとめること（目安：約60分）

その他

参考資料	松沢裕作（2018）『生きづらい明治社会―不安と競争の時代』岩波ジュニア新書 名古屋隆彦（2020）『質問する、問い返す―主体的に学ぶということ』岩波ジュニア新書 宇田川幸大（2025）『歴史的に考えること―過去と対話し、未来をつくる』岩波ジュニア新書
受講生への要望等	「社会の構造や仕組みへの探求」をぜひ学生の豊かな感性のある時に取り組んでください。参考資料（参考文献）はみなさんの知的思考を豊かにするツールとなります。それらを土台にしながら授業に取り組んでみてください。私が担当する社会保障は社会に生きるすべての人に関係するもの。また医療専門職に不可欠な知識です。社会保障を自分のこととしてどう捉えられるか、ぜひ知的好奇心を持って授業にのぞんでほしいと願っています。
授業の質問対応、連絡先	・授業前後で対応 ・授業用SNS「melly」で対応

医療事務学Ⅰ

更新日：2025/09/24 11:32:41

開講年度	2026	学期	前期	科目コード	207010	授業コード	2J101
担当教員	中原 かおる						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	2、3年	曜日/時限	一		単位	1
	備考(配当)	自由選択科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20701	3◎ H1○	3◎ E1○	医療事務講師、レセプト点検員、歯科医療事務管理士取得

授業概要

この科目では、健康保険法や療養担当規則に基づき、医療保険制度の仕組みや、医療機関の顔となる窓口業務の基礎知識について講義形式にて学習する。また歯科診療報酬点数表に基づき、初診料・再診料・検査・歯冠形成や歯冠修復などの診療報酬の算定方法を学ぶ。

到達目標

1	医療保険制度のしくみと医療現場での接遇マナーを修得できる。
2	点数算定の基本を理解でき、初診料、再診料、医学管理料のレセプト作成を修得できる。
3	点数算定の基本を理解でき、投薬・画像診断のレセプト作成を修得できる。
4	点数算定の基本を理解でき、麻酔・検査のレセプト作成を習得できる。
5	点数算定の基本を理解でき、歯冠修復のレセプト作成を修得できる。
6	点数算定の基本を理解でき、初期う蝕・歯髄炎のレセプト作成を修得できる。
7	感染根管の点数算定とカルテの内容が理解でき、レセプト作成を修得できる。
8	歯周疾患の点数算定を理解できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】医療保険制度 ・医療保険制度の概要 ・窓口対応 ・療養担当規則 講義形式にて、上記を解説する。
2	【講義】初診料・再診料・医学管理料（点数算定） 講義形式にて、初診料・再診料・医学管理料の点数算定方法とルールを解説する。
3	【講義】投薬・画像診断（点数算定） 講義形式にて、投薬・画像診断の点数算定方法とルールを解説する。
4	【講義】麻酔・検査（点数算定） 講義形式にて、麻酔・検査の点数算定方法とルールを解説する。
5	【講義】歯冠修復（点数算定） 講義形式にて、歯冠修復の点数算定方法とルールを解説する。
6	【講義】初期う蝕・歯髄炎（点数算定） 講義形式にて、初期う蝕・歯髄炎の点数算定方法とルールを解説する。
7	【講義】感染根管（点数算定） 講義形式にて、感染根管の点数算定方法とルールを解説する。
8	【講義】歯周疾患（点数算定） 講義形式にて、歯周疾患の点数算定方法とルールを解説する。

成績評価の方法

「診療報酬の算定方法」「窓口業務の基本」の理解度をはかる課題レポートを行い、評価する。
評価は、課題レポート60点以上とする。レポートは、解説と点数を記入して返却する。
・小テスト20％
・レポート60％
・授業態度および提出物20％

教科書

- (ニチイ学館歯科教材)
- ・医療保険制度のしくみ
 - ・歯科 診療報酬の算定ルール
 - ・歯科 レセプト点検
 - ・歯科 スタディブック
 - ・歯科 しっかりわかる基礎ドリル（問題編）
 - ・歯科 しっかりわかる基礎ドリル（解答編）

授業外学修（予習・復習）

医療保険制度に興味を持って取り組んでください。
毎回の講義前に診療報酬算定のルールに目を通す、講義後に前回の復習を行ってください。（目安時間：各30分）

その他

参考資料	なし
受講生への要望等	十分な予習・復習を行ってください。必要なもの「電卓・インデックス」初回授業で伝えます。
授業の質問対応、連絡先	質問等については、講義終了後15分まで講義室にて講師が受け付けます。 授業用SNS「melly」の使用も可。

医療事務学Ⅱ

更新日：2025/09/24 11:35:25

開講年度	2026	学期	後期	科目コード	207020	授業コード	2J201
担当教員	中原　かおる						
備考							
配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科，　大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	2、3年	曜日/時限	－		単位	1
	備考(配当)						
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP		科目に関連する実務経験	
20702		3◎　H1○		3◎　E1○		医療事務講師、レセプト点検員、歯科 医療事務管理士取得	

授業概要

この科目では、まず診療の流れに沿って歯周病、ブリッジ・義歯等について、診療報酬の算定から診療報酬明細書（レセプト）の点検方法を講義形式にて学習する。次に今までの総まとめとして、「医療事務学Ⅰ」で学習した知識を活用し、コンピュータで作成された診療報酬明細書の点検問題に取り組む。これはカルテに記載された内容を基に、誤って入力されたレセプトの点検問題に取り組むものである。本講義は実際の「技能審査試験」の対策に役立つ講義内容であり、診療報酬請求業務や患者接遇等、医療現場のニーズを重視した内容でもあるため、資格取得も目指すことが可能である。

到達目標

1	欠損補綴の点数算定とカルテの内容が理解でき、レセプト作成を修得できる。
2	点数算定とカルテの内容が理解でき、歯科の診療報酬明細書を点検することができる。
3	点数算定とカルテの内容が理解でき、歯科の診療報酬明細書を点検することができる。
4	点数算定とカルテの内容が理解でき、歯科の診療報酬明細書を点検することができる。
5	点数算定とカルテの内容が理解でき、歯科の診療報酬明細書を点検することができる。
6	点数算定とカルテの内容が理解でき、歯科の診療報酬明細書を点検することができる。
7	医療事務技能審査試験の模擬問題（実技Ⅰ・学科）を実践し、診療報酬請求業務の仕事を理解できる。
8	医療事務技能審査試験の模擬問題（実技Ⅱ）を実践し、診療報酬請求業務の仕事を理解できる。
9	医療事務技能審査試験の模擬問題を実践し、診療報酬請求業務の仕事を理解できる。
10	医療事務技能審査試験の模擬問題を実践し、診療報酬請求業務の仕事を理解できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】欠損補綴（点数算定） 講義形式にて、欠損補綴の点数算定方法とルールを解説する。
2	【講義】明細書点検問題（レセプト点検）① カルテとレセプトの点検問題に取り組む。点検後、講義形式にて点数算定方法とルールを解説する。
3	【講義】明細書点検問題（レセプト点検）② カルテとレセプトの点検問題に取り組む。点検後、講義形式にて点数算定方法とルールを解説する。
4	【講義】明細書点検問題（レセプト点検）③ カルテとレセプトの点検問題に取り組む。点検後、講義形式にて点数算定方法とルールを解説する。
5	【講義】明細書点検問題（レセプト点検）④ カルテとレセプトの点検問題に取り組む。点検後、講義形式にて点数算定方法とルールを解説する。
6	【講義】明細書点検問題（レセプト点検）⑤ カルテとレセプトの点検問題に取り組む。点検後、講義形式にて点数算定方法とルールを解説する。
7	【講義】医療保険制度と点数の知識（学科）・患者対応（実技Ⅰ）の試験対策 医療事務技能審査試験の受験対策として、模擬問題に取り組む。講義形式にて解説する。
8	【講義】レセプト作成と点検（実技Ⅱ）の試験対策 医療事務技能審査試験の受験対策として、模擬問題に取り組む。講義形式にて解説する。
9	【補講1・講義】医療保険制度と点数の知識（学科）の試験対策 医療事務技能審査試験の対策として、模擬問題に取り組む。講義形式にて解説する。
10	【補講2・講義】患者対応（実技Ⅰ）・レセプト作成と点検（実技Ⅱ）の試験対策 医療事務技能審査試験の対策として、模擬問題に取り組む。講義形式にて解説する。

成績評価の方法

「診療報酬の算定方法」「明細書点検問題」「明細書作成問題」の理解度をはかる課題レポートを行い、評価する。
評価は、課題レポート60点以上とする。レポートは、解説と点数を記入して返却する。

- ・小テスト20%
- ・レポート60%
- ・授業態度および提出物20%

教科書

- （ニチイ学館歯科教材）
- ・医療保険制度のしくみ
- ・歯科 診療報酬の算定ルール
- ・歯科 レセプト点検
- ・歯科 スタディブック
- ・歯科 しっかりわかる基礎ドリル（問題編）
- ・歯科 しっかりわかる基礎ドリル（解答編）

授業外学修（予習・復習）

医療保険制度に興味を持って取り組んでください。
毎回の講義前に診療報酬算定のルールに目を通す、講義前に前回の復習を行ってください。（目安時間：各30分）

その他

参考資料	なし
受講生への要望等	十分な予習・復習を行ってください。 必要なもの「電卓・インデックス」初回授業で伝えます。
授業の質問対応、連絡先	質問等に関しては、講義終了後15分まで講義室にて講師が受け付けます。 授業用SNS「melly」も使用可。

社会福祉論Ⅱ

更新日：2025/12/23 11:46:27

開講年度	2026	学期	後期	科目コード	208010	授業コード	1F201
担当教員	武輪 敬心						
備考							
配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	1年	曜日/時限	—		単位	2
	備考(配当)	自由選択科目					
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP		科目に関連する実務経験	
20801		3◎ H2○		3◎ E2○		社会福祉士	

授業概要

現代社会における社会課題について、その内容や背景について学ぶ。また社会福祉の歴史や社会福祉の理論について概観し、さらに社会福祉施策と関連施策（教育政策、住宅政策、労働政策など）の関係について、講義を通して理解する。

到達目標

1	社会福祉の原理をめぐる思想と哲学が理解できる
2	福祉政策の動向と課題を踏まえたうえで、関連施策や包括的支援について理解できる
3	社会福祉の歴史的展開の過程と社会福祉の理論を踏まえ、欧米との比較によって日本の社会福祉の特性が理解できる
4	福祉政策の国際比較の視点から、日本の福祉政策の特性について理解できる

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	15			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】社会福祉の原理 社会福祉の原理を学ぶ視点を理解する。
2	【講義】現代における社会問題 貧困、孤立、失業、要援護性、偏見と差別、社会的排除、依存症、自殺等の社会問題について学ぶ。
3	【講義】社会問題における構造的背景 低成長経済、グローバル化、少子高齢化、人口減少社会、格差、貧困、社会意識・価値観の変化について学ぶ。
4	【講義】社会福祉の歴史① 日本の社会福祉の歴史的展開（明治から戦後）を学ぶ。
5	【講義】社会福祉の歴史② 日本の社会福祉の歴史的展開（日本国憲法制定から現在）学ぶ。
6	【講義】社会福祉の歴史③ 世界の社会福祉の歴史的展開を学ぶ。
7	【講義】社会福祉の理論① 政策論、固有論について学ぶ。
8	【講義】社会福祉の理論② 運動論、システム論について学ぶ。
9	【講義】福祉政策の基本的な視点 福祉政策の概念と理念について学ぶ。
10	【講義】福祉政策の構成要素と過程 福祉政策の構成要素の役割と機能と福祉政策過程について学ぶ。
11	【講義】福祉政策におけるニーズと資源 種類と内容、把握方法、開発方法について学ぶ。
12	【講義】福祉政策と関連政策① 保健医療政策、教育政策、住宅政策について学ぶ。
13	【講義】福祉政策と関連政策② 労働政策、経済政策について学ぶ。
14	【講義】社会福祉の国際比較 「福祉後進国」と「福祉先進国」について学ぶ。 さらに、視聴覚教材もしくはゲストスピーカーによる講義から、日本における社会福祉の実際を学ぶ。
15	【講義】社会福祉論Ⅱのまとめ 今後の社会福祉について展望する。

成績評価の方法

- ・レポート 50%
- ・試験 50%

レポートについて、授業内でフィードバックする。

教科書

大久保秀子（2025）『新・社会福祉とは何か 第5版』中央法規（ISBN：978-4-8243-0307-3）

授業外学修（予習・復習）

- ・健康と生活に関するニュースに注目し、自分なりの考えをまとめる（毎日10～20分程度）。
- ・授業後にはテキストとノートを見直し復習する（60～90分程度）。

その他

参考資料	與那嶺司、渡辺裕一、永野咲編著（2023）『基礎ゼミ 社会福祉学』世界思想社 丸山里美（2021）『女性ホームレスとして生きる〔増補新装版〕一貧困と排除の社会学』世界思想社 吉永純ほか（2019）『無料低額診療事業のすべて』クリエイツかもがわ 丸山里美（2018）『貧困問題の新地平』旬報社 生田武志ほか（2018）『当たり前前の生活ってなんやねん?!』日本機関紙出版センター 小杉礼子ほか（2015）『下層化する女性たち』勁草社 生田武志（2009）『貧困を考えよう』岩波ジュニア新書 水島宏明（1994）『母さんが死んだ』現代教養文庫 この他、授業で随時紹介する。
受講生への要望等	基本的には講義形式だが、適宜ディスカッションを取り入れる。積極的に参加すること。
授業の質問対応、連絡先	原則、授業時間内で対応する。授業外は、mellyで質問を受けつける。対面を希望する場合は、mellyでアポイントを取ることを。

社会保障論Ⅱ

更新日：2025/09/14 18:17:33

開講年度	2026	学期	前期	科目コード	208020	授業コード	4F102
担当教員	岸本 貴士						
備考							
配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	4年	曜日/時限	－		単位	2
	備考(配当)	自由選択科目					
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP		科目に関連する実務経験	
		1○ 3○ H2◎		1○ 3○ E2◎		社会福祉士	

授業概要

社会保障論Ⅰを踏まえた上で、社会保障の基本原則（生活問題の理解、社会保障の理念の変遷、人権と社会保障ほか）を改めて整理したうえで、各種制度（公的医療保険、高齢者福祉と介護保険、労働、年金、生活保護、子ども家庭福祉、障がい者福祉など）を概観する。また、教科書とする新書を読み、ディスカッションを通して社会保障の諸問題を整理する。また社会福祉士国家試験にも求められる知識や対応力を身につけていく。

到達目標

1	日本の社会保障制度が直面している諸課題を整理することができる。
2	社会保障の諸課題を自らの日常生活の中に見出して理解することができる。
3	社会保障の諸課題の解決に向けた方法等について具体的に考えることができる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	15			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】社会保障の基本原則 社会保障論Ⅰで学んだことの振り返りを行いながら、改めて社会保障の基本原則について整理する。特に「人権と社会保障」への視座を検討し、諸外国での社会保障制度や昨今の社会保障をめぐる諸問題について認識を深める。 1) 生活問題について 2) 社会保障の考え方の変遷 3) 人権と社会保障 4) 昨今の社会保障をめぐる情勢 （到達目標） ◎社会保障の基本原則を理解する ・生活問題について説明ができる ・社会保障の基本原則について説明できる ・「人権と社会保障」について理解できる
2	【講義】公的医療保険制度① 公的医療保険制度の概略を整理し、被用者保険や国民健康保険によって今日の国民皆保険体制に至る変遷について概観する。毎年膨大な医療費が必要となっている昨今の公的医療保険制度をめぐる諸問題についても検討する。 1) 公的医療保険制度とは 2) 被用者保険と国民健康保険 （到達目標） ◎公的医療保険制度の種類を理解する ・公的医療保険制度の概略を説明できる ・被用者保険と国民健康保険について説明できる ・後期高齢者医療制度について説明できる ・公的医療保険制度をめぐる諸問題（財政問題等）について理解できる

3	【講義】 公的医療保険制度② 前回講義に引き続き、公的医療保険制度の概略を整理し、被用者保険や国民健康保険によって今日の国民皆保険体制に至る変遷について概観する。 毎年膨大な医療費が必要となっている昨今の公的医療保険制度をめぐる諸問題についても検討する。 1) 前回のおさらい 2) 後期高齢者保健制度 3) 公的医療保険制度をめぐる諸問題について (到達目標) ◎公的医療保険制度の種類を理解する ・公的医療保険制度の概略を説明できる ・被用者保険と国民健康保険について説明できる ・後期高齢者医療制度について説明できる ・公的医療保険制度をめぐる諸問題（財政問題等）について理解できる
4	【講義】 高齢者福祉と介護保険制度① 高齢者福祉の変遷等について考察する。「措置から契約へ」「介護の社会化」をめざした介護保険制度導入の背景やその後を概観しながら、社会福祉制度全体へのインパクトや高齢者福祉をめぐる諸問題について整理する。 1) 介護保険制度の概略について 2) 介護保険制度導入の変遷について 3) 介護保険制度と他の制度との関連 4) 高齢者福祉と介護保険の諸問題について (到達目標) ◎高齢者をめぐる法制度を理解する ・介護保険制度の概略を説明できる ・介護保険制度導入の変遷について理解できる ・高齢者福祉と介護保険の諸問題について理解できる
5	【講義】 高齢者福祉と介護保険制度② 前回講義に引き続き、介護保険制度導入からの変遷等について考察する。「措置から契約へ」「介護の社会化」をめざした介護保険制度導入の背景やその後を概観しながら、社会福祉制度全体へのインパクトや高齢者福祉をめぐる諸問題について整理する。 1) 前回のおさらい 2) 介護保険制度と他の制度との関連 3) 高齢者福祉と介護保険の諸問題について (到達目標) ◎高齢者をめぐる法制度を理解する ・介護保険制度の概略を説明できる ・介護保険制度導入の変遷について理解できる ・高齢者福祉と介護保険の諸問題について理解できる
6	【講義】 生活困窮者支援制度と生活保護① 生活保護制度の概略について考察する。公的扶助の発展過程を考えながら、「健康で文化的な最低限度の生活」と「自立」をめぐる諸問題についても検討する。 1) 生活保護制度とは 2) 公的扶助の発展過程 3) 生活保護の基本原則と基本原則 4) 生活保護をめぐる諸問題について (到達目標) ・生活保護制度について説明できる ・公的扶助の発展過程について理解できる ・生活保護の基本原則と基本原則を理解できる
7	【講義】 生活困窮者支援制度と生活保護② 生活保護制度の概要を踏まえた上で、生活困窮者自立支援制度について考察する。生活困窮者自立支援制度の概要をおさえながら「健康で文化的な最低限度の生活」と「自立」をめぐる諸問題についても検討する。 1) 前回のおさらい 2) 生活困窮者自立支援制度について 3) 「自立」をめぐる論点について 4) 生活保護をめぐる諸問題について (到達目標) ・生活保護制度について説明できる ・生活保護の基本原則と基本原則を理解できる ・生活困窮者自立支援制度について理解できる

8	【講義】労働問題と労災保険・雇用保険① 社会に出て「働く」と、さまざまな法制度で労働者は守られる。ここでは労働者を守る法制度とともに、労災保険、雇用保険の概略について考察する。昨今のワークライフバランスについても考えていく。 1) 労働者を守る法制度について 2) 労災保険とは 4) 労働をめぐる諸問題について (到達目標) ◎労働問題と関連する法制度を理解する ・労災保険について説明できる ・労働者を守る法制度や労働・雇用をめぐる諸問題を理解できる
9	【講義】労働問題と労災保険・雇用保険② 社会に出て「働く」と、さまざまな法制度で労働者は守られる。ここでは労働者を守る法制度とともに、労災保険、雇用保険の概略について考察する。昨今のワークライフバランスについても考えていく。 1) 前回のおさらい 2) 雇用保険とは 4) 労働や雇用をめぐる諸問題について (到達目標) ◎労働問題と関連する法制度を理解する ・雇用保険について説明できる ・労働者を守る法制度や労働・雇用をめぐる諸問題を理解できる
10	【講義】年金制度 年金制度の概略・変遷を考察する。昨今の老後破産や下流老人に代表される「老後生活と年金」めぐる諸問題を概観し高齢者の生活問題についての認識も深める。 1) 「老後生活と年金」に関する諸問題について 2) 年金制度について 3) 高齢者の生活保障について (到達目標) ◎年金制度の体系を理解する ・年金制度の概略を説明できる ・高齢者の生活保障に向けた問題等について理解できる
11	【講義】障がい者福祉 障がい者福祉制度について考察する。障がい者福祉思想と法体系への理解とともに、障がい者の生活保障の視座から今日の障がい者福祉の諸問題について整理する。 1) 障がい者福祉とは 2) 障がい者福祉の思想と法体系 3) 高齢者・障がい者の生活保障について (到達目標) ◎障がい者福祉の体系を理解する ・障がい者福祉の概略を説明できる ・高齢者・障がい者の生活保障に向けた問題等について理解できる
12	【講義】子ども・家庭福祉① 子どもや家庭をめぐる諸制度について考察する。保育、社会的養護、子育て支援、就学援助等の諸制度の理解とともに、子どもの貧困問題は、「大人の貧困が根底にある」との視座について検討する。 1) 子ども・家庭をめぐる状況について 2) 保育、児童相談所、社会的養護について (到達目標) ◎子ども福祉をめぐる法制度を理解する ・子ども家庭をめぐる状況について理解できる ・子ども家庭福祉をめぐる諸制度について説明できる ・子どもの貧困について理解できる

13	【講義】子ども・家庭福祉② 前回に引き続き、子どもや家庭をめぐる諸制度について考察する。保育、社会的養護、子育て支援、就学援助等の諸制度の理解とともに、子どもの貧困問題は、「大人の貧困が根底にある」との視座について検討する。 1) 前回のおさらい 2) 子育て支援・就学援助について 3) 子どもの貧困と「大人の貧困」 (到達目標) ◎子ども福祉をめぐる法制度を理解する ・子ども家庭をめぐる状況について理解できる ・子ども家庭福祉をめぐる諸制度について説明できる ・子どもの貧困について理解できる
14	【講義】社会保障と社会福祉専門職① これまでの社会保障諸制度についての振り返りを行いながら、社会福祉専門職として生活問題をどうとらえどう問題解決に向けた動きができるのか検討する。また個別課題（性的マイノリティ支援等）を例にしながらソーシャルアクションについての認識を深めていく。 1) 社会保障諸制度の振り返り 2) 生活問題の解決に向けた視座について (到達目標) ◎社会福祉専門職として社会保障への視座を理解する ・社会保障諸制度について説明できる ・生活問題の解決への視座について理解できる
15	【講義】社会保障と社会福祉専門職① 前回講義に引き続き、社会福祉専門職の位置について検討する。社会保障諸制度には「制度のはざま」問題が生じること、さらに個別支援では対処しきれない諸課題も少なくない。人権の視点を持ったアプローチについて理解と実践について検討する。 1) 前回のおさらい 2) 「制度のはざま」問題について 4) 人権とソーシャルアクションと社会保障について (到達目標) ◎社会福祉専門職として社会保障への視座を理解する ・生活問題の解決への視座について理解できる ・人権とソーシャルアクションの必要性について理解できる

成績評価の方法

科目全体にかかる課題レポート50％
ディスカッションや課題レポート報告などの授業態度及び参画50％
科目全体にかかる課題レポートについては学生の授業発表時にコメントを行う。

教科書

- ・日本ソーシャルワーク教育連盟編（2025）『社会保障 第2版』中央法規出版
- ・宇田川幸大（2025）『歴史的に考えること 過去と対話し、未来をつくる』岩波ジュニア新書
- ・毎回授業でプリント配布する。

授業外学修（予習・復習）

- ・レポートの書き方やノートの取り方について事前に理解しておくこと（解説書があるので読むなどで対応）
- ・該当する教科書の章をあらかじめ読み、授業後はノートを見直すこと（授業日に1時間）
- ・新聞やニュース等にある社会保障・社会福祉にかかわる記事等をまとめておくこと（毎日20分程度）
- ・教科書に指定した新書についてディスカッションをするので要約や「なぜこう思うのか」等の意見をまとめておく、など（授業日に30分程度）。

その他

参考資料	・松沢裕作（2018）『生きづらい明治社会―不安と競争の時代』岩波ジュニア新書 ・名古屋隆彦（2020）『質問する、問い返す―主体的に学ぶということ』岩波ジュニア新書 ・日本医療総合研究所（2022）『コロナ禍で見えた保健・医療・介護の今後 新自由主義をこえて』新日本出版社 ・村田隆史、曾我千春、長友薫輝編著（2024）『基礎から考える社会保障：私たちの生活を支える制度と仕組み』自治体研究社 ・井手英策（2025）『令和ファシズム論―極端へと逃走するこの国で』筑摩書房 その他、授業内で随時提示する。
受講生への要望等	社会保障は社会に生きるすべての人に関係するもの。「自分のこと」としてどう捉えられるか、ぜひ知的好奇心を持って授業にのぞんでほしい。
授業の質問対応、連絡先	・授業前後で対応 ・授業用SNS「melly」で対応

社会福祉調査学

更新日：2025/09/29 14:15:06

開講年度	2026	学期	前期	科目コード	208030	授業コード	4F103
担当教員	高井 裕二						
備考							
配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	4年	曜日/時限	－	単位	1	
	備考(配当)	自由選択科目					
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP		科目に関連する実務経験	
20802		3〇 H2◎		3〇 E2◎		社会福祉士	

授業概要

【授業目的】
社会福祉調査の目的や種類（量的調査及び質的調査の方法を含む）を具体的に学習することを通して、社会福祉調査の実施に必要な知識と倫理観について理解する。

【授業内容】
社会調査の量的調査方法を復習し、そのうえで質的調査方法の概要を学ぶ。また、社会調査を実施する際のリサーチマインド、倫理と個人情報保護について学ぶ。すべて講義形式で行うが、適宜、グループディスカッションを授業内に行う。

到達目標

1	社会福祉調査の目的と意義を理解できる。
2	社会福祉調査における量的調査の種類、方法とその意義を理解できる。
3	社会福祉調査における質的調査の種類、方法とその意義を理解できる。
4	調査時に不可欠な個人情報保護の内容と方法を理解することができる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】社会福祉調査の意義と目的 社会調査とは何か、意義と目的について理解する。また、調査をする際のリサーチマインドについて学ぶ。
2	【講義】社会調査の歴史と変遷 近代以前、近代以後の欧米と日本の社会福祉調査の変遷をもとに、社会調査の側面について学ぶ。
3	【講義】統計法、社会福祉調査における倫理と個人情報保護 統計法の意義、改正のポイント、基幹統計と一般統計について概説する。また、社会福祉調査を実施する際に必要となる倫理的配慮と個人情報の適切な取り扱いについて、事例をもとに理解を深める。
4	【講義】量的調査の意義と目的、質問紙の作成方法と留意点 量的調査の目的、種類と方法について、具体的な事例をもとに概説する。合わせて、質問紙作成時の注意事項、回答方法について演習を通して理解を深める。また、測定と尺度、尺度の信頼性と妥当性について学ぶ。
5	【講義】質問紙の配布と回収、集計と分析 質問紙の配布と回収後の作業について学ぶ。また量的調査の集計と分析について事例やディスカッションを通して理解を深める。
6	【講義】質的研究の意義と目的 質的研究の意義と目的、観察法と面接法について学ぶ。また、個人演習としてインタビューガイドを作成し、その目的について理解を深める。
7	【講義】質的調査のデータ整理と分析 事例研究法、KJ法、GTAといった質的研究のデータ整理と分析方法について理解する。
8	【講義】ソーシャルワークにおける評価、社会福祉調査におけるIT活用 ソーシャルワークにおける評価の対象・観点・方法について学ぶ。また、実査及びデータ作成・分析におけるIT活用について理解を深める。

成績評価の方法

科目試験……………80％
授業中に課す小レポート…20％

授業中で課す小レポートについては、随時講義でフィードバックする。

教科書

資料を適宜配布する。

授業外学修（予習・復習）

普段より新聞、インターネット等の福祉に関わるニュースを注視しておくこと。特に、調査が行われていた場合はその方法、内容、考察をよく読み、授業で学んだことと照らし合わせるようにすること（30分）。

学んだ調査方法が使われている論文を調べ、要点を把握すること(30分)。

その他

参考資料	授業中に随時紹介する。
受講生への要望等	私語はしないこと。双方向の授業を行うため、積極的に授業に参加すること。
授業の質問対応、連絡先	授業終了後、または空き時間に教員室で受け付けます。

心理学Ⅱ

更新日：2026/04/07 11:55:47

開講年度	2026	学期	前期	科目コード	208040	授業コード	3F102
担当教員	武輪 敬心						
備考							
配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	3年	曜日/時限	－		単位	1
	備考(配当)	自由選択科目					
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP		科目に関連する実務経験	
20804		3 ○ H2 ◎		3 ○ E2 ◎		公認心理師	

授業概要

心理学の扱う分野は多岐にわたる。発達・教育から組織、産業など、各年代、集団ごとに特有の心理的課題が存在する。これら多様な分野において、共通して人々の関心を集める課題となる事項に、人間関係がある。

本科目では、心理学Ⅰの学びを踏まえ、日常生活と心の健康について学び、心理学の理論を基礎としたアセスメントと支援の基本を身につける。

到達目標

1	日常生活と心の健康との関係について理解できる
2	心理学の理論を基礎としたアセスメントの方法と支援について理解できる

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【オリエンテーション・講義】オープニング オリエンテーションを行い、心理学Ⅰでの学びをふり返り、本科目の目標を立てる。
2	【講義】心の不適應（同 第4章 第1節） 不適應の理論について学び、ストレス理論やコーピング、燃え尽き症候群、トラウマ、依存症について理解する。
3	【講義】健康生成論（同 第4章 第2節） レジリエンスについて学び、ストレスに対処するための感覚（＝首尾一貫感覚 [SOC]）について理解する。
4	【講義】心理アセスメント（同 第5章 第1節） 心理アセスメントの方法について学び、クライアントが抱えている問題について、心理学的理論に基づく仮説を提供できる（＝事例定式化）ようになる。
5	【講義】心理的支援の基本的技法（同 第5章 第2節） ソーシャルワークにおける心理的支援について学ぶ。支持的精神療法やマイクロカウンセリング、動機づけ面接について学び、理解する。
6	【講義】心理療法におけるアセスメントと介入技法の概要（同 第5章 第3節） 精神分析や認知行動療法、家族療法など、各種心理療法について学び、心理学療法におけるアセスメントと介入技法について理解する。
7	【講義】心理の専門職（同 第5章 第4節） 心理に関わる専門職について学ぶ。
8	【講義・まとめテスト】心理学Ⅱのまとめ 本科目で学んだ内容をふりかえり、理解を深める。また、まとめテストを行う。

成績評価の方法

- ・レポート 50%
- ・まとめテスト 50%

レポートについて、授業内でフィードバックする。

教科書

（一社）日本ソーシャルワーク教育学校連盟編「最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座2 心理学と心理的支援」（2021）中央法規出版（ISBN-10：4805882328）

授業外学修（予習・復習）

- 【予習】授業計画のテーマに対応したテキストの章を読む（60～90分程度）
- 【復習】レジュメやノートを見直して、学習内容の定着を図る（60～90分程度）

その他

参考資料	井上嘉孝編著『図解でわかる 臨床心理学』（2023）中央法規 植田俊幸・竹田伸也著『図解でわかる 心理療法』（2025）中央法規 植田俊幸・田村綾子著『図解でわかる 精神疾患とケア』（2022）中央法規 榎本博明著『ライブラリ わかりやすい心理学 5 わかりやすい家族心理学』（2025）サイエンス社 清水寛之・瀧川真也・榎洋一・山本晃輔『ライブラリ 読んでわかる心理学 1 読んでわかる心理学』（2024）サイエンス社 杉原一昭監修 渡邊映子・勝倉孝治編集『はじめて学ぶ人の臨床心理学』（2003）中央法規 八田純子・山本桂子ほか著『ライブラリ 心理学の杜 17 福祉心理学』（2024）サイエンス社 依田麻子編著『テキストライブラリ 心理学のポテンシャル 9 ポテンシャル健康・医療心理学』（2024）サイエンス社 このほか、授業で随時紹介する。
受講生への要望等	基本的には講義形式だが、適宜ディスカッションを取り入れる。積極的に参加すること。
授業の質問対応、連絡先	原則、授業内で対応する。授業外は、mellyで質問を受けつける。対面を希望する場合、mellyでアポイントを取ること。

地域福祉論Ⅰ

更新日：2026/02/19 14:57:53

開講年度	2026	学期	後期	科目コード	208080	授業コード	2F202
担当教員	江口 寛						
備考							
配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	2年	曜日/時限	－		単位	2
	備考(配当)	自由選択科目					
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP		科目に関連する実務経験	
208080		H2 ◎		E2 ◎		児童虐待相談ケースワーカー	

授業概要

地域福祉の概念と、歴史的展開を概説し、それが誕生した背景、意義を学ぶ。
地域福祉の理論と実践を学ぶ。

到達目標

1	地域福祉の概念と意義を理解し、説明できる。
2	地域福祉の歴史的展開を理解できる。
3	地域福祉の理論と実践を結び付けて理解できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	15			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】授業ガイダンス、地域社会とコミュニティ 1 地域社会をめぐる基本的な概念と理論について概説する。
2	【講義】地域社会とコミュニティ 2 地域社会の変化による課題と対応策について概説する。
3	【講義】地域社会とコミュニティ 3 多様化・複雑化した地域生活課題の現状とニーズについて概説する。
4	【講義】地域社会とコミュニティ 4 地域福祉の概念について理解し、社会的孤立とセルフネグレクト、社会的排除の概念について概説する。
5	【講義】地域共生社会 1 地域包括ケアシステムとその展開過程について概説する。
6	【講義】地域共生社会 2 生活困窮者自立支援制度の目的、基本理念、概要について概説する。
7	【講義】地域共生社会 3 包括的支援体制とその展開方法について概説する。
8	【講義】地域共生社会 4 地域共生社会の実現に向けた政策について概説する。
9	【講義】地域福祉ガバナンスと多機関協働 1 地域福祉ガバナンスの概念について概説する。
10	【講義】地域福祉ガバナンスと多機関協働 2 多機関が協働する意義と仕組みについて概説する。
11	【講義】地域福祉ガバナンスと多機関協働 3 多職種連携の目的、福祉以外の分野との協議の目的と意義について概説する。
12	【講義】地域福祉 1 地域福祉の概念と理論について概説する。
13	【講義】地域福祉 2 地域福祉の歴史的変遷について概説する。
14	【講義】地域福祉 3 地域福祉の推進にかかわる主体(組織)の役割について概説する。
15	【講義】まとめ これまで学んだことを踏まえ、地域福祉の課題と今後のあり方について議論する。

成績評価の方法

課題レポート等…80%
授業参加度…20%
課題、感想文については随時講義にてコメントする。

教科書

一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編集『地域福祉と包括的支援体制』（最新 社会福祉士・精神保健福祉士養成講座6）中央法規 2021
ISBN：978-4-8243-0348-6

授業外学修（予習・復習）

【予習】教科書の、次回の授業内容に該当するページを読んでから受講することが望ましい（30分程度）。
【復習】前回までの授業内容に該当する部分を、教科書、配布資料で復習する（30分程度）。

その他

参考資料	随時、講義の中で紹介する。
受講生への要望等	知的好奇心、自主性、主体性を持って受講いただくことを望みます。
授業の質問対応、連絡先	「Melly」にて対応します。

地域福祉論Ⅱ

更新日：2025/09/22 09:26:23

開講年度	2026	学期	前期	科目コード	208090	授業コード	3F103
担当教員	江口 寛						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科， 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	3年	曜日/時限	一		単位	2
	備考(配当)	自由選択科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
208090	H2 ◎	E2 ◎	児童虐待相談ケースワーカー

授業概要

地域を基盤としたソーシャルワークの概念と、災害時における法制度を概説し、地域福祉の展開方法を学ぶ。
地域福祉を推進するための、福祉行財政と福祉計画について概説し、社会福祉の実施体制について学ぶ。
なお、本授業は「地域福祉論Ⅰ」との連続性をもって行う。

到達目標

1	地域福祉の理論と実践を結び付けて理解できる。
2	地域生活課題を自ら見出し、今後のあり方について検討する力を養うことができる。
3	地域福祉計画をはじめとした福祉計画の意義・目的及び展開を理解できる。
4	福祉行財政の実施体制と果たす役割について理解できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	15			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】授業ガイダンス、地域を基盤としたソーシャルワーク 1 地域を基盤としたソーシャルワークの概念について概説する。
2	【講義】地域を基盤としたソーシャルワーク 2 地域を基盤としたソーシャルワークの方法について概説する。
3	【講義】地域を基盤としたソーシャルワーク 3 住民の主体形成を援助するソーシャルワークの視点と方法について概説する。 。
4	【講義】地域を基盤としたソーシャルワーク 4 地域を基盤としてソーシャルワークの具体的展開について概説する。
5	【講義】災害ソーシャルワーク 1 災害時における法制度である災害対策基本法、災害救助法等を概説する。
6	【講義】災害ソーシャルワーク 2 災害時における総合的かつ包括的な支援について概説する。
7	【講義】福祉計画 1 福祉計画の定義、歴史的展開について概説する。
8	【講義】福祉計画 2 地域福祉計画（市町村地域福祉計画・都道府県地域福祉支援計画）の歴史的展開について概説する。
9	【講義】福祉計画 3 福祉計画の策定過程と方法について概説する。
10	【講義】福祉計画 4 福祉計画におけるニーズ把握の方法・技術について概説する。
11	【講義】福祉計画 5 福祉計画における評価について概説する。
12	【講義】福祉行財政システム 1 国・都道府県・市町村の福祉行政体制と役割について概説する。
13	【講義】福祉行財政システム 2 福祉行政の組織及び専門職の役割について概説する。
14	【講義】福祉行財政システム 3 福祉における財源について概説する。
15	【講義】まとめ これまで学んだことを踏まえ、地域福祉の課題と今後のあり方について議論する。

成績評価の方法

課題レポート等…80%
授業参加度…20%
課題、感想文については随時講義にてコメントする。

教科書

一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編集『地域福祉と包括的支援体制』（最新 社会福祉士・精神保健福祉士養成講座6）中央法規 2021
ISBN－10：4805882360

授業外学修（予習・復習）

【予習】教科書の、次回の授業内容に該当するページを読んでから受講することが望ましい（30分程度）。
【復習】前回までの授業内容に該当する部分を、教科書、配布資料で復習する（30分程度）。

その他

参考資料	随時、講義の中で紹介する。
受講生への要望等	知的好奇心、自主性、主体性を持って受講いただくことを望みます。
授業の質問対応、連絡先	「Melly」にて対応します。

福祉経営論

更新日：2025/09/29 13:07:44

開講年度	2026	学期	前期	科目コード	208110	授業コード	4F101
担当教員	馬淵 晃浩						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	4年	曜日/時限	一		単位	2
	備考(配当)	自由選択科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20811	3〇 H2◎	3〇 E2◎	社会福祉士、福祉事業所経営

授業概要

医療・福祉サービスは社会インフラであり、質を保ち（より向上させながら）継続的にサービス提供できることは医療・福祉事業のミッションである。ミッション達成には、限りある資源「ヒト・モノ・カネ・ジョウホウ・（ジカン）」をいかにマネジメント（経営）するかを無視することはできない。本講座では、社会福祉士として「よりよいサービスを創造し、よりよい社会の実現（社会全体のwell-being）をいかに目指していくか。」を、組織・経営・運営の視点から学習していく。学習は教科書を利用し、国家試験を意識（過去問演習）しながら進めていく。また同時に、相互の学びと知識の定着、多様な意見を取り入れることこそが「組織運営」であることから、グループワークを積極的に取り入れる。

到達目標

1	業務上必要な組織や団体の歴史、現在の組織間連携について理解できる。
2	組織経営、集団力学、（組織内外での）リーダーシップの基礎理論について理解できる。
3	経営体制、コンプライアンス、ガバナンス、戦略やマーケティング、リスクマネジメント、品質マネジメント、情報管理、財務管理について理解できる。
4	福祉サービスに従事する労働者としての位置づけと、福祉サービスの人材マネジメントについて理解できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	15			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義、グループワーク】 イントロダクション、生活と経営、試験との向き合い方について 1) 国家試験における過去問演習の必要性について 2) 資本主義社会に生きる私達について 3) お金とは何か、お金がどのように動いているのかを概説 4) 事業と投資（人的、ペーパー、不動産等）を概説 5) 当講座の説明 6) 当科目の国家試験問題傾向について 7) 過去問題との向き合い方について ・事前学習として、教科書の「刊行にあたって」「はじめに」「目次」を読んでもくること（20分） ・事後学習として、過去問題を解き直すこと（20分）
2	【講義、グループワーク】 イントロダクション、生活と経営、試験との向き合い方について 1) 国家試験における過去問演習の必要性について 2) 資本主義社会に生きる私達について 3) お金とは何か、お金がどのように動いているのかを概説 4) 事業と投資（人的、ペーパー、不動産等）を概説 5) 当講座の説明 6) 当科目の国家試験問題傾向について 7) 過去問題との向き合い方について ・事前学習として、教科書の「刊行にあたって」「はじめに」「目次」を読んでもくること（20分） ・事後学習として、過去問題を解き直すこと（20分）
3	【講義、グループワーク】 法人（営利法人、非営利法人）（社会福祉法人、NPO法人、医療法人、社会医療法人）、第1章 福祉サービスに係る組織や団体の概要と役割（1） 1) 過去問演習 2) 国家試験に毎年出題されている「法人」についてテキストを横断的に学ぶ 3) 福祉サービスを提供する組織 4) 福祉サービスの沿革と概況 5) 組織間連携と促進 6) 本日のテーマに沿ったグループワーク ・事前学習は教科書P1～P62を読んでもくること。（30分） ・事後学習として、過去問題を解き直すこと（20分）

4	【講義、グループワーク】第1章 福祉サービスに係る組織や団体の概要と役割（1） 1) 過去問演習 2) 福祉サービスを提供する組織 3) 福祉サービスの沿革と概況 4) 組織間連携と促進 5) 本日のテーマに沿ったグループワーク ・事前学習は教科書P1～P62を読んでくること。（30分） ・事後学習として、過去問題を解き直すこと（20分）
5	【講義、グループワーク】第1章 福祉サービスに係る組織や団体の概要と役割（2） 1) 過去問演習 2) 福祉サービスを提供する組織 3) 福祉サービスの沿革と概況 4) 組織間連携と促進 5) 本日のテーマに沿ったグループワーク ・事前学習は教科書P1～P62を読んでくること。（30分） ・事後学習として、過去問題を解き直すこと（20分）
6	【講義、グループワーク】第2章 福祉サービスの組織と運営に係る基礎理論（1） 1) 過去問演習 2) 組織運営に関する基礎理論 3) 集団の力学に関する基礎理論 4) リーダーシップに関する基礎理論 5) 本日のテーマに沿ったグループワーク ・事前学習は教科書P63～P95を読んでくること。（30分） ・事後学習として、過去問題を解き直すこと（20分）
7	【講義、グループワーク】第2章 福祉サービスの組織と運営に係る基礎理論（2） 1) 過去問演習 2) 組織運営に関する基礎理論 3) 集団の力学に関する基礎理論 4) リーダーシップに関する基礎理論 5) 本日のテーマに沿ったグループワーク ・事前学習は教科書P63～P95を読んでくること。（30分） ・事後学習として、過去問題を解き直すこと（20分）
8	【講義、グループワーク】第3章 福祉サービス提供組織の経営と実際（1） 1) 過去問演習 2) 経営体制 3) 福祉サービス提供組織のコンプライアンスとガバナンス 4) 適切な福祉サービスの経営管理 5) 情報管理 6) 会計管理と財務管理 7) 本日のテーマに沿ったグループワーク ・事前学習は教科書P97～P188を読んでくること。（30分） ・事後学習として、過去問題を解き直すこと（20分）
9	【講義、グループワーク】第3章 福祉サービス提供組織の経営と実際（2） 1) 過去問演習 2) 経営体制 3) 福祉サービス提供組織のコンプライアンスとガバナンス 4) 適切な福祉サービスの経営管理 5) 情報管理 6) 会計管理と財務管理 7) 本日のテーマに沿ったグループワーク ・事前学習は教科書P97～P188を読んでくること。（30分） ・事後学習として、過去問題を解き直すこと（20分）
10	【講義、グループワーク】第3章 福祉サービス提供組織の経営と実際（3） 1) 過去問演習 2) 経営体制 3) 福祉サービス提供組織のコンプライアンスとガバナンス 4) 適切な福祉サービスの経営管理 5) 情報管理 6) 会計管理と財務管理 7) 本日のテーマに沿ったグループワーク ・事前学習は教科書P97～P188を読んでくること。（30分） ・事後学習として、過去問題を解き直すこと（20分）
11	【講義、グループワーク】第4章 福祉人材のマネジメント（1） 1) 過去問演習 2) 福祉人材マネジメント 3) 福祉人材の育成 4) 働きやすい労働環境の整備 5) 本日のテーマに沿ったグループワーク ・事前学習は教科書P189～P277を読んでくること。（30分） ・事後学習として、過去問題を解き直すこと（20分）

12	【講義、グループワーク】第4章 福祉人材のマネジメント（2） 1) 過去問演習 2) 福祉人材マネジメント 3) 福祉人材の育成 4) 働きやすい労働環境の整備 5) 本日のテーマに沿ったグループワーク ・事前学習は教科書P189～P277を読んでくること。（30分） ・事後学習として、過去問題を解き直すこと（20分）
13	【講義、演習】事業計画を作成する（1） 1) 過去問演習 2) 演習内容の説明 3) 各個人で福祉事業を開設することを仮定し、事業計画を作成する。 4) 作成した計画を発表する。 ・事前学習として、日本政策金融公庫の「創業支援」について確認しておくこと（30分） ・事後学習として、3) で作成したものを修正すること。
14	【講義、演習】事業計画を作成する（2） 1) 過去問演習 2) 演習内容の説明 3) 各個人で福祉事業を開設することを仮定し、事業計画を作成する。 4) 作成した計画を発表する。 ・事前学習として、日本政策金融公庫の「創業支援」について確認しておくこと（30分） ・事後学習として、3) で作成したものを修正すること。
15	【講義、グループワーク】総括 1) 今までの講義を振り返る。 2) 過去問対策（社会福祉法人とNPO法人（医療法人、社会医療法人）、人材マネジメント、モチベーション理論、損益計算書・貸借対照表を中心に）

成績評価の方法

過去3年の国家試験を中心に出題。60%以上で合格とする。

教科書

「最新 社会福祉士養成講座 1 福祉サービスの組織と経営」2022年2月1日 初版第2刷発行 ISBN978-4-8058-8244-3

講義2回目～10回目で使用。

大学推薦の過去問題集。

授業外学修（予習・復習）

各講義詳細に記載している。

その他

参考資料	社会福祉士倫理綱領・行動規範 厚生労働省ホームページより「介護事業経営概況調査」 日本政策金融公庫ホームページ 経済産業省ホームページ
受講生への要望等	経営は実生活と直結することを感じてほしい。
授業の質問対応、連絡先	A-potaまたは、メール（eabbx509@mkc.zaq.ne.jp）にて

高齢者福祉論

更新日：2025/09/16 16:18:14

開講年度	2026	学期	後期	科目コード	208120	授業コード	1F203
担当教員	高井 裕二						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科， 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	1年	曜日/時限	一		単位	2
	備考(配当)	自由選択科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20812	3◎ H2○	3◎ E2○	社会福祉士

授業概要

【授業目的】
地域包括ケア、地域共生社会の実現を目指すための各高齢者福祉施策について、歴史・法律・サービスなど様々な視点から理解を深める。

【授業内容】
高齢社会の動向、高齢者の特性、生活実態と抱える生活問題について概説する。その上で高齢者福祉の歴史的展開、現在の高齢者の生活を保障する介護保険制度、老人福祉制度、その他関連する制度・政策、各種サービスを概説する。また、これらの制度・政策、サービスの実際を視聴覚教材等を通して学ぶ。基本的に講義形式で行うが、適宜、グループディスカッションを用いる。

到達目標

1	高齢者の抱える生活問題と社会福祉の必要性について理解できる。
2	高齢者福祉の歴史的展開とその意義、課題について理解できる。
3	介護保険制度の意義、目的、仕組みと内容、課題を理解できる。
4	高齢者福祉の課題について自ら考え、今後のあり方について検討する力を修得できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	15			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】オリエンテーションー社会福祉士と高齢者福祉ー 高齢者福祉での学び、高齢者支援における基本的な考え方（生態学・システムの考え方、ストレングス等）について理解する。個人ワークやグループディスカッションを通して「高齢者」に対するイメージをまとめ、自分たちの有する高齢者像を整理する。
2	【講義】高齢者の特徴とその理解 高齢者の定義を踏まえ、データを示しながら、高齢者の身体的、心理的、社会的等の側面からその特性を把握し、そこから生じる生活問題について、適宜グループディスカッションを入れながら理解を深める。
3	【講義】高齢者の生活実態と社会環境 日本の高齢化の特徴と今後について、生活実態や地域特性について概説し、高齢者を取り巻く社会環境や問題について、高齢者虐待や老老介護といった具体的な事例をもとに考えを深める。
4	【講義】高齢者福祉とその歴史的変遷 老人福祉法や介護保険法における理念について確認し、高齢者福祉の考え方、高齢者観について概説する。また、日本の高齢者福祉制度について歴史的変遷について理解する。
5	【講義】介護保険制度 1 介護保険制度の目的、仕組み、サービスの種類と保険給付について概説する。また、要介護認定申請書の記入の個人演習を行い、必要となる情報について考え、理解を深める。
6	【講義】介護保険制度 2 地域支援事業、介護保険財政、国・都道府県・市町村の役割について概説する。また、自分の住んでいる市町村の地域支援事業について調べ、地域性について理解を深める。
7	【講義】高齢者の生活を支える制度 老人福祉法、高齢者の医療の確保に関する法律、新オレンジプランと認知症施策推進大綱について学ぶ。また特別養護老人ホームと有料老人ホームについて事例を用いて比較し、住まいのあり方について理解を深める。
8	【講義】高齢者虐待防止法 高齢者虐待の現状、対応の流れを学び、虐待問題の背景について理解する。
9	【講義】成年後見制度と日常生活自立支援事業 成年後見制度と日常生活自立支援事業の制度について学ぶ。また、成年後見制度の具体的な事例を取り上げ、グループディスカッションを通して権利擁護や意思決定に関する理解を深める。
10	【講義】地域包括支援センターの業務と地域包括ケアシステム 地域包括支援センターの法的位置づけ、専門職の配置、目的と機能を概説し、視聴覚教材などで具体的に学ぶ。また、地域包括ケアシステムの実現に向けた取り組みについて事例を取り上げて理解を深める。

11	【講義】バリアフリー新法と高齢者住まい法 バリアフリー新法と高齢者住まい法について理解する。また、それらの制度と高齢者の生活との関連について理解を深める。
12	【講義】高齢者と家族の雇用を安定させる制度と施策 高齢者雇用や介護離職の実態についてデータを踏まえて理解する。それらを踏まえ、高齢者雇用安定法、育児・介護休業法の目的、制度の内容について理解を深める。
13	【講義】高齢者の支援機関と支援を行う人たち 国、地方公共団体、市町村といった機関に加え、社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士などの専門職とその役割について理解する。また、視聴覚教材もしくはゲストスピーカーによる講義から、その実際を学ぶ。
14	【講義】高齢者とその家族等に対する支援の実際 高齢者領域における社会福祉士の役割についてソーシャルワークの援助技術・知識・価値の視点、ミクロ・メゾ・マクロの領域について理解する。
15	【講義】高齢者福祉の課題 主な分野別将来予測からみた高齢者福祉の課題について取り上げ、グループディスカッションを通して今後の高齢者福祉の増進に必要な取り組みについて考え、理解を深める。

成績評価の方法

科目試験……………70%

授業中に課す小レポート…30%

授業中に課す小レポートについては、随時講義でフィードバックする。

教科書

大和三重・岡田進一・斉藤雅茂編『新・MINERVA社会福祉士養成テキストブック 10 高齢者福祉』ミネルヴァ書房（2020）
ISBN-10：4623090507

配布する資料の補足や個人ワークの題材として教科書を使用する。

授業外学修（予習・復習）

普段から高齢者福祉に関わる新聞記事、ニュースを確認すること（15分）。

また、高齢者と触れ合う機会をなるべく設け、授業で学んだ知識と結びつけて考察すること（15分）。

次回の授業で学ぶ教科書の章、節を読んでおくこと（30分）。

その他

参考資料	授業で随時紹介する。
受講生への要望等	私語は厳禁である。知的好奇心、自主性、主体性を持ってに授業に臨んでほしい。
授業の質問対応、連絡先	授業終了後、または空き時間に教員室で受け付けます。

障害者福祉論

更新日：2025/07/30 13:30:42

開講年度	2026	学期	前期	科目コード	208140	授業コード	2F102
担当教員	和泉 亮						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	2年	曜日/時限	一		単位	2
	備考(配当)	自由選択科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20814	3◎ H2○	3◎ E2○	精神保健福祉士

授業概要

障害者福祉の日本および世界の障害者福祉に関する、過去から現在までの歴史を知ることを通じて、今考えられる課題を議論する。
また障害の多様性を学ぶことを通じて未来への展望を広げ、障害者基本法における誰もが暮らしやすい共生社会を実現するというビジョンについて考察する。
あわせて、人が成長していく上で重要な点である、
①自分の頭で考えること
②自己を知ること
③自由に未来を描き行動していくこと
を授業を通じて実践できる機会を提供する。

到達目標

1	障害者福祉の世界および日本の障害者福祉のこれまでの歴史と現状について理解し課題点について自分の意見を述べることができる。
2	自己覚知を深め、多様な障害者観に対する自分自身の意見を理解し考えをまとめることができる。
3	障害者福祉制度の現状と課題を理解した上で、共生社会実現に向けての未来への展望を考えることができる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	15			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】オリエンテーション・「しょうがい」とは 本授業全体の流れを理解することを通して、学習到達目標を理解する。 「しょうがい」とはなにか、事例を通じて考え、自分自身の無意識下の障害者観を俯瞰する機会を持つ。
2	【講義】ICF・医療モデルと社会モデル ICIDHからICFへの世界の障害者観の変遷を理解する。 医療モデルと社会モデルの違いについて理解し、社会福祉専門職としての障害者観を理解するとともに、以降の講義内容理解のための基礎を学ぶ。
3	【講義】障害者と法律①・日本の障害者制度の歴史 戦後日本の障害者福祉に関連した法制度および関連する法制度の成り立ちや背景および現在までの変遷について理解する。 主に身体障害者福祉法、知的障害者福祉法、精神保健福祉法に関連したトピックと相互の関連性を通じて現在までの法制度全体の変遷を俯瞰できるようになる。
4	【講義】障害者と法律②・障害者基本法 障害者基本法について学び、日本の障害者制度の基本理念や障害者の定義について理解する。 特に定義を考えることを通じて社会的障壁について理解を深め、医療モデルおよび社会モデルやICFについての再度の理解を深める。
5	【講義】障害者と法律③・虐待防止法・差別解消法 障害者差別解消法および障害者虐待防止法の成り立ちを学ぶことを通じて、障害者と人権について自分自身の考えを持てるようになる。 障害者施設設立に際しての地域住民による建設反対運動などの地域・施設コンフリクトについて動画等を通じて学び、支援職としてどのように向き合うのかを考える。
6	【講義】障害者制度の全体像・障害者総合支援法 日本の障害者制度の基本となる障害者総合支援法の歴史的な変遷を理解するとともに、現状について学ぶ。 総合支援法の理念を学び、総合支援法に規定されている各種サービス概要を理解する。
7	【講義】障害者制度の詳細・障害者総合支援法各論 障害者総合支援法に規定されている各種サービスの詳細について理解をする。 また主に介護給付の内容について具体的な事例等を動画を通じて学びその現状と課題を整理する。
8	【講義】障害児向けの福祉事業・児童福祉法 日本の障害者制度の基本となる障害者総合支援法に関連する形で児童福祉法についても学び、障害児サービスの概要を理解するとともに、相互の関連性についても学ぶ。 特に児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援の具体的な事例等を動画を通じて学びその現状と課題を整理する。

9	【講義】多様性・ダイバーシティについて 法律上の定義としての障害者以外にも多くの生活上やさまざまな形で社会的障壁を感じている対象者についての理解を広げる。 具体的には、ゲストスピーカーに多様性を体現している当事者の方に登壇いただき、マイノリティであることの困難さとそれを乗り越える経験を通じて自分らしく生きることを選択肢てきたこれまでの人生経験についての体験談を聞き、多様性があることにより社会に生み出される価値について考える。
10	【講義】障害者と就労・現状と課題 主に障害者総合支援法に関連した課題について、形の障害者就労支援サービスの概要について理解する。 また障害者雇用促進法や現状の障害者雇用制度全体について俯瞰し、現状および課題について考える。
11	【講義】障害者と就労・未来への展望 障害者雇用に関連した課題について、制度を活用しつつ新しい企業連携を行っている実践について、複数の動画を視聴し障害者雇用が社会に生み出す可能性について思考を深める。
12	【講義】障害者ケースマネジメント・相談支援事業 障害者総合支援法における相談支援事業全般について学ぶ。 障害者ケースマネジメントの流れを理解し実際の相談支援専門員の業務内容などについて動画を視聴し学ぶ。 またあわせて主に精神障害者の長期入院者の退院促進支援をすすめる「地域移行支援・地域定着支援」の制度についての現状と課題について学ぶ。
13	【講義】ピアサポート・リカバリー 精神障害者当事者が当事者を支援する関係性のピアサポート等の現状を理解する。 またその実践を通じて生み出されるリカバリーの概念について、事例や動画を通じて学び理解を深める。
14	【講義】アディクションおよびセルフヘルプグループ アルコールや薬物等の依存症治療、依存症支援の現状を理解する。 具体的には、ゲストスピーカーとして、アルコール依存症の当事者グループAAのメンバーに登壇いただき、依存当事者の回復のために必須の活動とされているセルフヘルプグループの活動やAA（アルコール依存症者自助グループ）の実践について、また当事者のアルコール依存症の回復の物語を聞き、理解を深める。
15	【講義】全体のまとめ・障害のない社会をつくるとは 授業全体を通じた学びの振り返りとその学びを通じて、自身の中で考えられる現状の障害者制度、施策の課題点について言語化する。 またその言語化された課題点に対してまずどのようなアプローチができるか、未来に社会福祉専門職としてもしくは一地域住民としてどのようなアクションが取れるかを具体的に検討し言語化する。

成績評価の方法

授業評価および課題

- ・ミニレポート（800文字程度・A4一枚）…50%
- ・講義2回に1回程度・講義時間中に実施する記述式の課題……50%

テーマや締め切り等は講義内容と関連することから講義中に示す。
（レポートや課題のフィードバックとして講義中に解説をおこないます）

教科書

- ・なし
- 参考図書で示した1を講義中の説明で数回使用します。社会福祉士等の国家資格受験を考えている方は購入をおすすめします（今後の進路で必要性が変わると思うので、各自で考えてください）。
- ・授業時に毎回レジュメを配布します。

授業外学修（予習・復習）

予習として、障害者も、もちろんわれわれと同じ一人の人であり、そのひとについて考えるうえで、社会についての理解を深め、また自分なりの意見を持つことは重要です。

幅広くニュースや世界の出来事に興味を持ち、情報収集をする姿勢を大切にしてください。障害者福祉に関係する事柄はもちろん、それ以外でもYouTubeやTwitterといったSNSメディアも積極的に活用し、主体的に世界と接点を持ち学ぶ姿勢と、その事象に対しての自分なりの意見を持つことを意識してください。

また復習として、教材のYou Tube動画も複数示しますので、授業時間外で視聴をするようにしてください。

予習復習目安時間：30分程度

その他

参考資料	1.新・社会福祉士養成講座14『障害者に対する支援と障害者自立支援制度（第6版）』中央法規出版 2.渡辺一史著『なぜ人と人は支え合うのか』ちくまプリマー新書 3.You Tubeチャンネル『フクシのみらいデザイン研究所』 https://www.youtube.com/channel/UC1wv95VAomGDr8axmxSZb1Q
受講生への要望等	毎回の授業の中で、自分自身がどのような考えをもち、どのような傾向のある人間かを内省し自己覚知するための個人ワークの時間をもちます。 自分自身の学びと成長のために、積極的な姿勢での参加を望みます。
授業の質問対応、連絡先	授業中に配布する資料に記載する質問フォーム（主にグーグルフォームを使用）に気軽に質問してください。授業中にも回答します。

児童・家庭福祉論

更新日：2025/12/23 11:48:21

開講年度	2026	学期	前期	科目コード	208150	授業コード	2F103
担当教員	武輪 敬心						
備考							
配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)	自由選択科目					
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP		科目に関連する実務経験	
20815		3〇 H2◎		3〇 E2◎		社会福祉士	

授業概要

本講義ではこどもの権利、こども・家庭をとりまく状況、関連法規について学び、こどものみならず家族も含めて援助するために必要な知識・技能を習得する。こども・家庭（児童福祉）に関わるためには、まず、こどもを理解することが必要とされる。

また、こどもの問題とされることの多くはこどもを取り巻く大人の問題でもあることから、こどもを理解する視点を養うとともに、こども・家庭が抱える問題に対し、どのように援助するのかを思考する力を身につける。

到達目標

1	こども・家庭の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要（子育て、ひとり親家庭、こども虐待およびドメスティック・バイオレンスの実態を含む）について理解できる
2	こども家庭福祉制度の発展過程について理解できる
3	こどもの権利について理解できる
4	相談援助活動において必要となるこども家庭福祉制度やこども家庭福祉に係る他の法制度について理解できる

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	15			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】オリエンテーション これからの進め方について理解する。こどもの命を大切するために、大人ができることについて学ぶ。
2	【講義】現代社会におけるこどもとこどもを理解する視点 今日、こどもがおかれている状況およびこどもを理解するための視点について学ぶ。
3	【講義】世界における児童福祉の歴史 イギリスおよびアメリカにおける児童福祉の歴史について学ぶ。
4	【講義】児童福祉の理念と権利保障 児童福祉法の理念、児童憲章の理念、子どもの権利条約採択までの経緯とその内容について学ぶ。
5	【講義】日本における児童福祉の歴史 日本における児童福祉の歴史を明治期から現在までの児童福祉の歴史について学ぶ。
6	【講義】児童福祉にかかわる法律 児童福祉法および児童福祉関係諸法の概要について学ぶ。
7	【講義】実施体制と財源 国・地方公共団体の役割、実施機関、関連組織、財源と費用負担について学ぶ。
8	【講義】子育て支援と健全育成 少子化対策および児童健全育成施策の変遷と現状について学ぶ。
9	【講義】母子保健サービス 母子保健・医療・福祉施策の変遷と現状について学ぶ。
10	【講義】保育サービス 保育の目的と制度、保育所の現状と課題、保育所以外の保育サービスについて学ぶ。
11	【講義】障がいのある子どもの福祉 障がいの概念、障がい児福祉サービスの概要について学ぶ。
12	【講義】養育環境に問題がある子どもと家庭の福祉 子ども虐待の実態および虐待を受けた子どもへの援助、そのほか養育環境に問題があるこどもへの援助について学ぶ。
13	【講義】心理的困難・非行問題のある子どもの福祉 心理的困難・非行問題の現状およびその背景にあるもの、それらを抱える子どもへの福祉サービスについて学ぶ。
14	【講義】ひとり親家庭の福祉 ひとり親家庭の貧困問題、ひとり親家庭になる原因としてのDV、ひとり親家庭の支援に関する施策について学ぶ。

15	【講義】児童福祉サービスの担い手と援助の実際 子どもに関わる専門職がどのように援助しているかについて学ぶ。さらに、視聴覚教材もしくはゲストスピーカーによる講義から、その実際を学ぶ。
----	---

成績評価の方法

・レポート	40%
・試験	60%

レポートについて、講義内でフィードバックする。

教科書

千葉茂明編『新・エッセンシャル 子ども家庭福祉論』（2019）みらい（ISBN-10：4860154762）
中央法規出版編集部『福祉小六法2026』（2025）中央法規（ISBN-10：4824303680）

授業外学修（予習・復習）

- ・普段からこどもを取り巻く問題に関わる新聞記事、ニュースをよく読む（30～60分程度）。
- ・予習として、授業で行う教科書の範囲を読み、わからない言葉を調べておく（30～60分程度）。
- ・復習として、授業で行った教科書を読み返し、ノートを整理する（60～120分程度）。

その他

参考資料	日本福祉大学編集『こども家庭福祉とソーシャルワーク（こども家庭ソーシャルワーカー研修テキスト1巻・2巻・3巻）』（2025）中央法規 一般社団法人全国保育士要請協議会監修『ひと目でわかる 保育者・ソーシャルワーカーのための子ども家庭福祉データブック2026』（2025）中央法規 芝野松次郎ほか『事例で楽しく学ぶ子ども家庭福祉』（2025）中央法規 中塚久美子『子どもと女性のくらしと貧困』（2024）かもがわ出版 公益社団法人日本社会福祉士会編『学校－家庭－地域をつなぐ 子ども家庭支援アセスメントガイドブック』（2023）中央法規 末富芳、桜井啓太『子育て罰 「親子に冷たい日本」を変えるには』（2021）光文社 芦田麗子『シングルマザーをひとりぼっちにしないために』（2017）日本機関紙出版センター 井上英夫ほか『なぜ母親は娘に手をかけたのか』（2016）旬報社 杉山春『ルポ虐待』（2013）ちくま新書 森田ゆり『子どもと暴力』（1999）岩波書店
受講生への要望等	基本的には講義形式だが、適宜ディスカッションを取り入れる。利用者に寄り添った支援ができるようになるための知識の習得を目指し、積極的に受講すること。
授業の質問対応、連絡先	原則、授業内で対応する。授業外はmellyで質問を受けつける。対面を希望する場合は、mellyでアポイントを取ること。

公的扶助論

更新日：2025/09/18 07:54:34

開講年度	2026	学期	前期	科目コード	208160	授業コード	1F102
担当教員	高城 大						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2
	備考(配当)	自由選択科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20816	3〇 H2◎	3〇 E2◎	社会福祉士

授業概要

本講義では貧困についてまず理解し、そのうえで、それに対応する公的扶助制度（特に生活保護制度）について学ぶ。社会福祉が対象とする問題の根幹は貧困である。社会問題としての貧困・低所得者問題、生活保護制度を中心とした貧困者・低所得者への経済的支援と自立支援を講義の大きな柱とする。講義形式の授業を通して、制度に関する知識の習得のみならず、この社会においての公的扶助制度の意義と役割について考察する力を養う。

到達目標

1	貧困層・低所得階層の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要とその実際について理解できる。
2	相談援助活動において必要となる生活保護制度や生活保護制度に係る他の法制度について理解できる。
3	自立支援プログラムの意義とその実際について理解できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	15			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】貧困とは何か、健康で文化的な生活とは何か 現代社会における貧困問題を取り上げ、そこから貧困と健康で文化的な生活とは何かを理解する。
2	【講義】貧困・低所得階層の生活実態と貧困 貧困・低所得者への生活保護制度を利用した事例をふまえ、ソーシャルワーカーの役割を自覚する。また、低所得者階層が生み出される背景、所得格差の問題、低所得者の生活実態、貧困の理論について講義する。
3	【講義】公的扶助制度の歴史（イギリス） 1600年ころからのイギリスの歴史を概観しながら、どのような公的扶助の制度が作られたか学ぶ。また、ブースやラウントリの貧困調査がどのような意味をもたらしたか、さらに戦後のイギリス社会の保障の政策体系の基礎となるベヴァリッジ報告について講義する。
4	【講義】公的扶助制度の歴史（日本） 明治時代からの歴史を概観しながら、どのような公的扶助の制度が作られたかを学ぶ。特に恤救規則と救護法の成立過程について、また戦後の旧生活保護法と新生活保護法の成立経緯について講義する。
5	【講義】社会保障制度と公的扶助 社会保障制度の範囲、仕組みについて講義したうえで、公的扶助の概念と範囲について講義する。また、社会手当や生活困窮者自立支援制度についても講義する。
6	【講義】貧困に対する支援の実施体制 生活保護など貧困に対する支援の実施体制における国と地方自治体の役割について講義したうえで、実施機関としての福祉事務所の創設、業務、役割について講義し、保護施設の種類や設置と運営についても講義する。
7	【講義】生活保護制度の原理 生活保護法における用語の定義について解説したうえで、基本原理について講義する。
8	【講義】生活保護の原則と生活保護基準 生活保護の原則について説明する。最低生活保障水準と保護基準の設定方式について講義する。
9	【講義】保護の種類と内容、要否判定。 8種類の保護の種類と内容について講義し、保護の要否判定と程度の決定について具体的な方法についても説明する。また就労自立給付金についても講義する。
10	【講義】生活保護の動向と財源 生活保護受給世帯数などの保護の動向、生活保護費の動向と財源について講義したうえで、時折、社会で「問題」とされる生活保護の不正受給についても説明し、ソーシャルワーカーとしての視点を養う。
11	【講義】生活保護における専門職の役割と相談援助活動 生活保護受給者と直接かかわる現業員や査察指導員の役割、支援過程と現業員の業務について講義する。また相談援助活動の内容や多職種との連携ネットワークングについても講義する。 さらに、視聴覚教材もしくはゲストスピーカーによる講義から、その実際を学ぶ。
12	【講義】自立支援プログラムによる相談援助と生活困窮者自立支援制度 自立支援プログラムおよび生活困窮者支援制度について、講義し、自立支援とは何か、またその課題について考察する。

13	【講義】ホームレスの生活と相談援助 ホームレスの現状と生活、ホームレス対策の動向、ホームレス対策の概要、ホームレス支援の実際について講義し、ホームレス問題についての理解を深める。
14	【講義】貧困層・低所得者への社会福祉・就労支援サービス 生活福祉資金貸付制度、無料低額診療制度や入院助産制度などの医療サービス、住宅サービについて講義する。 雇用・就労の動向と労働政策、就労支援サービスの実施体制、低所得者への就労支援制度について講義する。
15	【講義】貧困に対するソーシャルワーク実践 保健・医療機関との連携、就労支援プログラムや生活困窮者自立支援制度を活用したソーシャルワーク実践について学び、公的扶助制度の意義と役割を考える。

成績評価の方法

定期試験80点、授業への取り組み姿勢(授業での課題等提出)20点
合計 100点
なお、授業での課題等を提示した場合、授業内やmelly等で随時フィードバックを行う。

教科書

岩永理恵・後藤広史・山田壮志郎編著(2021)新・MINERVA社会福祉士養成テキストブック 13「貧困に対する支援」ミネルヴァ書房

授業外学修（予習・復習）

予習として、事前に告知する教科書の該当ページを読み、わからない用語は調べておく（毎回1時間）。
復習として、教科書の該当部分、講義プリント及び講義メモにより、講義のまとめをノートを整理する（毎回2時間）。
参考書にあげた書籍、授業内で紹介する書籍を参考に、貧困問題に関する本を読むこと。

その他

参考資料	渋谷哲編（2021）『貧困に対する支援』みらい芦田麗子監修（2017）『シングルマザーをひとりぼっちにしないために』日本機関紙出版センター 生田武志（2009）『貧困を考えよう』岩波ジュニア新書 生田武志ほか（2018）『当たり前生活ってなんやねん?!』日本機関紙出版センター 小杉礼子ほか編（2015）『下層化する女性たち』勁草社 中塚 久美子（2024）『子どもと女性のくらしと貧困』かもがわ出版 丸山里美（2021）『女性ホームレスとして生きる〔増補新装版〕一貧困と排除の社会学』世界思想社 丸山里美編（2018）『貧困問題の新地平』旬報社
受講生への要望等	予習復習を必ずしたうえで積極的に受講すること。 途中退室(退席)しないこと(事前に特別な配慮を申し出ている学生は除く)
授業の質問対応、連絡先	授業中に生じた疑問はできるだけ授業中に質問すること。授業後、復習で出た質問等に関してはmellyにて受けつける。なお、直接質問したい場合は、事前にmellyにてアポイントをとること。

権利擁護と成年後見論

更新日：2025/10/16 09:16:51

開講年度	2026	学期	前期	科目コード	208180	授業コード	4F105
担当教員	高井 裕二						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科， 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	4年	曜日/時限	一		単位	2
	備考(配当)	自由選択科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20818	3◎ H2○	3◎ E2○	社会福祉士

授業概要

【授業目的】
人々の権利を守るために活用できる法制度やサービスの理解を深めるとともに「権利擁護」の視点を修得する。

【授業内容】
ソーシャルワークと法制度との関係、憲法・民法・行政法そして特に成年後見制度を中心としたクライアントの権利を守るための法律や諸制度について概説する。
また、支援の実際について具体的に理解するため、視聴覚教材や具体的事例などを用いて解説する。基本的に講義形式で行うが、適宜、個人演習等を用いて考える時間を設定する。

到達目標

1	権利擁護を支える憲法、民法、行政法の基礎を理解できる。
2	権利擁護の意義と支える仕組みについて理解できる。
3	権利が侵害されている者や日常生活上の支援が必要な者に対する権利擁護活動の実際について理解できる。
4	ソーシャルワークにおいて必要となる成年後見制度の知識を修得できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	15			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】オリエンテーション、ソーシャルワークと権利擁護 ソーシャルワーカーの倫理綱領を参照しながら、権利擁護の必要性について解説し、「権利擁護の4つの諸相」について理解を深める。
2	【講義】ソーシャルワークの基盤にある人権、権利擁護の内容 社会福祉における権利について、朝日訴訟や堀木訴訟といった具体的な事案をもとに理解を深める。また、社会福祉士の権利擁護実践についてソーシャルワークの理論に触れながら学ぶ。
3	【講義】ソーシャルワーカーと法 法 の概念、法 の分類、裁判及び判決の種類などについて学ぶ。また、ソーシャルワーカーが法を学ぶ意義について、権利・人権侵害の事案に触れながら理解を深める。
4	【講義】日本国憲法の理解 日本国憲法の全体構造について説明し、特に自由権、社会権、受益権に関する事件や判例などを取り上げながら、基本的人権の保障について理解する。
5	【講義】民法① 総則、契約、不法行為 民法の総則を踏まえたうえで、契約に必要な権利主体、契約の成立要件や分類、などについて理解する。また不法行為について具体的な事件・判例をもとに学ぶ。
6	【講義】民法② 親族、相続 親族の範囲、婚姻・離婚の成立要件、親子や養子縁組などについて民法上の規定をもとに具体的な例を挙げながら理解を深める。また、相続や遺言に必要な各種手続きについても理解する。
7	【講義】行政法の理解① 国と地方公共団体の役割、介護認定や生活保護支給決定などの行政行為、行政救済法（行政不服審査法）について理解する。
8	【講義】行政法の理解② 行政救済法（行政事件訴訟法や国家賠償法）、情報公開制度について理解する。
9	【講義】権利擁護を支える仕組み 高齢者虐待防止法、児童虐待防止法、障害者虐待防止法、配偶者暴力防止法、障害者差別防止法などの権利擁護を支える法律について理解する。
10	【講義】権利擁護活動における法的諸問題 インフォームド・コンセントの概念と法的根拠、また専門職との関係について倫理綱領や社会福祉法などをもとに理解する。 また、インフォームド・コンセントの成立要件と免除されるケースについて、具体的な事案をもとに理解を深める。

11	【講義】成年後見制度の理解① 制度の概要 金銭や契約について本人ができない状況について事例をもとに考え、成年後見制度の必要性和仕組みについて、法定後見・任意後見それぞれの理解を深める。また、実際に申立て書類の書式を見ながら、制度を利用する方法について具体的に学ぶ。
12	【講義】成年後見制度の理解② 最新の動向 成年後見制度の利用状況について家庭裁判所の統計データなどを踏まえて理解する。また、成年後見制度利用支援事業、市町村長申立てや成年後見制度利用促進法について説明し、成年後見制度を取り巻く状況について理解を深める。
13	【講義】日常生活自立支援事業 日常生活自立支援事業の創設背景、目的、利用対象者、サービス内容、利用方法や費用について理解する。また、成年後見制度との連携について触れ、それぞれの違いを明確にして理解を深める。
14	【講義】権利擁護にかかわる組織、団体、専門職の役割と実際 権利擁護に関わる代表的な組織や専門職である家庭裁判所、市町村、地域包括支援センター、弁護士、司法書士等について学び、それらを踏まえて社会福祉士がどのようにその組織等と連携を図っていくのか理解を深める。
15	【講義】権利擁護活動の実際 認知症高齢者、消費者被害を受けたものへの具体的な支援のあり方について、これまでに学んできた法制度がどのように活用できるのか、具体的に理解する。

成績評価の方法

科目試験……………80%

授業中に課す感想文、小レポート…20%

授業中に課す感想文、小レポートについては、次の授業時にてフィードバックを行う。

教科書

山口光治編「権利擁護を支える法制度」みらい（2021）

ISBN10：4860155351

配布する資料の補足や個人ワークの題材として教科書を使用する。

授業外学修（予習・復習）

普段から虐待問題や認知症に関わる新聞記事、ニュースを確認すること（15分）。

授業で学んだ知識と自分の問題意識を結びつけて考察すること（15分）。

次回の授業で学ぶ教科書の章、節を読んでおくこと（30分）。

その他

参考資料	授業で随時紹介する。
受講生への要望等	私語は厳禁である。知的好奇心、自主性、主体性を持ってに授業に臨んでほしい。
授業の質問対応、連絡先	授業終了後、または空き時間に教員室で受け付けます。

更生保護論

更新日：2025/10/03 10:56:01

開講年度	2026	学期	後期	科目コード	208190	授業コード	4F201
担当教員	宮川 成雄						
備考							
配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	4年	曜日/時限	－	単位	2	
	備考(配当)	自由選択科目					
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP		科目に関連する実務経験	
20819		3〇 H2◎		3〇 E2◎		社会福祉士	

授業概要

刑事司法における近年の動向とこれを取り巻く社会環境の理解をすすめ、犯罪や非行をした者が再び犯罪や非行をしないよう更生する仕組みを学ぶ。またその支援や連携のあり方を学ぶことで社会福祉士の役割について考える。パワーポイントを使用した講義（パワーポイントの資料は当日配布する）とグループワークをしながら学びを深める。最終回に筆記試験を実施し、受講態度などを参考に評価をつける。

到達目標

1	刑事司法における近年の動向とこれを取り巻く社会環境について理解できる
2	犯罪とは何か刑罰とは何かについて、刑事司法と少年司法について理解できる
3	更生保護制度の概要について理解できる。
4	更生保護に関わる組織、団体及び専門職及び福祉と医療の連携について理解できる。
5	更生保護対象者の現状についての理解を深める

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	13	2		
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	0	0		

授業計画

1	【講義】刑事司法における近年の動向とこれを取り巻く社会環境（総論） 社会福祉にかかわる者が刑事司法について何を学び何をしなければならないかを、パワーポイントを用いて対話形式で講義を行う
2	【講義】社会と犯罪、刑罰 犯罪について、刑務所の現状について、刑罰とは何か、パワーポイントを用いて対話形式で講義を行う
3	【講義】刑事司法と少年司法 刑事手続きや、少年司法の動向について、矯正施設、社会復帰の一貫した流れについて、パワーポイントを用いて対話形式で講義を行う
4	【講義】施設内処遇 施設内処遇の歴史と現在の矯正処遇について、パワーポイントを用いて対話形式で講義を行う
5	【講義】更生保護制度の概要 更生保護とは何か、福祉的支援を要する問題、更生を助ける社会内処遇の概要をパワーポイントを用いて対話形式で講義を行う
6	【講義】更生保護の実際① 保護観察とその目的、対象者とその処遇（指導監督と補導援護）について、パワーポイントを用いて対話形式で講義を行う
7	【講義】更生保護の実際② 仮釈放、生活環境の調整、更生緊急保護、刑の一部執行猶予制度他について、パワーポイントを用いて対話形式で講義を行う
8	【講義】更生保護の実際③ 保護観察官、保護司、更生保護施設、民間協力者について、パワーポイントを用いて対話形式で講義を行う
9	【講義】関係 機関・団体との連携 裁判所、検察庁、矯正施設、児童相談所、就労支援機関、民間団体との連携について、パワーポイントを用いて対話形式で講義を行う
10	【講義】医療観察制度の概要 生活環境調査、生活環境調整、精神保健観察、関係機関等との連携、更生保護における近年の動向と課題について、パワーポイントを用いて対話形式で講義を行う
11	【講義】多様なニーズを有する対象者① 司法と福祉の連携、高齢者・障がい者の犯罪の特徴とその支援について、パワーポイントを用いて対話形式で講義を行う
12	【講義】多様なニーズを有する対象者② 依存症による犯罪とその回復のための取り組みと現状、パワーポイントを用いて対話形式で講義を行う
13	【講義】犯罪被害者支援と恩赦の制度 制度の概略、犯罪被害者の権利、社会福祉士の視点、パワーポイントを用いて対話形式で講義を行う
14	【演習】事例研究 グループワーク形式で、今までの講義の振り返りを行う

15	【演習】事例研究 グループワーク形式で、今までの講義の振り返りを行う
16	【演習・試験】振り返りと科目試験を実施 今までの講義の振り返った後、60分の科目試験を実施する。

成績評価の方法

科目試験を最終評価（70％）とするが、受講態度や課題への取り組みも評価（30％）にする。

教科書

最新社会福祉士養成講座 10 刑事司法と福祉（編集）一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集 中央法規

授業外学修（予習・復習）

- （第1回）（第2回） 予習 テキスト第1～4章を読む。（目安時間：約60分）
- （第3回）（第4回） 予習 テキスト第5～8章を読む。（目安時間：約60分）
- （第5回）（第6回） 予習 テキスト第1～8章を復習する。（目安時間：約60分）
- （第7回）（第8回） 予習 テキスト第9章を読む。（目安時間：約60分）
- （第9回）（第10回） 予習 テキスト第10章・第15章を読む。（目安時間：約60分）
- （第11回）（第12回） 予習 テキスト第11～12章を読む。（目安時間：約60分）
- （第13回）（第14回） 予習 テキスト第13～14章を読む。（目安時間：約60分）
- （第15回）（第16回） 予習 テキスト第1～15章を復習する。（目安時間：約60分）

その他

参考資料	令和7年版 犯罪白書 法務総合研究所
受講生への要望等	私語及び携帯電話・スマートフォン・パソコンなどの使用や途中退室は慎むこと。 全回出席すること。 欠席する際は事前にMellyで申し出ること。（レポートを提出することで評価の際の判断に反映します）
授業の質問対応、連絡先	授業内容に関する質問については、指定された時間内にMellyで行うこと

ソーシャルワーク論Ⅰ

更新日：2025/10/16 13:40:27

開講年度	2026	学期	前期	科目コード	208260	授業コード	1F101
担当教員	米澤 美保子						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科， 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	1年	曜日/時限	一		単位	2
	備考(配当)	自由選択科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
2208260	3◎ H2○	3◎ E2○	社会福祉士

授業概要

相談援助の専門職であるソーシャルワーカー(社会福祉士・精神保健福祉士)の法的な位置づけ、ソーシャルワークの基盤となる考え方とその形成過程および、ソーシャルワークの価値規範と倫理について講義により理解する。

到達目標

1	社会福祉士・精神保健福祉士の法的な位置づけを習得できる
2	ソーシャルワークの基盤となる考え方、形成過程について習得できる
3	ソーシャルワークの倫理について習得できる

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	15			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】オリエンテーション、社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけ1 ・これからの講義の進め方の説明 ・社会福祉士の定義・義務について学ぶ
2	【講義】社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけ2 社会福祉士及び介護福祉士法成立の背景、法制度見直しの背景について学ぶ
3	【講義】社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけ3 精神保健福祉士法制度成立の背景、法制度見直しの背景について学ぶ
4	【講義】社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけ4 社会福祉士・精神保健福祉士の専門性について学ぶ
5	【講義】社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけ5 福祉専門職について学ぶ
6	【講義】現代社会 現代社会について学ぶ
7	【講義】ソーシャルワークの概念とソーシャルワークの基盤となる考え方1 ソーシャルワークの定義、グローバル定義、ソーシャルワークの構成要素について学ぶ
8	【講義】ソーシャルワークの概念とソーシャルワークの基盤となる考え方2 ソーシャルワークの理念について学ぶ
9	【講義】相談援助の形成過程1 ソーシャルワークの源流、慈善組織協会、セツルメントについて学ぶ
10	【講義】相談援助の形成過程2 ソーシャルワークの基礎確立期、発展期について学ぶ
11	【講義】相談援助の形成過程3 ソーシャルワークの展開期、生活モデル、ソーシャルワークの統合化について学ぶ
12	【講義】相談援助の形成過程4 日本のソーシャルワークの形成過程について学ぶ
13	【講義】ソーシャルワークの倫理1 専門職倫理の概念と倫理綱領の意義と内容について学ぶ
14	【講義】ソーシャルワークの倫理2 ソーシャルワーク実践における倫理的ジレンマについて学ぶ
15	【講義】前期のまとめ 前期のふりかえり 課題レポート

成績評価の方法

課題レポート50% 授業態度、課題などの平常点50%をもって総合的に評価する。
フィードバックについては、授業時にコメントする。

教科書

日本ソーシャルワーク教育学校連盟,2021,『社会福祉士養成講座11ソーシャルワークの基盤と専門職[共通・社会専門]』 中央法規, ISBN 978-4-8058-8241-2

授業外学修（予習・復習）

【予習】次回授業内容に関する情報・書籍・資料などを見ておくこと(目安：約20分)

【復習】授業でのノート、配布資料などで授業の内容をまとめ、授業の振り返りを行う(目安：約40分)

その他

参考資料	・井手英策ほか,2019,『ソーシャルワーカー』 筑摩書房. ・宮本節子,2013,『ソーシャルワーカーという仕事』 筑摩書房. ・鶴幸一郎,2019,『福祉は誰のために』 へるす出版. ・日本社会福祉士会,2022,『三訂社会福祉士の倫理－倫理綱領実践ガイドブック』 中央法規.
受講生への要望等	・社会問題について日頃から関心を持ち、それに関する書籍・文献などの情報を見てほしい ・積極的な姿勢での受講
授業の質問対応、連絡先	mellyあるいは直接教員室(1号館2階1209)に来てください。来室する場合は、前もってmellyなどで連絡してください。

ソーシャルワーク論Ⅱ

更新日：2025/09/30 10:38:19

開講年度	2026	学期	後期	科目コード	208270	授業コード	1F202
担当教員	米澤 美保子						
備考							
配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	1年	曜日/時限	－		単位	2
	備考(配当)	自由選択科目					
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP		科目に関連する実務経験	
2208270		3◎ H2○		3◎ E2○		社会福祉士	

授業概要

社会福祉士の職域と求められる役割、ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲、ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象と関連性、総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容について習得する。基本的に講義形式で行うが、適宜個人ワーク、グループディスカッションを用いる。

到達目標

1	社会福祉士の職域と求められる役割について理解できる
2	ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲について理解できる
3	ミクロ・メゾ・マクロレベルのソーシャルワークについて理解できる
4	総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容について理解できる

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	15			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲1 相談援助職の役割について学ぶ
2	【講義】ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲2 相談援助職の概念と範囲、社会福祉士の職域について学ぶ
3	【講義】ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲3 福祉行政等における専門職、民間の施設・組織における専門職について学ぶ
4	【講義】ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲4 諸外国の動向について学ぶ
5	【講義】ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク1 ミクロ・メゾ・マクロの意味、ミクロ・メゾ・マクロの意味、対象について学ぶ
6	【講義】ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク2 ミクロ・メゾ・マクロレベルの介入、ミクロ・メゾ・マクロレベルの関連性、ミクロ・メゾ・マクロレベルの支援の実際について学ぶ
7	【講義】ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク3 ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークについて事例を通して学ぶ
8	【講義】総合的かつ包括的な支援の意義と内容1 ジェネラリスト・ソーシャルワークにかかる基礎理論、特質について学ぶ
9	【講義】総合的かつ包括的な支援の意義と内容2 ジェネラリストの視点に基づく総合的かつ包括的な支援の意義と内容について学ぶ
10	【講義】総合的かつ包括的な支援の意義と内容3 多機関による包括的支援体制、フォーマル・インフォーマルな社会資源との協働体制、ソーシャルサポートネットワークングについて学ぶ
11	【講義】総合的かつ包括的な支援の意義と内容4 ソーシャルサポートネットワークについて事例を通して学ぶ
12	【講義】総合的かつ包括的な支援の意義と内容5 多職種連携及びチームアプローチの意義、機関・団体間の合意形成について学ぶ
13	【講義】総合的かつ包括的な支援の意義と内容6 多職種連携及びチームアプローチについて事例を通して学ぶ(1)
14	【講義】総合的かつ包括的な支援の意義と内容7 多職種連携及びチームアプローチについて事例を通して学ぶ(2)
15	【講義】まとめ 後期学習のふりかえり 課題レポート

成績評価の方法

課題レポート50％ 授業態度、課題などの平常点50％をもって総合的に評価する。
フィードバックについては、授業時にコメントする。

教科書

日本ソーシャルワーク教育学校連盟,2021,『社会福祉士養成講座11ソーシャルワークの基盤と専門職[共通・社会専門]』 中央法規, ISBN 978-4-8058-8241-2

授業外学修（予習・復習）

【予習】次回授業内容に関する情報・書籍・資料などを見ておくこと(目安：約20分)

【復習】授業でのノート、配布資料などで授業の内容をまとめ、授業の振り返りを行う(目安：約40分)

その他

参考資料	・井手英策ほか,2019,『ソーシャルワーカー』 筑摩書房. ・宮本節子,2013,『ソーシャルワーカーという仕事』 筑摩書房. ・鶴幸一郎,2019,『福祉は誰のために』 へるす出版. ・バイスティック,2006,『ケースワークの原則』 誠信書房.
受講生への要望等	・社会問題について日頃から関心を持ち、それに関する書籍・文献などの情報を見てほしい ・積極的な姿勢での受講
授業の質問対応、連絡先	mellyあるいは直接教員室(1号館2階1209)に来てください。来室する場合は、前もってmellyなどで連絡してください。

ソーシャルワーク論III

更新日：2025/09/30 10:39:11

開講年度	2026	学期	前期	科目コード	208280	授業コード	2F101
担当教員	米澤 美保子						
備考							
配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	2年	曜日/時限	－		単位	2
	備考(配当)	自由選択科目					
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP		科目に関連する実務経験	
208280		3◎ H2○		3◎ E2○		社会福祉士	

授業概要

人と環境との交互作用に関する理論、ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク、ソーシャルワークの様々な実践モデルとアプローチ、ソーシャルワークの過程について理解する。基本的に講義形式で行うが、適宜個人ワーク、グループディスカッションを用いる。

到達目標

1	人と環境との交互作用に関する理論とミクロ・メゾマクロレベルのソーシャルワークについて習得できる
2	ソーシャルワークの実践モデルとアプローチについて習得できる
3	ソーシャルワークの過程について習得できる

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	15			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】オリエンテーション人と環境との交互作用に関する理論とミクロ・メゾ・マクロレベルのソーシャルワーク1 これからの進め方、グローバル定義(再確認)について学ぶ
2	【講義】人と環境との交互作用に関する理論とミクロ・メゾ・マクロレベルのソーシャルワーク2 一般システム理論、サイバネティックスについて学ぶ
3	【講義】人と環境との交互作用に関する理論とミクロ・メゾ・マクロレベルのソーシャルワーク3 生態学理論、ライフモデルについて学ぶ
4	【講義】ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ1 バイオ・サイコ・ソーシャルモデル、ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークについて学ぶ
5	【講義】ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ2 医学モデル、生活モデル、ストレングスモデルについて学ぶ
6	【講義】ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ3 心理社会的アプローチ、機能的アプローチ、問題解決アプローチについて学ぶ
7	【講義】ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ4 課題中心アプローチ、危機介入アプローチ、行動変容アプローチについて学ぶ
8	【講義】ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ5 エンパワーメントアプローチ、ナラティブアプローチ、解決志向アプローチについて学ぶ
9	【講義】ソーシャルワークの過程1 ケースの発見、インテークについて学ぶ
10	【講義】ソーシャルワークの過程2 アセスメントについて学ぶ1
11	【講義】ソーシャルワークの過程3 アセスメントについて学ぶ2
12	【講義】ソーシャルワークの過程4 プランニングについて学ぶ
13	【講義】ソーシャルワークの過程5 実施・モニタリングについて学ぶ
14	【講義】ソーシャルワークの過程6 終結とアフターケアについて学ぶ
15	【講義】まとめ 前期学習のふりかえり 課題レポート

成績評価の方法

課題レポート50% 授業態度、課題などの平常点50%をもって総合的に評価する。
フィードバックについては、授業時にコメントする。

教科書

ソーシャルワーク教育学校連盟,2021,『12 ソーシャルワークの理論と方法[共通科目]』中央法規. ISBN 978-4-8058-8242-9

授業外学修（予習・復習）

【予習】次回授業内容に関する情報・書籍・資料などを見ておくこと(目安：約20分)

【復習】授業でのノート、配布資料などで授業の内容をまとめ、授業の振り返りを行う(目安:約40分)

その他

参考資料	・岩間伸之,2008,『対人援助のための相談面接技術』中央法規. ・渡部律子,2019,『福祉専門職のための統合的・多面的アセスメント』ミネルヴァ書房.
受講生への要望等	・社会問題について日頃から関心を持ち、それに関する書籍・文献などの情報を見てほしい ・積極的な姿勢での受講
授業の質問対応、連絡先	mellyあるいは直接研究室(1号館2階1209)に来てください。来室する場合は、前もってmellyなどで予約を取ってください

ソーシャルワーク論Ⅳ

更新日：2025/09/30 10:39:37

開講年度	2026	学期	後期	科目コード	208290	授業コード	2F201
担当教員	米澤 美保子						
備考							
配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科， 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	2年	曜日/時限	－	単位	2	
	備考(配当)	自由選択科目					
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP		科目に関連する実務経験	
208290		3◎ H2○		3◎ E2○		社会福祉士	

授業概要

ソーシャルワーク実践において不可欠な記録、ケアマネジメント、グループワーク、コミュニティワーク、スーパービジョン、コンサルテーションについて理解する。基本的に講義形式で行うが、適宜個人ワーク、グループディスカッションを用いる。

到達目標

1	ソーシャルワークの記録について習得できる
2	ケアマネジメントについて習得できる
3	グループワークについて習得できる
4	コミュニティワークの意義・目的と展開過程を習得できる
5	スーパービジョン・コンサルテーションの意義、目的、方法について習得できる

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	15			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】オリエンテーション、ソーシャルワークの記録1 これからの進め方、ソーシャルワークの記録の意義と目的について学ぶ
2	【講義】ソーシャルワークの記録2 ソーシャルワークの記録の方法について学ぶ
3	【講義】ソーシャルワークの記録3 ソーシャルワークの記録の実際について学ぶ1
4	【講義】ソーシャルワークの記録4 ソーシャルワークの記録の実際について学ぶ2
5	【講義】ケアマネジメント1 ケアマネジメントの原則、意義と方法について学ぶ
6	【講義】ケアマネジメント2 ケアマネジメントの実際について学ぶ1
7	【講義】ケアマネジメント3 ケアマネジメントの実際について学ぶ2
8	【講義】グループワーク グループワークの意義と目的、原則、展開過程、セルフヘルプグループについて学ぶ
9	【講義】コミュニティワーク1 コミュニティワークの意義と目的、ソーシャルインクルージョン、住民参加について学ぶ
10	【講義】コミュニティワーク2 地域アセスメント、地域課題の発見・認識、実施計画とモニタリングについて学ぶ
11	【講義】コミュニティワーク3 地域アセスメントの実際について学ぶ1
12	【講義】コミュニティワーク4 地域アセスメントの実際について学ぶ2
13	【講義】コミュニティワーク5 組織化・社会資源開発、評価と実施計画の更新について学ぶ
14	【講義】スーパービジョン、コンサルテーション スーパービジョン、コンサルテーションの意義、目的、方法について学ぶ
15	【講義】まとめ 後期学習のふりかえり 課題レポート

成績評価の方法

課題レポート50% 授業態度、課題などの平常点50%をもって総合的に評価する。
フィードバックについては、授業時にコメントする。

教科書

ソーシャルワーク教育学校連盟,2021,『12 ソーシャルワークの理論と方法[共通科目]』中央法規. ISBN 978-4-8058-8242-9

授業外学修（予習・復習）

【予習】次回授業内容に関する情報・書籍・資料などを見ておくこと(目安：約20分)

【復習】授業でのノート、配布資料などで授業の内容をまとめ、授業の振り返りを行う(目安:約40分)

その他

参考資料	・福山和女,2005,『ソーシャルワークのスーパービジョン』ミネルヴァ書房. ・福山和女他,2018,『保健・医療・福祉専門職のためのスーパービジョン』ミネルヴァ書房. ・辻 哲夫,2018,『医療・介護・福祉の地域ネットワークづくり事例集』素朴社.
受講生への要望等	・社会問題について日頃から関心を持ち、それに関する書籍・文献などの情報を見てほしい ・積極的な姿勢での受講
授業の質問対応、連絡先	mellyや直接研究室(1号館2階1209)に来てください。来室する場合は、前もってmellyなどで予約を取ってください

ソーシャルワーク論Ⅴ

更新日：2025/11/13 10:56:59

開講年度	2026	学期	前期	科目コード	208300	授業コード	3F101
担当教員	高井 裕二						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科， 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	3年	曜日/時限	一		単位	2
	備考(配当)	自由選択科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20830	3○ H2◎	3○ E2◎	社会福祉士

授業概要

【授業目的】
ソーシャルワークにおける援助関係の形成、社会資源の活用・調整・開発の方法に関する知識を修得する。

【授業内容】
援助関係の形成について具体的な事例を取り上げながら理解を深める。
また、社会資源の活用・調整・開発の方法について、ソーシャルワークの理論や実践を整理しながら概説する。

到達目標

1	ソーシャルワークにおける援助関係の形成について理解できる。
2	社会資源の活用・調整・開発の視点を理解できる。
3	ソーシャルアクション及び個別・地域アセスメントについて理解できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	15			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【オンデマンド講義】相談援助における援助関係の形成 オリエンテーション（この講義を受けるにあたっての注意事項）及びラポール、援助関係について事例を取り上げながら理解する。
2	【オンデマンド講義】援助関係形成の意義と概念 ソーシャルワークの定義・構成要素と援助関係形成の関連について理解する。パისტックの7原則について、事例を参照しながら具体的に学ぶ。
3	【講義】ソーシャルワーカーとクライアントの関係づくり 来談者(クライアント)中心療法におけるセラピストの条件について取り上げ、ソーシャルワーカーのあるべき態度について理解を深める。
4	【オンデマンド講義】援助関係の形成方法と留意点① 倫理綱領、対人関係理論から 倫理綱領を踏まえ、援助関係の形成方法と留意点について理解する。また、エンパワメント、ストレングスなどの視点と援助関係形成の繋がりについて理解する。
5	【講義】援助関係の形成方法と留意点② ソーシャルワークの自己覚知と他者理解 対人援助の専門職と自己覚知の関連について、理解する。また自己覚知におけるスーパービジョンの重要性について事例を参照しながら具体的に学ぶ。
6	【講義】ソーシャルワークと社会資源の関係 社会資源の定義、種類、意義と目的などについて事例を踏まえながら理解する。
7	【オンデマンド講義】ソーシャルワークの実践理論と社会資源の活用 エコロジカル・アプローチ、ジェネラリスト・ソーシャルワーク・アプローチと社会資源の活用について理解を深める。
8	【講義】社会資源の調整 ケアマネジメントの実践、クライアントとの情報の非対称性からの留意点などから社会資源の調整について理解を深める。
9	【講義】社会資源の開発 ソーシャルワーカーが社会資源をどのように開発しているか、地域福祉の実践例を交えながら具体的に学ぶ。また、視聴覚教材もしくはゲストスピーカーによる講義から、その実際を学ぶ。
10	【講義】ソーシャルアクションの意義と目的 日本におけるソーシャルアクションの位置づけの変化を学び、地域共生社会の実現に向けたソーシャルアクションの意義と目的について理解を深める。
11	【講義】ソーシャルアクションと社会資源開発 社会資源開発を目的としたソーシャルアクションの実践プロセスについて概説する。
12	【講義】社会資源の活用・調整・開発に必要な個別・地域アセスメント 個別・地域アセスメントで用いる各種技法、アセスメントシート及びその分析方法について理解を深める。
13	【オンデマンド講義】ソーシャルワークにおけるネットワーキング ネットワーク、ネットワーキングの定義や意義について確認し、社会福祉分野におけるネットワーキングの動向・事例について理解を深める。

14	【講義】ネットワークの方法と課題 ネットワークの多様な性質について確認し、各種福祉サービスや組織へのネットワーキングの効果を学ぶ。また、ネットワークの阻害要因や今後の課題について理解を深める。
15	【講義】ソーシャルワーク論の総括 これまで学んだ援助関係の形成、社会資源の活用・調整・開発、ネットワーキングについて振り返るとともに現在の課題について理解を深める。

成績評価の方法

- ・授業内に課す課題…30%
- ・レポート……………70%

授業内で課す課題については、随時講義でフィードバックする。

教科書

大和三重 編「新版 ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ【専門編】」みらい(2021)
 ISBN10：486015553X

配布する資料の補足や授業内課題の題材として教科書を使用する。

授業外学修（予習・復習）

次の授業で学ぶ章・節を読んでおくこと（45分）。

また、他の講義、演習を受けている際には、この授業で学んだ理論と関連づけて考えるよう試みてほしい（15分）。

その他

参考資料	適宜授業内で示す。
受講生への要望等	私語は厳禁である。これまで福祉の講義、演習で学んだことと結び付けることを心掛け、課題等に積極的に参加してほしい。
授業の質問対応、連絡先	授業終了後、または空き時間に教員室で受け付けます。

ソーシャルワーク論Ⅵ

更新日：2025/10/16 09:17:57

開講年度	2026	学期	前期	科目コード	208310	授業コード	4F104
担当教員	高井 裕二						
備考							
配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	4年	曜日/時限	－	単位	2	
	備考(配当)	自由選択科目					
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP		科目に関連する実務経験	
20831		3 ○ H2 ◎		3 ○ E2 ◎		社会福祉士	

授業概要

【授業目的】
ソーシャルワークの関連技法の理解を深め、これまでに学んできたソーシャルワーク理論を踏まえて相談援助場面で実際に必要となる支援内容に関する知識を修得する。

【授業内容】
ソーシャルワークの関連技法（ネゴシエーション、ファシリテーション、プレゼンテーションなど）について総括する。また、複合的な生活課題について、ミクロ・メゾ・マクロの視点から具体的な事例研究・分析することを通して理解を深める。講義を基本とするが、適宜、個人や集団での演習を取り入れ、双方向での学びを図る。

到達目標

1	ソーシャルワークにおける意義を理解できる。
2	相談援助における人と環境との交互作用を理解し、その視点を身につけることができる。
3	事例研究・分析の方法を理解し、実施時の留意点を理解できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	15			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】オリエンテーション、コーディネーションの意義 コーディネーションの意義と目的について確認し、ミクロ・メゾ・マクロ領域におけるコーディネートを具体的な事例と踏まえながら理解する。
2	【講義】プレゼンテーションの意義 プレゼンテーションの意義と目的について確認し、具体的なプレゼンテーション場面を取り上げながら理解する。
3	【講義】ソーシャルワークの関連技法 ネゴシエーション、ファシリテーションについて概説し、福祉現場の事例や実習での経験を関連付けながら理解を深める。
4	【講義】相談援助における個人情報の保護 相談援助と個人情報保護、個人情報保護制度について確認し、相談援助において個人情報保護の課題にはどのようなことがあるか、具体的な事例を通して理解を深める。
5	【講義】相談援助における情報通信技術(ICT)の活用 福祉情報の定義、相談援助においてICTがどのように活用されているのか、具体的な事例を通して理解を深める。
6	【講義】カンファレンス 会議の種類、方法について確認し、実際の業務や実践における会議の運営について、福祉現場の事例や実習での経験を関連付けながら理解を深める。
7	【講義】事例研究、事例分析 事例分析の目的と意義、方法と留意点、特に事例を発表・報告するための環境設定について理解する。
8	【講義】支援困難事例とスーパービジョン 「支援困難な事例」とは何かについて考え、それを踏まえてスーパービジョンの目的・意義・機能について理解する。
9	【講義】相談援助の実際 1 社会的排除に対するソーシャルワークのアクションについて事例を取り上げ、これまで学んだ援助技術に当てはめながら考え、ソーシャルアクションに必要な知識・技術について理解を深める。
10	【講義】相談援助の実際 2 児童虐待、DVが疑われた事例を取り上げ、これまで学んだ援助技術に当てはめながら考え、支援の優先順位の考え方、価値について理解を深める。
11	【講義】相談援助の実際 3 ホームレス、認知症高齢者の事例を取り上げ、これまで学んだ援助技術に当てはめながら考え、セルフネグレクト状態の人々の権利擁護、意思決定支援について理解を深める。
12	【講義】相談援助の実際 4 滞日外国人、外国にルーツがある人々の現状についてデータをもとに確認し、事例を取り上げ、多様性やニーズの捉え方について理解を深める。

13	【講義】相談援助の実際 5 災害時の取り組み、福祉的な課題について事例を取り上げ、災害時のソーシャルワークの役割、社会福祉士が果たす役割について理解を深める。
14	【講義】相談援助の実際 6 発達障害のある生徒の教育福祉の課題について事例を取り上げ、ストレングス、コーディネーション、エンパワメントなどの視点から、学校内で機能するソーシャルワークの専門性、スクールソーシャルワーカーの役割について理解を深める。
15	【講義】ソーシャルワーク論の総括 これまで学んだソーシャルワークの理論と方法について、「人と環境との交互作用」を中心に総括する。

成績評価の方法

- ・授業内に課す課題…30%
- ・レポート……………70%

授業内で課す課題については、随時講義でフィードバックする。

教科書

大和三重 編「新版 ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ【専門編】」みらい(2021)
ISBN10：486015553X

配布する資料の補足や授業内課題の題材として教科書を使用する。

授業外学修（予習・復習）

次の授業で学ぶ章・節を読んでおくこと（45分）。また、他の講義、演習を受けている際には、この授業で学んだ理論と関連づけて考えるよう試みてほしい（15分）。

その他

参考資料	適宜授業内で示す。
受講生への要望等	私語は厳禁である。これまで福祉の講義、演習で学んだことと結び付けることを心掛け、課題等に積極的に参加してほしい。
授業の質問対応、連絡先	授業終了後、または空き時間に研究室で受け付けます。

社会福祉演習Ⅰ

更新日：2025/12/23 11:54:26

開講年度	2026	学期	後期	科目コード	208320	授業コード	1F204
担当教員	武輪 敬心						
備考							
配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	1年	曜日/時限	－		単位	1
	備考(配当)	自由選択科目					
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP		科目に関連する実務経験	
20832		3〇 H2◎		3〇 E2◎		社会福祉士	

授業概要

ソーシャルワーカーに求められる価値と倫理、自己覚知、コミュニケーション技術、面接技術、ソーシャルワークの展開過程、記録、グループダイナミクスの活用について演習形式で学ぶ。

到達目標

1	自己覚知できるようになり、人間の平等と尊厳について理解できる
2	基本的なコミュニケーション技術および面接技術を身につけることができる
3	ソーシャルワークの展開過程および記録について理解できる
4	プレゼンテーション技術を身につけることができる

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
		15		
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【演習】オリエンテーションおよび自己開示のプレゼンテーション 本授業の目的、進め方、プレゼンテーションの方法を説明し、各自で本授業における習得目標を設定する。自分についての客観的な説明を書き出し、そのなかからまだ開示していない側面を選び、自己紹介とこの授業の目標をプレゼンテーションする。
2	【演習】自分の価値観と他者の価値観 事例を用いて、自分の価値観に向きあい、グループ内で発表する。グループの人の意見も聞き、他者理解も深め、自己覚知する。
3	【演習】コミュニケーションの難しさ 図形伝達や母音トークを通して、自分のコミュニケーション技術の現実およびコミュニケーションの難しさをを理解する。
4	【演習】言語コミュニケーション技術 質問、促し、言い換え、感情の反映、繰り返し、要約等をペアで実践して、言語コミュニケーション技術を高める。
5	【演習】非言語コミュニケーション技術 表情、態度、身ぶり、位置取り等をペアで実践して、非言語的コミュニケーション技術を高める。
6	【演習】ソーシャルワークの展開過程① 事例を用いて、ケースの発見についてグループで議論し、その結果をプレゼンテーションする。
7	【演習】ソーシャルワークの展開過程② 事例を用いて、インテークについてグループで議論し、その結果をプレゼンテーションする。
8	【演習】ソーシャルワークの展開過程③ 事例を用いて、アセスメントについてグループで議論し、その結果をプレゼンテーションする。
9	【演習】ソーシャルワークの展開過程④ 事例を用いて、プランニングについてグループで議論し、その結果をプレゼンテーションする。
10	【演習】ソーシャルワークの展開過程⑤ 事例を用いて、支援の実施とモニタリングについてグループで議論し、その結果をプレゼンテーションする。
11	【演習】ソーシャルワークの展開過程⑥ 事例を用いて、支援の終結と事後評価についてグループで議論し、その結果をプレゼンテーションする。
12	【演習】ソーシャルワークの展開過程⑦ 事例を用いて、アフターケアについてグループで議論し、その結果をプレゼンテーションする。
13	【演習】ソーシャルワークの記録方法 視聴覚教材もしくはゲストスピーカーによる講義から、記録技法を学び、実際に記録する。
14	【演習】グループダイナミクスの活用 事例を用いて、グループワークの構成と展開過程を理解する。さらに、視聴覚教材もしくはゲストスピーカーによる講義から、その実際を学ぶ。
15	【演習】まとめ 各自、第1回に立てた目標の達成度を考察し、その内容をプレゼンテーションする。

成績評価の方法

- ・授業への取組み意欲・態度・提出物 70%
- ・レポート 30%

提出物について、講義内でフィードバックする。

教科書

適宜資料を配布する。

授業外学修（予習・復習）

- ・社会福祉施設等でボランティアするなどして、支援を必要としている人の状況を理解する（10時間程度）
- ・社会福祉や相談援助に関する書籍を読む（10時間程度）
- ・授業後にはレジュメや資料を見直し、復習する（60～90分程度）

その他

参考資料	大谷佳子『イラストと図解でよくわかる 対人援助のスキル図鑑』（2022）中央法規 大谷佳子『現場で使える便利帖 対人援助の現場で使える 聴く・伝える・共感する技術 便利帖』（2017）翔泳社 尾崎新『「現場」のちから—社会福祉実践における現場とは何か』（2002）誠信書房 尾崎新『対人援助の技法—「曖昧さ」から「柔軟さ・自在さ」へ』（1997）誠信書房 尾崎新『「ゆらぐ」ことのできるカー・ゆらぎと社会福祉実践』（1999）誠信書房 川村隆彦『価値と倫理を根底に置いたソーシャルワーク演習』（2002）中央法規 川村隆彦『支援者が成長するための50の原則』（2006）中央法規 川村隆彦『事例と演習を通して学ぶソーシャルワーク』（2003）中央法規 竹田伸也『対人援助の作法』（2018）中央法規 竹田伸也『対人援助の作法 一誰かの力になりたいあなたに必要なコミュニケーションスキル』（2018）中央法規
受講生への要望等	演習形式であるため、特に積極的に参加すること。
授業の質問対応、連絡先	原則、授業内で対応する。授業外は、mellyにて質問を受けつける。対面を希望する場合、mellyでアポイントを取る。

社会福祉演習Ⅱ

更新日：2025/12/23 11:53:47

開講年度	2026	学期	前期	科目コード	208330	授業コード	2F104
担当教員	武輪 敬心						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科， 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	2年	曜日/時限	一		単位	1
	備考(配当)	自由選択科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
220833	3○ H2◎	3○ E2◎	社会福祉士

授業概要

本授業において、①ソーシャルワークの実践に必要な知識と技術の統合を行い、専門的援助技術として概念化し、理論化し、体系立てていくことができる能力を習得する。②社会福祉士に求められるソーシャルワークの価値規範を理解し、倫理的な判断能力を養う。2つの目的を達成するため、事例検討、ロールプレイなどを中心とした演習形式で学ぶ。

到達目標

1	ソーシャルワークの実践に必要な知識と技術の統合を行い、専門的援助技術として概念化し、理論化し、体系立てていくことができる
2	社会福祉士に求められるソーシャルワークの価値規範を理解し、倫理的な判断能力を身につけることができる

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	0.5	14.5		
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義+演習】オリエンテーションおよび自己開示のプレゼンテーション 本授業の目的、進め方を講義し、各自、社会福祉演習Ⅰの目標達成度も踏まえ、本科目における習得目標を設定し、その目標をプレゼンテーションする。
2	【演習】人間の平等と尊厳について① 事例を用いて、ソーシャルワークの価値である「人間の平等と尊重」について個人で検討し、グループにおける議論でその内容を深める。
3	【演習】人間の平等と尊厳について② 前回の議論の内容をプレゼンテーションし、さらに内容を深め、個人で考察をまとめる。
4	【演習】ソーシャルワーカーによる援助 友人からの相談事例を通し、友人としての対応とソーシャルワーカーとしての援助がどのように異なるかを理解する。
5	【演習】障がいのある人へのソーシャルワークにおけるインテーク 事例を用い、中途障がいのある人に対するインテークについて個人で考察したものをグループで検討し、発表する。
6	【演習】障がいのある人へのソーシャルワークにおけるアセスメント 同じ事例を用い、中途障がいのある人の発言や行動から、個人で利用者理解を試み、グループでアセスメントを行う。
7	【演習】障がいのある人へのソーシャルワークにおけるプランニング 前回の授業で行ったアセスメントをもとにグループでプランニングを行い、発表する。 さらに、視聴覚教材もしくはゲストスピーカーによる講義から、その実際を学ぶ。
8	【演習】認知症高齢者への虐待ケースへのソーシャルワークにおけるネットワークング 介護心中に関する事例を用い、心中にいたらないためには、どのような支援が必要だったかを考え、ネットワークングを用いての支援方法を考える。
9	【演習】こども虐待ケースのソーシャルワークにおけるインテーク 事例を用い、父親からの虐待で緊急一時保護されたこどもへのインテークについて検討し、発表する。
10	【演習】こども虐待ケースのソーシャルワークにおけるアセスメント 第9回の事例について、本人および母親、父親の言葉や態度からアセスメントを行う。
11	【演習】こども虐待ケースのソーシャルワークにおけるプランニング 第10回のアセスメントを用いてプランニングを行い、発表する。
12	【演習】こども虐待ケースのソーシャルワークにおける支援の実施 支援の土壌に乗らない父親に対して、どのような支援が必要かを考え、発表する。
13	【演習】こども虐待ケースのソーシャルワークにおける終結とアフターケア 終結とアフターケアについて、検討し、発表する。
14	【演習】こども虐待ケースのソーシャルワークにおけるモニタリングと効果測定 モニタリングと効果測定の方法について、こども虐待の事例をもとに検討し、発表する。
15	【演習】演習Ⅱのまとめ 各自、第1回に立てた目標の達成度を考察し、その内容をプレゼンテーションする。

成績評価の方法

- | | |
|--------------------|-----|
| ・授業への取り組み意欲・態度・提出物 | 70% |
| ・レポート | 30% |

提出物について、講義内でフィードバックする。

教科書

適宜資料を配布する。

授業外学修（予習・復習）

- ・社会福祉施設等でボランティアするなどして、支援を必要としている人の状況を理解する（10時間程度）
- ・社会福祉や相談援助に関する書籍を読む（10時間程度）
- ・授業後にはレジュメや資料を見直し、復習する（60～90分程度）

その他

参考資料	大谷佳子『現場で使える便利帖 対人援助の現場で使える 質問する技術 便利帖』（2019）翔泳社 尾崎新『「現場」のちから—社会福祉実践における現場とは何か』（2002）誠信書房 尾崎新『対人援助の技法—「曖昧さ」から「柔軟さ・自在さ」へ』（1997）誠信書房 尾崎新『「ゆらぐ」ことのできる力—ゆらぎと社会福祉実践』（1999）誠信書房 川村隆彦『価値と倫理を根底に置いたソーシャルワーク演習』（2002）中央法規 川村隆彦『支援者が成長するための50の原則』（2006）中央法規 川村隆彦『事例と演習を通して学ぶソーシャルワーク』（2003）中央法規 下園壮太・伊藤文『イラストと図解でよくわかる 対人援助職のための相談支援スキル図鑑』（2023）中央法規 鈴木孝典・鈴木裕介編『図解でわかる ソーシャルワーク』（2023）中央法規 野坂達志『対人援助職の仕事のルール 一医療領域・福祉領域で働く人の1歩め, 2歩め』（2023）遠見書房 渡辺俊之『新版 ケアを受ける人の心を理解するために』（2015）中央法規 このほか、授業で随時紹介する。
受講生への要望等	演習であり、特に積極的に参加すること。
授業の質問対応、連絡先	原則、授業内で対応する。授業外は、mellyで質問を受けつける。対面を希望する場合は、アポイントを取ること。

社会福祉演習III

更新日：2025/09/29 14:18:06

開講年度	2026	学期	後期	科目コード	208340	授業コード	2F203
担当教員	高井 裕二						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	1
	備考(配当)	自由選択科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
20834	3○ H2◎	3○ E2◎	社会福祉士

授業概要

【授業目的】
事例検討、ロールプレイなどの実践的な演習を通してソーシャルワークの専門的知識・技術を修得する。

【授業内容】
ソーシャルワークの実践に必要な知識と技術の統合を行い、専門的援助技術として概念化し、理論化し、体系立てていくことができる能力を習得するために、事例検討、ロールプレイなど演習方式で学ぶ。

到達目標

1	ソーシャルワークの実践に必要な知識と技術の統合を行い、専門的援助技術を体系的に理解できる。
2	事例検討を重ね、クライアントのニーズを把握するように努め、その根拠を説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	0.5	14.5		
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義+演習】オリエンテーションおよび自己開示のプレゼンテーション 本授業の目的、進め方を講義し、各自、演習IIIの目標達成度も踏まえた上で、本授業における習得目標を設定し、その目標をプレゼンテーションする。
2	【演習】高齢者虐待ケースへのソーシャルワーク① 高齢者虐待への方法について、個人で考えグループで議論し、発表する。
3	【演習】高齢者虐待ケースへのソーシャルワーク② 前回授業の内容をもとに、高齢者虐待防止や予防に必要な社会資源やネットワーキングについて議論し、発表する。
4	【演習】DVケースへのソーシャルワーク① DV被害者へのアウトリーチの方法について個人で考えグループで議論し、発表する。
5	【演習】DVケースへのソーシャルワーク② DV被害者支援におけるチームアプローチとネットワーキングについて議論し、発表する。
6	【演習】教育現場におけるソーシャルワーク ひきこもりの子どもに対して、学校とスクールソーシャルワーカーが協働して取り組んだ事例をもとにチームアプローチの理解を深める。
7	【演習】多問題家族におけるソーシャルワーク① 事例を用いて、多問題家族におけるネットワーキングとコーディネーションについて議論し、理解を深める。
8	【演習】多問題家族におけるソーシャルワーク② 事例を用いて、多問題家族におけるネゴシエーションとファシリテーションについて議論し、理解を深める。
9	【演習】がん患者とその家族への終末期ケア① 事例を用い、がん患者への支援について、医療機関におけるチームアプローチについて、議論し発表する
10	【演習】がん患者とその家族への終末期ケア② 事例を用い、がん患者の家族への支援について、医療機関におけるチームアプローチについて、議論し発表する
11	【演習】社会的排除の事例におけるソーシャルワーク① LGBTや路上生活者等の解説DVDを視聴し、LGBTや路上生活者等の人が抱える問題を書き出す。
12	【演習】社会的排除の事例におけるソーシャルワーク② 前回の授業をもとに、どのような社会になればLGBTや路上生活者等の人々が住みやすくなるか具体的なソーシャルアクションの方法を考え、議論し、発表する。
13	【演習】ひきこもり、８０５０問題におけるソーシャルワーク① ひきこもりの背景や８０５０問題の問題点について話し合い、発表する。
14	【演習】ひきこもり、８０５０問題におけるソーシャルワーク② ８０５０問題の事例を用いて、他問題家族への具体的な支援内容について議論し、発表する。

15

【演習】演習IIIのまとめ

各自、1回目に立てた目標の達成度を考察し、その内容をプレゼンテーションする。

成績評価の方法

- ・授業への取組み意欲・態度・提出物…50%
- ・中間・期末レポート……………50%

授業内で課す提出物については、随時講義でフィードバックする。

教科書

資料を適宜配布する。

授業外学修（予習・復習）

授業内で指示した内容を学修する（予習30分、復習30分程度）。

その他

参考資料	鈴木武幸他編(2015)『社会福祉士相談援助演習事例集』学文社
受講生への要望等	演習形式であるので積極的に授業に参加すること。
授業の質問対応、連絡先	基本的には授業内で受け付ける。授業外の場合はメリーでアボをとり、教員室に来ること。

社会福祉演習Ⅳ

更新日：2025/09/30 10:20:36

開講年度	2026	学期	前期	科目コード	208350	授業コード	3F104
担当教員	米澤 美保子						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科， 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	3年	曜日/時限	一		単位	1
	備考(配当)	自由選択科目					

科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
		3◎ H2○	3◎ H2○	社会福祉士

授業概要

ソーシャルワーカーに求められる相談援助の知識と技術について、地域福祉の基盤と開発に関する事例を活用し、個別指導、集団指導を通して、地域アセスメントや評価等の仕組み、およびミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象と展開過程、実践モデルとアプローチについて理解する。ソーシャルワーカーに求められる相談援助の知識と技術について、受講生個々の社会福祉実習(60時間)における体験をふりかえり理解する。

到達目標

1	地域住民に対するアウトリーチとニーズ把握について理解できる
2	地域アセスメントについて理解できる
3	地域福祉の計画について、計画の意義、計画策定の過程について理解できる

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	0.5	14.5		
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義+演習】オリエンテーション/社会福祉実習における相談援助の学び、スーパービジョンの整理 これからの取り組み方を説明する。実習(60時間)においての学びを振り返り、相談援助技術や実習中に受けたスーパービジョン、専門職像について整理し共有する （予習）実習日誌などを読む（20分） （復習）講義を通して学んだことを整理する（60分）
2	【演習】社会福祉実習における個別体験による対人援助技術 実習(60時間)における利用者との関わり場面についてグループワークによりアセスメントを行い、対人援助技術について学ぶ （予習）実習日誌などを読む（20分） （復習）講義を通して学んだことを整理する（60分）
3	【演習】地域福祉の基盤整備と開発に関する事例を活用した実技指導(1)地域アセスメント 演習課題の取組により地域アセスメントについて学ぶ （予習）地域アセスメントについてまとめる（60分） （復習）講義を通して学んだことを整理する（60分）
4	【演習】地域福祉の基盤整備と開発に関する事例を活用した実技指導(2)アウトリーチ 演習課題の取組により地域住民に対するアウトリーチについて学ぶ （予習）アウトリーチについてまとめる（60分） （復習）講義を通して学んだことを整理する（60分）
5	【演習】地域福祉の基盤整備と開発に関する事例を活用した実技指導(3)ネットワーキング 演習課題の取組によりネットワーキングおよび社会資源の活用・調整について学ぶ （予習）ネットワーキング、社会資源についてまとめる（60分） （復習）講義を通して学んだことを整理する（60分）
6	【演習】地域福祉の基盤整備と開発に関する事例を活用した実技指導(4)ソーシャルアクション 演習課題の取組によりソーシャルアクションおよび地域ニーズについて学ぶ （予習）ソーシャルアクション、地域のニーズ把握についてまとめる（60分） （復習）講義を通して学んだことを整理する（60分）
7	【演習】地域福祉の基盤整備と開発に関する事例を活用した実技指導(5)社会資源の開発 演習課題の取組により社会資源の開発について学ぶ （予習）社会資源の開発についてまとめる（60分） （復習）講義を通して学んだことを整理する（60分）
8	【演習】実践方法指導（1）地域ニーズの把握（1） 地域の状況把握について大学周辺の地域状況を統計情報などから情報収集することを通して学ぶ （予習）地域概況の項目や地域情報の収集手段、ニーズ把握についてまとめる。大学周辺の様子・状況を意識して観察する（60分） （復習）講義を通して学んだことを整理する（60分）

9	【演習】実践方法指導（2）地域ニーズの把握（2） 把握した地域状況から地域ニーズを抽出し検討することにより学ぶ （予習）地域ニーズに関する書籍やこれまでの学びをふり返る（20分） （復習）講義を通して学んだことを整理する（60分）
10	【演習】実践方法指導（3）地域福祉の計画（1） 地域福祉の計画について抽出した地域ニーズを基に地域支援の計画作成を通じて学ぶ （予習）地域アセスメントについてまとめる（60分） （復習）講義を通して学んだことを整理する（60分）
11	【演習】実践方法指導（4）地域福祉の計画（2） 作成した計画を発表する。他者の計画と自分自身の計画との比較から地域ニーズの捉え方や地域アセスメントについての理解を深める （予習）作成した地域支援の計画を読む（30分） （復習）講義を通して学んだことを整理する（60分）
12	【演習】実践方法指導（5）地域福祉の計画（3） 作成した計画を基に地域支援の取り組みの実施計画を作成することにより、アウトリーチ、地域支援について理解を深める （予習）地域支援の取り組みについてまとめる（60分） （復習）講義を通して学んだことを整理する（60分）
13	【演習】実践方法指導（6）地域福祉の計画（4） 地域支援の取り組みの実施計画を発表し、サービスの評価について学ぶ （予習）計画の評価についてまとめる（60分） （復習）講義を通して学んだことを整理する（60分）
14	【演習】実践方法指導（7）地域福祉実践 コミュニティソーシャルワーカーの実践、特に組織化、地域ニーズ、アウトリーチに着目して視聴覚教材により学び、地域福祉実践について考える （予習）コミュニティソーシャルワーカーについてまとめる（60分） （復習）講義を通して学んだことを整理する（60分）
15	【演習】演習のまとめ これまでの学びの整理とまとめを行う。 （予習）これまでのまとめを読む（30分） （復習）本科目で学んだことを整理する（60分）

成績評価の方法

- ・授業への取り組み意欲・態度・提出物…60%
- ・レポート……………40%

フィードバックは授業時にコメントする。

教科書

適宜資料を配布する。

授業外学修（予習・復習）

上記「授業計画」に記載の通り、予習、復習を行うこと。
 また、社会福祉や相談援助に関する書籍を読むこと。

その他

参考資料	「学びが深まるソーシャルワーク演習」演習委員会編,2023,『学びが深まるソーシャルワーク演習 実践編』ミネルヴァ書房。 「学びが深まるソーシャルワーク演習」演習委員会編,2021,『学びが深まるソーシャルワーク演習』ミネルヴァ書房。 日本ソーシャルワーク教育学校連盟編,2021,『最新社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座 13 ソーシャルワーク演習[共通科目]』中央法規。 ソーシャルワーク演習研究会,2018,『すぐに使える!学生・教員・実践者のためのソーシャルワーク演習』ミネルヴァ書房。 川村隆彦,2007,『価値と倫理を根底に置いたソーシャルワーク演習』中央法規出版。
受講生への要望等	演習形式であるので積極的に参加すること。
授業の質問対応、連絡先	mellyや直接教員室(1号館1209)に来てください。来室する場合は、前もってmellyなどで予約を取ってください。

社会福祉演習 V

更新日：2025/10/16 13:52:43

開講年度	2026	学期	後期	科目コード	208360	授業コード	3F201
担当教員	米澤 美保子						
備考	グループワーク、プレゼンテーション						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	3年	曜日/時限	一	単位	1
	備考(配当)	自由選択科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
	3◎ H2○	3◎ H2○	社会福祉士

授業概要

実習を通じて体験した事例について、事例検討等を実際に行い、その意義や方法を具体的に理解する。実践の質の向上を図るため、スーパービジョンについて体験的に理解する。

到達目標

1	ソーシャルワークに係る知識と技術について社会福祉実習での個別的体験を一般化し、実践的かつ学術的な知識及び技術として習得できる
---	--

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	0.5	14.5		
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義+演習】オリエンテーション/社会福祉実習における相談援助の学び、スーパービジョンの整理 これからの取り組み方を説明する。実習においての学びを振り返り、相談援助技術や実習中に受けたスーパービジョン、専門職像について整理し共有する （予習）実習日誌を読む（40分） （復習）講義を通して学んだことを整理する（60分）
2	【演習】社会福祉実習における個別体験による対人援助技術（1） 実習における利用者との関わり場面について整理し発表する （予習）関わり場面のワークシートを読む（30分） （復習）講義を通して学んだことを整理する（60分）
3	【演習】社会福祉実習における個別体験による対人援助技術（2） 実習における利用者との関わり場面についてグループワークによりアセスメントを行い、対人援助技術について学ぶ （予習）関わり場面のワークシートを読む。アセスメント、面接技術についてまとめる。（60分） （復習）講義を通して学んだことを整理する（60分）
4	【演習】社会福祉実習における個別体験による対人援助技術（3） グループワークによるアセスメント結果をロールプレイにより発表し、他グループからのピアスーパービジョンをふりかえる。 （予習）ワークシートを読む（30分） （復習）講義を通して学んだことを整理する（60分）
5	【演習】事例検討の目的と方法 事例検討の取り組みについての説明と各自社会福祉実習における事例をワークシートに記入する （予習）実習日誌を読む（30分） （復習）講義を通して学んだことを整理する（60分）
6	【演習】事例検討（1）事例発表 各自作成した事例を発表する （予習）作成したワークシートを読む（30分） （復習）講義を通して学んだことを整理する（60分）
7	【演習】事例検討（2）事例①のアセスメント 実習における個別体験による事例①についてアセスメントを行い、個別支援計画を作成することにより、相談援助のプロセス、アセスメントの視点について学びを深める （予習）相談援助のプロセスとアセスメントの視点についてまとめる（60分） （復習）講義を通して学んだことを整理する（60分）
8	【演習】事例検討（3）事例①の個別支援計画発表 事例①の個別支援計画を発表する。実習中におけるスーパービジョンの内容をふりかえり、共有しスーパービジョンについての理解を深める （予習）作成したワークシートと個別支援計画を読む（30分） （復習）講義を通して学んだことを整理する（60分）
9	【演習】事例検討（4）事例②のアセスメント 実習における個別体験による事例②についてアセスメントを行い、個別支援計画を作成することにより、個別支援計画のプロセス、アセスメントの視点について学びを深める （予習）相談援助のプロセスとアセスメントの視点についてまとめる（60分） （復習）講義を通して学んだことを整理する（60分）

10	【演習】事例検討（５）事例②の個別支援計画発表 事例②の個別支援計画を発表する。実習中におけるスーパービジョンの内容をふりかえり、共有しスーパービジョンについての理解を深める（予習）作成したワークシートと個別支援計画を読む（30分） （復習）講義を通して学んだことを整理する（60分）
11	【演習】事例検討（６）事例③作成(コミュニティワーク) 各自社会福祉実習における事例をワークシートに記入する（予習）実習日誌を読む（30分） （復習）講義を通して学んだことを整理する（60分）
12	【演習】事例検討（７）事例③(コミュニティワーク)のアセスメント 個別・グループワークにより実習における事例③についてアセスメントを行い、相談援助のプロセス、アセスメントの視点について学びを深める（予習）相談援助のプロセスとアセスメントの視点についてまとめる（60分） （復習）講義を通して学んだことを整理する（60分）
13	【演習】事例検討（８）事例③(コミュニティワーク)のアセスメントの発表 事例③のアセスメントを発表する。実習中におけるスーパービジョンの内容をふりかえり、共有しスーパービジョンについての理解を深める（予習）作成したワークシートを読む（30分） （復習）講義を通して学んだことを整理する（60分）
14	【演習】事例検討（９）事例③(コミュニティワーク)のロールプレイ グループワークによるアセスメント結果をロールプレイにより発表し、他グループからのピアスーパービジョンをふりかえる。（予習）ワークシートを読む（30分） （復習）講義を通して学んだことを整理する（60分）
15	【演習】総括 ソーシャルワーク演習の振り返りを行う。（予習）これまで取り組んだワークシートを読む（30分） （復習）講義を通して学んだことを整理する（60分）

成績評価の方法

- ・授業への取り組み意欲・態度・提出物…60%
- ・レポート……………40%

フィードバックは授業時にコメントする。

教科書

適宜資料を配布する。

授業外学修（予習・復習）

上記「授業計画」に記載の通り、予習、復習を行うこと。
また、社会福祉や相談援助に関する書籍を読むこと。

その他

参考資料	「学びが深まるソーシャルワーク演習」演習委員会編,2023,『学びが深まるソーシャルワーク演習 実践編』ミネルヴァ書房。 「学びが深まるソーシャルワーク演習」演習委員会編,2021,『学びが深まるソーシャルワーク演習』ミネルヴァ書房。 日本ソーシャルワーク教育学校連盟編,2021,『最新社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座 13 ソーシャルワーク演習[共通科目]』中央法規。
受講生への要望等	演習形式であるので積極的に参加すること。
授業の質問対応、連絡先	mellyや直接教員室(1号館1209)に来てください。来室する場合は、前もってmellyなどで予約を取ってください。

社会福祉実習指導Ⅰ

更新日：2025/09/10 14:09:45

開講年度	2026	学期	後期	科目コード	208370	授業コード	2F204
担当教員	米澤 美保子, 高井 裕二, 武輪 敬心						
備考							
配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	2年	曜日/時限	－	単位	1	
	備考(配当)	自由選択科目					
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP		科目に関連する実務経験	
220837		3〇 H2◎		3〇 E2◎		社会福祉士	

授業概要

社会福祉実習Ⅰに向けての具体的な準備を行う。

到達目標

1	社会福祉士として求められる役割を理解し、価値と倫理に基づく専門職としての姿勢を身につけることができる。
2	ソーシャルワーク実習の意義について理解し、社会福祉実習Ⅰの実習計画書を作成できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	6.5	8.5		
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】社会福祉実習および社会福祉実習指導の意義① 実習を終えた学生から社会福祉実習の意義を学ぶ。
2	【演習】社会福祉実習および社会福祉実習指導の意義② ①実習に向けての基本的マナーおよびコミュニケーションについてロールプレイを行う。
3	【演習】社会福祉実習および社会福祉実習指導の意義③ ②実習に向けての基本的マナーおよびコミュニケーションについてロールプレイを行う。
4	【講義】実習先の理解① ゲストスピーカーによる講話を通して実習先について学ぶ。
5	【講義】実習先の理解② 社会福祉士、社会福祉施設の役割について学ぶ。
6	【演習】個人票作成 実習先へ提出する個人票の作成を行う。
7	【講義+演習】計画書作成 事前訪問を行い、実習生、実習担当教員との三者協議を踏まえた実習計画の作成
8	【演習】計画書作成③ 前回は踏まえ、実習計画書を完成させる。
9	【演習】実習先の理解③ 配属先の実習先について調べる。
10	【演習】実習先の理解④ 配属先の実習先について調べる。
11	【講義】実習記録について① 映像資料を見て、実際に実習日誌を記入し、添削を受ける。
12	【講義】実習記録について② 映像資料を見て、実際に実習日誌を記入し、添削を受ける。
13	【演習】社会福祉実習および社会福祉実習指導の意義④ ③実習に向けての基本的マナーおよびコミュニケーションについてロールプレイを行う。
14	【演習】社会福祉実習および社会福祉実習指導の意義⑤ ④実習に向けての基本的マナーおよびコミュニケーションについてロールプレイを行う。
15	【講義】実習直前諸注意 実習中の諸注意、個人のプライバシーと守秘義務について講義する。

成績評価の方法

- ・ロールプレイ……………70%
 - ・実習計画書・事前学習のレポート…20%
 - ・授業への取組み意欲・態度……………10%
- フィードバックは適宜コメントする。

教科書

なし

授業外学修（予習・復習）

社会福祉に関する書籍を読むこと（合計15時間）

その他

参考資料	鶴 幸一郎ほか『福祉は誰のためにーソーシャルワークの未来図』 木下大生ほか『知りたい！ソーシャルワーカーの仕事』 八木亜紀子『相談援助職の記録の書き方ー短時間で適切な内容を表現するテクニック』 宮本節子『ソーシャルワーカーという仕事』 副田あけみ・小嶋章吾『ソーシャルワーク記録[改訂版]:理論と技法』
受講生への要望等	実習は外部へ出て行うため、基本的マナーについても、厳しくチェックする。時間前行動を心掛けること。
授業の質問対応、連絡先	基本的には授業内で対応するが、授業時間外の場合は研究室で質問に対応する。mellyでアポイントをとること。

社会福祉実習指導Ⅱ

更新日：2025/09/30 16:06:28

開講年度	2026	学期	前期	科目コード	208380	授業コード	3F105
担当教員	米澤 美保子, 高井 裕二, 武輪 敬心						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	3年	曜日/時限	一		単位	1
	備考(配当)	自由選択科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
208380	3〇 H2◎	3〇 H2◎	社会福祉士

授業概要

社会福祉実習Ⅰの振り返りを行い、それを踏まえた上で社会福祉実習Ⅱに向けての具体的な準備を行う。

到達目標

1	実習で得た具体的な体験や援助活動を、専門的援助技術として概念化し、理論化し、体系立てていくことができる。
2	社会福祉実習Ⅱの計画書を作成できる。
3	ソーシャルワークに係る知識と技術について具体的かつ実践的に理解することができる。
4	ソーシャルワーク機能を発揮するための基礎的な能力を習得することができる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	2	13		
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【演習】社会福祉実習Ⅰの課題の整理と実習総括レポートの作成① 実習Ⅰのふりかえりを行い、総括レポートを作成する。 写真貼付し個人票を完成させる。
2	【演習】社会福祉実習Ⅰの課題の整理と実習総括レポートの作成② 実習Ⅰのふりかえりを行い、総括レポートを作成する。
3	【演習】社会福祉実習Ⅰの課題の整理とパワーポイントの作成 総括レポートをふまえて、パワーポイントを作成する。
4	【演習】実習Ⅰの総括のプレゼンテーション 総括レポートをふまえて作成したパワーポイントによりプレゼンテーションを行う。
5	【演習】計画書作成① これまでの授業内容を踏まえ、実習計画書の下書きを作成する。
6	【演習】計画書作成② 実習計画書の下書きを作成する。
7	【演習】計画書作成③ 実習計画書の下書きを作成する。
8	【演習】計画書作成④ 前回は踏まえ、実習計画書を完成させる。
9	【講義】事前訪問の説明 実習の手引きにより、事前訪問の説明を行う。 事前訪問に必要な書類を準備する。
10	【演習】実習先の理解① 実習先の概要、他の職種の専門性、業務や地域について調べる。
11	【演習】実習先の理解② 実習先について調べたことを発表する。
12	【演習】実習先の理解③ 前回の指導内容をふまえて、実習先についてまとめる。
13	【講義】実習直前注意 実習中の諸注意、個人のプライバシーと守秘義務について学ぶ。
14	【演習】帰校日指導 実習計画書に照らして実習の進捗状況等を整理し、より学びのある実習にするためのスーパービジョンを受ける。
15	【演習】実習先への巡回指導 実習計画書に照らして実習の進捗状況等を整理し、より学びのある実習にするためのスーパービジョンを受ける。

成績評価の方法

- ・授業への取組み意欲・態度…………… 20%
- ・60H実習報告書…………… 20%
- ・60H実習報告(パワーポイント)……………10%
- ・60H実習報告(発表)…………… 5%
- ・事前学習レポート(ワード)……………20%
- ・事前学習レポート(発表)…………… 5%
- ・180H実習計画書…………… 20%

フィードバックは適宜コメントする。

教科書

なし

授業外学修（予習・復習）

社会福祉に関する書籍を読むこと（合計15時間）

その他

参考資料	鶴 幸一郎ほか『福祉は誰のためにーソーシャルワークの未来図』 木下大生ほか『知りたい！ソーシャルワーカーの仕事』 八木亜紀子『相談援助職の記録の書き方ー短時間で適切な内容表現するテクニック』 宮本節子『ソーシャルワーカーという仕事』 副田あけみ・小嶋章吾『ソーシャルワーク記録[改訂版]:理論と技法』
受講生への要望等	実習は外部へ出て行うため、基本的マナーについても、厳しくチェックする。時間前行動を心掛けること。
授業の質問対応、連絡先	基本的には授業内で対応するが、授業時間外の場合は教員室で質問に対応する。mellyでアポイントをとること。

社会福祉実習指導III

更新日：2025/09/30 16:04:01

開講年度	2026	学期	後期	科目コード	208390	授業コード	3F202
担当教員	米澤 美保子, 高井 裕二, 武輪 敬心						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	3年	曜日/時限	一		単位	1
	備考(配当)	自由選択科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
208390	3○ H2◎	3○ H2◎	社会福祉士

授業概要

実習Ⅱを振り返り、実習Ⅰおよび実習Ⅱでの学びを概念化し、理論化し、体系立てて発表する。

到達目標

1	実習で得た具体的な体験や援助活動を、専門的援助技術として概念化し、理論化し、体系立てていくことができる。
2	ソーシャルワークに係る知識と技術について具体的かつ実践的に理解することができる。
3	ソーシャルワーク機能を発揮するための基礎的な能力を習得することができる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
		15		
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【演習】帰校日指導 実習計画に照らして実習の進捗状況等を整理し、より学びのある実習にするためのスーパービジョンを受ける。
2	【演習】帰校日指導 実習計画に照らして実習の進捗状況等を整理し、より学びのある実習にするためのスーパービジョンを受ける。
3	【演習】実習報告会のテーマ設定 実習で学んだこと、実習で見つけた自分の課題を踏まえて、実習報告会のテーマを設定する。
4	【演習】実習報告会の発表内容準備① 設定したテーマに即して、発表内容を各自で準備する。
5	【演習】実習報告会の発表内容準備② 準備した発表内容を基にパワーポイントで発表資料を作成する。
6	【演習】実習報告会の発表内容準備③ パワーポイントによる発表資料を完成させる。
7	【演習】実習報告会の発表内容準備④ 完成したパワーポイントを発表し、グループディスカッションを通して修正する。
8	【演習】実習報告会の発表内容準備⑤ 修正後のパワーポイントを発表し、グループディスカッションを通して発表内容を精度の高いものにする。
9	【演習】実習報告会の発表内容準備⑥ グループディスカッションの内容を反映したパワーポイントを発表し、リハーサルに向けて調整を行う。
10	【演習】実習報告会リハーサル 本番と同様の練習を行い、プレゼンテーションスキルを高める。
11	【演習】実習報告会に向けての最終調整 リハーサルの内容を踏まえ、最終調整を行う。
12	【演習】実習報告会 実習での学びをプレゼンテーションする。
13	【演習】実習総括レポートの作成① 教員の添削を踏まえ実習総括レポートを作成する。
14	【演習】実習総括レポートの作成② 教員の添削を踏まえ実習総括レポートを作成する。
15	【演習】実習総括レポートの作成③ 実習総括レポートを完成させる。

成績評価の方法

- ・授業への取組み意欲・態度……………30%
- ・実習報告書(180H)……………35%

- ・プレゼンテーション(パワーポイント)…… 20%
- ・プレゼンテーション(発表) ……………15%

フィードバックは適宜コメントする。

教科書

なし

授業外学修（予習・復習）

社会福祉に関する書籍を読むこと（合計15時間）

その他

参考資料	実習先のパンフレット等
受講生への要望等	実習での学びを整理し、継続的に学ぶためにも、可能であれば、実習終了後もボランティアなどでかかわれると良い。
授業の質問対応、連絡先	基本的には授業内で対応するが、授業時間外の場合は教員室で質問に対応する。mellyでアポイントをとること。

社会福祉実習Ⅰ

更新日：2025/09/10 14:35:42

開講年度	2026	学期	後期	科目コード	208400	授業コード	2F205
担当教員	米澤 美保子, 高井 裕二, 武輪 敬心						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	2年	曜日/時限	一		単位	2
	備考(配当)	自由選択科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
220840	2◎ 3○ H2○	2◎ 3○ E2○	社会福祉士

授業概要

社会福祉施設・機関・団体における現場実習をとおして、社会福祉分野の相談援助職として必要な知識、技術、倫理について実践的に学び、理解を深めていく。具体的には、社会福祉施設・機関・団体の現状および社会福祉分野の相談援助職に必要な専門知識と技術、職業倫理について理解を深め、総合的かつ包括的な支援における多職種・多機関、地域住民等との連携のあり方及びその具体的内容を実践的に理解する。

到達目標

1	利用者やその関係者、実習施設職員等との基本的なコミュニケーションをはかることができる。
2	実習施設・機関が地域社会の中で果たす役割を理解することができる。
3	利用者や地域の状況を理解することができる。
4	当該施設・機関のサービスの実際を理解することができる。
5	社会福祉士としての職業倫理と組織の一員としての役割と責任を理解することができる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
			30	
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	2年生春季休暇時に60時間以上行う。 実習担当教員は週1回の実習指導を通して、次に掲げる事項について学生及び実習指導者との連絡調整を密に行い、学生の実習状況についての把握とともに実習中に十分な個別指導を行うものとする。 ①利用者やその関係者、施設・事業者・機関・団体、住民やボランティア等との基本的なコミュニケーション ②実習先が地域社会の中で果たす役割の理解 ③施設・事業者・機関・団体等の経営やサービスの管理運営の実際 ④社会福祉士としての職業倫理と組織の一員としての役割と責任の理解
---	---

成績評価の方法

- ・実習先からの評価……………70%
- ・実習日誌……………30%

教科書

なし

授業外学修（予習・復習）

実習で生じた疑問について調べる（毎回1時間程度）。

その他

参考資料	実習先のパンフレット等（事前に集めておくこと）
受講生への要望等	学外での実習になるため、社会人としてのマナーを身につけた上で実習すること。
授業の質問対応、連絡先	万が一、実習を欠席する場合は、必ず実習先に電話で連絡を入れること。教員へは科目mellyで連絡すること。

社会福祉実習Ⅱ

更新日：2025/09/10 14:09:20

開講年度	2026	学期	前期	科目コード	208410	授業コード	3F106
担当教員	米澤 美保子, 高井 裕二, 武輪 敬心						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	3年	曜日/時限	一		単位	6
	備考(配当)	自由選択科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
208410	2◎ 3○ H2○	2◎ 3○ E2○	社会福祉士

授業概要

社会福祉施設・機関・団体における現場実習をとおして、社会福祉分野の相談援助職として必要な知識、技術、倫理について実践的に学び、理解を深めていく。具体的には、社会福祉施設・機関・団体の現状および社会福祉分野の相談援助職に必要な専門知識と技術、職業倫理について理解を深めていくとともに、これらの知識、技術、倫理を実際の援助場面で適切に活用すること、さらに総合的かつ包括的な支援における多職種・多機関、地域住民等との連携のあり方及びその具体的内容を実践的に理解する。

到達目標

1	利用者やその関係者、実習施設職員等との基本的なコミュニケーションや円滑な人間関係を形成することができる
2	利用者やその関係者と援助関係を形成することができる
3	利用者や地域の状況を理解し、その生活上の課題を把握して、支援計画を作成、実施、評価することができる
4	多職種連携、チームアプローチを実践的に理解することができる

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
			90	
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	3年生夏季休暇時に180時間以上行う。 実習担当教員は週1回の指導(巡回指導・帰校日指導)を通して、次に掲げる事項について学生及び実習指導者との連絡調整を密に行い、学生の実習状況についての把握とともに実習中に十分な個別指導を行うものとする。
	①利用者やその関係者、施設・事業者・機関・団体、住民やボランティア等との基本的なコミュニケーションや円滑な人間関係の形成 ②利用者やその関係者との援助関係の形成 ③利用者や地域の状況を理解し、その生活上の課題の把握、支援計画の作成と実施及び評価 ④利用者やその関係者（家族・親族、友人等）への権利擁護活動とその評価 ⑤多職種連携及びチームアプローチの実践的理解 ⑥実習先が地域社会の中で果たす役割の理解及び具体的な地域社会への働きかけ ⑦地域における分野横断的・業種横断的な関係形成と社会資源の活用・調整・開発に関する理解 ⑧施設・事業者・機関・団体等の経営やサービスの管理運営の実際 ⑨社会福祉士としての職業倫理と組織の一員としての役割と責任の理解 ⑩ソーシャルワーク実践に求められる技術、アウトリーチ、ネットワーキング、コーディネーション、ネゴシエーション、ファシリテーション、プレゼンテーション、ソーシャルアクションの実践的理解

成績評価の方法

- ・実習先からの評価……………70%
- ・実習日誌……………30%

教科書

なし

授業外学修（予習・復習）

実習で生じた疑問について調べる（毎回1時間程度）

その他

参考資料	実習先のパンフレット等（事前に集めておくこと）
受講生への要望等	学外での実習になるため、社会人としてのマナーを身につけた上で実習すること。
授業の質問対応、連絡先	万が一、実習を欠席する場合は、必ず実習先に電話で連絡を入れること。教員へは科目mellyで連絡すること。

保存修復学

更新日：2025/10/01 16:45:43

開講年度	2026	学期	前期	科目コード	309010	授業コード	20103
担当教員	山本 一世, 谷本 啓彰, 岩田 有弘, 保尾 謙三, 奥村 瑳恵子, 杉村 留奈, 三木 晃治, 神田 智子						
備考							
配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	2年	曜日/時限	－	単位	1	
	備考(配当)	必修科目					
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP		科目に関連する実務経験	
30901		1○ H1◎		1○ E1◎		歯科医師	

授業概要

う蝕その他の歯の硬組織疾患に対する保存修復処置（コンポジットレジン修復、グラスアイオノマーセメント修復の直接修復とメタルインレー修復、コンポジットレジンインレー修復、セラミックインレー修復の間接修復、ラミネートベニア修復、象牙質知覚過敏症への対応、歯の漂白など）の内容と管理について、また処置の前準備（防湿法、歯間分離法、歯肉圧排法、隔壁法、除痛法）と器具・器材の取り扱い、および歯科診療時における補助（切削器具や治療に使用する器具などの準備、診療時の介助など）を行うための基本的な知識について学ぶ。

到達目標

1	う蝕その他の歯の硬組織疾患の保存修復処置と管理について説明できる。
2	う蝕その他の歯の硬組織疾患の保存修復処置を行うための基本的な診療補助について説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】保存修復学の概要・口腔検査（谷本啓彰） ・保存修復学の概要を説明できる。 ・コミュニケーションの目的と技法を説明できる。 ・医療面接の役割と手法を説明できる。 ・歯の硬組織疾患の検査法の種類を説明できる。
2	【講義】硬組織疾患の種類（谷本啓彰） ・歯の硬組織疾患の病因・病態を説明できる。 ・う蝕の症状・診断とリスクファクターを説明できる。
3	【講義】歯質の切削、窩洞（杉村留奈） ・切削器械の種類と用途を説明できる。 ・切削器具の種類と用途を説明できる。 ・その他の歯質切削器械の種類と用途を説明できる。 ・Blackの分類を説明できる。 ・窩洞の構成要素を説明できる。
4	【講義】修復の前準備、歯髄保護（杉村留奈） ・防湿法を説明できる。 ・歯間分離法を説明できる。 ・歯肉圧排法を説明できる。 ・隔壁法を説明できる。 ・除痛法を説明できる。 ・歯髄保護を説明できる。 ・仮封の目的と種類を説明できる。
5	【講義】直接修復法-1（保尾謙三） ・コンポジットレジン修復の長所と短所を説明できる。 ・コンポジットレジン修復の臨床の手順を説明できる。 ・コンポジットレジンと歯質との接着を説明できる。 ・コンポジットレジン修復の使用器材を説明できる。
6	【講義】直接修復法-2、間接修復法-1（保尾謙三） ・グラスアイオノマーセメント修復の長所と短所を説明できる。 ・グラスアイオノマーセメント修復の臨床の手順を説明できる。 ・アマルガム修復法の特徴を説明できる。 ・メタルインレー修復の長所と短所を説明できる。 ・メタルインレー修復の臨床の手順を説明できる。 ・合着用セメントの種類と用途を説明できる。

7	【講義】間接修復法-2（岩田有弘） ・レジンインレー修復の長所と短所を説明できる。 ・レジンインレー修復の臨床の手順を説明できる。 ・セラミックインレー修復の長所と短所を説明できる。 ・セラミックインレー修復の種類を説明できる。
8	【講義】歯の漂白法、象牙質知覚過敏処置（奥村瑳恵子） ・歯の漂白処置の概要を説明できる。 ・ラミネートベニア修復の臨床の手順を説明できる。 ・象牙質知覚過敏処置の種類を説明できる。 ・修復処置後のメンテナンスを説明できる。

成績評価の方法

MCQ形式および筆記形式の科目試験で評価する。

- ・本試験を100%として評価する。
- ・試験に対する質問等は随時メールもしくは附属病院医局にて受け付ける。
- ・本試験不合格者には補講時に解説を行う。

教科書

歯科衛生学シリーズ「保存修復学・歯内療法学」（一社） 全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版社

授業外学修（予習・復習）

授業外で行うべき学修：授業の前日までに教科書の該当部分、および関連する基礎科目（口腔解剖学、口腔組織学、口腔生化学、口腔病理学、口腔細菌学、歯科理工学）について予習をしておいて下さい。授業を受けた後は講義ノートと配布プリントを参考に復習し、ノートを完成させて下さい。予習、復習とも30分～1時間が目安です。

その他

参考資料	歯科衛生学シリーズ「歯科診療補助論」（一社） 全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版社医歯薬出版社 歯科衛生学シリーズ「歯科機器」（一社） 全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版社医歯薬出版社
受講生への要望等	配布資料はすべてファイリングすること。 ※歯学部教員への「melly」の通知機能がありません。 従って、保存修復学全8コマすべて以下の内容で運用いたします。 ・「melly」の「個別連絡」は使用しません。 従って、交通機関遅延の連絡は不要です。 ・配布資料等は「タイムライン」に載せます。 ・授業の質問対応、講義担当者連絡先は、既にシラバスに掲載済みです。
授業の質問対応、連絡先	大阪歯科大学歯学部歯科保存学講座 （大 学） 〒573-1121 大阪府枚方市楠葉花園町8番1号 （附属病院） 〒540-0008 大阪府大阪市中央区大手前1丁目5-17 南館6階 歯科保存学講座医局 山本一世 (yamamoto@cc.osaka-dent.ac.jp) 岩田有弘 (iwata@cc.osaka-dent.ac.jp) 谷本敬彰 (tanimoto@cc.osaka-dent.ac.jp) 保尾謙三 (yasuo-k@cc.osaka-dent.ac.jp) 奥村瑳恵子 (okumura-s@cc.osaka-dent.ac.jp) 杉村留奈 (sugimura-r@cc.osaka-dent.ac.jp) 三木晃治 (miki-ko@cc.osaka-dent.ac.jp) 神田智子 (kanda-t@cc.osaka-dent.ac.jp) 各教員にメールにて連絡すること。

歯内治療学

更新日：2025/07/30 13:30:50

開講年度	2026	学期	前期	科目コード	309020	授業コード	20104
担当教員	辻 則正						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科， 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	2年	曜日/時限	一		単位	1
	備考(配当)	必修科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
30902	1○ H1◎	1◎ E1○	歯科医師

授業概要

歯科衛生士は、歯内治療学を学び歯内治療を必要とする患者の診療補助を行う上で必要となる知識を修得する。また、歯内治療の各処置内容と術式を学び必要となる器材とその使用法について学習し,さらに歯科衛生士が行い得る業務範囲内の技術を習得する。知識の修得と技術の習得によって、歯科衛生士は歯科医師と良好な連携をもって患者の満足が得られるFour Handed Dentistryに則った効率的な歯科診療補助が行えるようになる。

また、大部分の歯内治療を行った歯には歯科技工士によって製作された修復物・補綴物が装着される。歯科技工士は修復物・補綴物製作にあたり患歯にどのような歯科治療が行われているのかを理解し、歯科医学の中における歯内治療学の位置づけについて把握に努める。

本科目は、講義の形式で上記の知識を得る。

到達目標

1	硬組織疾患を説明できる。
2	歯髄疾患を説明できる。
3	根尖性歯周組織疾患を説明できる。
4	各疾患に対する処置法を説明できる。
5	各処置に用いる使用器具を説明できる。
6	各処置に用いる材料を説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】総論、硬組織疾患 歯内治療学とは？ 硬組織疾患の種類（特に歯内治療学と関連性が強い硬組織疾患について）
2	【講義】歯髄疾患の種類と病態 歯髄疾患の種類 歯髄疾患の臨床症状 歯髄疾患の検査法
3	【講義】根尖性歯周組織疾患の種類と病態 根尖性歯周組織疾患の種類 根尖性歯周組織疾患の臨床症状 根尖性歯周組織疾患の検査法
4	【講義】歯髄保存療法 歯髄保存療法の種類 各種歯髄保存療法の術式
5	【講義】歯髄除去療法 歯髄除去療法の種類 各種歯髄除去療法の術式
6	【講義】根尖性歯周組織疾患の治療、根管治療と治療に用いる器具・機材 感染根管治療の術式 使用する器具と機材
7	【講義】根管充填、根未完成歯の処置 根管充填に用いる器具・材料 根管充填の術式 根未完成歯の処置

8	【講義】外科的歯内治療、歯内治療における安全対策、他 外科的歯内治療の種類 各種外科的歯内治療の適応症 歯内治療における偶発症の種類、対応、予防 顕微鏡を用いた歯内治療 歯内歯周疾患
---	--

成績評価の方法

本試験 100%

授業態度を加味し評価する。必要に応じて小テストを実施し評価に加えることがある。本試験は補講でフィードバックする。小テストは実施すれば採点後の初回講義内でフィードバックする。

教科書

新・歯科衛生士教育マニュアル「歯内治療」 クインテッセンス出版

ISBN978-4-7812-0238-9 2011年

授業中の配布資料

教科書を参照しながら黒板への板書を中心に授業を行う。

授業外学修（予習・復習）

予習・復習

特に復習では授業内容（ノート）と教科書を照らし合わせ30分以上学修し理解を深める。

その他

参考資料	歯内治療学 第5版 医歯薬出版 ISBN978-4-263-45823-5 2018年 最新歯科衛生士教本「歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法」 医歯薬出版 ISBN978-4-263-42820-7 2010年 歯科国試パーフェクトマスター 歯内治療学 医歯薬出版 ISBN978-4-263-45877-8 2022年
受講生への要望等	歯内治療は日常的に遭遇しやすい処置ですので今から理解を心がけましょう。 歯科衛生士国家試験には関連問題が多数出題されています。
授業の質問対応、連絡先	普段は天満橋学舎にすることが多いです。天満橋学舎に直接質問に来てくださることは可能です。 連絡はmerryよりn-tsuji@cc.osaka-dent.ac.jpへのメールの方が確実です。 少量の質問ならメール連絡でも対応可能です。

歯周病学

更新日：2025/09/30 13:53:03

開講年度	2026	学期	前期	科目コード	309030	授業コード	20105
担当教員	緒方 智壽子						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科， 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	2年	曜日/時限	一		単位	1
	備考(配当)	必修科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
30903	1○ H1◎	1○ E1◎	歯科医師

授業概要

周知のように、歯周病学は口腔保健学科・口腔工学科学生にとっては極めて重要で、将来の臨床との関わりも強い学科目である。令和４年に一般財団法人歯科医療振興財団が定めた歯科衛生士として必要な知識や技能を分野別に分類した「歯科衛生士国家試験出題基準」においても、歯周病学と基礎科目や口腔衛生学、歯科臨床大要、歯科予防処置、歯科診療補助ならびに保健指導等との科目と極めて関連が深いことを示している。また、歯科技工においても歯周組織の状態を把握し、ブラークリテンションファクターや審美性はもとより、歯周組織の健康増進を踏まえた技工は大変に重要である。以上の事柄を勘案した場合、単に歯周病学領域に止まらず、関連性の高い他教科との併学を強調し、歯周病学の基礎と臨床ならびに将来の臨床実習を踏まえながら講義を進め、歯周病学の知識を修得する。

到達目標

1	正常な歯周組織を説明できる。
2	歯周病の原因とリスクファクターを説明できる。
3	歯周病の病態を説明できる。
4	診断に必要な検査を説明できる。
5	歯周病と全身疾患との関係を説明できる。
6	歯周治療を説明できる。
7	歯周治療に必要な器具を説明できる。
8	歯周病の予防法を説明できる。
9	歯周病のメンテナンス・サポータティブペリオドンタルセラピーを説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】歯周病学概論 ・歯周病の特徴を理解する。 ・歯周組織の解剖・組織を理解する。 ・歯周組織の生理・病理を理解する。
2	【講義】歯周病の病因・リスクファクター・病態 ・歯周病の初発因子を理解する。 ・歯周病の修飾因子を理解する。 ・リスクファクターの概念を理解する。 ・歯周病の病態を理解する。
3	【講義】歯周病の分類、臨床的特徴およびその対応 ・歯周病の分類ができる。 ・歯周病の特徴を理解する。 ・歯周病の臨床症状を理解する。 ・歯周病と全身疾患との関係を理解する。
4	【講義】歯周治療 ・歯周治療の意義、目的、内容を理解する。 ・歯周病の検査について理解する。 ・歯周治療の使用器具を理解する。 ・薬物療法について理解する。
5	【講義】歯周外科治療 ・歯周外科手術の種類と目的を理解する。 ・歯周外科手術の術式と使用器具を理解する。
6	【講義】根分岐部病変の処置 ・根分岐部病変の原因と特徴を理解する。 ・根分岐部病変に対する処置を理解する。

7	【講義】メンテナンス治療・チーム医療・高齢者の歯周疾患治療 ・メンテナンスの意義、目的を理解する。 ・歯周治療におけるチーム医療を理解する。 ・高齢者に対応した歯周治療を理解する。
8	【講義】総括 ・歯周治療の理解度を確認する。

成績評価の方法

科目試験80％。授業態度や小テストおよび提出物20％。
講義終了後に理解の確認のための小テストを数回実施の予定。提出物については返却時にコメントする。

教科書

歯科衛生士講座 歯周病学第6版/梅田 誠 他/ 永末書店/2024発行
資料を適宜配布する。

授業外学修（予習・復習）

授業の理解を深めるため、教科書や配布資料を照らし合わせ、自主的に予習・復習を最低30分行う。

その他

参考資料	歯周病学/一般社団法人 全国歯科衛生士教育協議会/医歯薬出版/2023.1.20発行/ISBN:978-4-263-42616-6 歯周病学用語集 第3版/医歯薬出版/2019/ISBN978-4-263-45835-8
受講生への要望等	歯周病患者さんは高齢化社会において罹患者も多く、特に衛生士業務と深い関わりもあります。また、歯周組織の健康増進を踏まえ、技工には歯周組織を理解することが重要であるため、歯周病に関する理解を深め、基礎知識を修得してください。
授業の質問対応、連絡先	質問対応は、在席時に牧野学舎の教員室で対応可能ですが、事前に授業用SNS（melly）で連絡した上で来てもらおうと確実です。また、授業用SNS（melly）でも随時対応します。

有床義歯学

更新日：2025/09/29 17:33:03

開講年度	2026	学期	前期	科目コード	310010	授業コード	20106
担当教員	島田 明子, 三宅 晃子						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	1
	備考(配当)	必修科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31001	1○ H1◎	1○ E1◎	歯科医師

授業概要

歯を多数失うと有床義歯による補綴治療を受けることが必要になってくる。有床義歯による補綴治療は、咀嚼・嚥下・発音などの口腔機能の低下を人工材料で補い、回復するばかりでなく、口腔機能障害の進行を予防し、全身の健康増進に寄与している。失われた歯の状態（歯が全部なくなった状態、部分的になくなった状態）により、全部床義歯（総義歯）や部分床義歯（局部床義歯）に分類される。それぞれについて、生理学的、力学的な面から有床義歯における治療や製作方法ならびに指導やケアについて修得する。

到達目標

1	有床義歯技工学の意義、目的について説明できる。
2	有床義歯に関連のある生体の基礎知識を説明できる。
3	全部床義歯の特性を説明できる。
4	全部床義歯の治療と製作手順を説明できる。
5	部分床義歯の構成要素と分類を説明できる。
6	部分床義歯の治療と製作手順を説明できる。
7	有床義歯の修理、リベースおよびリラインを説明できる。
8	金属床義歯を説明できる。
9	オーバードンチャーを説明できる。
10	暫間義歯を説明できる。
11	即時義歯を説明できる。
12	治療義歯を説明できる。
13	有床義歯の患者指導を説明できる。
14	有床義歯のメンテナンスを説明できる。
15	ノンメタルクラスプデンチャーを説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】有床義歯学総論、有床義歯補綴治療に関連ある生体の基礎知識について説明できる。（三宅） 有床義歯の意義と目的 固定性補綴装置と有床義歯との相違 有床義歯の種類 有床義歯補綴治療に関連のある生体の基礎知識
2	【講義】全部床義歯の種類と特性および製作順序について説明できる。（島田） 全部床義歯の種類 全部床義歯の構成要素 全部床義歯の支持、維持、安定 全部床義歯の製作（診療）順序
3	【講義】全部床義歯の医療面接、検査、診療計画、前処置、印象採得および作業用模型製作方法について説明できる。（島田） 全部床義歯補綴治療のための医療面接、検査、診療計画 全部床義歯の前処置 全部床義歯の印象採得 全部床義歯の作業用模型製作方法

4	【講義】全部床義歯の咬合採得、咬合様式、人工歯排列、歯肉形成、重合、研磨および装着について説明できる。（島田） 全部床義歯の咬合床製作方法 全部床義歯の咬合採得 全部床義歯の咬合器装着 ゴシックアーチの目的 全部床義歯の人工歯排列 全部床義歯のろう義歯試適 全部床義歯の歯肉形成 全部床義歯のろう義歯の埋没、重合 全部床義歯の研磨 全部床義歯の装着
5	【講義】部分床義歯の構成要素と分類、支持・維持・把持および設計について説明できる。（三宅） 部分床義歯の構成要素 部分床義歯の分類 直接支台装置と間接支台装置の相違 部分床義歯の支持・維持・把持 各種クラスプの種類 レストの種類と目的 隣接面板の目的 補助支台装置の種類と目的 アタッチメントの種類 オーバーデンチャー 大連結子と小連結子の種類と特徴 部分床義歯の設計法
6	【講義】部分床義歯の製作順序、医療面接、検査、診療計画、前処置、印象採得、サベイング、咬合採得および咬合器装着について説明できる。（三宅） 部分床義歯の製作（診療）順序 部分床義歯補綴治療のための医療面接、検査、診療計画 部分床義歯の前処置 部分床義歯の印象採得 部分床義歯の模型製作方法 サベイングの目的と方法 部分床義歯の咬合採得 部分床義歯の咬合器装着
7	【講義】クラスプ・バーの製作、人工歯排列、歯肉形成、重合、研磨、装着、有床義歯の患者指導について説明できる。（三宅） クラスプ、バーの構造と製作方法 部分床義歯の人工歯排列、歯肉形成 部分床義歯の重合、再装着、削合および研磨 部分床義歯の装着、調整 有床義歯の患者指導 有床義歯清掃の重要性
8	【講義】有床義歯治療に伴うトラブルとその対応（メンテナンス、義歯の修理、リベースおよびリライン）、金属床義歯およびノンメタルクラスプデンチャーについて説明できる。（島田） 有床義歯患者のメンテナンス 有床義歯の修理 リベースとリライン 金属床義歯 ノンメタルクラスプデンチャー

成績評価の方法

成績は科目試験、小テスト等を行い、総合的に評価する。

- ・科目試験……………90%
- ・小テスト……………10%

前回の講義内容に関する小テストを行う。小テストの解説は随時講義で行う。

教科書

（口腔工学科）「最新歯科技工士教本 有床義歯技工学 第2版」全国歯科技工士教育協議会 医歯薬出版2024年 ISBN 978-4-263-43174-0
（口腔保健学科）「歯科衛生学シリーズ 歯科補綴学」全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版2023年 ISBN 978-4-263-42615-9
必要に応じて配布資料にて補う。

授業外学修（予習・復習）

教科書を参考に約30分程度予習しておく、講義内容が理解しやすいです。
講義ごとに、講義ノートや教科書を用いて30分程度復習して、用語や補綴治療の流れについて理解するように努めてください。

その他

参考資料	「無歯顎補綴治療学 第4版」市川哲雄，大川周治，大久保力廣，水口俊介 医歯薬出版 2022 ISBN978-4-263-45868-6 「歯学生のパーシャルデンチャー第7版」三谷春保，志賀博，横山敦郎，前川賢治 医歯薬出版 2025 ISBN 978-4263456880 「コンプリートデンチャーテクニック第6版」細井紀雄，平井敏博，長岡英一，赤川安正，鈴木哲也，大川周治 医歯薬出版 2011 ISBN978-4-263-45646-0 「パーシャルデンチャーテクニック 第6版」大久保力廣，岡崎定司，馬場一美，山下秀一郎，横山敦郎 医歯薬出版 2021 ISBN978-4-263-45865-5
受講生への要望等	8コマしかないので、遅刻・欠席のないように、また、講義に集中できるように体調管理に努めること。 講義中の私語、不必要な携帯電話・スマートフォン・パソコンなどの使用、途中入退室は慎むこと。
授業の質問対応、連絡先	質問、遅刻・欠席の連絡は原則としてMellyを用いてください。 オフィスアワー（島田）： 月・火・木・金 12:15-13:15, 16:30-17:30

クラウンブリッジ学

更新日：2025/09/29 16:04:35

開講年度	2026	学期	前期	科目コード	310020	授業コード	20107
担当教員	藤井 孝政						
備考							
配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科， 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	2年	曜日/時限	－	単位	1	
	備考(配当)	必修科目					
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP		科目に関連する実務経験	
31002		1◎ H1○		1◎ E1○		歯科医師	

授業概要

歯・歯列が本来有している外観と機能に生物学的にきわめて近似した状態へと回復し、維持する補綴歯科治療である。歯質の欠損、形態異常、色調不良、歯列の欠損を補綴装置で修復し、形態、審美と機能を回復し、さらに良好な状態を維持するために必要な理論を習得する。

到達目標

1	歯質欠損に対する修復の臨床的意義を説明できる。
2	歯質欠損に対する修復方法を説明できる。
3	歯列の一部欠損に対する修復の臨床的意義を説明できる。
4	歯列の一部欠損に対する修復方法を説明できる。
5	治療に必要な歯科材料についての種類と性質を説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【面接授業】クラウンブリッジ治療の概要 1 クラウンブリッジ治療の目的と意義 2 クラウンブリッジ治療と健康科学 3 クラウンブリッジ治療の利点と欠点
2	【面接授業】クラウンの概要と種類 1 全部被覆冠 2 部分被覆冠 3 ポストクラウン
3	【面接授業】ブリッジの概要と種類 1 ブリッジとは 2 ブリッジの適応症 3 ブリッジの構成要素 4 ブリッジの種類
4	【面接授業】補綴前処置および支台歯形成 1 補綴前処置とは 2 支台歯形成に用いる器具 3 支台歯の形態
5	【面接授業】支台築造 1 臨床的意義 2 築造法の種類と選択基準 3 支台築造の手技
6	【面接授業】印象採得およびプロビジョナルレストレーション 1 印象材の種類 2 印象用器材 3 印象法の種類 4 印象採得後の処理 5 プロビジョナルレストレーションとは 6 プロビジョナルレストレーションの製作と装着
7	【面接授業】顎間関係の記録および患者情報の記録と伝達 1 咬合関係の記録 2 フェイスボウトランスファー 3 下顎運動の記録 4 患者情報の記録 5 患者情報の伝達

8	【面接授業】クラウンブリッジの装着および術後管理
	1 口腔内への試適
	2 仮着
	3 合着と接着
	4 セメントの種類
	5 術後管理

成績評価の方法

本試験および授業態度を加味し評価する。必要に応じて小テストを実施し評価に加えることがある。

成績は、本試験（90%）、授業態度・小テスト（10%）により総合的に評価する。

小テストは授業中に随時解説を行う。

本試験不合格者には補講時に解説を行う。

再試験：60点以上獲得した学生を合格とする。

教科書

- ・特定の教科書はない。
- ・知識の整理や理解を深めるための資料を適宜提示する。

授業外学修（予習・復習）

- ・各回の授業において、学生自身、学ぶべき事項を明示したシラバスをみて、予習（約30分）、復習（約30分）を行い、ノートにまとめ、整理しておく。
- ・自分なりに解説した授業ノートを作成する。

その他

参考資料	・最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学 第2版 全国歯科技工士教育協議会 医歯薬出版 2017 ISBN 978-4-263-43175-7 ・最新歯科衛生士教本 咀嚼障害・咬合異常1 歯科補綴 第2版 全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版 2020 ISBN 978-4-263-42864-1
受講生への要望等	自主的に予習（約30分）、復習（約30分）を行うこと。
授業の質問対応、連絡先	質問はできるだけ授業中にするように心がけて下さい。 授業時間以外では、メール（taka-f@cc.osaka-dent.ac.jp）で連絡して下さい。但し、返信は遅れる可能性があることをご承知おき下さい。

口腔インプラント学

更新日：2025/10/02 10:09:41

開講年度	2026	学期	後期	科目コード	310030	授業コード	20204
担当教員	武田 吉裕						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	1
	備考(配当)	必修科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31003	1◎ H1○	1◎ E1○	歯科医師

授業概要

近年、インプラント治療は、サージカルガイドの普及により、予知性が高く、安全性の高い治療であるとの認識が浸透してきている。それに伴い、インプラント治療を導入している歯科医院は、増加している。

そのため、今後、歯科治療に関わっていく本学の学生が、義歯、ブリッジなどと同様にインプラントの基本的な知識を習得することが必須となってきた。

また、歯科医師のインプラント関連の問題数の増加と同様に、衛生士および技工士の国家試験でもインプラント治療の問題が多数出題されるようになってきた。

国家試験に必要な知識だけではなく、スライド、手術動画などを駆使したより臨症的な講義を通じて、診療補助を行う上で必要な知識を習得する。

授業は講義を主体として行う。

到達目標

1	インプラントの基本構造を理解できる。
2	インプラント治療の流れを理解できる。
3	インプラント治療の印象方法を理解できる。
4	インプラント治療の上部構造について理解できる。
5	インプラント治療のメンテナンスについて理解できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】インプラントの歴史、顎骨・周囲組織の解剖およびインプラント基本構造を理解できる。 器具の名前を理解できる。
2	【講義】インプラント材料、インプラント周囲組織、オステオインテグレーションを理解できる。 インプラントの周囲組織について理解できる。
3	【講義】現代インプラントの成功の基準、インプラント治療の流れを理解できる。 インプラント治療の流れを理解できる。
4	【講義】インプラント治療で問題となる全身疾患、適応症、禁忌症を理解できる。 全身のおよび局所的な問題点を理解できる。
5	【講義】一次手術の術式、感染予防対策や器材の滅菌・消毒を理解できる。 手術の術式を理解できる。 一回法、二回法の違いを理解できる。
6	【講義】インプラント印象採得法を理解できる。 オープントレー法、クローズトレー法について理解できる。
7	【講義】アバットメントの種類と特徴、上部構造の固定法を理解できる。 セメント固定、スクリュー固定について理解できる。
8	【講義】インプラントにおける偶発事故、メンテナンス時の検査・器具および術式、歯科衛生士・歯科技工士の役割、患者指導を理解できる 歯科衛生士・歯科技工士の役割、事故について理解できる。

成績評価の方法

科目試験を100%とする。

教科書

よくわかる口腔インプラント学 第4版 / 医歯薬出版

授業外学修（予習・復習）

授業前に、必ず教科書を読んで、予習をおこなって授業にのぞんでください。（最低30分程度）

授業後は、課題問題を各自解いて、復習してください。（最低30分程度）

その他

参考資料	口腔インプラント学実習書 第2版（2014年7月） 978-4-8160-1274-7
受講生への要望等	各講義ごとに必ず予習、復習を行うこと
授業の質問対応、連絡先	4416takeda@gmail.com

オーラルアプライアンス学

更新日：2025/09/29 16:17:26

開講年度	2026	学期	後期	科目コード	310040	授業コード	20205
担当教員	藤井 孝政, 島田 明子						
備考							
配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	2年	曜日/時限	－	単位	1	
	備考(配当)	必修科目					
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP		科目に関連する実務経験	
31004		1◎ H1○		1◎ E1○		歯科医師	

授業概要

顎関節症、ブラキシズム、睡眠障害、腫瘍などを有する患者、およびスポーツ選手に対し、予防や治療のために装着するオーラルアプライアンスを必要とする状況を理解し、それらの形態、特徴、具備条件、製作に必要な器具・器材を理解し、取り扱うことができるようにする。

到達目標

1	各種のオーラルアプライアンスの形態を理解できる。
2	各種のオーラルアプライアンスの特徴を理解できる。
3	各種のオーラルアプライアンスの具備条件を理解できる。
4	各種のオーラルアプライアンスの製作に必要な材料を理解できる。
5	各種のオーラルアプライアンスの製作に必要な器具を理解できる。
6	各種のオーラルアプライアンスにおける指導・管理ができる。
7	各種のオーラルアプライアンスにおけるメンテナンスができる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	0			

授業計画

1	【面接授業】オーラルアプライアンスを必要とする状況を説明できる。（藤井） 1 顎関節症患者への可逆的治療法として装着するオクルーザルスプリントを知る。 2 ブラキシズム患者に装着するナイトガードを知る。 3 睡眠時無呼吸症候群患者に装着するスリープアプライアンスを知る。 4 スポーツ医歯学とスポーツ選手におけるスポーツマウスガードを知る。 5 その他のオーラルアプライアンスを知る。
2	【面接授業】顎関節症の病態を理解し、患者への可逆的治療法として装着するオクルーザルスプリントを知る。（島田） 1 顎関節症とは 2 顎関節症の病因 3 顎関節症の病態分類
3	るオクルーザル【面接授業】顎関節症の病態を理解し、患者への可逆的治療法として装着すプリントを知る。（島田） 4 顎関節症の診断 5 顎関節症の治療
4	【面接授業】ブラキシズムの病態を理解し、患者に装着するナイトガードを知る。（島田） 1 ブラキシズムとは 2 ブラキシズムの原因 3 ブラキシズムの診断 4 ブラキシズムの治療
5	【面接授業】睡眠時無呼吸症候群の病態を理解し、治療のために装着するスリープスプリントを知る。（藤井） 1 睡眠障害とは 2 睡眠時無呼吸症候群とは
6	【面接授業】睡眠時無呼吸症候群の病態を理解し、治療のために装着するスリープスプリントを知る。（藤井） 3 閉塞型睡眠時無呼吸症候群とは 4 閉塞型睡眠時無呼吸の治療
7	【面接授業】スポーツ選手における顎口腔領域での外傷を知り、予防のために装着するマウスガードを知る。（藤井） 1 スポーツ歯科医学とは 2 スポーツ外傷の安全対策と予防

8	【面接授業】スポーツ選手における顎口腔領域での外傷を知り、予防のために装着するマウスガードを知る。(藤井) 3 マウスガードの定義・具備すべき条件 4 マウスガード装着の効果 5 マウスガードのメンテナンス
---	---

成績評価の方法

本試験および授業態度を加味し評価する。必要に応じて小テストを実施し評価に加えることがある。

成績は、本試験（90%）、授業態度・小テスト（10%）により総合的に評価する。

小テストは授業中に随時解説を行う。

本試験不合格者には補講時に解説を行う。

再試験：60点以上獲得した学生を合格とする。

教科書

- ・特定の教科書はない。
- ・知識の整理や理解を深めるための資料を適宜提示する。

授業外学修（予習・復習）

- ・各回の授業において、学生自身、学ぶべき事項を明示したシラバスをみて、予習（約30分）、復習（約30分）を行い、ノートにまとめ、整理しておく。
- ・自分なりの解説をした授業ノートを作成する。

その他

参考資料	・スポーツ歯科臨床マニュアル 日本スポーツ歯科臨床マニュアル 医学情報社 2007 978-4-903553-10-8 ・写真でマスターする顎関節症治療のためのスプリントのつくり方・つかい方 ヒョウロン・パブリシャーズ 2011 978-4-86432-000-9 ・臨床家のためのオーラルアプライアンス入門 医学情報社 2012 978-4-903553-43-6
受講生への要望等	・自主的に予習（約30分）、復習（約30分）を行うこと。
授業の質問対応、連絡先	質問はできるだけ授業中にするように心がけて下さい。 授業時間以外では、メール（taka-f@cc.osaka-dent.ac.jp）で連絡して下さい。但し、返信は遅れる可能性があることをご承知おき下さい。

審美歯科学

更新日：2025/09/29 16:28:00

開講年度	2026	学期	後期	科目コード	310050	授業コード	20206
担当教員	藤井 孝政						
備考							
配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	2年	曜日/時限	－		単位	1
	備考(配当)	必修科目					
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP		科目に関連する実務経験	
31005		1○ H1◎		1○ E3◎		歯科医師	

授業概要

本授業では、歯科治療における「審美治療の重要性」について認識する。そのためには、顔貌、口腔、歯との調和の基本、修復のための基本事項について理解し、歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士がチーム歯科医療としてのそれぞれが専門的役割を実践できるように習得する。

到達目標

1	口腔の機能と心理を理解できる。
2	歯科審美に係る顔面・口腔の加齢と老化を理解できる。
3	歯科審美治療に関わる検査について説明できる。
4	口臭、PMTC、歯のホワイトニングを理解できる。
5	審美治療としての保存修復治療およびインプラント治療について説明できる。
6	審美治療としての歯冠修復および欠損修復治療について説明できる。
7	最新歯科治療としてデジタルデンティストリーを理解できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】歯科医療における歯科審美の位置づけと顎顔面領域の形態について理解する。 1) 歯の正常・異常について説明する。 2) 歯肉の正常・異常について説明する。 3) 歯列の正常・異常について説明する。 4) 上下顎の位置の正常・異常について説明する。 5) 顔貌の正常を説明する。 6) 歯科医療の特異性と歯科審美の位置づけについて概説する。
2	【講義】顎顔面に調和した色について理解する。 1) 色の基本について説明する。 2) 歯の色彩的構造について説明する。 3) 歯・歯肉の標準的および病的な色調について説明する。 4) 粘膜・舌の標準的および病的な色調について説明する。 5) 顔面の標準的および病的な色調について説明する。 6) 歯の色調採得法について説明する。
3	【講義】顎口腔系の機能について理解する。 1) 咬合の正常・異常について説明する。 2) 咀嚼・嚥下の正常・異常について説明する。 3) 発音の正常・異常について説明する。 4) 表情に影響する項目について説明する。
4	【講義】審美歯科に関わる加齢と老化に伴う変化について理解する。 1) 歯の形態と色調の変化について説明する。 2) 歯肉の退縮と歯頸線の変化について説明する。 3) 頬粘膜・口唇の緊張の喪失と滑舌の低下について説明する。 4) 皮膚・心身の機能低下と心理的变化について説明する。
5	【講義】治療と管理① 1) 口臭の機序と治療について説明する。 2) プリーチング法について説明する。 3) ラミネートベニア修復について説明する。
6	【講義】治療と管理② 1) 審美的歯冠修復について説明する。 2) 有床義歯の審美について説明する。 3) インプラントの審美について説明する。

7	【講義】デジタルデンティストリー① 1) デジタルデンティストリーの概要を説明する。 2) CAD/CAMテクノロジーについて説明する。
8	【講義】デジタルデンティストリー② 1) CAD/CAMテクノロジーに用いる材料および修復物について説明する。

成績評価の方法

本試験および授業態度を加味し評価する。必要に応じて小テストを実施し評価に加えることがある。

成績は、本試験（90%）、授業態度・小テスト（10%）により総合的に評価する。

小テストは授業中に随時解説を行う。

本試験不合格者には補講時に解説を行う。

再試験：60点以上獲得した学生を合格とする。

教科書

- ・特定の教科書はない。
- ・知識の整理や理解を深めるための資料を適宜提示する。

授業外学修（予習・復習）

- ・各回の授業において、学生自身、学ぶべき事項を明示したシラバスをみて、予習（約30分）、復習（約30分）を行い、ノートにまとめ、整理しておく。
- ・自分なりに解説した授業ノートを作成する。

その他

参考資料	歯科審美学（永末書店） 基礎から学ぶCAD/CAMテクノロジー（医歯薬出版） 歯科衛生士ベーシックスタンダード 審美歯科 歯科衛生士ベーシックスタンダード インプラント（医歯薬出版） シーシェの審美補綴（クインテッセンス出版） 最新デジタルデンティストリー（医歯薬出版） CAD/CAM活用による歯冠修復治療 メタルフリーの歴史と展望（医歯薬出版）
受講生への要望等	自主的に予習（約30分）、復習（約30分）を行うこと。
授業の質問対応、連絡先	質問はできるだけ授業中にするように心がけて下さい。 授業時間以外では、メール（taka-f@cc.osaka-dent.ac.jp）で連絡して下さい。但し、返信は遅れる可能性があることをご承知おき下さい。

口腔外科学

更新日：2025/09/23 11:25:25

開講年度	2026	学期	後期	科目コード	311010	授業コード	20207
担当教員	吉田 博昭						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科， 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	1
	備考(配当)	必修科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31101	1○ H1◎	1○ E1◎	歯科医師、口腔外科指導医

授業概要

顎口腔領域の疾患や手術について、視覚教材をパワーポイントで提示して臨床に即した実例を講義します。講義内容をフィードバックするため復習のプリント「知識の整理」を使用して演習を行います。演習では理解の確認を目的として顎口腔領域の疾患や手術について学びます。

到達目標

1	顎口腔領域に発生する疾患（先天異常、外傷、口腔粘膜疾患、腫瘍、嚢胞、炎症、唾液腺疾患、神経疾患、血液疾患等）の病状、診断および治療法について修得できる。
2	口腔外科手術の説明および注意点の説明を実践できる。
3	口腔外科手術（抜歯、腫瘍・嚢胞の手術、消炎観血手術等）の適切な介助法を実践できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】総論、先天異常・発育異常（教科書 p2～25） 1）顎口腔領域に発生する疾患について 2）歯の発育異常について 3）軟組織の先天異常、発育異常について 4）口唇裂および口蓋裂について 5）顎の先天異常、発育異常について
2	【演習】総論、先天異常・発育異常・【講義】損傷（教科書 p26～42） 1）総論・先天異常、発育異常について「知識の整理」での演習 2）軟組織の損傷について 3）歯および歯槽部の外傷について 4）顎骨骨折について
3	【演習】損傷・【講義】口腔粘膜疾患（教科書 p43～69） 1）損傷について「知識の整理」での演習 2）水疱形成疾患について 3）紅斑・白斑形成疾患について 4）潰瘍形成疾患について 5）色素沈着疾患について 6）口腔乾燥・粘膜の萎縮疾患について
4	【演習】口腔粘膜疾患・【講義】化膿性炎症疾患・嚢胞（教科書 p70～85 p97） 1）口腔粘膜疾患について「知識の整理」での演習 2）炎症について 3）歯周組織・顎骨・顎骨周囲組織の炎症について 4）嚢胞の病態、治療法について 5）顎骨に発生する嚢胞（歯源性、非歯源性）について 6）軟組織に発生する嚢胞（歯源性、非歯源性）について
5	【演習】化膿性炎症疾患、嚢胞・【講義】腫瘍（教科書 p86～108） 1）化膿性炎症疾患・嚢胞について「知識の整理」での演習 2）良性腫瘍（歯源性・非歯源性）について 3）腫瘍類似疾患について 4）悪性腫瘍について

6	【演習】腫瘍・【講義】唾液腺疾患、神経疾患（教科書 p117～133） 1）腫瘍について「知識の整理」での演習 2）唾液腺の特徴と唾液腺疾患について 3）唾液腺の炎症について 4）シェーグレン症候群について 5）唾液腺腫瘍について 6）三叉神経痛について 7）三叉麻痺について 8）顔面神経麻痺について
7	【演習】唾液腺疾患、神経疾患・【講義】顎関節疾患、血液疾患（教科書 p109～116、p134～140） 1）唾液腺疾患、神経疾患について「知識の整理」での演習 2）顎関節脱臼について 3）顎関節症について 4）口腔内に症状が発現する血液疾患について 5）出血性素因について 6）止血法について
8	【演習】顎関節疾患、血液疾患・【講義】抜歯・小手術・【演習】抜歯・小手術（教科書 p169～258） 1）顎関節疾患、血液疾患について「知識の整理」での演習 2）抜歯に必要な器具、術式および介助について 3）消炎手術に必要な器具、術式および介助について 4）嚢胞摘出術に必要な器具、術式および介助について 5）インプラント手術について 6）縫合に必要な器具、術式について 7）抜歯・小手術について「知識の整理」での演習

成績評価の方法

- ・科目試験 100%
- ・知識の整理は随時講義の時に解説説明する
- ・科目試験60点以上で合格とする

教科書

歯科衛生学シリーズ 口腔外科学・歯科麻酔学 第2版 医歯薬出版
ISBN978-4-263-42637-1

授業外学修（予習・復習）

- 【予習】講義内容を事前に教科書で目を通しておくこと（15分）
- 【復習】テキストを利用して復習すること（30分）

その他

参考資料	最新 口腔外科学 第5版 榎本昭二他著 医歯薬出版 2017年 ISBN978-4-263-45806-8
受講生への要望等	臨床実習にあたり重要な科目なので、広い範囲ですが理解できるよう努めて下さい。 補講がありますので、時間割に気を付けて下さい。 出席率が悪いと単位試験受験資格がありませんので気をつけること。
授業の質問対応、連絡先	講義日の授業前、休憩時間および講義後10分までに質問に来てください。

感染予防学

更新日：2025/09/23 11:28:43

開講年度	2026	学期	後期	科目コード	311020	授業コード	20208
担当教員	吉田 博昭						
備考							
配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	2年	曜日/時限	－		単位	1
	備考(配当)	必修科目					
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP		科目に関連する実務経験	
31102		1○ H1◎		1○ E1◎		歯科医師、口腔科学会指導医	

授業概要

歯科診療や技工操作では、エアロゾルや体液に 曝露する機会が多く、感染リスクも高い。そのため、学生が安全・安心に歯科診療・技工操作を行うために感染予防対策はとても重要である。感染予防学では、感染経路について理解し、感染予防の概念およびその具体的予防対策方法について学ぶ。授業では視覚教材で実例を示しながら解説を行う。フィードバックのため「知識の整理」を行う。

到達目標

1	標準予防策（スタンダードプリコーション）を説明できる。
2	手指衛生について説明できる。
3	機械器具の洗浄・消毒・滅菌について説明できる。
4	針刺し・切創の予防策を説明できる。
5	感染症の予防策について説明できる。
6	医療廃棄物の処理が実践できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】院内感染について（教科書 p3～p7、p88～p95） 1) 感染が起こる原因および感染経路について 2) 講義内容について「知識の整理」で演習
2	【講義】スタンダードプレコーション（標準予防策）（教科書 p7～p8、p27～p32） 1) 歯科医療および技工操作と感染リスクについて 2) スタンダードプレコーションの概念について 3) 講義内容について「知識の整理」で演習
3	【講義】手指衛生について（教科書 p8～p16） 1) 手指衛生の重要性について 2) 手洗いの種類、手順について 3) 講義内容について「知識の整理」で演習
4	【講義】個人防護具について（教科書 p16～p23） 1) 手袋の必要性および未滅菌、滅菌手袋の装着法について説明する。 2) 個人防護具（サージカルマスク、ゴーグル、プラスチックエプロン等）の目的および使用法について 3) 講義内容について「知識の整理」で演習
5	【講義】器具、器材の洗浄・消毒・滅菌について（教科書 p27～p87） 1) スポルディングの分類について 2) 器具、器材の洗浄から滅菌について 3) 消毒薬の適正使用について 4) 印象体の洗浄・消毒・石膏注入の過程について 5) 講義内容について「知識の整理」で演習
6	【講義】医療廃棄物について（教科書 p113～p115） 1) 感染性廃棄物、非感染性廃棄物について 2) バイオハザードマークについて 3) 講義内容について「知識の整理」で演習
7	【講義】針刺し切創および粘膜曝露への対応（教科書 p99～p112） 1) 針刺し・切創および粘膜曝露防止対策について 2) 針刺し・切創および粘膜曝露発生時の対応について 3) 講義内容について「知識の整理」で演習

8	【講義】歯科治療で注意すべき感染症について（教科書 p113～p121） 1) 歯科治療で注意すべき感染症（麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、HBV、HCV、HIV等）について 2) ワクチン接種の重要性について 3) 講義内容について「知識の整理」で演習
---	---

成績評価の方法

- ・科目試験 100%
- ・知識の整理は随時講義の時に解説説明する。
- ・科目試験60点以上で合格とする。

教科書

歯科医療における国際標準感染予防対策テキスト滅菌・消毒・洗浄 医歯薬出版
ISBN 978-4-263-44646-1

授業外学修（予習・復習）

- 【予習】教科書の項目のページを目を通しておくこと。15分
- 【復習】講義の範囲を教科書を読み返すこと。30分

その他

参考資料	シチュエーションに応じた消毒薬の選び方・使い方 尾家 重治著 じほう社 2014年 ISBN 978-4-8407-4561-1 歯科訪問診療における感染予防対策の基本と実際 ICHG研究会 砂書房 2004年 ISBN-13 978-4901894197
受講生への要望等	日常歯科診療や技工操作に必要な基礎知識ですので、授業をよく理解するように努めてください。 補講がありますので、時間割に気を付けて下さい。 科目試験60点以上で合格とする。出席率が悪いと単位試験受験資格がありませんので気をつけること。
授業の質問対応、連絡先	授業内容についての質問は、講義日の講義前、休憩時間、講義後20分までに質問しに来て下さい。

麻酔学・歯科麻酔学

更新日：2025/10/01 16:04:36

開講年度	2026	学期	後期	科目コード	311030	授業コード	2H201
担当教員	新井 由起子, 岡安 一郎						
備考							
配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科					
	配当時期	2年	曜日/時限	－	単位	1	
	備考(配当)	必修科目					
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP		科目に関連する実務経験	
31103		1○ H1◎				歯科医師、歯科麻酔認定医・専門医	

授業概要

歯科麻酔学臨床に必要な医学的知識を修得する。
全身管理の補助について学習する。
救急蘇生に関する実習に参加し心肺蘇生法を修得する。

到達目標

1	バイタルサインを説明できる。
2	局所麻酔法と施術時の注意点を説明できる。
3	精神鎮静法の適応症と診療補助を理解できる。
4	全身麻酔の適応症と診療補助を理解できる。
5	歯科治療時の全身の偶発症（血管迷走神経反射、過換気症候群、アナフィラキシーショック）とその対応を説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	6		2	
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】歯科麻酔学とは。呼吸、循環、全身疾患（新井） 「歯科衛生士テキスト 歯科麻酔学・全身管理学」 項目1～12
2	【講義】バイタルサイン（新井） 「歯科衛生士テキスト 歯科麻酔学・全身管理学」 項目13～22
3	【講義】精神鎮静法、全身麻酔法（新井） 「歯科衛生士テキスト 歯科麻酔学・全身管理学」 項目23～32
4	【講義】局所麻酔法、局所麻酔時の偶発症（新井） 「歯科衛生士テキスト 歯科麻酔学・全身管理学」 項目33～39
5	【講義】ペインクリニック（岡安） 「歯科衛生士テキスト 歯科麻酔学・全身管理学」 項目40～48
6	【講義】一次・二次救命処置（新井） 「歯科衛生士テキスト 歯科麻酔学・全身管理学」 項目49～52
7	【実習】一次救命処置、AEDの使用法①（新井） 「歯科衛生士テキスト 歯科麻酔学・全身管理学」 項目49～50 成人の一次救命処置について実習を行う。
8	【実習】一次救命処置、AEDの使用法②（新井） 「歯科衛生士テキスト 歯科麻酔学・全身管理学」 項目49～50 成人の一次救命処置について実習を行う。

成績評価の方法

科目試験60％、授業態度30％、実習態度10％の割合で評価を行う。
試験のフィードバックは、自主的に教科書で確認させ、どうしても理解できない場合にメールで質問を受け付けます。

教科書

歯科衛生士テキスト 歯科麻酔学・全身管理学 学建書院
ISBN 978-4-7624-2169-3

授業外学修（予習・復習）

教科書の該当項目を読んで講義に臨んでください。各回予習1時間、復習1時間を目安とします。

その他

参考資料	JRC 蘇生ガイドライン2020, AHA ガイドライン2020 (G2020)
受講生への要望等	講義中は私語を慎み、周りの迷惑にならないよう気をつけること。 実習中は髪の毛は束ね、動きやすい服装と靴を着用すること。帽子は脱ぐこと。
授業の質問対応、連絡先	大阪歯科大学歯科麻酔学講座 新井 arai-y@cc.osaka-dent.ac.jp

歯科放射線学

更新日：2025/08/07 15:14:37

開講年度	2026	学期	後期	科目コード	311040	授業コード	2H202
担当教員	小滝 真也, 有地 淑子						
備考	アクティブラーニング						
配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科					
	配当時期	2年	曜日/時限	－	単位	1	
	備考(配当)	必修科目					
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP		科目に関連する実務経験	
31104		1○ H1◎				歯科医師	

授業概要

歯科放射線学に関して、歯科衛生士として具有すべき知識・態度・技能を身につける。各科に分散している歯科放射線学の項目を整理しながら、放射線の性質および人体に対する影響を理解し、日常歯科診療への適応方法を学ぶ。放射線の発生から始まり、物質との相互作用、エックス線撮影装置、現像処理、デジタル撮影システム、感染防止対策を含めた撮影手順、画像のマウント方法、各種撮影法、エックス線画像解剖、放射線生物・防護に関する知識を身につける。講義には知識確認のための小テストおよびレポート提出を含み、グループワークを含めた実習にて主として技能を習得する。

到達目標

1	放射線の生物学的影響を理解し、放射線防護を概説できる。
2	エックス線画像の形成原理を概説できる。
3	歯科領域におけるエックス線撮影の種類と適応を概説できる。
4	口内法ならびにパノラマエックス線撮影の手技を説明できる。
5	口内法エックス線画像とパノラマエックス線画像のエックス線解剖の概要を表記できる。
6	う蝕と歯周病および顎骨に生じる病変（嚢胞、腫瘍、炎症等）のエックス線所見を概説できる。
7	超音波検査、CT、歯科用コーンビームCTおよびMRIの原理と特徴を概説できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8		0	
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	0			

授業計画

1	【講義】放射線の基礎知識・歯科医療と放射線 放射線には多くの種類がある。共通する点や、それぞれで異なる点を学ぶ。 われわれの周囲をとりまく電磁波にはどのようなものがあるのかを知る。 歯科領域で放射線の利用のされ方、画像検査とはどのようなものか、なぜ放射線が用いられるのかを知る。 授業は講義形式で行う。
2	【講義】放射線の人体への影響と防護 放射線防護に関する知識、防護の概念3つ、被曝対象者による線量限度の違い、自然放射線と比べた場合の歯科領域における画像検査の被曝線量などを学ぶ。 授業は講義形式で行う。
3	【講義】エックス線と画像形成・フィルム エックス線によりどのように画像形成がなされるのかを学ぶ。 フィルムの表裏識別・構造、現像処理、デジタル画像を学ぶ。 授業は講義形式で行う。
4	【講義】歯科における画像検査 歯科領域における単純撮影、歯科用コーンビームCT、CT、MRI、超音波検査、核医学検査、嚥下造影検査を学ぶ。撮影装置の各部名称、装置の構造、装置の扱い方を学ぶ。 授業は講義形式で行う。
5	【講義】口内法エックス線撮影 口内法エックス線撮影に関して、撮影法、正常解剖像、病的像を学ぶ。 授業は講義形式で行う。
6	【講義】パノラマエックス線撮影 パノラマエックス線撮影に関して、撮影法、正常解剖像、病的像を学ぶ。 授業は講義形式で行う。
7	【講義】写真処理と画像保管 フィルムにおける写真処理・画像保管とデジタルでの写真処理・画像保管を学ぶ。 授業は講義形式で行う。

8	【講義】放射線治療・放射線治療時の口腔管理 歯科における放射線治療・放射線治療時の口腔内管理を学ぶ。 授業は講義形式で行う。
---	--

成績評価の方法

科目試験、授業態度、提出物をふまえ総合的に評価する。
割合としては、単位試験70%、レポート20%、小テスト10%とする。
レポートは授業ごとに内容を指定する。
小テストは毎回授業の最後に行い出席を確認する。
試験やレポート等に対するフィードバックは随時講義中に行う。

教科書

歯科衛生学シリーズ 歯科放射線学 第2版 ISBN: 978-4-263-42635-7 (医歯薬出版株式会社)

授業外学修（予習・復習）

教科書の該当部分を読んで講義に臨んでください。また、復習の際は各回の小テストを解けることを目標に学習して下さい。時間の指定はありませんが、図書館を活用するようにしてください。

その他

参考資料	歯科衛生士講座 歯科放射線学 (永末書店 金田 隆、奥村泰彦、村上秀明 編集) 歯科放射線学第7版 (医歯薬出版株式会社 岡野友宏、清水谷公成、小林 馨 編集)
受講生への要望等	教科書・ノート・筆記用具を持参してください。 歯科放射線学の知識は、歯科衛生士の業務にも役立ちます。なぜ、骨の中の歯が見えるのか？歯の中が見えるのか？どうやって放射線被曝から身を守るのか？などを学習していきます。
授業の質問対応、連絡先	歯科放射線学講座 kotaki@cc.osaka-dent.ac.jp オフィスアワー：授業終了後 メール (kotaki@cc.osaka-dent.ac.jp) で、事前予約や質問を受け付けます。

小児歯科学

更新日：2025/09/18 20:33:14

開講年度	2026	学期	後期	科目コード	312010	授業コード	2H203
担当教員	海原 康孝						
備考							
配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科					
	配当時期	2年	曜日/時限	—	単位	1	
	備考(配当)	必修科目					
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP		科目に関連する実務経験	
31201		1○ H1◎				歯科医師	

授業概要

小児歯科学は、胎児期から成人に至るまでの顎・顔面・口腔領域の健康を維持・増進することを目的とする学問である。本講義では、そのために必要な知識と方法を学ぶ。小児の見方、小児歯科学の考え方についての基礎的理解を踏まえ、小児の発育および小児への適切な対応法を習得する。さらに、発達段階を考慮した疾病や異常の予防・治療、小児の歯科健康管理について講義を行う。加えて、小児歯科における予防処置・診療補助・保健指導などについても専門的に学び、将来、歯科衛生士として小児に積極的に対応できる知識と態度を養う。

到達目標

1	小児の心身の発育と口腔の成長変化について説明ができる。
2	小児の歯科疾患の病因と治療および予防法について説明ができる。
3	小児（障害児を含む）への対応方法が説明できる。
4	小児歯科診療の流れと歯科衛生士としての役割が説明できる。
5	小児への継続した口腔健康管理の目的と方法を説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8	0	0	0
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	0	0	0	0

授業計画

1	【講義】小児歯科学概論・心身の発育 ・小児歯科学とは ・発育の概念と分類 ・発育状態の評価 ・生理的年齢 ・器官の発育 ・精神発達 ・機能の発達
2	【講義】小児の生理的特徴・顔面頭蓋の発育 ・バイタルサインと生理的特徴 ・薬剤処方と薬物療法 ・脳頭蓋と顎顔面頭蓋の発育変化 ・脳頭蓋の発育の特徴 ・顔面頭蓋の発育の特徴 ・発育の評価法
3	【講義】歯列および歯の発育とその異常 ・乳歯・幼若永久歯の特徴 ・歯の形成 ・歯の発育時期と形成異常 ・歯の萌出 ・歯の萌出異常 ・歯列・咬合の発育 ・歯列・咬合の異常
4	【講義】小児期の特徴と歯科的問題・小児への対応 ・小児期の分類 ・乳幼児期の特徴、留意点と特徴的歯科疾患 ・学童期の特徴、留意点と特徴的歯科疾患 ・小児・保護者と歯科医師・歯科衛生士との関係 ・歯科診療室における小児の態度と行動 ・年齢別にみた小児の行動と対応法 ・歯科治療時の対応法

5	【講義】小児におけるう蝕予防 ・小児にみられるう蝕 ・小児の各種う蝕予防法 ・小児の口腔健康管理
6	【講義】小児の歯科疾患・小児歯科における診療体系1 ・小児にみられる歯周疾患 ・小児にみられる口腔軟組織の異常と疾患 ・小児歯科診療の流れおよび補助
7	【講義】小児歯科における診療体系2 ・小児の歯冠修復 ・小児の歯内療法
8	【講義】小児歯科における診療体系3 ・小児歯科における麻酔法 ・小児の外科処置 ・外傷の処置 ・咬合誘導

成績評価の方法

科目試験、授業態度・提出物などを総合的に評価する。
・科目試験……90%
・授業態度・提出物……10%
提出物についてはコメントしフィードバックを行う。

教科書

歯科衛生学シリーズ 小児歯科学（ISBN978-4-263-42614-2）
（テキストは授業中にも使用するので、必ず持参すること。）

授業外学修（予習・復習）

シラバスにて講義の内容を確認し、テキストの該当箇所を読んで予習し、講義後はテキストおよび授業時配布資料を用いて20分程度復習をすること。

その他

参考資料	歯科衛生士講座 小児歯科学 永末書店（ISBN978-4-8160-1342-3） 新・歯科衛生士教育マニュアル 小児歯科学 クインテッセンス出版（ISBN978-4-7812-0412-3） 小児歯科 ベーシックテキスト（第2版） 永末書店（ISBN978-4-8160-1360-7） 小児歯科 クリニカルテキスト（第2版） 永末書店（ISBN978-4-8160-1360-7） 新装版 子どもの歯に強くなる本 クインテッセンス出版（ISBN978-4-7812-0292-1） 親と子の健やかな育ちに寄り添う乳幼児の口と歯の健診ガイド（第3版） 医歯薬出版（ISBN978-4-263-4451-8）
受講生への要望等	小児歯科学は、子どもの健やかな成長・発育を歯科の立場から支える学問です。そのため、成人とは異なる知識や方法が必要となります。本講義では、小児の発育や行動を理解し、適切に対応できる力を養います。 また、小児歯科診療では歯科衛生士の役割は非常に大きく、子ども本人だけでなく保護者との信頼関係を築くことも欠かせません。保護者へ分かりやすく説明できる知識、診療時の子どもの不安やストレスを軽減するための対応技術を身につけるため、好奇心と積極性をもって講義に臨んでください。
授業の質問対応、連絡先	質問等で連絡を希望する際には、メールアドレス（kaihara-y@cc.osaka-dent.ac.jp：海原）までお願いします。

歯科矯正学

更新日：2025/09/26 14:24:43

開講年度	2026	学期	後期	科目コード	312020	授業コード	2H204
担当教員	護邦 英俊, 海野 理嵯, 吉田 彩						
備考							
配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	1	
	備考(配当)	必修科目					
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP		科目に関連する実務経験	
31202		1○ H1◎				歯科医師	

授業概要

矯正治療の目的、治療年齢に応じた顎・顔面・歯列の発育、不正咬合の原因、不正咬合の診断、治療内容の実際などを習得して、矯正治療の中での診療補助・予防処置・口腔衛生指導を歯科衛生士が柔軟に行える素地を養う。また、不正咬合の原因である口腔にまつわる様々な悪習癖の除去への指導等、歯科衛生士にとって重要な役割についても学ぶ。また、歯科矯正学の立場からみた目的に留まらず、他の歯科専門領域と連携協力することにより、さまざまな口腔顎顔面領域の疾患に対してより良い総合的な歯科治療を患者に提供することを目的として学習する。

到達目標

1	矯正治療の目的と意義を説明できる。
2	成長発育について説明できる。
3	正常咬合と不正咬合について説明できる。
4	診断に必要な検査を説明できる。
5	頭部X線規写真分析を説明できる。
6	矯正力の種類を説明できる。
7	矯正力による作用機序、生体反応を説明できる。
8	歯の移動様式について説明できる。
9	保定の意義を説明できる。
10	矯正装置について説明できる。
11	症例の分析・治療学について説明できる。
12	矯正治療に使用する器具・材料について説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			

授業計画

1	【講義】歯科矯正学概論、頭部・顎・顔面の成長発育、歯・歯列の成長発育（護邦） 1. 矯正治療の目的や意義を説明できる。 2. 成長発育の概念を説明できる。 3. 顎顔面の成長発育を説明できる。 4. 混合歯列期の成長発育を説明できる。 5. 混合歯列期の成長発育を説明できる。
2	【講義】正常咬合と不正咬合（吉田） 1. 不正咬合の先天的原因を説明できる。 2. 不正咬合の後天的原因を説明できる。 3. 正常咬合の概念を説明できる。 4. 不正咬合の分類を説明できる。
3	【講義】矯正検査診断に関する知識（海野） 1. 診断に必要な検査を説明できる。 2. 頭部X線規写真分析を説明できる。
4	【講義】矯正治療の生力学（吉田） 1. 矯正力の種類を説明できる。 2. 作用機序、生体反応を説明できる。 3. 歯の移動を説明できる。 4. 保定の意義を説明できる。

5	【講義】矯正装置（護邦） 1. 矯正装置の構造を説明できる。 2. 矯正装置の使用目的と適用時期を説明できる。 3. 保定装置について説明できる。 4. 矯正装置装着時の指導ができる。
6	【講義】症例の分析・治療学（矯正治療の実際）（海野） 1. 症例を的確に分析できる。 2. 治療目標を立案することができる。 3. 治療開始時期を説明できる。 4. 治療の進め方を解説できる。 5. 顎変形症を概説できる。
7	【講義】矯正治療に使用する器具・材料（護邦） 1. 矯正用材料・器具を説明できる。 2. 矯正治療時の補助について説明できる。 3. 偶発症、後戻りについて説明できる。
8	【講義】総括（吉田） 1. 顎顔面の成長発育、不正咬合について説明できる。 2. 症例の分析、診断について説明できる。 3. 矯正治療法、矯正装置について説明できる。 4. 矯正治療時の補助について説明できる。

成績評価の方法

平常点は、講義受講の態度で判断する。講義内容に対応する試験問題を解くことにより各自の理解度をはかり、また、問題とレポートに対する解説によりフィードバックを行う。単位試験では、範囲から出題し、広範囲の習熟度を判定する。評価の比率は、単位試験70%、平常点30%とする。

教科書

授業で使用：全国歯科衛生士教育協議会監修 『第2版 歯科矯正学』（医歯薬出版）

授業外学修（予習・復習）

教科書の該当部分を予習し、授業に望んで下さい。講義内容に対応する復習に30分、次回講義の予習に30分かけてください。
過去の国家試験問題も解いてみて、理解しにくいところ、わからなところはどこかを各自探してください。

その他

参考資料	第7版『歯科矯正学』（医歯薬出版）
受講生への要望等	講義を聞いた後、復習をしてください。前回の授業がどの程度わかっているか自分で判断し、不足している場合は再度復習してください。
授業の質問対応、連絡先	メールアドレス：inoue-a@cc.osaka-dent.ac.jp（9：00-17：00）

予防歯科学

更新日：2025/09/01 16:38:57

開講年度	2026	学期	前期	科目コード	312030	授業コード	2H103
担当教員	緒方 智壽子						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科					
	配当時期	2年	曜日/時限	一		単位	1
	備考(配当)	必修科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31203	1○ 2○ H1◎		歯科医師

授業概要

我々歯科保健医療従事者の責務は、口腔疾患の予防に止まらず、国民の口腔の健康を保持増進して総合的（身体的、精神的、社会的）な健康を実現し、質の高い生活を送ってもらうことに貢献することにある。そのためには、教科書レベルでの知識の習得はもちろんであるが、歯科保健医療の実践現場では、清書に記載がなくても歯科医療従事者として理解しておかなければならない知識や技術、考え方、実践的行動なども多い。

そこで本授業では、学生がパワーポイント資料や動画を用いた視覚的に理解できる授業およびデモンストレーションなどを通じて、教科書に記載されていない予防歯科領域についても理解を深めることができ、幅広い考え方や視点を有する歯科衛生士になることができることを目指す。

到達目標

1	オーラルヘルスケアの概念を説明できる。
2	歯周病と齲蝕の原因を説明できる。
3	喫煙と全身への影響について説明できる。
4	歯周病の治療法を説明できる。
5	歯周病と齲蝕の予防法を説明できる。
6	口腔内のセルフケアサポートについて説明できる。
7	ライフステージ別のオーラルヘルスケアについて説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【面接授業】オーラルヘルスケアの概念と内容 1) オーラルヘルスケアとは 2) セルフケアとプロフェッショナルケア
2	【面接授業】ライフステージ対応オーラルヘルスケアのポイント 1) 乳幼児期の特徴とオーラルヘルスケア 2) 学齢期の特徴とオーラルヘルスケア 3) 成人期の特徴とオーラルヘルスケア
3	【面接授業】高齢者に対するオーラルヘルスケア、全身疾患と口の健康 1) 高齢者の特徴と口腔内状況 2) オーラルフレイルとは 3) 要介護者の特徴とオーラルヘルスケア
4	【面接授業】オーラルヘルスケアに必要な知識（1） 1) 正常な歯周組織 2) 歯周病の原因と病態
5	【面接授業】オーラルヘルスケアに必要な知識（2） 1) 歯周病と全身疾患との関わり 2) 歯周治療の流れ
6	【面接授業】オーラルヘルスケアに必要な知識（3） 1) 口腔内診査 2) 歯周基本治療 3) 歯周炎と齲蝕の第一次・第二次予防としての対応
7	【面接授業】オーラルヘルスケアに必要な知識（4） 1) 歯周外科 2) 根分岐部病変
8	【面接授業】予防処置としての対応 1) 歯周炎と齲蝕の第一次・第二次・第三次予防としての対応 2) 禁煙指導

成績評価の方法

授業時には、面接授業の内容について理解を深めるあるいは理解度の確認のために、小テストの提出やレポートの作成を求める。提出物については返却時にコメントする。

形成的評価として科目試験を実施し総合的に評価する。

評価比率は、科目試験90%、授業態度や小テストおよびレポート課題10%とする。

教科書

教科書は特に指定しない。授業中に適宜資料を配付し、テキストの補助資料として使用する。

授業外学修（予習・復習）

授業終了時に、次回の授業履修までに準備学修（予習）しておく内容（目安時間:約15分）について教示する。

また、小テストの内容については、授業中に正答を導くポイントを解説し、学生自身で確認・学修する一助とする。

その他

参考資料	「オーラルヘルスケア事典」学建書院 「歯科予防処置論・歯科保健指導論」（医歯薬出版）ISBN978-4-263-42607-4 また、授業中に適宜参考資料を配付する。
受講生への要望等	わが国では、高齢者の残存歯数が劇的に増加傾向を示しています。これは、国民の歯や口腔に対する意識の高まりとともに、歯科保健医療の現場において「歯や口腔の健康を保持・増進する」ことを推進してきた結果です。高齢化が加速度的に進む中、歯科疾患の予防という考え方は国民のニーズでもあります。本授業では、教科書に載っていない内容でも歯科衛生士として知っておく必要がある内容について、皆さんに伝えていきます。皆さんは積極的な姿勢で臨み、予防歯科に関する理論や方法を習得するとともに、視野を広く持つことを意識してください。
授業の質問対応、連絡先	質問対応は、在席時に牧野学舎の教員室で対応可能ですが、事前に授業用SNS（melly）で連絡した上で来てもらおうと確実にす。また、授業用SNS（melly）でも随時対応します。

高齢者歯科学

更新日：2025/09/26 17:38:49

開講年度	2026	学期	前期	科目コード	313010	授業コード	20108
担当教員	島田 明子, 柿本 和俊						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	1
	備考(配当)	必修科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31301	2○ 3○ H2◎	2○ 3○ E2◎	歯科医師

授業概要

高齢者の口腔内は一般成人と異なった特徴を持っている。また、高齢者は全身的、心理的および社会的状態においても、一般成人と同列に扱うことはできない。社会の高齢化に伴い、歯科治療を受ける高齢者は急激に増加することが予想され、歯科医療従事者として高齢者の特徴を理解しておくことは必要不可欠である。

この科目では、講義によって高齢者の社会的、全身的、心理的及び口腔の特徴、さらに、高齢者に対する歯科治療、訪問歯科診療、口腔健康管理及び高齢者で使用されることが多い口腔内装置について学習する。

到達目標

1	老化と口腔の加齢変化について説明できる。
2	高齢者の全体像を説明できる。
3	要介護高齢者の身体疾患と口腔疾患について説明できる。
4	高齢者歯科における医療安全について説明できる。
5	高齢者の口腔健康管理について説明できる。
6	歯科訪問診療を説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】高齢者を取り巻く社会（柿本） ・高齢者歯科学の目的 ・高齢者歯科での歯科衛生士と歯科技工士の役割 ・社会環境 ・社会保障
2	【講義】加齢の科学（島田） ・加齢と老化 ・組織・器官の変化 ・身体機能の変化 ・精神・心理的機能の変化 ・口腔領域の変化 ・口腔機能の変化
3	【講義】高齢者における口腔領域の疾患（島田） ・う蝕 ・歯周疾患 ・口腔粘膜疾患 ・口腔乾燥 ・口臭 ・その他の疾患
4	【講義】全身状態の把握と対応（島田） ・医療情報 ・全身疾患の評価と対応 ・その他の配慮を必要とする患者への対応
5	【講義】高齢者歯科医療の場（島田） ・通院困難者とは ・外来診療 ・往診と訪問診療

6	【講義】口腔衛生管理（島田） ・高齢者の口腔内環境 ・口腔環境の評価法 ・口腔健康管理の実際
7	【講義】摂食嚥下障害とリハビリテーション（島田） ・摂食嚥下機能のメカニズム ・摂食嚥下機能の評価・診断 ・摂食嚥下機能の対応
8	【講義】介護予防と口腔ケア（柿本） ・介護予防 ・施設高齢者の口腔ケア ・在宅における口腔健康管理 ・栄養管理

成績評価の方法

レポート課題の評価と科目試験の成績で総合評価する。
評価の比率は、科目試験 80%、レポート 20%とする。
レポートは評価を付けて返却する。

教科書

「歯科衛生士講座 高齢者歯科学 第4版」森戸光彦ほか、永末書店、2025年、ISBN978-4-8160-1451-2
授業中の配布資料、教科書に基づいて授業をします。教科書を必ず持参してください。

授業外学修（予習・復習）

「超高齢社会における歯科衛生士/歯科技工士としての役割」についてのレポートを提出してもらいます。授業内容を復習し、自身の考えをまとめてください。
復習は毎回20分程度行うように心がけてください。

その他

参考資料	「高齢者歯科学」全国歯科衛生士教育協議会、医歯薬出版、2023年、ISBN978-4-263-42633-3 「老年歯科医学 第2版」森戸光彦ほか、医歯薬出版、2022年、ISBN978-4-263-45870-9 「新訂版 知りたいことがすぐわかる 高齢者歯科医療-歯科医療に繋がる医学知識-」小谷順一郎ほか、永末書店、2017年、ISBN978-4-8160-1323-2 「高齢者歯科診療ガイドブック」日本老年歯科医学会監修、口腔保健協会、2010年、ISBN978-4-89605-263-3 「老年歯科医学用語辞典 第3版」日本老年歯科医学会編、医歯薬出版、2023年、ISBN978-4-263-45899-0 「有病者歯科学」今井 裕ほか、永末書店、2018年、ISBN978-4-8160-1335-5
受講生への要望等	今後、歯科医療スタッフとして高齢者と接する機会は増加します。高齢者に対する態度が歯科医療スタッフとしての評価に大きく影響します。日常においても高齢者と接する機会を多く持つように心掛けてください。
授業の質問対応、連絡先	質問等で連絡したいときは授業用SNS「melly」でお願いします。 オフィスアワーは次の通りです。 島田：月・火・木・金 12:15-13:15, 16:30-17:30

障害者歯科学

更新日：2026/01/07 15:02:02

開講年度	2026	学期	前期	科目コード	313020	授業コード	30101
担当教員	小野 圭昭						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科， 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	3年	曜日/時限	一		単位	1
	備考(配当)	必修科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31302	2〇 3〇 H2◎	2〇 3〇 E1◎	歯科医師

授業概要

一般歯科医院においても障がい者の歯科治療の機会は多く、障害者歯科学の必要性は高い。歯科衛生士や歯科技工士が歯科医師とともに障がい者の歯科治療を補助し、口腔の健康を維持・向上するためには、「障害」の概念を理解した上で、さまざまな障害を体系的に把握し、さらに、その詳細について理解しておく必要がある。

この科目では、講義によって歯科医療人として必要な障害者の知識を習得するとともに、医療現場において、障がい者に対し適切に対応して歯科医療を提供するための知識を身に付ける。

到達目標

1	障がい者歯科の基本理念を理解できる。
2	社会と健康、疾病と障害の関係や地域保健医療について理解できる。
3	さまざまな障害への対応を理解できる。
4	障がい者歯科におけるリスク管理について理解できる。
5	障がい者歯科におけるデジタル歯科について理解できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】障がい者歯科総論Ⅰ（障害の概念と障がい者歯科総論） ・健康と疾病と障害の概念を概説する。 ・国際生活機能分類について概説する。 ・障害のある人について概説する。 ・リハビリテーションについて概説する。
2	【講義】障がい者歯科総論Ⅱ（障がい者の保健・医療・福祉の仕組み） ・障がい者の権利擁護について概説する。 ・障がいのある人への福祉について概説する。 ・地域における障がい者歯科について概説する。 ・障がい者歯科と福祉の連携について概説する。 ・チーム医療（他職種連携）について概説する。
3	【講義】障害の種類Ⅰ ・精神発達・心理的発達の障害について概説する。 ・神経・運動障害について概説する。
4	【講義】障害の種類Ⅱ ・感覚と感覚障害について概説する。 ・音声言語障害について概説する。 ・精神および行動の障害について概説する。 ・歯科治療時に配慮すべき疾患・症候群について概説する。
5	【講義】障害のある人への行動調整Ⅰ ・行動調整の概要について概説する。 ・コミュニケーション法について概説する。 ・行動療法（不安軽減法）について概説する。
6	【講義】障害のある人への行動調整Ⅱ ・行動療法（行動形成法）について概説する。 ・薬物を用いた行動療法について概説する。 ・物理的な体動の調整法について概説する。
7	【講義】障害者の口腔衛生管理Ⅰ ・口腔健康管理と口腔ケアについて概説する。 ・障害のある人の健康支援について概説する。

8	【講義】障害者の口腔健康管理Ⅱ ・特別な配慮が必要な人の口腔健康管理について概説する。 ・医療安全の概要について概説する。
---	--

成績評価の方法

単位試験を行い評価する。

教科書

- ・『歯科衛生士講座 障害者歯科学 第4版』柿木保明ほか，永末書店，2026年，ISBN：978-4-8160-1462-8
- ・授業中の配布資料

教科書に基づいて授業を行います。教科書を必ず持参してください。

授業外学修（予習・復習）

質問は「Melly」にてお願いします。

各授業の後に、授業の内容について20分程度の復習をするようにしてください。

その他

参考資料	「歯科衛生学シリーズ 障害者歯科学」全国歯科衛生士教育協議会，医歯薬出版，2023年，ISBN978-4-263-42626-5 「歯科衛生士のための障害者歯科」緒方克也ほか，医歯薬出版，2006年，ISBN978-4-263-42158-1
受講生への要望等	障がい者の歯科治療では、一般の患者以上に配慮が必要となります。臨床実習でもしっかり対応できるように学修してください。
授業の質問対応、連絡先	質問等で連絡したいときは授業用SNS「melly」でお願いします。

口腔機能障害学

更新日：2025/07/30 13:30:57

開講年度	2026	学期	前期	科目コード	314010	授業コード	30102
担当教員	糸田 昌隆						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	3年	曜日/時限	一		単位	1
	備考(配当)	必修科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31401	1○ H1◎	1○ E1◎	歯科医師

授業概要

口腔の担う機能（話す、食べる、呼吸など）は生活あるいは生命維持に必要な機能である。しかしながら、先天性あるいは後天性（中途障害）に口腔機能の低下や障害が認められることが多い。また成人・高齢者においては口腔機能の低下から始まる全身機能の低下が認められることもある。特に高齢社会では口腔機能障害への対応・指導可能な歯科衛生士を目指すことが必要である。今授業では口腔機能のみならず心身の「機能障害」と社会的背景や対応法について総合的に理解した後に、口腔機能障害とその対応法の基礎的考え方を学習する。講義の形式はスライドを用いて行い、実際の障害をもつ方々の口腔機能障害への対応法は動画等を用いて講義する。

到達目標

1	口腔の担う機能（口腔機能）を説明できる。
2	障害について全身、局所（特に口腔の各器官）の障害の原因について説明できる。
3	認知症を含めた高次脳機能障害をはじめとする機能的障害を説明できる。
4	嚥下障害のメカニズムを説明できる。
5	神経・心理学的障害の分類を説明できる。
6	発育段階で獲得する口腔機能と周辺事項を説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	7	1		
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】ガイダンス、ICFにおける機能障害と生活機能の概念、脳（中枢）の構造と役割 糸田 ・WHOの機能障害に関する考え方 ・大脳機能と日常生活 ・延髄の機能 ・小脳の役割 ・その他中枢の役割
2	【講義】運動と感覚と関節運動 糸田 ・錐体路と錐体外路 ・運動機能と感覚の関連性 ・関節運動 ・内転と外転 ・痙縮 ・固縮 ・萎縮
3	【講義】運動障害と感覚障害 糸田 ・運動失調障害 ・運動可動域障害 ・協調運動障害 ・筋疾患 ・神経筋接合部の障害 ・下位運動ニューロン障害 ・上位運動ニューロン障害 ・麻痺によって起こる口腔障害 ・痙縮 ・固縮 ・萎縮

4	【講義】高次脳機能障害と認知症と口腔機能障害 糸田 ・高次脳障害とは ・広義の高次脳障害 ・狭義の高次脳障害 ・口腔の失行 ・口腔の失認 ・失語による口腔症状 ・高次脳機能障害と認知症（鑑別と分類）
5	【講義】摂食・嚥下障害 糸田 ・摂食嚥下障害とは ・摂食嚥下州外によって引き起こされる問題 ・嚥下障害のメカニズム（球麻痺・仮（偽）性球麻痺を中心に） ・摂食嚥下障害に診られる口腔機能障害 ・口腔機能と嚥下のかかわり
6	【講義】神経・心理的障害と口腔機能 糸田 ・心理学的障害と口腔の症状 ・心理学的障害が先か口腔障害が先か？ ・心理的障害の口腔機能への影響 ・摂食障害の原因
7	【講義】発達段階でおこる障害と口腔機能の関連 糸田 ・小児における口腔の障害とは ・発達段階での機能障害の分類 ・食べることの機能の成長障害 など
8	【演習】まとめと演習 糸田 ・口腔機能障害のまとめ

成績評価の方法

本学学則、授業科目の履修方法、試験・評価規程および施行細則に従う。

単位試験を実施し、学習態度により総合的に評価を行う。

- ・単位試験 85%
- ・学習態度 15%

教科書

適宜、資料を配布する。

授業外学修（予習・復習）

講義の復習をすること（15分）

その他

参考資料	「機能障害科学入門」沖田実 神陵文庫出版部 2010（ISBN 978-4915814280）
受講生への要望等	復習をすること（講義後15分程度でまとめておくこと）
授業の質問対応、連絡先	質問は随時受け付けます。1号館1階糸田自室、授業中、休み時間、メールなどにて。 E-mail：m.itoda89@gmail.com

口腔リハビリテーション学

更新日：2025/07/30 13:30:58

開講年度	2026	学期	前期	科目コード	314020	授業コード	3H101
担当教員	糸田 昌隆, 大森 あかね						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科					
	配当時期	3年	曜日/時限	一		単位	1
	備考(配当)	必修科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31402	H1 ○ H2 ◎		歯科医師、歯科衛生士

授業概要

医療、介護、福祉あるいは地域での健康増進への取り組みなどの現場においては様々な要因により、口腔領域に機能低下、障害をもつ方々が多くみられる。これら背景から、今授業では歯科衛生士として国際生活機能分類ICF（International Classification of Functioning, Disability and Health）に準じたりハビリテーションを目指し、摂食・嚥下リハビリテーションを含む口腔リハビリテーションのセラピストとしての基礎知識と専門的技術を習得することを目的とする。また地域における地域リハビリテーション事業を基とした地域支援事業（介護予防など）について理解し、歯科衛生士として地域との関わりや口腔機能向上へのアプローチについても学習する。講義の形式は、主にスライドを用いて行い、各種検査資料を配布・使用し説明を行う。実際の口腔機能障害への対応、口腔リハビリテーションの訓練内容や症例については動画をを用いて講義する。

到達目標

1	リハビリテーションの概念とICIDH,ICFなどの関連性を概説できる。
2	リハビリテーションの治療の流れを説明できる。
3	正常嚥下像を説明できる。
4	成人の嚥下障害の問題を説明できる。
5	嚥下評価と検査法を説明できる。
6	嚥下障害に対する間接訓練法を列挙し説明できる。
7	摂食嚥下障害の食事時の注意点を説明できる。
8	障害に合わせたリハビリテーションのプランを立案できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	7	1		
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】ガイダンス、リハビリーションを実施する際に必要な評価と診断の流れ 糸田・大森 ・リハビリテーションとは ・WHOの医学体系 ・ノーマライゼーションとQOL、ADL ・障害分類と障害受容 ・身体学的評価 ・精神機能評価 ・認知機能評価 など
2	【講義】口腔リハビリテーションに必要な解剖学、生理学、嚥下の正常像と診断・治療の流れ 糸田・大森 ・頭頸部の筋と神経支配 ・口腔の生理機能（咀嚼、嚥下、発声、呼吸） ・摂食嚥下時の時期分類 ・各時期での器官の活動 ・プロセスモデルについて
3	【講義】嚥下機能評価・スクリーニング、専門的検査と総合的口腔アセスメント 糸田 ・身体観察ポイント ・スクリーニングとは ・各種スクリーニング検査 ・嚥下造影検査 ・嚥下内視鏡検査 ・超音波エコー検査 ・筋電図検査など ・OHAT-J ・OAG ・CORCH

4	【講義】器官別口腔機能・嚥下機能評価と口腔機能低下症の検査 リハビリテーション計画の立案 糸田 ・ディサースリア検査 ・咀嚼力検査 ・舌圧検査 ・嚥機能評価（MASA、RSST、EAT-10など） ・嚥下機能の専門的検査（VF、VE、嚥下聴診など） ・PDCAサイクル
5	【講義】口腔リハビリテーションの訓練計画の立案と具体的訓練（間接訓練） 糸田 ・間接訓練の目標 ・間接訓練の考え方と種類 ・具体的方法
6	【講義】口腔リハビリテーションの具体的訓練（直接訓練）と歯科治療 糸田 ・直接訓練の原則と配慮すべき点 ・基本的な食事への配慮事項 ・具体的訓練法 ・口腔リハビリテーションの中での歯科治療の位置付け ・歯科治療を実施する時期
7	【講義】実際の口腔リハビリテーションと歯科治療の効果の評価、特別な治療機器 糸田 ・食事場面の観察点（ミールラウンド） ・ミールラウンド時に必要な視点 ・必要な器具 ・介護予防事業における歯科衛生士の役割 ・低周波 ・電氣的刺激機器 ・温熱療法など
8	【演習】ケーススタディ 糸田 ・実際の嚥下障害患者の模擬評価と訓練計画の立案

成績評価の方法

本学学則、授業科目の履修方法、試験・評価規程および施行細則に従う。

単位試験を実施し、学習態度により総合的に評価を行う。今科目の学修要項は別途配布する。

- ・単位試験 85%
- ・学習態度 15%

単位試験の解説を補講で行う。

教科書

「歯科衛生士のための摂食・嚥下リハビリテーション」公益社団法人日本歯科衛生士会ほか、医歯薬出版 2011 (ISBN978-4263421734)

追加資料を配布する。

授業外学修（予習・復習）

口腔リハビリテーション実習にて今科目内容を修学する機会を提供する。実習で行う内容、特にリハビリテーションの流れ、身体所見の観察ポイント、スクリーニング検査、リハビリテーション（間接訓練、直接訓練）の分類・手技を覚えておくこと。毎講義後の復習を15分程度行うこと。

その他

参考資料	「標準ディサースリア検査」西尾正輝 インテルナ出版 2004 (ISBN978-4900637177) 「5 疾病の口腔ケア」藤本篤士ほか 医歯薬出版 2013 (ISBN978-4263421918)
受講生への要望等	国家試験にも多く出題される範囲である。復習を行うこと。
授業の質問対応、連絡先	随時受け付ける。 居室に不在時は下記メールにて質問・相談をすること。 E-mail：m.itoda89@gmail.com

口腔リハビリテーション実習

更新日：2026/01/26 12:01:54

開講年度	2026	学期	後期	科目コード	314030	授業コード	3H202
担当教員	糸田 昌隆, 大森 あかね, 鶴木 叶恵, 今井 美季子, 貴島 真佐子, 吉本 美枝, 梶 貢三子, 永久 景那, 寺島 雅子						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科					
	配当時期	3年	曜日/時限	一		単位	1
	備考(配当)	必修科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31403	H2 ◎ H3 ○		歯科医師、歯科衛生士

授業概要

実習では、口腔リハビリテーション学を第3学年前期で学習した基本知識をもとに、口腔機能および嚥下機能評価方法、口腔リハビリテーションの具体的訓練内容に関しての実習を行い、専門的技術を習得するために行う。また口腔リハビリテーションを実施する際の訓練計画の立案についても学習する。実習の進行は、はじめにスライドを用いて配布する各種検査資料を基に説明を行う。また実際の検査・評価実習に関しては相互実習を基本とし評価を体験する。実際の口腔機能障害への対応、口腔リハビリテーションの訓練内容や症例については動画を用いて演習する。また摂食嚥下障害、口腔リハビリテーションに関わる終末期医療に関してグループワークを通じて演習を行う。

到達目標

1	摂食嚥下機能の意義について説明できる。
2	口腔機能の意義について説明できる。
3	各種口腔機能・嚥下機能検査、評価に意義について説明できる。
4	各種口腔機能・嚥下機能検査、評価の方法を実践できる。
5	各種嚥下訓練、口腔機能訓練について説明・実践できる。
6	リハビリテーションプランを概説できる。
7	終末期の患者への対応の基礎的考え方を説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	2	2	11	
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【実習：チェア実習室】ガイダンス、口腔ケア相互実習Ⅰ（口腔アセスメント） 糸田・貴島・今井・大森・鶴木 ・口腔リハビリテーションとは ・OHAT-J評価内容の確認 ・OAGによる評価
2	【実習：チェア実習室】口腔ケア相互実習②（口腔ケアの具体的手技） 糸田・貴島・今井・大森・鶴木・梶 ・ファーラー位、仰臥位、側臥位 ・ワイプ法 など ・細菌カウンタによる口腔内細菌量の測定 ・各自が行った口腔ケアの内容と、細菌カウンタ測定結果と考察についてまとめ提出する。 ・実習結果等に関して、講評を行う。
3	【実習：チェア実習室】口腔機能評価Ⅰ 糸田・貴島・永久・今井・大森・吉本・鶴木 ・咀嚼能力検査 ・オーラルディアドコキネシス ・舌圧検査
4	【実習：チェア実習室】口腔機能評価Ⅱ 糸田・貴島・永久・今井・大森・吉本・鶴木 ・口腔不潔 ・鼻咽腔閉鎖機能検査 ・口腔乾燥度検査など
5	【実習：チェア実習室】嚥下機能評価・スクリーニングⅠ 糸田・貴島・今井・鶴木 ・RSST ・水飲みテスト＆改訂水飲みテスト ・咳反射テスト など
6	【実習：チェア実習室】嚥下機能評価・スクリーニングⅡ 糸田・貴島・今井・鶴木 ・嚥下聴診 ・フードテスト など
7	【講義：セミナー室】嚥下機能評価Ⅲ 糸田・貴島・今井・鶴木 ・嚥下造影検査 ・嚥下内視鏡検査

8	【講義：セミナー室】質問式嚥下評価 糸田・貴島・今井・鶴木 ・聖隷式嚥下質問評価 ・EAT-10 ・KTバランスチャート
9	【実習：チェア実習室】実際の口腔リハビリテーションの訓練内容（間接訓練）1 糸田・貴島・今井・大森・吉本・鶴木 ・頬ふくらし、舌運動（抵抗運動法） ・ブローイング ・ブッシングメソッド など
10	【実習：チェア実習室】実際の口腔リハビリテーションの訓練内容（間接訓練・直接訓練・咀嚼訓練）糸田・貴島・今井・大森・吉本・鶴木 ・シャキア法、おでこ体操 ・メンデルゾーン法 etc ・姿勢調整 ・一口量調整 ・食事具の調整 など
11	【演習・講義：セミナー室】介護予防事業における口腔機能向上アプローチ 糸田・貴島・今井・吉本・鶴木 ・集団訓練法の検討 ・講和の意義と手法 ・口頭試問（これまでの評価・訓練法について実習中順次行う）
12	【講義：セミナー室】口腔・嚥下リハビリテーションと考慮すべき事項。糸田・貴島・今井・鶴木 ・栄養の基礎 ・運動処方（リハ処方）の考え方 ・口頭試問（これまでの評価・訓練法について実習中順次行う）
13	【演習：PC実習室】ケーススタディ、グループディスカッション 糸田・貴島・今井・鶴木 ・嚥下障害の患者さんへの対応法 ・栄養法の考え方 ・口頭試問のフィードバック
14	【講義：PC実習室】重度口腔機能障害、嚥下障害患者への対応方法 糸田・貴島・今井・鶴木 ・最終栄養法の決定 ・臨床死生学について
15	【演習：PC実習室】まとめ 糸田・貴島・今井・鶴木 ・グループワーク：口腔リハビリテーションと死生学演習とまとめ ・死生学学習についてレポートを作成・提出。 ・レポート提出後にレポート課題について解説・講評する。

成績評価の方法

本学学則、授業科目の履修方法、試験・評価規程および施行細則に従う。

レポート課題について評価し、採点する（60％）。

実習中の態度・行動を観察（態度、技能、表現力、応用力）・評価し、総合的に評価を行う（実習中の態度：20％、技能・表現力など：20％）

課題についての解説と講評は、提出日の次講義で行う。

教科書

実習に際して、資料を配布する。

授業外学修（予習・復習）

その日中に30分程度の復習を行うこと。

その他

参考資料	なし
受講生への要望等	なし
授業の質問対応、連絡先	質問は随時受け付けます。1号館1階糸田自室、授業中、休み時間、メールなどにて。 E-mail：m.itoda89@gmail.com

口腔デジタル基礎工学

更新日：2025/12/05 16:52:37

開講年度	2026	学期	前期	科目コード	315010	授業コード	20109
担当教員	藤井 孝政						
備考							
配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	2年	曜日/時限	－		単位	1
	備考(配当)	必修科目					
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP		科目に関連する実務経験	
31501		4○ H1◎		4○ E3◎		歯科医師	

授業概要

3Dスキャナーや歯科用CAD/CAM、3Dプリントなどのデジタル技術やAIを応用した製作法や治療法を理解し、歯科におけるデジタル技術の基礎的な理論と知識について習得する。

到達目標

1	デジタルデンティストリーの現状について説明できる。
2	従来法と比較したデジタル技術を応用した製作法の利点について説明できる。
3	歯科用3Dスキャナーについて説明できる。
4	切削加工法による製作法について説明できる。
5	三次元積層造形法による製作法について説明できる。
6	デジタル技術を応用した製作法の使用材料について説明できる。
7	様々なデジタル技術を連携して製作した修復物について説明できる。
8	デジタル技術やAIを活用した治療法や製作法について説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】デジタルデンティストリーの現状について理解する。 1) デジタルデンティストリーの概要について説明する。 2) デジタルデンティストリーの現状について説明する。
2	【講義】従来法と比較したデジタル技術を応用した製作法の利点について理解する。 1) 従来法による製作法について説明する。 2) デジタル技術を応用した製作法について説明する。 3) デジタル技術を応用した製作法の利点について説明する。
3	【講義】歯科用3Dスキャナーについて理解する。 1) 歯科用3Dスキャナーについて説明する。 2) 3D画像の特徴について説明する。 3) 3D画像の取り扱いについて説明する。
4	【講義】切削加工法による製作方法について理解する。 1) 切削加工法による製作方法について説明する。
5	【講義】三次元積層造形法による製作方法について理解する。 1) 三次元積層造形法による製作方法について説明する。
6	【講義】デジタル技術を応用した製作法の使用材料について理解する。 1) 使用材料の特徴について説明する。
7	【講義】様々なデジタル技術を連携して製作した修復物について理解する。 1) デジタル技術の連携について説明する。 2) デジタル技術を連携して製作した修復物について説明する。
8	【講義】デジタル技術やAIを活用した治療法や製作法について理解する。 1) デジタル技術やAIを活用した治療法や製作法について説明する。

成績評価の方法

本試験および授業態度を加味し評価する。必要に応じて小テストを実施し評価に加えることがある。
成績は、本試験（90％）、授業態度・小テスト（10％）により総合的に評価する。
小テストは授業中に随時解説を行う。
本試験不合格者には補講時に解説を行う。
再試験：60点以上獲得した学生を合格とする。

教科書

- ・特定の教科書はない。
- ・知識の整理や理解を深めるための資料を適宜提示する。

授業外学修（予習・復習）

- ・各回の授業において、学生自身、学ぶべき事項を明示したシラバスをみて、予習（約30分）、復習（約30分）を行い、ノートにまとめ、整理しておく。
- ・自分なりの解説をした授業ノートを作成する。

その他

参考資料	・「基礎から学ぶCAD/CAMテクノロジー」医歯薬出版 末瀬一彦 宮崎 隆 2017年8月 ISBN:978-4-263-43362-1 ・「歯科用CAD/CAM ハンドブック ～CAD/CAM基礎知識から材料特製まで～」Ⅰ～Ⅴ 山本貴金属地金 2016年4月～2017年7月 ・Digital Dentistry YEARBOOK 2023 日本デジタル歯科学会 クインテッセンス出版 2023年 ISBN978-4-7812-0942-5 ・3Dプリンターの基礎と臨床 大久保力廣 木村健二 医歯薬出版 2022年 04264-11 ・「歯科用CAD/CAM ハンドブック ～CAD/CAM基礎知識から材料特製まで～」Ⅰ～Ⅴ 山本貴金属地金 2016年4月～2017年7月 ・「補綴臨床別冊 最新デジタルデンティストリー」医歯薬出版社 末瀬一彦 宮崎 隆 2018年4月 08124-04
受講生への要望等	・自主的に予習（約30分）、復習（約30分）を行うこと。
授業の質問対応、連絡先	質問はできるだけ授業中にするように心がけて下さい。 授業時間以外では、メール（taka-f@cc.osaka-dent.ac.jp）で連絡して下さい。但し、返信は遅れる可能性があることをご承知おき下さい。

口腔デジタル臨床歯学

更新日：2026/01/07 15:02:58

開講年度	2026	学期	通年	科目コード	315050	授業コード	3H306
担当教員	谷 亜希奈, 柿本 和俊, 梶 貢三子, 小正 聡, 大森 あかね, 中井 知己						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科					
	配当時期	3年	曜日/時限	－		単位	1
	備考(配当)	必修科目					
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP		科目に関連する実務経験	
		1○ 2◎ 3○				歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士	

授業概要

口腔内装置の製作法は、歯科技工士の手技による方法から3次元データに基づくデジタル加工に移行しつつある。現在、口腔内状態を3次元データとして記録できる口腔内スキャナーが数多く開発され歯科臨床での利用が進んでいる。口腔の3次元データは口腔内装置の製作に留まらず、今後は歯科医療に広く利用されることが予測される。この科目では、口腔内のデジタルデータの取得と利用法を講義と口腔内スキャナを利用した実習及び実習で得たデータをソフトウェアで分析する演習によって学修し、今後のデジタルデンティストリーに対応・発展させる能力を修得する。

到達目標

1	保健・医療・福祉・介護におけるIOT・ICT技術やAIの活用方法を説明できる。
2	口腔のデジタル表現を説明できる。
3	3次元スキャナーの原理を説明できる。
4	光学印象法について説明できる。
5	口腔内スキャナーの構造を説明できる。
6	3次元画像を説明できる。
7	口腔内スキャナーを操作できる。
8	画像処理ソフトウェアを使用できる。
9	デジタルデンティストリーを口腔健康管理に応用できる。
10	デジタルリテラシーを概説できる。
11	個人情報の扱いが説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	3	3	2	
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	第1回【講義】デジタルとは（柿本・谷） デジタルとアナログ デジタルデータの利用 AI デジタルリテラシー 医療DX 個人情報の取り扱い
2	第2回【講義】3次元スキャナの原理（柿本、谷） 三角法方式 タイム・オブ・フライト方式 位相差方式 共焦点方式他
3	第3回【講義】口腔内スキャナーと利用法（谷） 口腔内スキャナーの構造 口腔内スキャナーの使用方法 口腔の形状データの臨床利用
4	第4～5回【実習】口腔内スキャナーによる口腔内記録（柿本、梶、小正、谷、大森、中井） 口腔内スキャナーの使用方法 口腔内スキャナー使用時の患者説明 口腔内スキャナーによる口腔内記録と管理
5	第6～7回【演習】三次元画像処理ソフトウェアの応用（柿本、梶、小正、谷、大森、中井） 三次元画像処理ソフトウェアの使用方法 三次元画像処理ソフトウェアによる定量化 三次元画像処理ソフトウェアによる画像比較

6	第8回【演習】これからの歯科医療（柿本、梶、小正、谷、大森、中井） 歯科医療のデジタル化 アナログの必要性 実習・演習経験の整理 歯科医療のありかたについてのレポート作成
---	---

成績評価の方法

第8回に提出するレポートと科目試験で総合評価する。

評価の割合は、レポート 40%、科目試験 60%とする。

レポート、科目試験ともにA-portalの科目のタイムラインに要点と講評を掲載する。

教科書

配布資料

授業外学修（予習・復習）

【復習】講義、実習の終了後は、20分程度は復習するようにして下さい。実習では高価な器材を使用しますので、器材の取り扱いについての講義は十分に復習してきて下さい。

その他

参考資料	「補綴臨床 別冊 口腔内スキャナー入門 デジタル印象採得の基礎と臨床」 疋田一洋・馬場一美 編著、医歯薬出版 ISBN 00186341 とことんIOS 窪田努・片野潤 著、クインテッセンス出版株式会社 ISBN 978-4-7812-0844-2
受講生への要望等	今後の歯科医療はデジタル化が加速すると思われます。加速するデジタル化に追従できるように基本的なデジタルに関する能力を身に付けるようにしてください。
授業の質問対応、連絡先	質問等で連絡したいときは授業用SNS「melly」をお願いします。 在室時は研究室でも応対可能です。

歯科保健指導論

更新日：2025/12/28 09:55:43

開講年度	2026	学期	通年	科目コード	316010	授業コード	1H301
担当教員	前嶋 亜優子, 亀井 直子, 鵜木 叶恵						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科					
	配当時期	1年	曜日/時限	－		単位	1
	備考(配当)	必修科目					
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP		科目に関連する実務経験	
31601		1○ H1◎				歯科衛生士	

授業概要

歯科衛生士として、様々な対象者の口腔保健の向上にむけて、専門的な指導管理と支援を行うために必要な基礎知識を修得する。歯科保健指導とは何かを理解し、歯科保健指導を実施するうえで基礎知識となる対象者の情報収集法、食生活指導、口腔の観察および評価方法などを学ぶ。また、対象者と関わっていくうえで最も重要となるコミュニケーションの基本を理解することを目的とする。

演習時にはthink pair shareを行いアクティブラーニングを取り入れる。

用具の基本的な操作方法の確認には動画やライブ映像を活用することで、理解を深める。

到達目標

1	歯科保健指導の定義と特性を説明できる。
2	口腔内の付着物・沈着物を説明できる。
3	食品と歯科疾患の関係について説明できる。
4	う蝕予防のための食品摂取方法を説明できる。
5	咀嚼の働きを説明できる。
6	行動科学の理論やモデルと行動変容を説明できる。
7	保健行動と行動変容の手法を理解し、活用のポイントを説明できる。
8	歯科衛生の基礎となる適切なコミュニケーションをとることができる。
9	生活習慣把握の概要を説明できる。
10	歯垢染色法とその目的を説明できる。
11	口腔清掃状態の観察とリスク評価ができる。
12	対象者を全人的に捉え、多様な心理、行動、地域属性、健康状態を理解している。
13	医療コミュニケーションの方法を理解している。
14	動機付け面接を理解している。
15	インフォームド・コンセントとインフォームド・アセントを理解している。
16	基本的なカウンセリング技術を理解している。
17	歯科衛生実践に必要な臨床検査項目を理解している。
18	認知機能を把握する目的と対応を理解している。
19	生活環境と生活背景（生活歴、食生活歴、アレルギー歴、社会歴、職業歴等）聴取の目的と対応を理解している。
20	生活習慣と保健行動を把握する目的と対応を理解している。
21	保健行動を高める要因を理解している。
22	健康増進および疾患を予防するための口腔健康管理の意義と目的を理解している。
23	歯科衛生士が行う口腔衛生管理と口腔機能管理を理解している。
24	セルフケアの動機付けの方略を理解している。
25	生活習慣に対する指導内容を理解している。
26	歯科衛生実践に必要な栄養の意義を理解している。
27	食事の基本と食品の特徴や機能を理解している。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】ガイダンス、歯科保健指導の概要（前嶋・亀井・鵜木） 患者との信頼関係を築くために、身だしなみを整える習慣を身につける。 健康の考え方の概要を理解する。
---	---

2	【講義】口腔内の付着物・沈着物、う蝕の基礎知識（前嶋・鵜木） 口腔内の付着物・沈着物の特徴を理解する。 う蝕の特徴と口腔清掃の関係を理解する。
3	【講義】食生活指導のための基礎知識（前嶋・鵜木） 健康と栄養の現状を理解する。 食品とう蝕誘発性・酸蝕症を理解する。
4	【講義】保健行動支援のための基礎知識（前嶋・鵜木） 行動変容に関連する理論を理解する。 各自で考えたことをthink pair shareすることで、認識を共有する。
5	【講義】歯科衛生アセスメントとしての情報収集と情報整理①（前嶋・鵜木） 歯科衛生過程の概念を理解する。 コミュニケーション技法をペアワークを通じ理解する。 全身の健康状態の把握の概要を理解する。
6	【講義】歯科衛生アセスメントとしての情報収集と情報整理③（前嶋・鵜木） プラークと歯垢染色剤について理解する。 口臭について理解する。 歯垢染色法を理解する。 PCR(Plaque Control Record)について理解する。 歯磨剤・洗口剤・保湿剤・その他について理解する。
7	【講義】歯科衛生アセスメントとしての情報収集と情報整理②（鵜木・前嶋・亀井） 認知機能の把握、生活環境と生活背景の把握の概要を理解する。 生活習慣把握の概要を理解する。 インフォームドコンセント・インフォームドアセントを理解する。
8	【講義】歯科衛生アセスメントとしての情報収集と情報整理④（前嶋・鵜木） 口腔の機能的問題の把握をするための検査や指数を理解する。

成績評価の方法

- ・試験…90%
- ・受講態度・提出物…10%
- ・提出物はコメントし返却する。

教科書

歯科衛生士学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版（医歯薬出版）
歯科衛生士のための主要3科プラス専門分野問題集（口腔保健協会）

授業外学修（予習・復習）

挨拶・5分前行動・実習生として患者さんに信頼される身だしなみを心掛け、2年以降の臨地・臨床実習までに習慣化する。
指定された課題を実施して毎回受講すること。復習は30分以上行ってから受講することが望ましい。

その他

参考資料	デンタルハイジーン別冊 セルフケアの本（医歯薬出版） 別冊歯科衛生士 信頼がうまれる患者対応の技術 歯科医院のための医療面接スタートガイド（クインテッセンス） よくわかる歯科衛生過程（医歯薬出版） 事例で分かる歯科衛生過程（医歯薬出版） カリエスブック（医歯薬出版）
受講生への要望等	実習オリエンテーションのルールを守る。 身だしなみが整っていない場合、再度指導しても改善されない場合は受講できないことがあります。 講義および実習準備物に不足がある場合・課題未修了の場合は受講できないことがあります。 全回出席すること。 欠席者は講義・実習担当者に申し出て次回講義・実習までに補講・追実習を受講すること。 配布資料は全てファイリングする。 講義・実習記録は毎回提出すること。ルーズリーフのサイズはA4厳守。 講義最終回にファイル提出あり。 スマートフォンおよび携帯電話等は指示された時以外の持ち込み不可。
授業の質問対応、連絡先	メリーまたは教員室にて受け付けます。

歯科保健指導実習Ⅰ

更新日：2026/01/09 16:50:26

開講年度	2026	学期	後期	科目コード	316020	授業コード	1H205
担当教員	前嶋 亜優子, 亀井 直子, 鶴木 叶恵						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科					
	配当時期	1年	曜日/時限	－	単位	1	
	備考(配当)	必修科目					
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP		科目に関連する実務経験	
31602		1○ H1◎				歯科衛生士	

授業概要

歯科保健指導の実践に必要な基礎知識・技術を修得する。対象者の状況に応じて適切な口腔清掃器材を選択し、指導できるように、様々な種類の口腔清掃器材の種類、特徴および使用方法について学ぶ。また、口腔疾患リスクを把握するための指数を活用する基本的な方法を学ぶ。

実習においては歯科衛生過程の理論を理解し、相互実習患者を対象として歯科衛生過程を実践する。

相互実習において、スクラビング法による歯垢清掃、う蝕好発部位に対する歯間清掃用具を実施することで一般的な歯口清掃の方法を習得する。

一口腔を専門職として清掃することの意義、難しさに気づく。

演習・実習時にはthink pair shareなどのアクティブラーニングを取り入れる。

到達目標

1	口腔衛生管理に関する清掃用具を説明できる。
2	口腔清掃用具の名称・使用目的を理解し、基本的な使用方法を実施できる。
3	歯科衛生アセスメントのための情報収集と情報処理（生活環境・生活背景・生活習慣把握）を説明できる。
4	対象者の口腔清掃法を観察し、アセスメントの結果、歯科衛生上の問題を明確化できる。
5	口腔衛生管理を行うための歯科衛生介入計画を立案できる。
6	歯磨剤・洗口剤・保湿剤の特徴を説明できる。
7	歯科衛生士の専門分野を理解している。
8	対象者の身体・心理・社会的ニーズと課題に対し、科学的根拠に基づいた個別的な歯科衛生実践の意義を理解している。
9	歯科衛生過程に関わる問題解決の思考プロセスを理解している。
10	歯科衛生過程の一連のプロセスを理解している。
11	歯科衛生過程に基づいた歯科衛生実践に関する判断、実施、結果について説明責任と責務を理解している。
12	歯科衛生過程における書面化を理解している。
13	得られた情報をフレームワークに基づき整理し、解釈、分析、推論しニーズと課題を包括的・焦点的にアセスメントできる。
14	対象者の経験や望み（意向）を共有し歯科衛生ニーズと課題の分析ができる。
15	対象者に適した長期目標・短期目標を設定できる。
16	目標を達成するための歯科衛生実践内容と歯科衛生計画を立案できる。
17	歯科衛生計画に基づいた歯科衛生実践の方法を理解している。
18	立案した歯科衛生計画（ケア計画・教育計画・観察計画）を対象者に説明できる。
19	歯科衛生実践を評価する意義を理解している。
20	歯科衛生計画に基づき、目標達成状況を評価できる。
21	評価に基づき、歯科衛生計画を改善できる。
22	歯科衛生実践を記録する意義を理解している。
23	歯科衛生過程に基づく一連のプロセスを記録できる。
24	歯科衛生実施の経過記録をSOAP方式等で記録できる。
25	対象者と良好な関係を形成できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	1	3	11	
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	1.2【演習1コマ・実習1コマ】医療面接、歯垢染色実習、PCR記録実習（前嶋・亀井・鶴木・非常勤助手3名） 医療面接演習 歯垢染色演習 PCR記録演習
---	--

2	3.4【演習1コマ・実習1コマ】口腔清掃用具（歯ブラシ・歯ブラシ以外の清掃用具）（前嶋・亀井・鶴木・非常勤助手3人） 歯ブラシ・デンタルフロス・ワンタフトブラシ・歯間ブラシなどの使用方法をマネキンを対象に実施し、使用方法を理解する。 実技の確認テストを行う。 次回相互実習のために実習の流れを理解し、注意点を把握する。
3	5.6【相互実習1回目：2コマ】口腔清掃（前嶋・亀井・鶴木・非常勤助手3人） ・歯垢染色 ・PCR測定 ・ブラッシング動画分析
4	7.8【演習1コマ・実習1コマ】歯科衛生過程1・2（情報収集・関係図作成）（前嶋・亀井・鶴木） 患者を診るために必要な情報収集・アセスメントを模擬患者で考える
5	9.10【実習：2コマ】歯科衛生過程3・4（前嶋・亀井・鶴木） 患者を診るために必要な考え方を整理し、次回相互実習に向けて歯科衛生計画を立案する。
6	11.12【相互実習2回目：2コマ】歯科衛生過程5・6（前嶋／亀井・鶴木・非常勤助手3人） 歯科衛生介入の実践 ・患者を対象にSOの情報収集を行い、歯ブラシで歯垢清掃を実践する。
7	13.14【実習：2コマ】歯科衛生過程7・8（前嶋／亀井・鶴木） 歯科衛生評価の実践 ・相互実習で実施した介入を振り返り評価を実施する
8	15【講義：1コマ】歯磨剤・洗口剤・保湿剤・試験説明・学習の整理（前嶋・亀井・鶴木） 歯磨剤・洗口剤・保湿剤・その他の特徴を理解し、基本的な使用方法を習得する。 1年次の学習内容を整理し、知識及びスキルの確認を行う。

成績評価の方法

試験（実技含む）90%、提出物（10%）。
試験は授業時に試験説明を実施するのでその評価項目に沿って評価する。
提出物は教員が返却時にコメントする。

教科書

歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版（医歯薬出版） ISBN978-4-263-42642-5
歯科衛生士のための主要3科プラス臨床歯科医学問題集（口腔保健協会） ISBN978-4-89605-389-0

授業外学修（予習・復習）

挨拶・5分前行動・実習生として患者さんに信頼される身だしなみを心掛け、2年以降の臨地・臨床実習までに習慣化する。
指定された課題を実施して受講する。毎回30分以上の予習・復習をしてから受講することが望ましい。

その他

参考資料	最新歯科衛生士教本 口腔健康管理（医歯薬出版）ISBN：978-4-263-42714-9 よくわかる歯科衛生過程（医歯薬出版）ISBN：978-4-263-42205-2 歯科医衛生士教育サブテキスト歯科衛生過程HAND BOOK（クインテッセンス）ISBN：978-4-781-20420-8
受講生への要望等	実習で使用するので、赤鉛筆をいつも筆箱に準備しておいてください。 実習オリエンテーションのルールを守る。 身だしなみに不備がある場合、注意をしても改善されない場合は受講できないことがあります。 講義および実習準備物に不足がある場合・課題未修了の場合は受講できないことがある。 全回出席する。 欠席者は講義・実習担当者に申し出て次回講義・実習までに補講・追実習を受講する。 配布資料は全てファイリングする。 講義・実習記録は毎回提出する。 スマートフォンおよび携帯電話の持ち込み不可。 実習室の確保状況により、授業の順は多少前後することあり。 感染症流行の状況により実習内容を変更する可能性があります。
授業の質問対応、連絡先	メリーまたは教員室にて受け付けます。

歯科保健指導実習Ⅱ

更新日：2025/12/28 11:58:38

開講年度	2026	学期	通年	科目コード	316030	授業コード	2H301
担当教員	前嶋 亜優子, 亀井 直子, 鶴木 叶恵						
備考	アクティブラーニング						
配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科					
	配当時期	2年	曜日/時限	－	単位	2	
	備考(配当)	必修科目					
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP		科目に関連する実務経験	
31603		2○ 5◎ H3○				歯科衛生士	

授業概要

1年次に学修した歯科保健指導論および歯科保健指導実習Ⅰの知識と技術を基に、ライフステージに沿った個人および集団指導の基礎を学修する。ライフステージごとの対象者の特徴を把握し対象者に応じた口腔健康管理・健康教育活動ができることを目的とする。合同実習では歯科衛生過程を活用し担当患者（1年生）への対応を実践する。

到達目標

1	ライフステージ別の対象者の一般的特徴と口腔の特徴および歯科保健行動を説明できる。
2	ライフステージ別の口腔衛生指導ができる。
3	小集団を対象に健康教育を行う際の注意点を理解できる。
4	小学校3年生を対象とした健康教育の要点が理解できる。
5	自ら仲間と協働し、健康教育を作り上げるための連携ができる。
6	特別配慮を有する妊産婦、障がい児・者、要介護者、喫煙者の口腔健康管理と指導ができる。
7	歯科衛生過程を実践することができる。
8	う蝕・歯周病リスクに応じた指導ができる。
9	不正咬合・義歯装着・口臭・口腔乾燥に関する指導ができる。
10	ストレスの評価、ストレスマネジメント、禁煙支援を説明できる。
11	歯・口腔の疾患および異常の観察と評価ができる。
12	口腔保健と生活習慣の関係を説明できる。
13	非感染性疾患（NCDs）の種類と特徴および口腔の関連を説明できる。
14	対象の疾患・異常、要配慮事項に応じた生活習慣指導ができる。
15	保育所、幼稚園（乳幼児）、認定こども園の保育士、教員、小学校教職員および保護者を対象とした健康教育ができる。
16	ライフステージにおける口腔健康管理を理解している。
17	日常生活と健康の増進・維持・回復を理解している。
18	プライバシーの配慮を理解している。
19	情報の守秘義務と、家族等を含む情報提供の重要性を理解し、適切な取り扱いを理解している。
20	得られた情報をフレームワークに基づき整理し、解釈、分析、推論しニーズと課題を包括的・焦点的にアセスメントできる。
21	対象者の経験や望み（意向）を共有し歯科衛生ニーズと課題の分析ができる。
22	生活習慣病の発症原因に関連する生活習慣を理解している。
23	歯科衛生の視点から健康支援の優先順位を設定できる。
24	対象者に応じた口腔衛生指導ができる。
25	小児への口腔機能管理の意義と目的を理解している。
26	成人・高齢者・障害児・者・全身疾患を有する者への口腔機能管理の意義と目的を理解している。
27	小児の口腔機能訓練（口腔筋機能療法（Myofunctional Therapy <MFT>を含む））を実施できる。
28	歯科疾患と生活習慣との関連を理解している。
29	歯科疾患と非感染性疾患（Non-Communicable Diseases <NCDs>）の関連を理解している。
30	生活習慣に対する指導内容を理解している。
31	各ライフステージに対応した生活習慣指導を理解している。
32	疾患・異常のリスクに応じた生活習慣指導を理解している。
33	配慮を必要とする人への生活習慣指導を理解している。
34	食事摂取基準を理解している。
35	各ライフステージと栄養の特性を理解している。
36	対象者に応じた食生活習慣指導および食支援・食育支援を実施できる。
37	各ライフステージの一般的な特性と口腔の特徴を理解している。
38	各ライフステージにおける歯科衛生上の問題と原因を理解している。

39	各ライフステージにおける歯科衛生上の問題と原因に対応した歯科衛生計画を立案できる。
40	各ライフステージにおける歯科衛生を実践できる。
41	各ライフステージにおける歯科衛生実践を評価できる。
42	配慮を必要とする対象者の一般的特徴と口腔の特徴を理解している。
43	配慮を必要とする対象者の歯科衛生上の問題と原因を理解している。
44	保育所・幼稚園、学校、事業所等を対象とした集団の特徴と口腔保健の現状を理解している。
45	保育所・幼稚園、学校、事業所等を対象とした集団の歯科衛生上の問題と原因を理解している。
46	保育所・幼稚園、学校、事業所等を対象とした集団の歯科衛生上の問題と原因に対応した歯科衛生計画を立案できる。
47	保育所・幼稚園、学校等における歯科保健指導を実施できる。
48	対象者と良好な関係を形成できる。
49	個別性のある歯科衛生計画を立案し書面化できる。
50	個別性のある歯科衛生計画に基づいた歯科衛生を実践できる。
51	実践した歯科衛生介入を評価できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
		9	21	
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	1【演習：1コマ】ガイダンス・健康教育・ライフステージ別指導法(1) 幼児期（前嶋・亀井・鶴木） 1) 地域における健康教育の概要 2) 幼児期の一般的特徴および口腔の特徴および口腔保健行動 3) 幼児期におけるプロフェッショナルケアの目標、セルフケアの目標 4) 幼児期の口腔清掃指導 5) 幼児期の食生活の特徴と食生活指導
2	2.3【実習：2コマ】保育所集団歯科保健指導実践・フツ化物塗布実習実習（デモ）（前嶋・亀井・鶴木） 集団歯科保健指導の実践 臨地実習における保育所での実践のデモ
3	4【演習：1コマ】ガイダンス、ライフステージ別指導法(2) 妊産婦（前嶋・亀井・鶴木） 1) 妊産婦の一般的特徴および口腔の特徴 2) 妊娠期の経過と母体の変化 3) 胎児の歯や口腔の発育 5) 妊産期および授乳期の歯科衛生介入
4	5【演習：1コマ】ライフステージ別指導法(3) 乳児期（前嶋・亀井・鶴木） 1) 乳児期の一般的特徴および口腔の特徴 2) 乳児期におけるプロフェッショナルケアの目標、セルフケアの目標 3) 乳児期の口腔清掃指導 4) 食行動と食機能の発達 5) 乳児期の食生活指導
5	6【演習：1コマ】ライフステージ別指導法(4)学齢期①（前嶋・亀井・鶴木） 1) 学齢期（小学3年生）の一般的特徴および口腔の特徴および口腔保健行動 2) 学齢期におけるプロフェッショナルケアの目標、セルフケアの目標およびコミュニティケアの目標 3) 生活習慣の把握 4) 食生活の把握と、食生活指導 5) 口腔内状態の把握法と、口腔清掃指導
6	7.8【実習：2コマ】健康教育に必要な媒体（教材）の作成・評価（前嶋・亀井・鶴木・他2名） ・健康教育に用いるために作成した媒体（教材）を評価 ・対象者（小学校3年生）に応じた媒体（教材）について振り返り、作成 《復習》検討した媒体（教材）を追加で作成（90分）
7	9【実習：1コマ】ライフステージ別指導法(5)学齢期②、矯正患者への歯科保健指導（前嶋・亀井／鶴木） 1) 学齢期の一般的特徴および口腔の特徴および口腔保健行動 2) 学齢期におけるプロフェッショナルケアの目標、セルフケアの目標およびコミュニティケアの目標 3) 生活習慣の把握 4) 食生活の把握と、食生活指導 5) 口腔内状態の把握法と、口腔清掃指導 6) 歯科矯正治療の概要 7) 矯正歯科患者への歯科衛生介入 8) 矯正装置の種類と保健指導の要点
8	10【実習：1コマ】健康教育に必要な媒体（教材）の再評価、情報収集（前嶋・亀井・鶴木・他1名） 1) ・健康教育に用いるために作成した媒体（教材）を再評価 ・対象者（小学校3年生）に応じた媒体（教材）についての振り返り 2) ロールプレイ

9	11【実習：1コマ】健康教育に必要な媒体（教材）の再評価（前岨・亀井・鶴木・他1名） 健康教育に用いるために作成した媒体（教材）を再評価
10	12【実習：1コマ】健康教育に必要な媒体（教材）の再評価、情報収集（前岨・亀井・鶴木・他1名） 1) 健康教育に用いるために作成した媒体（教材）を修正 2) ロールプレイ
11	13【演習：1コマ】教員による健康教育デモンストレーション（前岨・亀井・鶴木） ・実施場所（小学校）での具体的対応法 ・対象者（小学校3年生）に実施する時の注意点 ・原稿試験に向けた練習
12	14【演習：1コマ】ライフステージ別指導法(6)青年期（前岨・亀井・鶴木） 青年期について 1) 青年期の一般的特徴および口腔の特徴 2) 青年期における望ましい歯科保健行動、プロフェッショナルケアの目標およびセルフケアの目標 3) 青年期の食生活の特徴と栄養 4) 青年期の食生活指導 禁煙指導 1) 喫煙による健康被害 2) 日本における喫煙状況 3) 喫煙状況のアセスメント ストレスマネジメント
13	15.16.17【実習：3コマ】歯科衛生過程の展開（前岨・亀井・鶴木） ・歯科衛生過程のマネジメントサイクル ・歯科衛生過程における各構成要素の目的 ・合同実習に向け模擬患者で歯科衛生過程を展開 ・歯科衛生過程展開方法
14	18.19【実習：2コマ】歯科衛生過程の実践（前岨／亀井・鶴木・他3名） ・歯科衛生過程における書面化（業務記録）の意義を説明できる。 ・行動変容モデルの実践 ・模擬患者で歯科衛生過程を展開 ・1年生との合同実習に向け自分の担当患者で歯科衛生過程を展開 ・口腔衛生管理を行うための歯科衛生介入計画立案 ・患者誘導～コミュニケーション、術者磨きスキルの確認までの演習を行う
15	20.21【相互実習：2コマ】歯科衛生過程の実践（前岨／亀井・鶴木・他3名） ・歯科衛生過程を展開するための事前学習 ・同級生の担当患者で歯科衛生過程を展開 ・口腔衛生管理を行うための歯科衛生介入計画立案 ・歯科衛生過程における書面化（業務記録）の意義 ・行動変容モデルの実践
16	22.23【相互実習：2コマ】歯科衛生過程の実践（前岨／亀井・鶴木・他4名） ・歯科衛生過程における書面化（業務記録）の意義を説明できる。 ・行動変容モデルの実践 ・2年生が1年生を患者とし歯科衛生過程を展開
17	24【演習：1コマ】ライフステージ別指導法(7)成人期（前岨・亀井・鶴木） 1) 成人期の一般的特徴および口腔の特徴 2) 成人期の歯科衛生介入（プロフェッショナルケアの目標およびセルフケアの目標） 3) 成人期の食生活の特徴と栄養 4) 生活習慣病予防と栄養指導
18	25.26【実習：2コマ】歯科衛生過程の実践（評価）（前岨／亀井・鶴木） 1回目の合同実習で実施した介入を振り返り、歯科衛生評価を行う。（1回目の合同実習を終え短期目標長期目標を見直す） 相互実習のスキルを振り返り、不足しているスキルを整理・復習・トレーニングする。 指導方法を行動科学から振り返る。
19	27【演習：1コマ】ライフステージ別指導法(8)老年期・要介護高齢者（前岨／鶴木・亀井） ・老年期の一般的特徴 ・老年期の口腔の特徴 ・老年期の歯科衛生介入 ・口腔機能低下症に対する指導 ・老年期の食生活の特徴と食生活指導 ・要介護者の特徴 ・ADLや認知機能等の評価指標 ・要介護高齢者への歯科衛生介入
20	28【演習：1コマ】ライフステージ別指導法(9)配慮を要する者（障がい児者）（前岨／亀井・鶴木） 1) 障がい児者の一般的特徴および口腔の特徴 2) 障がい児者の歯科衛生介入ー障害児者の歯と口腔の健康管理の現状と重要性ー 3) 介護者によるケアの目標
21	29.30【相互実習：2コマ】歯科衛生過程の実践（前岨／亀井・鶴木・他3名） ・対象者に合わせた口腔清掃を行い、自己スキルを評価する。

- ・科目試験……………90%
- ・授業態度及び提出物…10%
- ・レポートは教員が返却時にコメントし、実技課題は相互評価（peer assessment）でフィードバックを行う。

教科書

歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版（医歯薬出版）

授業外学修（予習・復習）

社会人の基本的なマナーを修得する。

予習復習をそれぞれ30分以上行って受講することが望ましい。

その他

参考資料	最新歯科衛生士教本 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学（医歯薬出版）ISBN：978-4-263-42622-7 このまま使える Dr.もDHも! 歯科医院で患者さんにしっかり説明できる本（クインテッセンス） このまま使える!Dr.も!DHも!歯科医院で患者さんにしっかり説明できる本 2: 患者さんも納得のトピック15（クインテッセンス） 歯科衛生士のためのカリオロジーダイジェスト: あなたの知識は最新ですか?（クインテッセンス） 歯科衛生士のための21世紀のペリオドントロジーダイジェスト 増補改訂版（クインテッセンス） 予防矯正®のための口腔筋機能療法 徳倉圭著（クインテッセンス） 不思議だね知的障害のお友達 原仁著（ミネルヴァ書房） 『インタラクティブ・ティーチング アクティブ・ラーニングを促す授業づくり』（河合出版,栗田佳代子）ISBN：978-4-777-21794-6 事例でわかる歯科衛生過程（医歯薬出版）ISBN：978-4-263-42258-8 歯科衛生士教育サブテキスト臨地実習ハンドブック（クインテッセンス）ISBN：978-4-781-120108-5 歯科口腔保健の推進に向けてライフステージに応じた歯科保健指導ハンドブック（医歯薬出版）ISBN：978-4-263-42196-3 最新歯科衛生士教本 咀嚼障害・咬合異常2 歯科矯正 ISBN：978-4-263-42825-2 最新歯科衛生士教本 小児歯科第2版 ISBN:978-4-263-42865-8 最新歯科衛生士教本 障害者歯科 第2版 ISBN:978-4-263-42836-8
受講生への要望等	実習オリエンテーションのルールを守る。 講義および実習準備物に不足がある場合・課題未修了の場合は受講できないことがある。 身だしなみに不備がある場合、再度指導しても改善されない場合は受講できないことがある。 全回出席する。 欠席者は講義・実習担当者に申し出て次回講義・実習までに補講・追実習を受講する。 配布資料は全てファイリングする。 講義・実習記録は毎回提出する。 スマートフォンおよび携帯電話の持ち込み不可。 オンライン講義は提出物を期限通り提出することで出席とみなす。 実習室・実習用具等の状況により実習の順番が前後することがある。 感染症の流行状況に応じ、可能な範囲での実習実施となることがある。
授業の質問対応、連絡先	歯科衛生士教員室または授業用SNS「melly」にて対応します。

歯科保健指導実習III

更新日：2026/01/09 16:47:25

開講年度	2026	学期	通年	科目コード	316040	授業コード	3H301
担当教員	前嶋 亜優子, 寺島 雅子, 宮坂 佳代, 亀井 直子, 鶴木 叶恵						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科					
	配当時期	3年	曜日/時限	－	単位	2	
	備考(配当)	必修科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31604	4○ 5○ H1◎		歯科衛生士

授業概要

対象者別の歯科衛生士としての健康教育（情報収集・口腔衛生管理・生活習慣指導・食生活指導・口腔機能管理）が実践できることを目的とする。

臨地（保健センター・小学校・中学校・支援学校）における歯科保健指導、公衆衛生現場活動における歯科衛生教育を実施するための基礎学習をおこなう。

グループ毎に対象に応じた問題点を抽出・整理し、プレゼンテーションの方法をディスカッションし、相手の理解を促すような「伝える方法」を考え、アクティブラーニングを取り入れることで対象者の問題解決に主体的に取り組む姿勢を身につける。

到達目標

1	装置装着者の口腔清掃ができる。
2	対象者の特性と口腔保健ニーズの把握ができる。
3	地域歯科保健事業における歯科衛生士の役割を説明できる。
4	保健所・市町村保健センターにおける健康教育ができる。
5	小学校、中学校、高等学校（児童・生徒等）を対象とした健康教育ができる。
6	地域の集団を対象とした健康教育ができる。
7	事業所を対象とした健康教育ができる。
8	要介護者を対象とした健康教育ができる。
9	介護施設・障害者施設等における健康教育ができる。
10	生活習慣改善のための健康教育ができる。
11	口腔保健と生活習慣の関係を説明できる。
12	非感染性疾患（NCDs）の種類と特徴および口腔との関連を説明できる。
13	ストレスマネジメントを説明できる。
14	対象者の疾患・異常のリスクに応じた生活習慣指導ができる。
15	配慮を要する対象者の生活習慣指導ができる。
16	禁煙指導、禁煙支援を実施できる。
17	配慮を必要とする対象者とその家族への健康教育ができる。
18	歯科衛生過程に基づいた口腔機能管理を実施できる。
19	対象者に応じた口腔衛生指導ができる。
20	対象者と良好な関係を形成できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
		6	24	
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	1【演習：1コマ】地域歯科保健活動のフィールドー母子保健（前嶋／亀井・鶴木） ・事業所、保健所・保健センター・地域・病院・施設における健康教育の概要（text401,402,412-417） ・地域歯科保健事業における歯科衛生士の役割 ・市町村保健センターにおける乳幼児健診の概要 ・う蝕罹患型 ・母子保健法（実習） ・母子手帳（1か月頃～5歳の頃）から乳幼児の成長発達段階を理解し指導する。 ・保健センターにおける集団歯科保健指導実習を行う。
2	2.3【実習：2コマ】口腔清掃の実践(1)（前嶋／亀井・他3名） 1.2) ファントムにて口腔清掃スキルの見直しを行う。

3	4.5【相互実習：2コマ】口腔清掃の実践(2)（前岨／亀井・鶴木・他3名） 相互実習にてコミュニケーション・口腔清掃スキルの実践
4	6-8【実習：3コマ】現場における健康教育活動 小学校実習 6) 小学校集団指導実技試験・歯科検診記録実習（前岨・亀井・鶴木・他3名） 7.8) 小学校フッ化物塗布（歯ブラシゲル法）実習及び集団指導実習、小・中学校歯科検診記録実習（前岨・亀井・鶴木・他3名）
5	9.10【演習：1コマ・実習：1コマ】高齢者・要介護者を対象とした口腔衛生管理（前岨／鶴木・亀井・他1名） 要介護高齢者を想定した口腔衛生管理実習 1) 口腔健康管理器材の種類と使用方法、各種検査の概要 2) 対象者のアセスメント 3) 歯科衛生介入計画立案 4) 歯科衛生介入（口腔衛生管理の実施） 新型コロナウイルス感染症等の状況に応じて可能であれば相互実習も実践する
6	11.12.13【実習：3コマ】現場における健康教育活動 小学校実習 11.12) 小学校集団指導実習・小学校フッ化物塗布実習・歯科検診記録実習（前岨・亀井・鶴木・他1名） 13) 小・中学校歯科検診記録及び集団指導・フッ化物塗布経過報告および実習（前岨・亀井・鶴木・他1名）
7	14.15【演習：1コマ・実習：2コマ】現場における健康教育活動 視覚支援が必要な方を対象とした実習（前岨／亀井・鶴木・他1名） （実習）視覚障がいについて（前岨・亀井・鶴木・他1名） ・視覚障がい者に対する歯科保健指導の演習（アイマスク体験） ・視覚障がい者に対する歯科保健指導の演習（症例分析）
8	16-20.23【実習：6コマ】支援が必要な方への歯科保健指導（寺島／亀井・前岨・宮坂・鶴木・他1名） 16（演習）視覚障がい者に対する歯科保健指導の実際を報告（症例報告）（前岨・亀井・鶴木） 17-20.23（演習）支援学校におけるブラッシング指導について計画を立案し、実践するための準備を行う。（全員）
9	21.22【演習：1コマ・実習：1コマ】生活習慣病の方を対象とした健康教育（前岨・亀井・鶴木） 1) 対象者のアセスメント 2) 歯科衛生介入計画立案 3) 歯科衛生介入（口腔衛生管理の実施） ・NCDs、喫煙患者、ストレスなどについて考える。 ・NCDs、喫煙患者、ストレスをもつ対象者に対する健康教育を考え、実践する。
10	24.25【演習：1コマ・実習：1コマ】事業所の従業者を対象とした健康教育（前岨・亀井・鶴木） 1) 対象者のアセスメント 2) 歯科衛生介入計画立案 3) 歯科衛生介入（口腔衛生管理の実施） ・事業所の特徴を捉え、対象者に合わせた健康教育を考え、実践する。
11	26【実習：1コマ】口腔内装置装着患者の口腔管理（前岨／亀井・鶴木） ・口腔内装置装着患者の口腔清掃管理
12	27.28【演習：1コマ・実習：1コマ】介護予防（口腔機能向上プログラム）における健康教育（高井・前岨／鶴木・亀井） 1) 対象者のアセスメント 2) 歯科衛生介入計画立案 3) 歯科衛生介入（口腔衛生管理の実施） ・口腔機能向上事業の意義について考える。 ・口腔機能向上プログラムを考え、実践する。
13	29.30【相互実習：2コマ】口腔清掃の実践（前岨／亀井・鶴木・他3名） 29.30) 相互実習にてコミュニケーション・口腔清掃スキルの実践を行う。

成績評価の方法

- ・科目試験……………50%
- ・実技試験……………30%
- ・グループワークへの積極性……10%
- ・提出物……10%

※レポートは教員が返却時にコメントし、実技課題は相互評価（peer assessment）でフィードバックを行う。

教科書

歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論（医歯薬出版）
保健生態学（医歯薬出版）

授業外学修（予習・復習）

社会人としての基本的なマナーの修得。衛生学・公衆衛生学、栄養学で学んだことを活用するので、必要に応じ復習してから臨む。30分以上の復習をして受講することが望ましい。

その他

参考資料	デンタルハイジーン別冊 あなたの歯科医院に障害のある患者さんが来院したら？ 歯科衛生士のための障害者歯科入門医歯薬出版） 雑誌コード：06568-05 歯科衛生士講座 高齢者歯科学 第3版（永末書店） ISBN:978-4-8160-1312-6 歯科衛生士教育サプテキスト 臨地実習ハンドブック（クインテッセンス） ISBN:978-4-781-20108-5 歯・口腔の健康と予防にかかわる人間と社会の仕組み1保健生態学（医歯薬出版） ISBN:978-4-263-42622-7 スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科 第2版（医歯薬出版）
------	--

受講生への要望等	臨地実習日程に近い日に実習内容の授業を行うため、実習先の都合により授業の順番は変更することがある。 実習オリエンテーションのルールを守る。 身だしなみが整っていない場合、再度指導しても改善されない場合は受講できないことがある。 準備物に不足がある場合・課題未修了の場合は受講できないことがある。 全回出席する。 欠席者は授業担当者に申し出て次回授業までに必要な補講・追実習を受講する。 配布資料は全てファイリングする。 講義・実習記録は毎回提出する。
授業の質問対応、連絡先	随時教員室またはメリーにて対応します。

歯科保健指導実習Ⅳ

更新日：2026/01/09 16:44:07

開講年度	2026	学期	通年	科目コード	316050	授業コード	4H305
担当教員	前嶋 亜優子, 梶 貢三子, 高井 裕二, 亀井 直子, 鶴木 叶恵, 大草 亘孝, 下川 泰子, 新井 寛規						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科					
	配当時期	4年	曜日/時限	—		単位	1
	備考(配当)	必修科目					
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP		科目に関連する実務経験	
31605		2 ○ H1 ○ H2 ◎				歯科医師 歯科衛生士 社会福祉士	

授業概要

特別な配慮が必要な対象者の口腔健康管理ができるように、対象者の特徴および健康状態に応じた処置・症状の変化への対応を理解することを目的とする。3年次までに履修した内容をさらに展開して、総合病院、地域、障害者施設、高齢者施設などでの歯科保健活動において活躍するために必要な専門知識とともに、保健・医療・福祉分野等の他職種と連携した口腔保健を実践するための基礎力を修得する。う蝕や歯周疾患の口腔保健管理に加え、チーム医療の一員としての基本的知識を学び、さまざまな人びとに対する口腔の健康管理に必要な実践力を培う。

到達目標

1	地域包括ケアシステムにおける歯科衛生士の役割を説明できる。
2	生活習慣病予防について説明できる。
3	糖尿病患者への口腔健康管理について説明できる。
4	虐待による心身の変化・歯科的特徴を説明できる。
5	不登校児への口腔健康管理について説明できる
6	口腔健康管理に必要な指標を整理し説明できる。
7	配慮を要する患者の生活習慣指導・口腔健康管理について説明できる。
8	対象者を全人的に捉え、多様な心理、行動、地域属性、健康状態を説明できる。
9	カリエスリスク検査（う蝕活動性試験・唾液検査）の目的と項目を説明できる。
10	生活環境と生活背景（生活歴、食生活歴、アレルギー歴、社会歴、職業歴等）聴取の目的と対応を説明できる。
11	生活習慣と保健行動を把握する目的と対応を説明できる。
12	生活習慣病の発症原因に関連する生活習慣を説明できる。
13	歯科疾患と生活習慣の関係・指導内容を説明できる。
14	対象者の健康状態に適応した歯科衛生実践を経験できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	6	5	4	
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	1.2【実習：2コマ】口腔清掃相互実習（梶・前嶋・亀井・鶴木・非常勤助手2名） 総合病院での実習までに、患者の口腔内プラークを100%磨き上げるスキルをトレーニングする
2	3.4【講義・演習：2コマ】地域ケア会議（高井・下川・梶・前嶋・鶴木） ・地域包括支援について（高井） ・地域ケア会議の現状を知る（下川） ・地域ケア会議での歯科衛生士の介入方法を実際の症例を通じ検討する（全員）
3	5.6【講義：2コマ】糖尿病患者の口腔衛生管理（梶・前嶋） ・糖尿病患者の口腔健康管理
4	7【講義：1コマ】虐待について（高井・前嶋／鶴木） ・虐待防止の制度を知る ・虐待についての現状を知る
5	8【演習：1コマ】虐待の歯科的特徴と対応（大草・前嶋／鶴木） ・虐待と歯科衛生士のかかわりについて症例を通じ検討する
6	9.10【講義・演習：2コマ】歯科衛生士の介入事例 不登校児について（新井・前嶋／鶴木） ・不登校児の現状を知る ・不登校児と歯科衛生士のかかわりについて歯科衛生士の介入方法を検討する ・不登校児に対する口腔衛生管理の方法を検討する
7	11.12【講義：1コマ、演習：1コマ】生活習慣病予防（前嶋・亀井） 食生活改善指導の観点から生活習慣病予防方法を考える

8	13【演習：1コマ】口腔健康管理に必要な指標（前嶋） 口腔健康管理に必要な指標をを整理し理解する
9	14.15【実習：2コマ】特別な配慮を要する患者への歯科衛生士の対応（梶・前嶋・亀井・鶴木・非常勤助手1名） ・特別な配慮を要する患者への口腔健康管理の方法を検討する ・特別な配慮を要する患者への口腔健康管理を実践する

成績評価の方法

症例に対する口腔健康管理を考え歯科保健指導内容を記載するレポート課題・・・90%

授業毎に学生相互で実施する実技課題・・・10%

レポートは教員が返却時にコメントし、実技課題は相互評価（peer assessment）でフィードバックを行う。

教科書

歯科予防処置論・歯科保健指導論（医歯薬出版）

授業外学修（予習・復習）

臨床実習ⅠとⅡの学びを、本講義の内容と連結させ、特別な配慮が必要な患者対応時の実践につなげられるよう予習と復習を30分以上行う。

その他

参考資料	歯科衛生士のための病院における医科歯科連携・口腔機能管理マニュアル（医歯薬出版）ISBN:978-4-263-42269-4 ウィルキンス歯科衛生士の臨床（原著第11版）ISBN:978-4-263-42207-6
受講生への要望等	実習オリエンテーションのルールを守る。 講義及び実習準備物に不足がある場合・課題未提出の場合は受講できないことがある。 身だしなみが整っていない場合、再度指導されても改善されない場合は受講できないことがある。 全回出席する。 欠席者は講義・実習担当者に申し出て次回講義までに補講・追実習を受ける。 配布資料は全てファイリングする。 講義・実習記録は毎回提出する。 講義最終回にファイル提出あり。 講師の都合により授業の順番は変更することがあります。
授業の質問対応、連絡先	メリーまたは教員室にて対応します。

歯科診療補助論Ⅰ

更新日：2025/11/28 14:31:19

開講年度	2026	学期	通年	科目コード	316060	授業コード	1H302
担当教員	寺島 雅子, 谷 亜希奈						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科					
	配当時期	1年	曜日/時限	一		単位	1
	備考(配当)	必修科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31606	1○ H1◎		歯科衛生士

授業概要

歯科衛生士法に規定されている歯科衛生士の3つの業務の中に「歯科診療の補助」がある。
歯科診療の補助とは、歯科診療を円滑に行うために歯科医師の診療を補助するとともに、歯科医師の指示を受けて歯科治療の一部を担当するなど、歯科医師との協働で行う業務である。
歯科診療補助論Ⅰでは、まず歯科診療補助の業務内容と法的解釈を学び、次にスタンダードプリコーションの概念に基づく感染防止対策、器具・器材の消毒・滅菌法、歯科材料の管理および医療廃棄物の取り扱いなど、歯科診療全般にわたる基礎知識を学習する。安全な医療の提供者になるための基礎知識の習得を目的とする。
本授業形式は、双方向性の対話・参加型方式とし、主にファントム実習室にて行う。

到達目標

1	歯科衛生士の法的位置づけを説明できる。
2	歯科衛生士の行う歯科診療の補助を説明でできる。
3	他の医療職種が行う診療の補助を業務を説明できる。
4	チーム医療の必要性を説明できる。
5	歯科診療における医療安全と対策を説明できる。
6	医療の安全管理の体制を概説できる。
7	インシデントとアクシデントの違いを説明できる。
8	インシデントとアクシデントの報告を説明できる。
9	歯科医療における感染症の概念とその対策を説明できる。
10	スタンダードプリコーションを具体的に説明できる。
11	手指消毒やグローブの着脱方法を説明できる。
12	歯科診療における偶発事故を列举できる。
13	綿球・ロールワッテの作成方法を説明できる。
14	滅菌・消毒・洗浄の定義を説明できる。
15	歯科用器材に応じた滅菌・消毒・洗浄の方法と種類を説明できる。
16	消毒薬の特徴と用途について説明できる。
17	医療廃棄物の分類と分別を説明できる。
18	歯科診療室の環境・設備を説明できる。
19	チェアユニットの各部の名称、用途を説明できる。
20	歯科診療における基本的な受診の流れを説明できる。
21	歯科診療における特別な配慮が必要な患者を列举できる。
22	歯科薬品や材料の適切な管理方法を説明できる。
23	共同動作の概念を述べることができる。
24	歯科診療時の適切なポジショニングを説明できる。
25	器具の取り扱いや受け渡しを説明できる
26	仮着材や仮封材の特徴、種類、用途を説明できる。
27	合着材や接着材の特徴、種類、用途を説明できる。
28	印象材の特徴、種類、用途を説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	7	1		
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【面接講義】歯科診療補助概論、医療安全（寺島） ・歯科衛生士法に規定されている歯科衛生士の3つの業務 ・歯科診療補助の業務内容と法的解釈 ・歯科診療の補助と歯科診療の介助の違い ・国家資格の認められている他の医療職種 ・チーム歯科医療の必要性 ・歯科衛生士の独占業務 ・感染に応じた対応 ・インシデントとアクシデント報告 ・標準予防策（スタンダードプリコーション）の実施 ・偶発事故の対応
2	【面接講義】医療安全管理、滅菌・消毒（寺島） ・消毒・滅菌・洗浄について ・消毒薬、各種滅菌器械および器具の操作・取扱い・管理 ・医療廃棄物の取扱い
3	【面接講義・演習】感染予防、綿球・ロールワッテ作成（寺島・谷） ・手指衛生（手指消毒） ・グローブ、プラスチックエプロン、ガウン、マスク、ゴーグルの着脱 ・綿球、ロールワッテ作成
4	【面接講義】歯科診療の基礎知識①（寺島） ・歯科診療室の構造と設備 ・診療設備の管理（エアーコンプレッサー、歯科用ユニット、口腔外バキューム、エックス線撮影装置、酸素吸入器、レーザー装置など） ・歯科診療室における受診の流れ ・配慮が必要な患者対応（小児、障がい者、高齢者、妊娠婦など） ・薬品・歯科材料の管理
5	【面接講義・演習】歯科診療の基礎②（寺島） ・チェア各部の使用目的、使用方法・チェアの各部の名称 ・共同動作（ポジショニング） ・術者・補助者・患者の正しい位置と姿勢 ・ライティング
6	【面接講義】仮封材・仮着材の取扱い（寺島・谷） ・仮封材・仮着材の種類と基本的性質 ・仮封材・仮着材の使用目的・方法 ・使用する器材
7	【面接講義】合着材・接着材の取扱い（寺島・谷） ・合着材・接着材の種類と基本的性質 ・合着材・接着材の使用目的・方法 ・使用する器材
8	【面接講義】印象材の取扱い（寺島・谷） ・印象材の種類と基本的性質 ・使用する器材 ・アルジネート印象材の取扱い方法

成績評価の方法

- ・科目試験……90％ 筆記試験を実施し、後日解説の時間を設ける。
- ・小テスト……10％ 項目ごとに小テスト（知識）を実施し、講義内で解説する。

教科書

歯科衛生学シリーズ「歯科診療補助論」第2版 医歯薬出版（ISBN978-4-263-42640-1）
歯科衛生学シリーズ「歯科材料」 医歯薬出版（ISBN978-4-263-42612-8）
歯科衛生学シリーズ「歯科機器」 医歯薬出版（ISBN978-4-263-42627-2）
「歯科衛生士のための主要三科＋専門分野問題集 第4版」一般財団法人 口腔保健協会（ISBN978-4-89605-389-0）

授業外学修（予習・復習）

（予習）
講義の前にシラバスを読み、教科書や資料を確認しておくこと（目安時間：約30分）。
（復習）
指定された課題を行い（目安時間：約30分）、次回の講義時に提出すること。

その他

参考資料	歯科医療における国際標準「感染予防対策テキスト滅菌・消毒・洗浄」ICHG研究会編 医歯薬出版（ISBN978-4-263-44646-1）
受講生への要望等	【実習オリエンテーションでの説明内容を理解しておいてください】 全回出席すること。 欠席者は登校後すぐに必要書類を講義担当者に提出し、次回講義までの課題を確認し実施すること。 講義準備物に不足がある場合・指定された課題未修了の場合は受講できない。 講義および実習記録は毎回提出すること。 スマートフォンや講義に必要な物の持ち込みを不可とする。

授業の質問対応、連絡先

「melly」もしくは直接研究室（1号館2階1210室）に来てください。

歯科診療補助実習Ⅰ

更新日：2025/11/28 14:31:47

開講年度	2026	学期	後期	科目コード	316070	授業コード	1H206
担当教員	寺島 雅子, 谷 亜希奈						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科					
	配当時期	1年	曜日/時限	－		単位	1
	備考(配当)	必修科目					
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP		科目に関連する実務経験	
31607		1◎ H1○				歯科衛生士、歯科技工士	

授業概要

歯科診療補助実習Ⅰでは、歯科診療補助論Ⅰで学んだ基礎的な知識（医療安全管理、滅菌・消毒など）、共同動作、主要歯科材料の取扱いについて実践することを目的とする。

共同動作は診療に応じたバキューム操作およびアルジネート印象材を用いた概形印象採得を実施する。ファントム実習室で基本的な知識・技能を習得した後に、チェア実習室で相互実習を行う。相互実習時には、基礎的な知識である医療安全管理、滅菌・消毒、チェアの取扱い、患者誘導、患者配慮、ミラーテクニックを応用しながら、実施する。

また、各種合着材・接着材・仮封材においては種類と用途を理解し、取扱いの注意点を理解したうえで、練和方法を体得する。

到達目標

1	適切なポジショニングを実施できる。
2	適切なライティングを実施できる。
3	器具の取り扱いや受け渡しを実施できる。
4	フォーハンドテクニックの基本動作を実施できる。
5	バキュームの基本動作を実施できる。
6	歯科診療における基本的な共同動作を実施できる。
7	チェアユニットの基本的な取り扱いができる。
8	スタンダードブリコーションの考えに基づいて診療の準備片付けができる。
9	手指消毒やグローブの着脱が実施できる。
10	歯科用器材に合わせた滅菌・消毒・洗浄を実施できる。
11	医療廃棄物の分類と分別を実施できる。
12	仮封材や仮着材の準備、片付け、管理ができる。
13	仮封材や仮着材の練和を実施できる。
14	合着材や接着剤の準備、片付け、管理ができる。
15	合着材や接着材の練和を実施できる。
16	アルジネート印象材の準備、片付け、管理ができる。
17	アルジネート印象材の練和を実施できる。
18	アルジネート印象材を各種網トレーに合わせて盛り付けできる。
19	歯科用石膏の特徴、種類、用途を説明できる。
20	歯科用石膏の準備、片付け、管理ができる。
21	歯科用石膏の練和を実施できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	1		15	
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	1【実習：1コマ】バキューム、スリーウェイシリンジの取扱い、歯科器材の受け渡し（寺島・谷・他4名） ・バキュームテクニックの基本動作 ・スリーウェイシリンジの基本動作 ・フォーハンドシステムの基本動作 ・パステクニックの基本動作 ・補助者としての役割の理解 《ファントム実習室》
---	---

2	2【実習：1コマ】チェア実習室の使用方法、滅菌物の取扱い、医療廃棄物の分類と分別（寺島・谷・他4名） ・チェア実習室の使用方法 ・消毒薬、各種滅菌器械・器具の操作・取扱い ・医療廃棄物の分類と分別 《チェア実習室》
3	3【実習：1コマ】患者水平位診療におけるポジショニング、フォーハンドシステム相互実習（寺島・谷・他4名） シンプルマネキンを使用して、術者、補助者、（患者）となり、チェアユニットの動作確認、患者誘導、患者水平位診療におけるポジショニング、フォーハンドシステムを実施 ・患者の口腔に合わせたライティング ・各部位に応じたバキュームテクニック 《チェア実習室》
4	4.5【実習：2コマ】バキュームテクニック相互実習（寺島・谷・他4名） 術者、補助者、患者となり実際の口腔内に対して実施 ・チェアユニットの取り扱いと準備、片付け ・清潔域、不潔域 ・器材の準備、片付け ・手指衛生 ・消毒薬、各種滅菌器械・器具の操作・取扱い ・医療廃棄物の分類と分別 ・ポジショニング ・ライティング ・共同動作 ・部位別バキュームテクニック 《チェア実習室》
5	6【実習：1コマ】仮封材・仮着材の取扱い（寺島・谷・他4名） ・各種仮封材・仮着材の練和方法 ・各種仮封材・仮着材の取扱い 《ファントム実習室》
6	7【実習：1コマ】合着材・接着材の取扱い（谷・寺島・他4名） ・各種合着材・接着材の練和方法 ・各種合着材・接着材の取扱い 《ファントム実習室》
7	8【実習：1コマ】合着材・仮着材の練和方法確認（寺島・谷・他5名） ・合着材および仮着材の練和方法、取扱いの習熟度を個別で確認 《ファントム実習室》
8	9【実習：1コマ】アルジネート印象材の取扱い、印象採得の手順、顎模型の概形印象採得：片顎（寺島・谷・他4名） ・アルジネート印象材の取扱い方法 ・印象採得の手順 ・印象採得で用いる器材の準備と取扱い ・アルジネート印象材を練和し、片顎用トレーで顎模型の概形印象採得を実施 《ファントム実習室》
9	10.11【実習：2コマ】顎模型の概形印象採得：：上下顎（寺島・谷・他4名） ・アルジネート印象材を練和し、上下顎用トレーで顎模型の概形印象採得を実施 《ファントム実習室》
10	12【実習：1コマ】アルジネート印象材の練和方法確認、歯科用石膏の取り扱い（寺島・谷・他5名） ・アルジネート印象材の練和方法、取扱いの習熟度を個別で確認 ・石膏の特徴、種類、用途 ・石膏の基本的性質 《ファントム実習室》
11	13.14【実習：2コマ】アルジネート印象材による概形印象採得相互実習（寺島・谷・他5名） ・チェア実習室にて相互で術者・補助者・患者となり、アルジネート印象材による概形印象採得を実施 ・印象採得時の患者への配慮 ・印象採得時の嘔吐反射に対する対応 ・上下顎用トレーで概形印象採得を実施 《チェア実習室》
12	15.（16補講）【実習：2コマ】歯科用石膏の取扱い実習（藤田暁・寺島・谷・他4名） ・石膏の練和管理 ・石膏を印象体に注入する方法 《ファントム実習室》

成績評価の方法

- ・実技試験、口頭試問……………90% 試験終了後に解説を行う。
- ・レポート……………10% レポートは確認後返却して解説を行う。

教科書

歯科衛生学シリーズ 「歯科診療補助論」 第2版 医歯薬出版（ISBN978-4-263-42640-1）

歯科衛生学シリーズ 「歯科材料」 医歯薬出版（ISBN978-4-263-42612-8）

歯科衛生学シリーズ 「歯科機器」 医歯薬出版（ISBN978-4-263-42627-2）

実習前講義および実習中の説明時に使用する。

授業外学修（予習・復習）

（予習）
次の実習までシラバスを確認して、教科書や資料を確認しておくこと（目安時間：約30分）。
（復習）
指定された課題を行うこと（目安時間：約30分）。
課題については、次の実習で確認する。

その他

参考資料	「歯科衛生士・歯科助手 おしごとハンドブック」著者：[編著] 岩田隆紀 [編著] 水谷幸嗣 [編著] 岩野義弘 [編著] 松浦孝典 ク インテッセンス出版（ISBN978-4-7812-0860-2）
受講生への要望等	【実習オリエンテーションでの説明内容を理解しておいてください】 全回出席すること。 欠席者は登校後すぐに必要書類を実習担当者に提出し、次回実習までの課題を確認し実施すること。 実習準備物に不足がある場合・指定された課題未修了の場合は受講できない。 講義および実習記録は毎回提出すること。 スマートフォンの持ち込みを不可とする。
授業の質問対応、連絡先	「melly」もしくは直接研究室に来てください。

歯科診療補助実習Ⅱ

更新日：2026/01/08 20:53:32

開講年度	2026	学期	通年	科目コード	316080	授業コード	2H302
担当教員	谷 亜希奈, 寺島 雅子, 小滝 真也, 大草 亘孝, 神 光一郎						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科					
	配当時期	2年	曜日/時限	一		単位	2
	備考(配当)	必修科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31608	1○ H1◎		歯科医師、歯科衛生士

授業概要

歯科衛生士は、診療がスムーズに進行するように術式を把握し、器材の使用目的および使用方法について理解しておく必要がある。さらに、歯科医師と歯科衛生士は緊密な連携が不可欠であり、フォーハンドによるアシスタントワークができることが求められる。

歯科診療補助実習Ⅱでは、前期・後期を通じて保存修復、歯内治療、歯周外科治療、補綴治療、矯正治療についての診療の流れを講義によって理解し、患者に術前術後の説明や診療補助ができる能力を身に付ける。実習では診療時に使用する器材の取扱い方法を体得する。

到達目標

1	ラバーダム防湿の目的を説明できる。
2	ラバーダム防湿に必要な器材の名称と用途を列挙できる。
3	ラバーダム防湿を実施できる。
4	隔壁法を説明できる。
5	タッフルマイヤー型リテーナーの操作を模倣できる。
6	歯肉圧排法の手順を説明できる。
7	歯肉圧排法に必要な器材の名称と用途を説明できる。
8	歯間分離法に必要な器材の名称と用途を説明できる。
9	歯間分離法を模倣できる。
10	保存修復治療の手順に沿った器材を準備できる。
11	保存修復治療に必要な器材の名称と用途を列挙できる。
12	保存修復治療の診療補助が模倣できる。
13	歯内治療の手順に沿った器材を準備できる。
14	歯内治療に必要な器材の名称と用途を列挙できる。
15	歯周外科治療に必要な器材の名称と用途を列挙できる。
16	歯周外科治療の手順に沿った器材を準備できる。
17	歯周パックの取扱いができる。
18	歯科補綴治療の手順に沿った器材を準備できる。
19	歯科補綴治療に必要な器材の名称と用途を列挙できる。
20	矯正歯科治療に必要な器材の名称と用途が説明できる。
21	エックス線写真撮影時に必要な器材を準備できる。
22	エックス線写真撮影時の歯科診療補助ができる。
23	各種印象材の取り扱いができる。
24	患者に合わせた概形印象採得ができる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
			31	
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	1.2【実習：2コマ】ラバーダム防湿法（谷・寺島・他5名） ・防湿法に用いる器具や材料の名称と用途 ・ラバーダム防湿法の目的 ・ラバーダム防湿法に使用する器具の取扱い ・ラバーダム防湿の手順 ・顎模型にラバーダム防湿を実施
---	--

2	3.4【実習：2コマ】隔壁法、歯肉排除法、歯間分離法、タッフルマイヤー型リテーナーの取り扱い（谷・寺島・他5人） ・ 歯冠修復材の種類と基本的性質 ・ 切削用器械、器具の取扱いと管理 ・ 隔壁法、歯肉排除法、歯間分離法に用いる器材の操作・取扱い ・ タッフルマイヤー型リテーナーの取扱いおよび装着実習
3	5【実習：1コマ】保存修復治療（直接修復）の歯科診療補助（谷・寺島・他5名） ・ 保存修復治療について ・ グラスアイオノマーセメント修復の手順 ・ グラスアイオノマーセメント修復の器材や材料の準備 ・ コンポジットレジン修復の手順 ・ 歯面処理材料の準備 ・ コンポジットレジン修復の器具や材料の準備 ・ 直接修復治療後の指導
4	6.7【実習：2コマ】保存修復治療（間接修復）の歯科診療補助（谷・寺島・他5名） ・ 寒天印象材の取扱い方法 ・ 寒天・アルジネート印象材による連合印象採得の手順 ・ 連合印象採得で用いる器材の準備と取扱い ・ 顎模型を用いた精密印象採得
5	8.9【実習：2コマ】歯周外科治療の歯科診療補助（谷・寺島・他5名） ・ 歯周外科治療の薬剤や器具の取扱い ・ 歯周外科治療の診療補助の概要 ・ 歯周外科治療の手順 ・ 歯周パットの取扱い実習 ・ 歯周外科処置後の指導
6	10.11【実習：2コマ】歯内治療の歯科診療補助①（寺島・谷・他5名） ・ 歯髄処置の手順 ・ 歯髄処置の薬剤や器材の準備 ・ 根管治療に用いる薬剤や器材の特徴、使用目的 ・ 根管長測定器の取扱い ・ 根管充填の薬剤や器材の種類と取扱い ・ 根管治療後の指導
7	12【実習：1コマ】歯内治療の歯科診療補助②（寺島・谷・他4名） ・ 根管治療に用いる器材の鑑別 ・ 根管治療に用いる器材の特徴、使用目的の理解について個別で確認
8	13.14【実習：2コマ】補綴治療時の歯科診療補助②：PD、FD（谷・寺島・他5名） ・ 部分床義歯、全部床義歯治療時の歯科衛生士の役割 ・ 部分床義歯、全部床義歯治療時に用いる器材の準備と取扱い ・ 咬合採得の手順、用いる器材の準備と取扱い ・ 部分床義歯、全部床義歯の製作法および術式 ・ 咬合床作製の手順 ・ 咬合床用材料の性質 ・ ろう義歯試適の器材 ・ ワックスの基本的性質 ・ 義歯装着後の指導
9	15【実習：1コマ】補綴治療時の歯科診療補助③：修理（谷・寺島・他5名） ・ リラインの手順 ・ リライン材の取り扱い ・ リベースの手順 ・ ティッシュコンディショニングの手順 ・ ティッシュコンディショナーの取り扱い
10	16.17【実習：2コマ】補綴治療の歯科診療補助①：クラウン、ブリッジ（谷・寺島・他5名） ・ 補綴治療に必要な各種検査 ・ 補綴治療に用いる各種検査器材の準備 ・ クラウン・ブリッジの製作法および術式 ・ クラウン・ブリッジ治療時の歯科衛生士の役割と器具・器材の取扱い ・ クラウン・ブリッジ治療時の歯科衛生士の役割と器具・器材の取扱い ・ シリコーン印象材の取り扱い ・ ディスペンサーの取扱い ・ 咬合紙・咬合紙ホルダーの取扱い
11	18.19【実習：2コマ】矯正歯科治療時の歯科診療補助①（谷・寺島・他5名） ・ 矯正歯科用器材の種類 ・ 帯環（バンド）の種類、取扱い ・ ワイヤの種類、用途、取扱い ・ ブラケットの種類、用途、取扱い ・ 結紮時の手順および使用器材 ・ ディボンディングの手順 ・ 矯正装置装着後の指導 ・ 撤去に必要な器具の種類、取扱い

12	20.21【実習：2コマ】エックス線写真撮影時の歯科診療補助①（寺島・谷・他5名） （エックス線写真撮影時の歯科診療補助） ・エックス線撮影装置の準備 ・歯科用・パノラマ用撮影装置・デジタル画像システムの取扱い
13	22.27【実習：6コマ】エックス線写真撮影時の歯科診療補助②（小滝・大草・神・寺島・谷・他5名） ・口内法撮影実習 ・自動現像機の取扱い実習 ・写真の処理と管理の方法 ・放射線の人体への影響と防護の理解
14	28.29【実習：2コマ】1.2年合同実習：概形印象採得（谷・寺島・他5名） ・アルジネート印象材の練和復習 ・概形印象採得 ・術後説明
15	30.補講【実習：2コマ】口腔外科における歯科診療補助（谷・寺島・他5名） ・普通抜歯における歯科衛生士の役割と使用器具の取り扱い ・難抜歯における歯科衛生士の役割と使用器具の取り扱い ・小手術における歯科衛生士の役割と使用器具の取り扱い

成績評価の方法

- ・科目試験……………80％ 試験終了後に解説を行う。
- ・実技チェック……………10％ 授業の中で、習熟度を個別で確認し、フィードバックを行う。
- ・実習準備物、提出物、受講態度……10％ 提出物は授業の中で、解説と講評を行う。

教科書

歯科衛生学シリーズ 「歯科診療補助論」第2版 医歯薬出版（ISBN978-4-263-42640-1）
歯科衛生学シリーズ 「歯科材料」 医歯薬出版（ISBN978-4-263-42612-8）
歯科衛生学シリーズ 「歯科機器」 医歯薬出版（ISBN978-4-263-42627-2）
毎回異なる教本（専門科目）の指示があるので準備すること

授業外学修（予習・復習）

（予習）
次回の実習までシラバスを確認して、教科書や資料を確認しておくこと（目安時間：約30分）。
（復習）
指定された課題を行うこと（目安時間：約30分）。
課題については、次回の実習で確認する。

その他

参考資料	・ 歯科衛生士国家試験直前マスター④「チェックシートでカンベキ！主要三科 令和4年版出題基準対応」 歯科衛生士国試問題研究会編 医歯薬出版（ISBN978-4-263-42319-6） ・「歯科衛生士・歯科助手 おしごとハンドブック」著者：[編著] 岩田隆紀 [編著] 水谷幸嗣 [編著] 岩野義弘 [編著] 松浦孝典 ク インテッセンス出版（ISBN978-4-7812-0860-2）
受講生への要望等	全回出席すること。 欠席者は登校後すぐに必要書類を実習担当者に提出し、次回実習までの課題を確認し実施すること。 実習準備物に不足がある場合・指定された課題未修了の場合は受講できない。 講義および実習記録は毎回提出すること。 スマートフォンの持ち込みを不可とする。
授業の質問対応、連絡先	簡単な質問であれば「melly」で行ってください。それ以外は直接研究室を訪ねてきてください。

歯科診療補助実習III

更新日：2026/01/08 19:59:48

開講年度	2026	学期	通年	科目コード	316090	授業コード	3H302
担当教員	谷 亜希奈, 寺島 雅子, 藤田 暁, 谷本 啓彰, 奥村 瑠恵子						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科					
	配当時期	3年	曜日/時限	—		単位	2
	備考(配当)	必修科目					
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP		科目に関連する実務経験	
31609		1○ 2○ H1◎				歯科衛生士、歯科医師、歯科技工士	

授業概要

歯科衛生士は、さまざまなライフステージにおける歯科医療に対応するために、歯科疾患を理解し、歯科治療における術式を把握することが不可欠である。さらに円滑な歯科診療補助を実践するために、器材の使用目的及び、使用方法について理解しておく必要がある。さらに、歯科医師と歯科衛生士は緊密な連携が不可欠であり、フォーハンドテクニックによるアシスタントワークができることが求められる。この科目では、2年次までに習得した、基本的な操作を臨床実習で応用できるよう、技術の向上を目指す。術前術後の説明や対象者を考慮した対応についても臨床実習に対応できるよう知識、技術および態度を身に着ける。

到達目標

1	スタンダードプリコーションを実施できる。
2	各種の歯科器具の名称及び使用目的を述べることができる。
3	コンポジットレジン修復の器材の準備ができる。
4	医療面接においてコミュニケーションがとれる。
5	インプラント治療に必要な器材の名称と用途が説明できる。
6	インプラント治療の手順に沿った器材を準備できる。
7	小児患者への対応法を説明できる。
8	小児歯科治療で必要な器材の名称と用途が説明できる。
9	障がい児・者の歯科診療補助の特徴を説明できる。
10	障がい児・者における歯科衛生介入時の留意点を説明できる。
11	接着性レジンセメントの取り扱いができる。
12	高齢者の身体的、精神的および心理的、社会的特徴を概説できる。
13	プロビジョナルレストレーションの製作手順を説明できる。
14	プロビジョナルレストレーションの製作ができる。
15	漂白法の手順を説明できる。
16	漂白法の術後指導ができる。
17	全身管理と救急処置を説明できる。
18	体温、血圧、脈拍、呼吸、血中酸素濃度の測定ができる。
19	一次救命処置が実施できる。
20	セラミック／ハイブリッドセラミック（レジン）インレー修復の歯科診療補助ができる。
21	医療安全管理体制を概説できる。
22	インシデントとアクシデントの発生要因を具体的に述べることができる。
23	医療事故発生防止対策（リスクマネジメント）を説明できる。
24	周術期患者への歯科衛生実践を列挙できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	3	2	26	
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【1.2：実習：2コマ】自動練和器の取り扱い（谷・寺島・他5名） ・自動練和器の取り扱い ・アルジネート印象材の取り扱い復習
2	【3.4：実習：2コマ】バー・ポイント鑑別（谷・寺島・他5名） ・バー・ポイントのハンドピースへの着脱 ・バー・ポイントの特徴、鑑別方法の説明

3	【5.6：実習：2コマ】コンボジットレジン修復器材の準備、歯科診療補助の復習（谷・寺島・他5名） ・コンボジットレジン修復の手順の復習 ・コンボジットレジン修復の手順に沿った器材の準備の実技チェック ・コンボジットレジン修復の歯科診療補助の実技チェック
4	【7.8：実習：2コマ】バキュームテクニックの復習、臨床実習シュミレーション（谷・寺島・他5名） ・対象者の口腔内に合わせたバキューム操作の実技チェック ・フォーハンドテクニックの実技チェック ・臨床実習での各場面を想定したシュミレーション ・患者誘導、医療面接 ・PPEの装着方法の実技チェック ・臨床実習での配慮、接遇、留意点の発見、考察 ・実習日誌の記載事項
5	【9.10：実習：2コマ】インプラント治療の準備、歯科診療補助（谷・寺島・他5名） ・インプラント治療の目的、種類、適応症 ・インプラント治療の術式 ・一次手術と二次手術 ・インプラント治療に必要な器材 ・滅菌ガウンの着脱、介助 ・術野の消毒 ・器具に合わせた消毒・滅菌操作 ・インプラント治療の歯科診療補助
6	【11.12：講義：2コマ】特別な配慮の必要な患者対応、歯科診療補助（寺島・谷・他5名） （小児） ・小児歯科における歯科衛生士の役割 ・小児の状態把握と対応 ・コンボジットレジン冠修復時の手順と使用器具・器材 ・乳歯用既製冠修復時の手順と使用器具・器材 ・生活歯髄切断時の手順と使用器具・器材 （障がい） ・障害を有する患者の特徴や注意点 ・障害を有する患者の対応方法 ・障害児者の状態把握と対応 ・治療前の導入法 ・治療中の体動の調整法
7	【13.14：実習：2コマ】接着性レジンセメントの取り扱い（谷・寺島・他5名） ・接着性レジンセメントの特徴 ・接着性レジンセメントの種類 ・接着性レジンセメントの取り扱い
8	【15.16：実習：2コマ】高齢者に対する歯科診療補助（谷・寺島・他5名） ・高齢者の状態把握と対応 ・高齢者歯科治療時の口腔衛生管理の概要・義歯の取り扱い ・義歯の着脱、管理方法の説明 ・車椅子の取り扱い ・車椅子からの移乗 ・脱感作
9	【17：実習：1コマ】臨床実習を想定したセメントの取り扱い（谷・寺島・他5名） ・各種セメントの練和の実技チェック ・GIシリンジへの装填の実技チェック ・セメント修復の歯科診療補助
10	【18.19：実習：2コマ】プロビジョナルレストレーションの製作①（谷・寺島・他5名） ・プロビジョナルレストレーションの目的 ・プロビジョナルレストレーションの製作方法 ・常温重合レジン取り扱い ・バー・ポイントの取り扱い ・ポリクラウンを用いたプロビジョナルレストレーションの製作 ・プロビジョナルレストレーションの仮着 ・余剰セメント除去
11	【20.21：実習：2コマ】プロビジョナルレストレーションの製作②（藤田・谷・寺島・他5名） ・第一大臼歯の形態の復習 ・常温重合レジン取り扱い ・バー・ポイントの取り扱い ・レジン圧接法でのプロビジョナルレストレーションの製作 ・プロビジョナルレストレーション装着後の患者指導
12	【23.24：実習：2コマ】歯の漂白（谷・寺島・他4名） ・漂白法の適応症 ・漂白法の種類、手順 ・漂白法の器材・薬剤の準備 ・オフィスホワイトニングの準備 ・術後指導

13	【24.25：実習：2コマ】全身管理とモニタリング、救命処置（寺島・谷・他5名） ・全身管理とモニタリング ・救命処置 ・バイタルサインの測定 ・歯科治療時の全身的偶発症 ・意識レベルの把握 ・一次救命処置 ・二次救命処置 ・救命救急に用いられる薬剤
14	【26.27：実習：2コマ】セラミック／ハイブリッドセラミック（レジン）インレー修復の歯科診療補助（谷本・谷・寺島・他4名） ・セラミック／ハイブリッドセラミック（レジン）インレーについて ・窩洞形成歯を用いた連合印象採得 ・仮封材の取り扱い ・レジンインレー装着時の歯科診療補助の実技チェック ・接着性レジンセメントの取扱い ・セメントの除去
15	【28.29：演習：2コマ】医療安全管理（谷・寺島・他2名） ・感染に応じた対応 ・スタンダードプリコーション ・スポルディングの分類 ・PPEの装着 ・リスクマネジメント ・ヒューマンエラー ・レジリエンスエンジニアリングと医療安全 ・偶発事故への対応 ・インシデントの検討 ・オーデット
16	【30：講義：1コマ】総合病院実習に向けての準備（寺島・谷） ・総合病院実習にむけての準備事項 ・総合病院実習の日誌記載方法 ・周術期患者への歯科衛生実践

成績評価の方法

- ・科目試験……………80％ 試験終了後に解説を行う。
- ・実技チェック……………10％ 授業の中で、習熟度を個別で確認し、フィードバックを行う。
- ・実習準備物、提出物、受講態度……10％ 提出物は授業の中で、解説と講評を行う。

教科書

歯科衛生学シリーズ 「歯科診療補助論」 医歯薬出版（ISBN978-4-263-42629-1）
歯科衛生学シリーズ 「歯科材料」 医歯薬出版（ISBN978-4-263-42612-8）
歯科衛生学シリーズ 「歯科機器」 医歯薬出版（ISBN978-4-263-42627-2）
毎回異なる教本（専門科目）の指示があるので準備すること。

授業外学修（予習・復習）

（予習）次回の実習までにシラバスを確認して、教科書の該当ページを一読しておくこと。（目安時間：約30分）
（復習）指定された課題を行うこと。（目安時間：約30分）
課題については、次回の実習で確認する。提出期日は遵守すること。

その他

参考資料	歯科衛生士国家試験直前マスター④「チェックシートでカンベキ！主要三科令和4年版出題基準対応」 歯科衛生士国試問題研究会編 医歯薬出版（ISBN978-4-263-42319-6） 月刊デンタルハイジーン別冊 ポイントを押さえてすきるアップ！チェアサイドのアシスタントワーク 著者：[編著]小林朋栄 [編著] 遠山佳之[編著] 高橋英登 医歯薬出版株式会社（ISBN978-4-263-46324-6） 「歯科衛生士・歯科助手 おしごとハンドブック」 著者：[編著] 岩田隆紀 [編著] 水谷幸嗣 [編著] 岩野義弘 [編著] 松浦孝典 クインテッセンス出版（ISBN978-4-7812-0860-2）
受講生への要望等	全回出席すること。 欠席者は登校後すぐに補講願を実習担当者に提出し、次回実習までに課題を確認し、提出すること。 実習準備物に不足がある場合・指定された課題未修了の場合は受講できない。 講義および実習記録は毎回提出すること。 スマートフォンの持ち込みを不可とする。 実習中の私語は慎み、積極的に実習に取り組むこと。
授業の質問対応、連絡先	簡単な質問であれば「melly」で行ってください。それ以外は直接研究室を訪ねてきてください。

歯科予防処置論

更新日：2025/12/10 09:30:48

開講年度	2026	学期	後期	科目コード	316110	授業コード	1H207
担当教員	梶 貢三子, 前嶋 亜優子, 大森 あかね, 亀井 直子, 鶴木 叶恵						
備考							
配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科					
	配当時期	1年	曜日/時限	－	単位	1	
	備考(配当)	必修科目					
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP		科目に関連する実務経験	
31611		1◎ H1○				歯科衛生士	

授業概要

歯科衛生士の主要業務の一つに歯科予防処置がある。予防処置とは「対象とする人の歯及び口腔の疾患を予防して健康な状態を維持・増進するために、情報収集・整理・分析とニーズの判断、計画、実践、評価を繰り返すための十分なる技能を身につけて、実践される専門的処置」である。この科目では、齲蝕および歯周疾患予防のスペシャリストである歯科衛生士としての責務を果たすために、専門職としての心構え、医療従事者として求められる態度について学び、口腔内の病的変化の理解、予防に関する基礎知識を修得し、予防処置業務に使用する器具器材の基本を理解する。

到達目標

1	歯科衛生士の専門分野を理解できる。
2	医療コミュニケーションの方法を理解できる。
3	歯科衛生実践に必要な情報を収集できる。
4	歯周組織検査の目的と項目を理解できる。
5	健康増進および疾患を予防するための口腔健康管理の意義と目的を理解できる。
6	歯科衛生士が行う口腔衛生管理と口腔機能管理を理解できる。
7	歯科衛生過程に基づいた口腔衛生管理を理解できる。
8	歯面清掃・歯面研磨で使用する医療機器の種類と特徴を理解し、歯面清掃・歯面研磨ができる。
9	う蝕予防におけるフッ化物の応用の種類および方法を選択し、実施することができる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	7		1	
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	1【講義】1コマ 歯科予防処置総論 / ファントム実習室（梶） ・歯科予防処置の概念と内容 ・歯科予防処置の法的位置づけ ・歯科予防処置の範囲と業務
2	2.3【講義】2コマ 口腔の基礎知識 / ファントム実習室（梶） ・口腔の基礎知識 ・正常な歯・歯周組織 ・う蝕と歯周病の基礎知識
3	4【講義】1コマ 口腔内診査 / ファントム実習室（梶） ・口腔内診査の目的 ・器具の使用目的と使用方法 ・購入物（基本セット）の確認
4	5【講義】1コマ 歯面研磨 / ファントム実習室（大森・梶） ・歯面研磨の目的 ・歯面研磨の使用器具器材 ・歯面研磨剤の種類と特徴 ・歯面研磨時の注意事項
5	6.7.8【講義・実習（模型）】3コマ フッ化物の応用 / ファントム実習室（前嶋・亀井・梶・鶴木・他2人） ・臨床的効果 ・作用機序 ・安全性 ・便宜性 ・使用薬剤の種類と濃度と使用量 ・取り扱い方法 ・適応歯 ・術式 ・実施上の注意

成績評価の方法

試験にて評価（100％）。
補講で解説を行う。

教科書

歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版（医歯薬出版）ISBN978-4-263-42642-5
主要３科＋専門分野問題集 第４版（口腔保健協会）
歯科衛生士の倫理綱領 医歯薬出版 ISBN978-4-263-42339-4
講義中に適宜資料を配布する。

授業外学修（予習・復習）

指定された課題を授業までに30分程度実施して受講すること。

その他

参考資料	歯科衛生士教本 歯周病治療の基礎と臨床（永末書店）ISBN978-4-8160-1223-5C3047 新歯科衛生士教本 歯科予防処置（医歯薬出版）ISBN4-263-42770-X 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論（医歯薬出版）ISBN978-4-263-42863-4 歯科衛生士講座 歯周病学（永末書店）ISBN978-4-8160-1382-9
受講生への要望等	順番通りに全回出席すること。 欠席者は書類を講義・実習担当者に提出し、次回講義・実習までに補講・追実習を受講すること。 知識定着確認のためのテストがあります。 実習記録は毎回提出すること。 スマートフォン及び携帯電話等の持ち込み不可。 次回の持ち物を確認すること。
授業の質問対応、連絡先	質問等で連絡したいときは授業用SNS「melly」でお願いします。 在室時にも対応可能です。

歯科予防処置実習Ⅰ

更新日：2025/12/10 09:34:10

開講年度	2026	学期	後期	科目コード	316120	授業コード	1H208
担当教員	梶 貢三子, 前嶋 亜優子, 大森 あかね, 亀井 直子, 鶴木 叶恵						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科					
	配当時期	1年	曜日/時限	－		単位	1
	備考(配当)	必修科目					
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP		科目に関連する実務経験	
31612		1○ H1◎				歯科衛生士	

授業概要

歯科予防処置論で習得した知識に基づき、前半は歯科予防処置の基礎技術（ミラーテクニック、エキスポローリング、プロービング）や診査方法をマネキン実習および相互実習を通して習得し、後半は器械を使用した歯面研磨の技能をマネキン実習および相互実習を通して習得する。う蝕予防処置では、2年次の口腔保健臨地実習Ⅰに向けてフッ化物の取り扱い（綿球塗布）を習得する。

到達目標

1	歯科衛生実践に必要な情報を収集できる。
2	病歴（主訴、現病歴、既往歴、家族歴）聴取の目的と対応を理解できる。
3	歯周組織検査の目的と項目を理解できる。
4	歯面清掃・歯面研磨で使用する医療機器の種類と特徴を理解し、歯面清掃・歯面研磨ができる。
5	う蝕予防におけるフッ化物の応用の種類および方法を選択し、実施することができる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
			15	
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	1【実習（模型）】1コマ 器具の操作① デンタルミラー /ファントム実習室（梶・大森・宮坂・他3人） ・デンタルミラーの使用目的 ・デンタルミラーの使用方法 ・歯の検査
2	2【実習（模型）】1コマ 器具の操作②エキスポローラー /ファントム実習室（梶・大森・宮坂・他3人） ・エキスポローラーの使用目的 ・エキスポローラーの使用方法 ・歯の検査
3	3.4.5【実習（模型）】3コマ 器具の操作③歯周プローブ /ファントム実習室（梶・大森・宮坂・他3人） ・歯周プローブの使用目的 ・歯周プローブの使用方法 ・顎堤の交換 ・歯肉の検査
4	6【実習（模型）】1コマ 器具の操作④ピンセット・相互実習説明 /ファントム実習室（梶・大森・宮坂・他3人） ・動揺度検査の目的 ・動揺度検査の方法 ・口腔内診査の目的 ・口腔内診査の方法 ・口腔内診査の記録 ・器具の滅菌
5	7.8【実習（相互）】2コマ 口腔内診査①（エキスポローリング） /チェア実習室（梶・大森・宮坂・他3人） 相互にて口腔内診査を実施（エキスポローリング） ・硬組織の確認 ・軟組織の確認 ・エキスポローリング ・動揺度検査 ・患者への配慮 ・口腔内診査の記録 ・使用器具器材の管理

6	9.10【実習（相互）】 2 コマ 口腔内診査②（ブローピング）/チェア実習室（梶・大森・宮坂・他3人） 相互にて口腔内診査を実施（ブローピング） ・硬組織の確認 ・軟組織の確認 ・ブローピング ・動揺度検査 ・患者への配慮 ・口腔内診査の記録 ・使用器具器材の管理
7	11【実習（模型）】 1 コマ 歯面研磨 /ファントム実習室（大森・梶・宮坂・他3人） ・研磨器具器材の操作方法 ・歯面研磨剤の選択 ・使用時の注意事項 ・感染予防
8	12.13【実習（相互）】 2 コマ 歯面研磨/チェア実習室（大森・梶・宮坂・他3人） 相互に歯面研磨を実施 ・歯面研磨の実際 ・患者へのインフォームドコンセント ・患者への処置後説明 ・患者への配慮 ・記録用紙作成 ・使用器具器材の管理
9	14.15【実習（相互）】 2 コマ フッ化物歯面塗布/チェア実習室（前嶋・亀井・梶・鶴木・他2人） 相互にフッ化物歯面塗布を実施 ・使用薬剤の種類と濃度と使用量 ・適応歯 ・術式 ・実施上の注意 ・患者への注意事項 ・患者への配慮 ・記録用紙作成

成績評価の方法

小テスト（20%）、実技チェック（80%）にて評価し、個別に実地指導を行う。

教科書

歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版（医歯薬出版）ISBNISBN978-4-263-42642-5
実習中に適宜資料を配布する。

授業外学修（予習・復習）

指定された課題を授業前に30分程度実施し、授業後にノートに要点をまとめる、もしくは実習記録を作成する。（30分程度）

その他

参考資料	歯科衛生士教本 歯周病治療の基礎と臨床（永末書店）ISBN978-4-8160-1223-5C3047 新歯科衛生士教本 歯科予防処置（医歯薬出版）ISBN4-263-42770-X 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論（医歯薬出版）ISBN978-4-263-42863-4 歯科衛生士講座 歯周病学（永末書店）ISBN978-4-8160-1382-9
受講生への要望等	順番通りに全回出席すること。15の次の補講は全員出席すること。 欠席者は書類を講義・実習担当者に提出し、次回講義・実習までに補講・追実習を受講すること。 実習記録は毎回提出すること。 次回の持ち物を確認すること。
授業の質問対応、連絡先	質問等で連絡したいときは授業用SNS「melly」でお願いします。 在室時にも対応可能です。

歯科予防処置実習Ⅱ

更新日：2025/12/10 09:28:32

開講年度	2026	学期	通年	科目コード	316130	授業コード	2H303
担当教員	梶 貢三子, 前嶋 亜優子, 大森 あかね, 亀井 直子, 宮坂 佳代, 鶴木 叶恵						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科					
	配当時期	2年	曜日/時限	－		単位	2
	備考(配当)	必修科目					
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP		科目に関連する実務経験	
31613		1 ○ H1 ◎				歯科衛生士	

授業概要

歯科予防処置論・歯科予防処置実習Ⅰで習得した基礎知識と口腔内診査・歯面研磨方法をもとに歯肉縁上の沈着物・付着物の除去をファントム実習および相互実習を通して習得する。前期では、パワースケーラー、後期では手用スケラーの器具器材の基礎知識および基本的な使用方法をファントム実習および相互実習を通して習得する。う蝕予防処置では、口腔保健臨地実習Ⅰに向けて集団応用（マウスピース法）を習得する。薬剤の安全量、使用方法、各種器材の使用方 法について演習、安全面への配慮も十分に検討した相互実習を通じ実践に近い形で知識・技能を修得する。相互実習においては、患者との信頼関係の構築に欠 かせないコミュニケーション、医療従事者としてふさわしい態度・姿勢を習得する。

到達目標

1	歯科衛生士の専門分野を理解できる。
2	手用スケラー（シックル型スケラー、キュレット型スケラー等）の種類と特徴を理解し、スケーリングができる。
3	パワースケーラー（超音波スケラー・エアスケラー）の種類と特徴を理解しスケーリングができる。
4	各種スケラー類のシャープニングができる。
5	う蝕予防におけるフッ化物の応用の種類および方法を選択し、実施することができる。
6	う蝕予防における小窩裂溝充填塞材の種類および方法を選択し、実施することができる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	4	2	24	
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	1.2.3.4【実習（相互）】2コマ フッ化物集団応用の実際・マウスピース法/セミナー室・介護実習室（前嶋・亀井・梶・鶴木・他2人） ・使用薬剤の種類と濃度と取扱い方法 ・適応歯 ・術式 ・使用時の注意事項 ・対象者への配慮 （歯科保健指導とコラボ実習）
2	5.6【講義・実習（模型）】2コマ 小窩裂溝充填塞法（シーラント）/ファントム実習室（前嶋・亀井・梶・鶴木・他2人） ・使用器具器材の種類と特徴 ・適応歯 ・術式 ・実施上の注意事項
3	7.8【講義・演習】2コマ パワースケーラー/ファントム実習室・チェア実習室（大森・梶・宮坂・他3人） ・種類と特徴 ・使用目的 ・操作方法 ・使用時の注意事項
4	9.10【実習（模型）】2コマ 超音波スケラー/チェア実習室・第2大講義室（大森・梶・宮坂・他3人） ・超音波スケラーの操作方法 ・使用器具器材の管理
5	11.12【実習（相互）】2コマ 超音波スケラー①/チェア実習室（大森・梶・宮坂・他3人） 相互にて超音波スケラーを使用してのスケーリングを実施（下顎） ・患者へ処置前、処置後の注意事項を説明 ・患者への配慮 ・使用器具器材の管理 ・記録用紙の作成

6	13.14【実習（相互）】 2コマ 超音波スケーラー② /チェア実習室（大森・梶・宮坂・他3人） 相互にて超音波スケーラーを使用してのスケーリングを実施（上顎） ・患者へ処置前、処置後の注意事項を説明 ・患者への配慮 ・使用器具器材の管理 ・記録用紙の作成
7	15.16【実習（模型）】 2コマ エアースケーラー /チェア実習室・第2大講義室（大森・梶・宮坂・他3人） ・エアースケーラーの操作方法 ・使用器具器材の管理
8	17.18【実習（相互）】 2コマ エアースケーラー /チェア実習室・第2大講義室（大森・梶・宮坂・他3人） 相互にてエアースケーラーを使用してのスケーリングを実施（下顎） ・患者へ処置前、処置後の注意事項を説明 ・患者への配慮 ・使用器具器材の管理 ・記録用紙の作成
9	19.20【実習（相互）】 2コマ 2・3年合同実習 /チェア実習室・第2大講義室（梶・大森・宮坂・鷗木・他3人） 合同実習（術者・患者・補助者）3年：術者・指導者 ・口腔内診査 ・歯面研磨 ・TBI ・処置後説明 ・記録用紙作成
10	21-26【講義・実習（模型）】 6コマ シックルスケーラーの操作 /ファントム実習室（梶・大森・宮坂・他3人） ・沈着物、付着物について ・手用スケーラーの種類 ・手用スケーラーの操作方法 ・前腕回転運動 ・手根関節運動
11	27.28【講義・実習（模型）】 2コマ シャープニング（シックススケーラー） /ファントム実習室（梶・大森・宮坂・他3人） ・シャープニングの目的 ・シャープニング用器械・器具 ・シャープニングの方法
12	29.30【実習（相互）】 2コマ 口腔内診査と縁上歯石除去（シックススケーラー） 相互実習/チェア実習室（梶・大森・宮坂・他3人） ・口腔内診査 ・縁上歯石除去（シックススケーラー） ・実習記録作成

成績評価の方法

知識の定着度を中間・期末試験にて評価する。（60％）
手技の到達度は手技中の口頭試問とチェックテストにて評価する。（40％）
補講で解説をする。

教科書

歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版（医歯薬出版）ISBN978-4-263-42642-5
実習中に適宜資料を配布する

授業外学修（予習・復習）

指定された課題を実習前に30分程度予習し、授業後は要点をノートにまとめる、もしくは実習記録を作成する。（30分程度）

その他

参考資料	歯科衛生士教本 歯周病治療の基礎と臨床（永末書店）ISBN978-4-8160-1223-5C3047 新歯科衛生士教本 歯科予防処置（医歯薬出版）ISBN4-263-42770-X 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論（医歯薬出版）ISBN978-4-263-42863-4 歯科衛生士講座 歯周病学（永末書店）ISBN978-4-8160-1382-9
受講生への要望等	全回出席すること。 欠席者は書類を実習担当者に提出し、次回実習までに追実習を受講すること。 実習記録は毎回提出すること。 次回の持ち物を確認すること。 「医療人になる」という心を持って実習に臨むこと。
授業の質問対応、連絡先	質問等で連絡したいときは授業用SNS「melly」でお願いします。 在室時にも対応可能です。

歯科予防処置実習III

更新日：2025/12/10 09:41:48

開講年度	2026	学期	通年	科目コード	316140	授業コード	3H303
担当教員	梶 貢三子, 前嶋 亜優子, 大森 あかね, 宮坂 佳代, 亀井 直子, 鶴木 叶恵						
備考	アクティブラーニング						
配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科					
	配当時期	3年	曜日/時限	－	単位	2	
	備考(配当)	必修科目					
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP		科目に関連する実務経験	
31614		1○ 2◎ H1○				歯科衛生士	

授業概要

附属病院、歯科診療所で始まる臨床実習に向けて、1年次から修得した知識、技能の復習をする。また、患者対応の技術を高めることを目的に相互実習を通じ実践に近い形で歯面清掃方法、歯肉縁下の処置、フッ化物の応用を実習を通して習得する。
対象者の口腔衛生・口腔機能を維持管理する方法を実践することで、コミュニケーション法・器具操作方法・操作ポジション・器具の取扱い・器具のメンテナンス方法を習得する。

到達目標

1	歯科衛生実践に必要な情報を収集できる。
2	病歴（主訴、現病歴、既往歴、家族歴）聴取の目的と対応を理解できる。
3	カリエスリスク検査（う蝕活動性試験・唾液検査）の目的と項目を理解できる。
4	対象者に適した長期目標・短期目標を設定できる。
5	目標を達成するための歯科衛生実践内容と歯科衛生計画を立案できる。
6	歯科衛生計画に基づいた歯科衛生実践の方法を理解できる。
7	歯科衛生実践を記録する意義を理解できる。
8	歯科衛生過程に基づく一連のプロセスを記録できる。
9	歯科衛生実施の経過記録をSOAP方式等で記録できる。
10	手用スケーラー（シッケル型スケーラー、キュレット型スケーラー等）の種類と特徴を理解できる。
11	スケーリングができる。
12	各種スケーラー類のシャープニングができる。
13	歯面清掃・歯面研磨で使用する医療機器の種類と特徴を理解できる。
14	歯面清掃・歯面研磨ができる。
15	う蝕予防におけるフッ化物の応用の種類および方法を選択することができる。
16	う蝕予防におけるフッ化物の応用を実施することができる。
17	カリエスリスク検査（う蝕活動性試験・唾液検査）の必要性を説明することができる。
18	カリエスリスク検査（う蝕活動性試験・唾液検査）を実施できる。
19	インプラント治療の目的、種類、適応症および検査法、術式と維持管理（メンテナンスを含む）を理解できる。
20	う蝕予防における小窩裂溝填塞材の種類および方法を選択することができる。
21	う蝕予防における小窩裂溝填塞法を実施することができる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	6	2	22	
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	1.2【講義・実習（模型）】2コマ 小窩裂溝填塞法（シーラント）/ファントム実習室（前嶋・亀井・梶・鶴木・他2人） ・使用器具器材の種類と特徴 ・適応歯 ・術式 ・実施上の注意事項
2	3.4【講義・演習】2コマ インプラント治療における歯科衛生士の役割/ファントム実習室（大森・梶・宮坂・他3人） ・インプラント治療の患者説明 ・インプラント治療の流れ ・術前診断のアシスタント ・手術時の準備・アシスタント ・インプラント治療時の口腔内管理とメンテナンス

3	5.6【実習（相互）】 2コマ 1・2・3年合同実習/チェア実習室（梶・大森・宮坂・亀井・鶴木・他2人） 相互実習 ・口腔内診査 ・資料作成 ・問題点を抽出（リスク評価）
4	7.8【講義・実習（模型）】 2コマ SUS/チェア実習室（大森・梶・宮坂・他3人） ・サブソニックブラシシステムの特徴と適応 ・使用器具の管理
5	9.10【実習（相互）】 2コマ SUS/チェア実習室（大森・梶・宮坂・他3人） 相互にてSUSを使用しての歯面清掃を実施 ・口腔内診査 ・SUS ・記録用紙の作成 ・使用器具器材の管理
6	11.12【実習（相互・合同）】 2コマ 2・3年合同実習/チェア実習室（梶・大森・宮坂・亀井・鶴木・他2人） 合同実習（術者・補助者指導） ・口腔内診査 ・問題点を抽出 ・処置内容を選択 ・ハンドスケーラー ・パワースケーラー ・歯面研磨 ・患者への説明 ・記録用紙の作成 ・使用器具器材の管理
7	13.14【講義・実習（模型）】 2コマ 歯面清掃器・PMTc/ファントム実習室・チェア実習室（大森・梶・宮坂・他3人） 歯面清掃器 ・使用目的と種類と特徴 ・使用方法 ・使用上の注意事項 PMTc ・目的 ・使用機材 ・実施上の注意事項
8	15.16【実習（相互）】 2コマ 歯面清掃・PMTc/チェア実習室（大森・梶・宮坂・他3人） 相互実習 ・口腔内診査 ・歯面清掃器 ・PMTc ・患者への説明 ・処置内容の記録
9	17-24【講義・実習（模型）】 8コマ グレーシーキュレットスケーラー・シャープニング・ファーケーションプローブ/ファントム実習室（梶・大森・宮坂・他3人） ・グレーシーキュレットスケーラーの使用目的と操作方法 ・歯周病の評価 ・根分岐部病変の有無と程度 ・ファーケーションプローブの使用方法 ・水平ストローク（キュレットタイプスケーラー） ・シャープニング ・器具器材の管理
10	25.26【実習（相互）】 2コマ スケーリング・SRP①/チェア実習室（梶・大森・宮坂・他3人） 相互にてSRPを実施する（前歯部） ・口腔内診査 ・SRP（グレーシータイプキュレット） ・歯面研磨 ・患者への説明 ・記録用紙の作成 ・使用器具器材の管理
11	27.28【実習（相互）】 2コマ スケーリング・SRP②/チェア実習室（梶・大森・宮坂・他3人） 相互にてSRPを実施する（臼歯部） ・口腔内診査 ・SRP（グレーシータイプキュレット） ・歯面研磨 ・患者への説明 ・記録用紙の作成 ・使用器具器材の管理

12	29.30【講義・演習】2コマ　う蝕活動性試験・フッ化物洗口・フッ化物配合歯磨剤/ファントム実習室（前嶋・亀井・梶・鵜木・他1人） う蝕活動性試験 ・う蝕活動性試験の評価 フッ化物洗口 ・使用器具器材の種類と特徴 ・濃度及び取扱い方法 ・対象年齢と洗口方法 ・実施上の注意事項 フッ化物配合歯磨剤 ・種類と特徴 ・対象年齢と使用方法 ・使用上の注意事項
----	---

成績評価の方法

知識の定着度を中間・期末試験にて評価する。（60％）
手技の到達度は手技中の口頭試問とチェックテストで評価する。（40％）
補講で解説をする。

教科書

歯科衛生士シリーズ、歯科予防処置論・歯科保健指導論（医歯薬出版）ISBN978-4-263-42607-4
実習中に適宜資料を配布する。

授業外学修（予習・復習）

指定された課題を30分程度実施し、授業後はノートに要点をまとめること、もしくは実習記録を作成する。（30分程度）

その他

参考資料	歯科衛生士教本　歯周病治療の基礎と臨床（永末書店）ISBN978-4-8160-1223-5C3047 新歯科衛生士教本　歯科予防処置（医歯薬出版）ISBN4-263-42770-X 最新歯科衛生士教本　歯科予防処置論・歯科保健指導論（医歯薬出版）ISBN978-4-263-42863-4 歯科衛生士講座　歯周病学（永末書店）ISBN978-4-8160-1382-9
受講生への要望等	順番どおりに全回出席すること。 欠席者は書類を実習担当者に提出し、次回実習までに追実習を受講すること。 実習記録は毎回提出すること。 次回の持ち物を確認すること。 「医療人になる」という心を持って実習に臨むこと。
授業の質問対応、連絡先	質問等で連絡したいときは授業用SNS「melly」をお願いします。 在室時にも対応可能です。

歯科予防処置実習Ⅳ

更新日：2025/12/10 09:52:27

開講年度	2026	学期	通年	科目コード	316150	授業コード	4H301
担当教員	梶 貢三子, 前唄 亜優子, 大森 あかね, 宮坂 佳代, 亀井 直子, 鶴木 叶恵, 大草 亘孝						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科					
	配当時期	4年	曜日/時限	－	単位	2	
	備考(配当)	必修科目					
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP		科目に関連する実務経験	
31615		2○ 5◎ H1○ H3○				歯科衛生士	

授業概要

前期では、総合病院歯科での実習のために全人的な処置を検討する。複数の症例を歯科衛生過程に沿って、対象者の口腔内だけでなく環境面・心理面も含め検討し、3年間学んだ知識、技能、態度を通して処置を行う。生活習慣病としてのう蝕や歯周病だけでなく、全身疾患、摂食嚥下障害を有する患者や介護を要する高齢者に対し、口腔と全身の関係を考慮し他職種と連携しながら対応できるよう知識と技術と態度の習得を行う。

後期では、卒業後に現場で即戦力として活躍できる歯科衛生士になるために総復習をしながら相互実習を行う。

到達目標

1	服薬状況を把握する目的と対応を理解できる。
2	臨床検査の目的と適応を理解できる。
3	歯科衛生実践に必要な臨床検査項目を理解できる。
4	栄養ケアマネジメントを理解できる。
5	地域包括ケアシステムにおける他機関・多職種連携・協働を理解できる。
6	歯周病と医科疾患との関連を理解できる。
7	歯の硬組織疾患患者へ歯科衛生を実践できる。
8	歯周病患者へ歯科衛生を実践できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	5	5	20	
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	1.2【講義・演習】2コマ 食形態と栄養（梶・鶴木） ・要介護者の食事環境と食事姿勢 ・食事形態 ・嚥下調整食
2	3.4【実習（相互）】2コマ 要介護者の口腔衛生管理/チェア実習室（梶・前唄・亀井・鶴木・他2名） 相互実習 ・座位による口腔衛生管理の実施 ・バイタル確認 ・全身状態の把握 ・患者への配慮 ・記録用紙の作成
3	5.6【実習（模型）】2コマ 入院・在宅患者の口腔衛生管理 困難症例への対応（梶・前唄・亀井・鶴木・他2名） ・吸引の実践 ・入院・在宅患者に対するケアについての業務記録の作成 ・挿管チューブの取り扱い ・マナボットを使用した口腔ケアの実施
4	7.8【講義・演習（GW）】2コマ NST・服薬/PC演習室（梶・鶴木） ・NST ・栄養状態の把握 ・食支援のための介入計画 ・食生活指導 ・服薬
5	9.10【実習（相互）】2コマ 初診患者対応・多量沈着物の除去（臼歯部）/チェア実習室（梶・大森・宮坂・他3名） 相互実習 ・多量沈着物の除去方法 ・初診患者への対応 ・患者とのインフォームドコンセント ・記録用紙の作成 ・患者交付文書作成

6	11.12【講義・演習（GW）】 2コマ 食支援/セミナー室（梶・鶴木） ・食生活の問題点抽出 ・問題点の評価 ・介入計画の立案 ・指導内容の記録
7	13.14【実習（相互）】 2コマ Pメインテナンス/チェア実習室・第2大講義室（梶・大森・宮坂・他3名） 相互実習 ・患者説明 ・口腔内診査項目・評価 ・処置内容 ・実施時の注意事項 ・記録用紙の作成 ・患者交付文書作成
8	15.16【講義・演習（GW）】 2コマ う蝕予防のメインテナンス/セミナー室（前嶋・亀井・梶・鶴木） ・う蝕活動性試験の評価 ・う蝕予防プログラムの立案 ・患者教育 ・メインテナンスの目的 ・メインテナンス時の評価項目と方法、処置 ・う蝕リスクとメインテナンスの必要性
9	17.18【講義・演習（GW）】 2コマ 配慮を要する者（大規模災害被災者）/セミナー室（大草・梶・鶴木） ・災害と非難施設 ・災害時の歯科保健医療 ・アセスメントと支援活動 ・多職種連携
10	19.20【実習（模型）】 2コマ スケーラーの復習/ファントム実習室（梶・大森・宮坂・他3名） ・スケーラーの選択方法 ・使用手順の決定要因
11	21.22【実習（相互）】 2コマ SPT①/チェア実習室（梶・大森・宮坂・他3名） 相互実習 ・患者説明 ・口腔内診査項目・評価 ・処置内容 ・実施時の注意事項 ・記録用紙の作成 ・患者交付文書作成
12	23.24【実習（相互）】 2コマ SPT②/チェア実習室（梶・大森・宮坂・他3名） 相互実習 ・患者説明 ・口腔内診査項目・評価 ・処置内容 ・実施時の注意事項 ・記録用紙の作成 ・患者交付文書作成
13	25.26【実習（相互）】 2コマ 喫煙習慣のある歯周病患者への対応①/チェア実習室（梶・大森・宮坂・他3名） 相互実習 ・口腔内診査 ・スケーリング（ハンドスケーラー・パワースケーラー） ・エアフロー ・歯面研磨 ・患者指導 ・業務記録作成 ・患者交付文書記載
14	27.28【実習（相互）】 2コマ 歯周病患者への対応②/チェア実習室（梶・大森・宮坂・他3名） 相互実習 ・口腔内診査 ・スケーリング（ハンドスケーラー・パワースケーラー） ・歯面研磨 ・患者指導 ・業務記録作成 ・患者交付文書記載
15	29.30【実習（相互）】 2コマ 歯周病患者への対応③/チェア実習室（梶・大森・宮坂・他3名） 相互実習（PMTC） ・口腔内診査 ・PMTC ・TBI ・業務記録作成 ・患者交付文書記載

- ・講義、実習中に行う小テスト、実技チェックテスト（70％）
- 講義では知識の定着度、実習では実習中に到達目標の項目を口頭試問で評価する。
- ・提出物（30％）
- その都度解説を行う。

教科書

最新歯科衛生士教本、歯科予防処置論・歯科保健指導論（医歯薬出版）ISBN978-4-263-42826-9
実習中に適宜資料を配布する

授業外学修（予習・復習）

指定された課題を30分程度予習し、授業後はノートに要点をまとめること、もしくは実習記録を作成する。（30分程度）

その他

参考資料	別冊歯科衛生士　う蝕・歯周病予防のためのリスクアセスメント&コントロール（クインテッセンス出版） SRP修行論-秘伝トレーニングメソッドの公開-（松風） DHstyle増刊号　口腔内の病変・異常に気づく観察眼を養おう（デンタルダイヤモンド社） 全身疾患関連の口腔粘膜病変アトラス（医療文化社） デンタルハイジーン別冊　歯科衛生士のための全身疾患ハンドブック（医歯薬出版）
受講生への要望等	順番通りに全回出席すること。 欠席者は書類を実習担当者に提出し、次回実習までに補講・追実習を受けること。 実習記録は毎回提出すること。 次回の持ち物を確認すること。 「医療人になる」という心を持って実習に臨むこと。
授業の質問対応、連絡先	質問等で連絡したいときは授業用「melly」をお願いします。 在室時にも対応可能です。

オーラルマネジメント学

更新日：2025/07/30 13:31:09

開講年度	2026	学期	前期	科目コード	316160	授業コード	4H101
担当教員	貴島 真佐子, 河田 尚子, 岸本 裕充						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科					
	配当時期	4年	曜日/時限	一		単位	1
	備考(配当)	必修科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31616	H2○ H3◎		歯科医師、歯科衛生士

授業概要

日常臨床において、正確な診査、診断に基づき、ケア・リハビリ・治療の目標・計画が立案され、それぞれが実施された後、再評価し、継続した口腔管理が行われる。患者さんにより口腔内の状況や環境は多岐にわたる。全人的、全顎的に観察し、診査することが重要である。歯科衛生士として、個別に検査、診査を行い、状況に応じた歯科医療を提供する視点を持つことが必要とされる。本授業では、日常臨床の治療計画の流れにおける全身を意識した口腔の検査、診査について理解する。口腔の健康に関わる専門職としての活躍を目指し、各ライフステージおよび各医療の現場の変遷（健常期・急性期・回復期・慢性期・維持期）への対応について学ぶ。また合わせて、臨床検査データの解釈についても学ぶ。講義の形式はスライドを用いて行う。

到達目標

1	オーラルマネジメントに必要な知識・技術を考えることができる。
2	日常臨床の治療計画の流れにおける全身を意識した口腔の検査、診査を考えることができる。
3	各ライフステージにおける対応法と保健指導について考えることができる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	ガイダンス、総論：オーラルマネジメントに必要な知識・技術（岸本） 【講義】 1) オーラルマネジメントの概念について説明する。 2) オーラルマネジメントの構成要素における教育・評価の重要性について説明する。 3) オーラルマネジメントの実践による成果の例について概説する。
2	口腔に関連する検査、診査の方法と対応（岸本） 【講義・演習】 1) 評価における口腔の専門職と非専門職による役割分担について説明する。 2) 主観的評価と客観的評価について説明する。 3) 歯科衛生士が知っておくべき血液検査データについて概説する。
3	急性期における対応（河田） 【講義・演習】 1) 急性期にオーラルマネジメントが必要な患者について説明する。 2) 術後肺炎予防のためのオーラルマネジメントについて説明する。 3) 造血幹細胞移植患者のオーラルマネジメントについて説明する。
4	急性期における対応（河田） 【講義・演習】 1) 急性期における他職種とのコミュニケーションの取り方について説明する。 2) 急性期において多職種で構成される医療チームについて概説する。 3) 呼吸サポートチームを例に、評価の重要性について説明する。
5	回復期・慢性期における対応（貴島） 【講義・演習】 1) 回復期・慢性期におけるオーラルマネジメントについて説明する。 2) 回復期・慢性期における歯科衛生士の役割について説明する。 3) 回復期・慢性期のチーム医療における多職種連携について説明する。 4) 栄養サポートチーム（NST）をはじめとした栄養管理とオーラルマネジメントについて説明する。
6	維持期（生活期）における対応（貴島） 【講義・演習】 1) 維持期（生活期）におけるオーラルマネジメントについて説明する。 2) 維持期（生活期）における歯科衛生士の役割について説明する。
7	症例別によるオーラルマネジメント（河田・貴島） 【演習】 1) 症例別におけるオーラルマネジメントについて説明する。 2) 症例別における歯科衛生士の役割について説明する。

8	オーラルマネジメントの目的・まとめ（貴島） 【講義・演習】 1) オーラルマネジメントについてのフィードバック 2) 各医療現場（急性期・回復期・慢性期・維持期）における対応法について説明する。
---	--

成績評価の方法

第1回から8回までの内容を単位試験にて100%とする。

教科書

なし

授業外学修（予習・復習）

授業計画を見て、3年生までに習った関連する科目の予習を30分以上は行うこと。授業後、復習はその日のうちに15分以上は行うこと。

その他

参考資料	・オーラルマネジメントの実務—口腔ケアの新常識（日総研出版） ・オーラルマネジメントに取り組もう（デンタルダイヤモンド社） ・口腔アセスメントカード（学研メディカル秀潤社） ・成果の上がる口腔ケア（医学書院）
受講生への要望等	全回出席すること。 欠席者は講義担当者に申し出て次回講義までに補講を受講すること。 提出物などを忘れた場合は追加課題をもらいに来ること。 配布資料は全てファイリングすること。
授業の質問対応、連絡先	質問等で連絡したい時は授業用SNS「melly」でお願いします。それ以外は直接研究室に来てください。

口腔保健臨地実習Ⅰ

更新日：2025/10/04 17:21:46

開講年度	2026	学期	通年	科目コード	316170	授業コード	2H304
担当教員	前嶋 亜優子, 神 光一郎, 橋本 正則, 梶 貢三子, 寺島 雅子, 宮坂 佳代, 亀井 直子, 鶴木 叶恵						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科					
	配当時期	2年	曜日/時限	－	単位	2	
	備考(配当)	必修科目					
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP		科目に関連する実務経験	
31617		2○ H1◎ H3○				歯科衛生士	

授業概要

【前期】
歯科衛生士として活動する場の一つとしてあげられる保育所・幼稚園において、4歳児・5歳児を対象とした健康教育の実験を経験する。
オリエンテーションでは担当する園単位で引継ぎをおこないシミュレーションをする。
対象者の特徴を捉え指導内容を計画・実践する。
評価を行い次回に向けてのよりよいプレゼンテーション方法を考える。
実習では対象者と対象者を取り巻く保育士・市の保健福祉課職員との関わりを学ぶ。
基礎知識および専門知識・技術、対人関係力を現場で応用修得することにより、将来の歯科衛生士としての資質を高める。

【後期】
歯科衛生士として活動する場の一つとしてあげられる小学校において、小学校3年生を対象とした健康教育の実験を経験する。
45分間の講座を円滑に進めるために、前日には担当する小学校単位で引継ぎをおこないシミュレーションをする。
実習終了後は担当した小学校単位でフィードバックの時間を設けてグループディスカッションをおこない評価する。
評価を行い次回に向けてのよりよいプレゼンテーション方法を考える。
児童が持ち帰る配布物を作成し、保護者にも児童の口腔健康管理の要点を理解してもらう。
実習では対象者と対象者を取り巻く養護教諭や学級担任との関わりを学ぶ。
基礎知識および専門知識・技術、対人関係力を現場で応用修得することにより、将来の歯科衛生士としての資質を高める。

到達目標

1	対象者に歯・口腔の発育や疾病・異常など、自分の歯や口の健康状態を伝えることができる。
2	対象者にう蝕や歯周疾患の予防に必要な歯の磨き方・望ましい食生活などを伝えることができる。
3	対象者に歯や口の健康を保つのに必要な態度や習慣を身につける方法を助言できる。
4	他者との協働・連携の必要性と重要性が体感できる。
5	対人関係力を向上させることができる。
6	社会性（マナーやルール）を習得することができる。
7	健康教育の対象・場の特徴を説明できる。
8	健康教育に必要な情報収集・計画立案ができる。
9	健康教育の内容を説明できる。
10	健康教育活動の工夫と留意点を説明できる。
11	健康教育活動の方法を説明できる。
12	健康教育の評価を説明できる。
13	集団・組織・地域の実態が把握できる。
14	対象者の特性と口腔保健ニーズの把握ができる。
15	保育所・小学校の口腔保健の実態が把握できる。
16	保育所、幼稚園（乳幼児）、認定こども園、小学校を対象とした健康教育ができる。
17	情報の守秘義務と、家族等を含む情報提供の重要性を理解し、適切な取り扱いを理解している。
18	適切な身だしなみ、言葉遣いおよび態度で対象者に接することができる。
19	対象者のプライバシーに配慮できる。
20	対象者情報をアセスメントできる。
21	口腔と全身疾患との関連を説明できる。
22	口腔の健康状態やリスクを評価し対象者に説明できる。
23	口腔衛生管理の技能を実施できる。
24	口腔機能管理の技能を実施できる。
25	対象者に応じた食生活習慣指導および食支援・食育支援を実施できる。
26	生活習慣指導を実施できる。
27	歯科衛生実践を評価できる。
28	地域において健康教育ができる。
29	健康教育の教材を活用できる。

30	健康教育を評価できる。
31	多様な形式で健康教育ができる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
		7	11	27
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	1.2【演習：2コマ】幼児対象臨地実習オリエンテーション（神・前岨・梶・亀井・宮坂） 臨地実習の概要について理解する。 臨地実習での注意を理解する。 誓約書を提出する。
2	3-6【臨地実習：4コマ】歯科保健指導およびフッ化物塗布実習（神・前岨・梶・亀井・鶴木・宮坂・寺島） （実習先） 柏原市内幼稚園・保育園 （対 象） 幼稚園児・保育園児 （内 容） 集団歯科保健指導・フッ化物塗布 歯面にフッ化物を十分に作用させるために各クラス単位で集団ブラッシング指導を実施し、マウスピース法にてフッ化物塗布をおこなう。また、塗布後はフッ化物の効果や限界について指導する。
3	7【実習：1コマ】実技試験に関するガイダンス・最終練習（前岨・亀井・非常勤助手5名） 実技試験の受験方法・評価項目について
4	8-18【演習・実習：11コマ】小学3年生対象臨地実習オリエンテーション（前岨・亀井・鶴木・非常勤助手2名） 【演習2】ガイダンス（前岨・亀井・鶴木） 【実習2】代表学生による実習デモ・指導案作成（前岨・亀井・鶴木・非常勤助手1名） ・対象者（小学校3年生）に応じた45分間の健康教育の学習指導案の計画立案ができる。 ・対象者（小学校3年生）に応じた45分間の健康教育の工夫と留意点を説明できる。 【演習2】初日のチームによる打ち合わせ・演習（前岨・亀井・鶴木・非常勤助手1名） 【演習1】特別講師：八尾市歯科医師会在籍の歯科医師（八尾市歯科医師・前岨・亀井・鶴木） ・八尾市内の小学生の口腔内の現状、口腔衛生に関する意識等を学ぶ。 ・臨地実習の目的および意義を理解する。 しおりに沿って説明・実践（前岨・亀井・鶴木） 【実習1】初日のチームによる演習（時間を測定して実施）（前岨・亀井・鶴木・非常勤助手1名） 【実習1】日誌の記載について（前岨・亀井・鶴木） ・歯科保健指導における書面化（業務記録）の意義を説明できる。 ・SOAP形式による業務記録を作成する。 【実習1】2～5日目の演習・うち合わせ（前岨・亀井・鶴木） 【実習1】現場に行くための小学校ごとの引継ぎ（前岨・梶・亀井・橋本・神・鶴木・非常勤助手1名）
5	19-41【臨地実習：23コマ】口腔保健臨地実習Ⅰ（担当全教員・非常勤助手1名） （臨地実習） 実習場所：大阪府八尾市内 全小学校（28校） 対象者：小学校3年生 実施内容：集団歯科保健指導 担当者：前岨・神・橋本・亀井・梶・非常勤助手5名 各々が定められた小学校を訪問し、児童に対し蝕のメカニズムと歯・口の清掃法に関する講演、指導を行い、口腔健康意識向上を図る。 そのために、45分間の講座の中で以下の内容を行う。 ・う蝕の原因となる歯垢について伝える。 ・う蝕予防の方法を伝える。 ・歯みがきの実技指導を行う。 ・間食の指導を行う。
6	42－45【実習：4コマ】口腔保健臨地実習Ⅰの振り返り、引継ぎ（前岨・亀井・鶴木・非常勤助手1名） 42－45【実習】 ・臨地実習で取り組んだ内容を振り返り、各小学校単位でグループディスカッションを行う。 ・意見をまとめて各小学校の代表者が全体の前で発表し、それに対して質疑応答の時間を設け、意見交換を行う。 ・口腔保健臨地実習Ⅰで学んだ内容を共有し、3年時の口腔保健臨地実習Ⅱに繋げる。 ・現場での実習を1年生対象に行い、次年度の引継ぎを行う。

成績評価の方法

実技試験（50%）
現場での実習評価と実習日誌（50%）
実習日誌は提出後、コメントをつけて返却。修正して再提出を継続し終了するまでフィードバックを続ける。

教科書

なし
臨地実習要項（授業時に配布）

授業外学修（予習・復習）

現場実習でのグループによる綿密な事前の打ち合わせと事後のフィードバックをする。
実習前には自分が担当する箇所の復習が必要となる。(約15～30分間)

その他

参考資料	歯科衛生士教育サブテキスト臨地実習ハンドブック（クインテッセンス）ISBN：4781201083 歯科衛生士倫理綱領
受講生への要望等	全ての実習に出席してください。(万が一欠席遅刻があった場合は全て補講の対象となりますが補講は欠席を取消すものではありません。) 実習オリエンテーションのルールを守ってください。 実習現場へは黒無地のスーツ・白無地襟付きシャツ（シンプルなもの）を着用。(無地です。地模様もない物を準備して下さい) 現場に行くために黒い大きなカバン（2025.10に見せたようなサイズ）を準備してください。 黒い靴（飾りがなく、できるだけ黒の面積が多い靴）を準備してください。 実習期間中は健康管理を怠らないように気を付けてください。 万が一現場に遅れる場合は、遅れる事態がわかった時点で必ずすぐに実習班員に伝え、当日朝教員に連絡をしてください。 態度・身嗜み・服装・準備物などにおいて不備があったり、指導を受けても改善されない場合は実習が受けられなくなること もありますので気をつけてください。 実技試験に受からなかった方は現場に行っていただくことはできません。 小学校の実技試験は原稿を前半・中盤・後半の3部に分けて実施します。試験後も暗記できるまで再度チェックを繰り返しま す。 感染症の流行状況により実習先・実習時間は変更になることがあります。 日誌が完成していないと単位が認められませんので注意してください。
授業の質問対応、連絡先	「melly」もしくは教員室で対応します。

口腔保健臨床実習Ⅰ

更新日：2025/10/23 11:05:49

開講年度	2026	学期	通年	科目コード	316180	授業コード	3H304
担当教員	神 光一郎, 島田 明子, 梶 貢三子, 緒方 智壽子, 小正 聡, 谷 亜希奈, 大森 あかね, 寺島 雅子, 鶴木 叶恵, 宮坂 佳代						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科					
	配当時期	3年	曜日/時限	一		単位	9
	備考(配当)	必修科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31618	2○ H1◎ H3○		歯科医師・歯科衛生士

授業概要

大阪歯科大学附属病院、歯科診療所にて実習を行う。
歯科衛生士が日常業務として行っている内容について学ぶ。校内での基礎実習をふまえた上で、現場での歯科衛生士業務の内容を見学や実習を通して、知識、技能および態度を身につける。専門職としてニーズに応じた適切な動きや口腔健康管理の必要性について学ぶ。臨床実習を通じて自分の価値観や思考の特性に気づき、人間関係を深めるためのコミュニケーション能力を身につけることを目的とする。
また、医療従事者にふさわしい人格を養成することを目的とする。

到達目標

1	患者の状態を正しく把握し歯科診療を安全に受けてもらうための対応ができる。
2	歯科医師からの指導・指示に対応できる。
3	歯科医師、歯科衛生士および他の多職種と協働し、連携のとれた患者への対応ができる。
4	プライバシーに配慮できる。
5	患者の守秘義務を遵守できる。
6	診療室のルールを遵守できる。
7	医療安全管理に配慮できる。
8	感染予防（消毒・滅菌、手指消毒等）対策ができる。
9	器材、機器および薬品を管理できる。
10	患者のデータ管理ができる。
11	患者のニーズを判断し対応ができる。
12	歯科衛生過程に基づき歯科衛生計画を立案できる。
13	必要なスクリーニング検査および各種検査を把握して歯科衛生実践ができる。
14	歯科衛生を実践するにあたって、その必要性を科学的に説明できる。
15	必要な情報を収集し、歯科衛生実践ができる。
16	患者に応じた口腔健康管理ができる。
17	業務記録を記述できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
		23		180
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	口腔保健臨床実習Ⅰオリエンテーション（神、島田、梶、緒方、小正、谷、大森、前岨、亀井、宮坂、鶴木） 【演習：16コマ】 ・附属病院各科担当歯科医師からオリエンテーションを受ける。 ・附属病院実習に行くにあたっての事前課題を行う。 ・診療科の特徴を調べる。 ・歯科診療所に行くにあたっての事前課題を行う。 ・歯科診療所の特徴を調べる。 ・実習における目標を考える。 ・補助的業務の実習を行う。
---	--

2	歯科矯正科での臨床実習（担当：護邦） 【実習：12コマ】 （概要） 矯正治療と予防矯正について学ぶ。 （実習内容） ・矯正診療の補助 接着剤・帯環（バンド）・ワイヤー・ブラケット・撤去に必要な器具の取扱いを学ぶ。 ・矯正患者に対する接し方、矯正装置装着後の指導を学ぶ。 ・矯正患者に対する歯面清掃、歯口清掃指導を行う。 ・歯科矯正歯科における歯科衛生士の役割を学ぶ。
3	小児歯科での臨床実習（担当：園本） 【実習：12コマ】 （概要） 乳歯列期から永久歯列期完成までの小児を対象とした歯科治療および歯科予防処置について学ぶ。 （実習内容） ・小児期の特徴、歯科治療の特徴を学ぶ。 ・小児の状態把握と対応を学ぶ。 ・治療に必要な器材・薬剤の準備について学ぶ。 ・ラバーダム防湿を学ぶ。 ・小窩裂溝填塞を学ぶ。 ・小窩裂溝填塞実施上の注意点を学ぶ。 ・保護者への対応法や指導内容を学ぶ。 ・小児歯科における歯科衛生士の役割を学ぶ。
4	特別支援歯科での臨床実習（担当：田中） 【実習：12コマ】 （概要） 特別な配慮を必要とする患者を対象とした歯科治療および歯科予防処置、歯科保健指導について学ぶ。 可能な限り短時間で終了させるためにやむを得ず使用する開口器や抑制具について学ぶ。 （実習内容） ・障がいの特徴、障がい者歯科での歯科治療の特徴を学ぶ。 ・障がい児(者)の状態把握と対応を学ぶ。 ・保護者への対応法や指導内容などを学ぶ。 ・配慮を要する人への口腔機能管理と指導を学ぶ。 ・特別支援歯科における歯科衛生士の役割を学ぶ。
5	歯科麻酔科での臨床実習（担当：新井） 【実習：4コマ】 （概要） 口腔外科手術や障がい者の歯科治療のための全身麻酔、精神鎮静法下での歯科治療について学ぶ。 （実習内容） ・歯科麻酔科外来においての診療介助を学ぶ。 ・バイタルサインを学ぶ。 ・意識レベルを学ぶ。 ・血圧、脈拍、心機能、呼吸のモニタリングを学ぶ。
6	口腔インプラント科での臨床実習（担当：上住卓） 【実習：12コマ】 （概要） インプラント治療に際してCT等を用いて詳細に診断し、無菌化された小手術室を使用して全身管理下にてインプラントの埋入手術等を行っているところを見学する。 また、各症例に応じたインプラントシステムを選択することで、機能回復だけではなく審美的回復の向上について学ぶ。 （実習内容） ・インプラント治療に用いる各種検査器材を学ぶ。 ・印象採得で用いる器材の準備と取扱いを学ぶ。 ・インプラント手術においての診療補助を学ぶ。 ・インプラント装着後の指導を学ぶ。 ・インプラント装着患者への口腔衛生管理を学ぶ。 ・口腔インプラント科における歯科衛生士の役割を学ぶ。

7	中央画像検査室での臨床実習（担当：小滝） 【実習：12コマ】 （概要） 各科からの撮影依頼を受け、最適な画像検査を実施しているところを見学、補助を行う。 歯科放射線専門医が画像を読み、画像診断情報を画像診断報告書にて各科に提供しているところを見学する。 （実習内容） ・ X線画像撮影装置の準備を学ぶ。 ・ エックス線撮影時の頭部固定を学ぶ。 ・ 口内法撮影のフィルムの位置づけと固定を学ぶ。 ・ パノラマエックス線撮影を学ぶ。 ・ 写真の処理を学ぶ。 ・ 放射線防護を学ぶ。 ・ 被曝量の測定を学ぶ。 ・ 患者とのコミュニケーションを学ぶ。 ・ 臨床実習課題を行う。
8	口腔リハビリテーション科での臨床実習（担当：永久） 【実習：8コマ】 （概要） 摂食嚥下障害等さまざまな口腔の障害を呈した患者に対しての歯科治療および予防処置について学ぶ。口腔悪性腫瘍術後や脳血管疾患、口腔の悪習癖などの患者を対象として口腔機能の評価を行い、日常生活を送る上での機能回復に必要なリハビリテーションの実施について学ぶ。 また、機能訓練と併せて、歯科補綴治療をはじめ、歯周治療、う蝕処置などの全顎的治療についても学ぶ。 （実習内容） ・ 口腔や全身の機能が低下している患者に対する接し方を学ぶ。 ・ 口腔や全身の機能が低下している患者の歯科治療時における診療補助を学ぶ。 ・ 口腔リハビリテーションの実施に必要な口腔機能障害を学ぶ。 ・ 口腔機能獲得の指導を学ぶ。 ・ 摂食嚥下状態の評価・検査を学ぶ。 ・ 摂食嚥下障害への対応を学ぶ。 ・ 口腔機能訓練を学ぶ。 ・ 口腔機能評価ができるように実習を行う。 ・ 口腔リハビリテーション科における歯科衛生士の役割を学ぶ。
9	高齢者歯科での臨床実習（担当：有川） 【実習：12コマ】 （概要） 75歳以上の高齢者の一般的な歯科治療および義歯治療について学ぶ。 （実習内容） ・ 高齢者の特徴、治療の特徴を学ぶ。 ・ 高齢者の状態把握と対応を学ぶ。 ・ 治療に必要な薬剤・器材の準備を学ぶ。 ・ 高齢者歯科における歯科衛生士の役割を学ぶ。
10	PTS（担当：谷） 【実習：4コマ】 （概要） 診療現場においての歯科衛生士の役割を学ぶ。 インストラクターとマンツーマンで個々の習熟度に合わせた実習を行う。 （実習内容） ・ 歯科衛生の基礎となる適切なコミュニケーションを学ぶ。 ・ 歯科衛生実践への動機づけ面接を学ぶ。 ・ 歯科診療補助を見学もしくは歯科衛生士指導の下で実施する。 ・ 口腔健康管理を見学もしくは歯科衛生士指導の下で実施する。 ・ 多面的アセスメントを歯科衛生士指導の下で実施する。 ・ 歯科衛生アセスメントに基づいた歯科衛生診断を歯科衛生士指導の下で実施する。 ・ 歯科衛生課程の立案と計画に基づいた歯科衛生介入を見学もしくは歯科衛生士指導の下で実施する。 ・ インフォームドコンセント、インフォームドアセントを学ぶ。 ・ 歯科衛生介入結果の評価を歯科衛生士指導の下で実施する。 ・ 歯科衛生士業務記録を見学もしくは歯科衛生士指導の下で実施する。

11	歯科診療所実習（担当：神、島田、梶、緒方、小正、谷、大森） 【実習：84コマ】 (概要) 地域においての歯科診療所の役割や病院等の連携体制を理解し、医療安全や感染防止に配慮した上で、歯科衛生士として地域の患者（対象者）に対応する力を養う。 (実習内容) ・医療人としての倫理観を学ぶ。 ・患者への対応を理解する。 ・歯科診療所スタッフとコミュニケーションを図る。 ・歯科診療所の管理について理解する。 ・歯科診療補助、歯科保健指導、歯科予防処置業務を行う。 ・歯科診療所における歯科衛生士の役割を学ぶ。
12	リフレクション（担当教員全員） 【演習：5コマ】 (内容) 口腔保健臨床実習Ⅱにつながるように口腔保健臨床実習Ⅰの振り返りを行う。
13	症例発表（担当教員全員） 【演習：2コマ】 (内容) 症例発表（4年生合同） 4年生の総合病院での症例について合同で学習する。
14	歯学部合同実習（担当教員全員） 【実習：4コマ】 (概要) デジタルデンティストリーに対応するための多職種連携における歯科衛生士の役割を学ぶ。 (実習内容) 歯学部、口腔工学科との合同実習を行う。 口腔内スキャナーの使用方法を学ぶ。 デジタル加工された補綴物の取扱いについて学ぶ。
15	附属病院の歯科衛生士の役割 【実習：4コマ】 (概要) 附属病院における歯科衛生士の役割を学ぶ。 (実習内容) 小児歯科、矯正歯科、口腔インプラント科、高齢者歯科、総合診療科の歯科衛生士の業務を見学する。

成績評価の方法

各科の教員評価……50％
実習日誌内容評価…50％
コメントを付けて返却する。

教科書

各科の授業中の配布資料

授業外学修（予習・復習）

実習前は各臨床科目の復習を行い、実習中及び実習後には指定された課題を実施すること。
実習終了後は振り返りのために日誌作成（約2時間）をおこない、次回の実習時に各科の教員に提出する。

その他

参考資料	臨床科目の教科書 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 第2版（医歯薬出版）ISBN978-4-263-42840-5 最新歯科衛生士教本 歯科材料（医歯薬出版）ISBN978-4-263-42851-1 最新歯科衛生士教本 歯科器機（医歯薬出版）ISBN978-4-263-42850-4 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論（医歯薬出版）ISBN978-4-263-42863-4
受講生への要望等	全回出席すること。 欠席者は書類を担当者に提出し、補講を受講すること。 全てに臨床日誌は各科の担当医の印をもらいファイリングする。 実習最終回に全ての科のファイル提出あり。 態度・身嗜み・服装・準備物などにおいて不備があったり、指導を受けても改善されない場合は実習が受けられなくなります。
授業の質問対応、連絡先	各科での質問は実習指導担当の歯科医師に直接質問してください。診療科での実習内容などについては当日天満橋学舎で担当する教員に質問してください。

口腔保健臨床実習Ⅱ

更新日：2026/06/30 17:44:08

開講年度	2026	学期	通年	科目コード	316190	授業コード	4H302
担当教員	神 光一郎, 島田 明子, 梶 貢三子, 緒方 智壽子, 小正 聡, 谷 亜希奈, 寺島 雅子, 宮坂 佳代, 鶴木 叶恵, 石井 美和, 濱本 愛子						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科					
	配当時期	4年	曜日/時限	一		単位	8
	備考(配当)	必修科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31619	2○ H1○ H3◎		歯科衛生士、歯科医師

授業概要

これまでに修得した知識・技術・倫理観（態度）を踏まえ、大阪歯科大学附属病院（口腔外科、補綴咬合治療科、保存科、歯周治療科）ならびに外部病院での見学および実践実習を通して病院における歯科・歯科口腔外科の役割や機能、来院・入院する患者の疾病や歯科診療の特徴を理解する。特に附属病院では外部病院実習で必要となる歯科・口腔外科治療の知識・技術について理解を深め、実践力を身につける。さらに外部病院では、周術期における口腔衛生管理、全身疾患を有する患者に対する歯科治療について、多職種連携における歯科衛生士の役割と共に理解を深め、実践力を身につける。

到達目標

1	歯科大学附属病院ならびに病院の機能と地域での役割を理解できる。
2	歯科大学病院口腔外科、補綴咬合治療科、保存科、歯周治療科の機能や専門性、診療内容を理解できる。
3	歯科大学病院・病院歯科（口腔外科）における治療に必要なスクリーニング検査や各種検査の方法と評価を理解できる。
4	口腔外科の患者に対して歯科衛生実践を実施できる。
5	補綴咬合治療科の患者に対して歯科衛生実践を実施できる。
6	保存科の患者に対して歯科衛生実践を実施できる。
7	歯周治療科の患者に対して歯科衛生実践を実施できる。
8	病院の多職種連携（チーム医療）における歯科衛生士の役割を理解できる。
9	歯科医療従事者ならびに他職種（医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、介護士、リハビリテーション職種など）の役割を理解し協働できる。
10	病院の多職種と協働するカンファレンスにおいて歯科衛生士の専門的な立場で考えることができる。
11	全身疾患の口腔への影響と歯科的対応を理解できる。
12	服薬の口腔への影響とその歯科的対応を理解できる。
13	周術期における口腔衛生管理の意義と方法を理解できる。
14	全身管理と救急処置の実践を理解できる。
15	全身疾患を有する患者に対する安全な対応が実施できる。
16	歯科介入時のバイタル測定ができる。
17	病院歯科（口腔外科）の患者の疾患や背景の特徴を理解し歯科衛生実践が実施できる。
18	病棟患者の疾病や背景の特徴を理解した歯科衛生実践を説明できる。
19	医療安全管理における院内感染予防対策や医療事故防止対策などを歯科衛生士の役割と共に理解できる。
20	対象者や環境に合わせた適切なPPEの選択と装着ができる。
21	実際の歯科衛生実践を論理的に整理し書面化できる。
22	医療従事者に必要な倫理観を理解できる。
23	新し知識や技術を自ら探求し学ぼうとする姿勢を理解できる。
24	実習内容を省察し自己評価を通して今後の学修課題を列挙できる。
25	プレゼンテーションに必要な情報収集、資料作成ができる。
26	病院における歯科衛生実践の実際をプレゼンテーションできる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	2	18	12	148
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	オリエンテーション①【講義：2コマ】（神・寺島・島田・緒方・小正・梶・谷・宮坂・鶴木） 実習要項に沿って実習全体の説明を行う。 ・担当教員の紹介 ・受講方法の説明など ※事前課題を提出する。
---	---

2	オリエンテーション②【演習：2コマ】（神・寺島・梶・谷・宮坂） 実習病院の詳細説明を行う。 ・附属病院の診療科説明 ・外部病院の説明 ・実習病院の特徴を調べ ・実習における目標設定
3	学内実習A「口腔外科で使用する器具の取り扱い復習」【実習：2コマ】（寺島・神・島田・緒方・小正・梶・宮坂） 病院実習にあたり、歯科口腔外科で使用する器材の取り扱いを復習し、実技チェックを行う。 ・局所麻酔に必要な器具の取り扱い ・縫合に必要な器具の取り扱い ・メスの取り扱い （実技チェック）
4	学内実習B「病院歯科で使う器材の取り扱い①-バキュームテクニック編」【実習：2コマ】（寺島・神・緒方・小正・梶・宮坂） 病院実習にあたり、病院歯科で使用する器材の取り扱いを復習し、実技チェックを行う。 ・通常バキュームテクニック ・外科用バキュームテクニック ・筋鈎の取り扱い （実技チェック）
5	学内演習①「医療従事者に必要とされる倫理観」【演習：2コマ】（神・寺島・梶・宮坂） 事例検討を通して医療人に必要とされる倫理観を理解する。 ・患者の個人情報の取り扱い ・著作権について ・患者の尊厳について （グループワーク・発表）
6	学内演習②③「病院の歯科および歯科口腔外科で必要となる全身疾患の知識」【演習：4コマ】（寺島・梶・宮坂） ・病院の歯科および歯科口腔外科に来院または入院される患者の有する全身疾患について、グループごとに調べ学習を行い、その疾患の特徴、口腔内への影響、歯科治療時の配慮などをまとめる。 ・プレゼンテーション資料を作成し、口頭発表を行うことを通して知識をさらに深める。 （グループワーク・発表）
7	学内演習④「実習記録（書面化）」【演習：2コマ】（演習：前川・寺島・宮坂） 病院在籍歯科衛生士の指導の下、症例検討を通して記録作成（書面化）方法を学修する。 ・病棟における口腔衛生管理 ・外来での有病者の口腔衛生管理 ・周術期等口腔機能管理 （グループワーク・発表）
8	学内実習C「病院の口腔外科外来および病棟における口腔衛生管理」【実習：2コマ】（前川・寺島・梶・宮坂） 病院の病棟を想定した口腔衛生管理の方法を、病院在籍歯科衛生士の指導の下で相互実習を行い学修する。 ・スポンジブラシを用いた口腔衛生管理 ・バイタルサインのモニタリング （相互実習）
9	学内実習D「病院歯科で使用する器具の取り扱い復習②-練和編」【実習：2コマ】（寺島・神・緒方・小正・梶・谷・宮坂） 病院実習にあたり、病院歯科で使用する器材の取り扱いを復習し、実技チェックを行う。 ・アルジネート印象材の取り扱い ・各種セメントの取り扱い（実技チェック）
10	学内実習E「有病者を想定した印象採得の方法」【実習：2コマ】（寺島・神・緒方・小正・梶・谷・宮坂） 病院実習にあたり、有病者に対する概形印象採得時の配慮について相互実習を通して学修する。 ・脳血管疾患の後遺症による半身麻痺を有する患者 ・糖尿病による視覚障害を有する患者 （相互実習）
11	学内演習⑤「病院における多職種連携の実際」【演習：2コマ】（迫田・寺島・梶・宮坂） 病院における多職種連携がどのような専門職で構成されどのような役割を担うのかをグループワークで検討し、病院在籍歯科衛生士の講話を通して実際の多職種連携における他職種と歯科衛生士それぞれの役割の違いや関わり方について理解を深める。 （グループワーク・発表）
12	学内演習⑥「周術期等口腔機能管理の実際」【演習：2コマ】（石井・寺島・梶・大西・宮坂） 病院における歯科衛生士の役割について、病院在籍歯科衛生士からの講話を通して理解を深める。 ・チーム医療における歯科衛生士の役割 ・周術期等口腔機能管理の実際と歯科衛生士の役割 （グループワーク）
13	学内実習F「口腔清掃方法の検討」【実習：2コマ】（寺島・神・橋本・緒方・小正・梶・大西・宮坂） ・総合病院実習にあたり、患者の口腔内に合わせた清掃用具の選択、清掃方法の選択について検討する。 （相互実習）
14	総合病院実習【臨床実習：72コマ】（神・寺島・大西・宮坂・梶） ・総合病院の機能と地域での役割を理解する。 ・病院歯科または歯科口腔外科の機能や専門性、診療内容を理解する。 ・来院および入院患者の疾病や特性を通して、病態を学び、歯科診療補助時の診療の準備、手順、患者への配慮を見学および体験し理解する。 ・多職種間の協働および連携について学び、歯科衛生士の役割や求められる知識、技術を理解する。 ・周術期における口腔衛生管理の意義と方法を理解する。 ・周術期における口腔衛生管理の重要性を患者に説明する方法を理解する。 ・総合病院での医療安全管理における院内感染予防対策や医療事故防止対策などを歯科衛生士の役割と共に理解する。

15	大阪歯科大学附属病院実習【臨床実習：76コマ】（島田・緒方・小正・谷・梶・宮坂・寺島・大西） ・保存科、歯周治療科、補綴咬合治療科、口腔外科での治療内容の違いを理解し、歯科診療における知識を深める。 ・保存科、歯周治療科、補綴咬合治療科、口腔外科での歯科衛生士の役割を学ぶ。 ・歯科衛生士教員が補綴咬合治療科で直接的な学生指導を行うPTS（Professional Technical Study）実習を通して、これまでに修得した知識・技術・態度を実践で応用できる能力を身に付ける。
16	リフレクション、引継ぎ、症例発表の準備【演習：2コマ】（神・寺島・梶・大西・谷・宮坂） ・各総合病院実習で経験した実習内容を振り返り、今後の学修課題を検討する。 ・各総合病院の実習に関する取り決め、日誌の書き方などを次年度に引き継ぐ。 （グループワーク）
17	症例検討会【演習：2コマ】（神・寺島・橋本・島田・緒方・小正・梶・大西・谷・宮坂） 各総合病院実習で経験した実習内容および担当した症例を報告し、歯科衛生士としての対応方法を検討する。 （3.4年合同演習、プレゼンテーション）

成績評価の方法

学内実習評価（学内演習・実習態度、大阪歯科大学附属病院実習（日誌含む）：30％
学外実習評価（事前学習課題、総合病院実習（日誌、各種レポート含む）：70％
※個別で直接フィードバックを行う。

教科書

なし

授業外学修（予習・復習）

実習前には各臨床科目の復習を行い、各病院の地域における役割や治療内容などを調べておく（約3ヶ月前に提示）。また各病院から出された事前レポート課題（約1ヶ月前に提示）を行うこと。
実習中及び実習後には指定された課題を実施し事後レポート（約2時間）を提出すること。

その他

参考資料	各授業の教科書およびプリントなど
受講生への要望等	・全回出席して下さい。 ・受講届、各種レポートのすべての項目に各担当者より出席印をもらって下さい。 ・欠席者は登校再開後速やかに担当者に申し出て（既定の書類あり）補講を受講して下さい。 ・全ての臨床実習日誌、レポート、配布資料は各担当医または大学教員の印をもらいファイリングして下さい。全日程終了後に退出してもらいます。 ・臨床実習は、患者さんのおられる歯科医療の実践現場で行います。十分な事前準備を行い緊張感をもって実習に臨んで下さい。実習態度、身嗜み、服装、準備物などにおいて不備があり、指導を受けても改善されない場合は、患者様に多大なるご迷惑をお掛けすることとなり、インシデントやアクシデントの原因ともなりますので、現場の実習担当者と相談の上、実習を停止することがあります。 ・オリエンテーションならびに学内実習A～E、演習①～⑥、リフレクション、症例発表会は全員同日に受講して下さい。 ・学内実習Fは少人数で実施しますので、各自決められた日に受講して下さい。 ・外部病院実習は、オリエンテーション、学内実習A～F、演習①～⑥、附属病院実習をすべて受講してからの実施となります。遅刻、早退、欠席、準備物不備等で受講漏れがないように各自管理してください。 ・大阪歯科大学附属病院実習および外部病院実習については、実習施設の受け入れ人数や受け入れ期間が異なるため、個人によって実習時期が異なります。各自で日程を確認し遅刻欠席がないように管理して下さい。 ・外部病院実習は、居住地や事前の聞取り内容を考慮して配当した施設での実習となります。一度配当された日程は変更できません。
授業の質問対応、連絡先	質問は各病院の歯科医師または歯科衛生士に質問して下さい。質問はお昼休憩もしくは診療終了後に行うようにして下さい。 また、大学教員に対する質問や報告は登校日や帰校日に行ってください。

口腔保健訪問実習

更新日：2025/11/10 15:30:30

開講年度	2026	学期	通年	科目コード	316200	授業コード	4H303
担当教員	谷 亜希奈, 柿本 和俊, 藤井 孝政, 島田 明子, 小正 聡, 芦田 貴司						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科					
	配当時期	4年	曜日/時限	—		単位	1
	備考(配当)	必修科目					
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP		科目に関連する実務経験	
31620		H1○ H2◎ H3○				歯科医師，歯科衛生士	

授業概要

要介護高齢者の増加に伴い、歯科医療においては歯科訪問診療の重要性が増している。歯科訪問診療においては、歯科衛生士は歯科医師の補助だけではなく、訪問歯科衛生指導や居宅療養管理指導などを実施する重要な役割を果たす。
この科目では、歯科訪問診療の心得、機材の準備、使用法、片付けについて学習したうえで、歯科訪問診療の現場に同行し、歯科訪問診療を体験し、業務について習得する。さらに、口腔工学科の学生とともに歯科訪問診療に関するディベートを実施し、ディスカッションを行い、知識を共有する。

到達目標

1	在宅医療制度を概説できる。
2	地域包括ケアの概念を説明できる。
3	歯科訪問診療の診療内容の説明ができる。
4	歯科訪問診療の対象者と施設を説明できる。
5	歯科訪問診療における歯科衛生士の役割を説明できる。
6	訪問診療と往診の違いを説明できる。
7	歯科訪問診療での多職種の役割と連携を説明できる。
8	歯科訪問診療器材の取り扱いができる。
9	訪問診療における安全対策を実施できる。
10	歯科訪問診療における歯科衛生実践の注意点を概説できる。
11	適切な身だしなみ、言葉遣いおよび態度で対象者に接することができる。
12	歯科訪問診療の準備ができる。
13	歯科訪問診療での口腔健康管理が説明できる。
14	歯科訪問診療での歯科診療補助が説明できる。
15	歯科訪問診療後の片付けができる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	7	6	2	8
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	第1回【講義】訪問歯科診療の概説（柿本・谷） ※ 口腔保健学科、口腔工学科合同講義 ・オリエンテーション ・歯科訪問診療の目的 ・訪問診療と往診 ・歯科訪問診療の診療内容 ・歯科訪問診療でのマナー
2	第2回【講義】訪問歯科診療の対象（芦田） ※ 口腔保健学科、口腔工学科合同講義 ・歯科訪問診療の対象者 ・歯科訪問診療の施設 ・歯科訪問診療の環境 ・医療保健と介護保険

3	第3回【講義】訪問歯科診療の情報収集・準備(芦田) ※ 口腔保健学科、口腔工学科合同講義 ・患者の基本的事項 ・家庭や周囲の環境 ・口腔アセスメント ・交通手段と訪問車 ・歯科訪問診療に用いる器材 ・器材の準備 ・居宅・施設内での場所の設定 ・患者の準備
4	第4回【講義】訪問歯科診療での処置（芦田） ※ 口腔保健学科、口腔工学科合同講義 ・歯科訪問診療の対象となる疾患 ・歯科訪問診療の診療内容の実例 ・歯科訪問診療での特殊性 ・緊急時の対応
5	第5回【講義】訪問歯科診療の歯科診療補助と歯科予防処置（芦田） ※ 口腔保健学科、口腔工学科合同講義 ・ライティング ・歯科訪問診療での歯科診療補助 ・印象採得 ・歯周検査 ・スケーリング
6	第6回【講義】訪問歯科診療での口腔健康管理（芦田） ※ 口腔保健学科、口腔工学科合同講義 ・訪問歯科診療での口腔衛生管理 ・訪問歯科診療での口腔機能管理 ・居宅療養管理指導 ・訪問歯科衛生指導 ・口腔機能維持管理 ・食支援
7	第7回【講義】訪問歯科診療後の対応（芦田） ※ 口腔保健学科、口腔工学科合同講義 ・訪問先での片付け・清掃 ・介護者への説明 ・診療記録 ・帰院後の業務
8	第8回【演習】外部実習と訪問歯科診療に関するディベートの説明（柿本、藤井、島田、小正、谷） ※ 口腔保健学科、口腔工学科合同演習 ・外部実習先の説明 ・ディベートの説明 ・ディベートの班分け ・訪問歯科診療に関するテーマ選択 ・テーマの班内討議
9	第9回～10回【実習】歯科訪問診療器材の使い方：学内実習（柿本、藤井、島田、小正、谷） ※ 班別実習 ・ポータブル歯科用ユニットの設置 ・ポータブル歯科用ユニットの使用 ・ポータブル歯科用ユニットの片付け ・ポータブル歯科用ユニットの移動
10	第11～18回【臨床実習】歯科訪問診療実習：外部施設実習（柿本、藤井、島田、小正、谷） ※ 小班別実習 ・事前の情報収集 ・器材の準備 ・器材の運搬 ・器材の設置 ・車椅子の操作 ・口腔衛生管理 ・器材の片付け
11	第19回【演習】訪問歯科診療に関するディベートの準備（柿本、藤井、島田、小正、谷） ※ 口腔保健学科、口腔工学科合同演習 ・資料収集 ・立論作成 ・予想質疑対応準備 ・役割分担

12	第20～23回【演習】訪問歯科診療に関するディベート（柿本、藤井、島田、小正、谷） ※ 口腔保健学科、口腔工学科合同討議 ・立 論 ・作戦タイム ・質 疑 ・反 駁 ・最終弁論
----	---

成績評価の方法

訪問歯科診療実習に関するレポート、ディベート（発表、質疑内容、結果及びレポート）を総合的に評価する。

評価の基準は

- ・レポート..... 35%（外部実習でのレポート：30%、ディベートのレポート：5%）
- ・ディベート..... 65%

訪問歯科診療実習のレポートはコメントを付けて返却する。

ディベートについてはディベートの終了後に授業時間内に講評する。

教科書

実習要綱

授業外学修（予習・復習）

この科目が始まるまでに、「高齢者歯科学」で学修した内容を振り返ってください。

各授業回ごとに20分程度の復習が必要です。

外部施設での歯科訪問診療実習は2日間を予定しています。外部施設での歯科訪問診療実習に行く前に、必ずそれまでの授業を十分に復習しておいてください。

実習で行ったことや見学したことに関するレポートを作成してください。提出期日は、1日目の実習のレポートは2日目の実習の朝、2日目の実習当日とします。

2日目の実習でレポートの記載が時間内にできない場合は、3日以内に1号館のエントランスにある各実習施設の担当教員のポストに入れ、Mellyで報告をして下さい。

ディベートでは、テーマについて班ごとによく調査して十分に準備して臨むようにしてください。

その他

参考資料	「歯科衛生士のための訪問歯科診療ガイドブック」米山武義ほか、2018年、医歯薬出版、ISBN978-4-263-42257-1 「歯科訪問診療」前田実男、日本歯科新聞社、2018年、ISBN978-4-9315-5034-6 「在宅歯科医療 まるごとガイド」菅 武雄、永末書店、2013年、ISBN 978-4-8160-1256-3 「在宅療養者の口腔機能維持管理のための地域連携ガイドライン」 リーフレット・ガイドライン・ワーキング、大阪府、2013年
受講生への要望等	学外実習では遅刻は厳禁です。決められた身だしなみを整え積極的に実習に取り組んで下さい。
授業の質問対応、連絡先	質問等で連絡したいときは授業用SNS「melly」でお願いします。 在室時にも応対可能です。

口腔保健臨地実習Ⅱ

更新日：2025/10/04 10:07:21

開講年度	2026	学期	通年	科目コード	316210	授業コード	3H305
担当教員	前嶋 亜優子, 神 光一郎, 橋本 正則, 梶 貢三子, 寺島 雅子, 宮坂 佳代, 亀井 直子						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科					
	配当時期	3年	曜日/時限	一		単位	1
	備考(配当)	必修科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31621	2○ 5◎ H3○		歯科衛生士 歯科医師

授業概要

- ・保健センターにおける乳幼児歯科健診実習
- ・小学校における集団歯科保健指導およびフッ化物塗布実習
- ・小学校・中学校における歯科検診補助実習
- ・支援学校における歯科保健指導実習

方法：グループディスカッションを繰り返しPDCAサイクルを実践し、対象者の問題点を把握し理解を促す指導に適する言葉の使い方・指導用ツールを探索・実践・評価する。

到達目標

1	対象者に応じた口腔健康の問題点を理解できる。
2	対象者の特性と口腔保健ニーズの把握ができる。
3	対象者に応じた指導内容を計画できる。
4	対象者に応じた口腔衛生指導を実施できる。
5	口腔衛生指導実施後の振り返りと改善を実施できる。
6	小学校、中学校、高等学校（児童・生徒等）の口腔保健の実態が把握できる。
7	小学校、中学校、高等学校（児童・生徒等）を対象とした健康教育ができる。
8	フッ化物歯面塗布を実施できる。
9	フッ化物歯面塗布実施上の注意点を説明できる。
10	市町村保健センターにおける健康教育ができる。
11	障害者施設における健康教育ができる。
12	歯科衛生の基礎となる適切なコミュニケーションをとることができる。
13	適切な身だしなみ、言葉遣いおよび態度で対象者に接することができる。
14	対象者のプライバシーに配慮できる。
15	対象者情報をアセスメントできる。
16	対象者の心身の変化を観察し、安心・安楽を配慮できる。
17	多様な形式で健康教育ができる。
18	口腔衛生管理の技能を実施できる。
19	口腔機能管理の技能を実施できる。
20	歯科衛生実践を評価できる。
21	健康教育の教材を活用できる。
22	健康教育を評価できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
			2	21
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

--

1	【臨地実習：4コマ】小・中学校歯科健康診断補助実習（全担当教員・非常勤助手1名） （実習先） 柏原市内小・中学校 （対象） 小学1～6年生、中学1～3年生 （内 容） 学校歯科健診の補助 歯科健康診断票の記載時は誤りがないよう慎重におこなう。 児童の口腔内の特徴を理解して臨み、学校歯科医が個々にどのように指導しているかを学ぶ。 事後は歯科健康診断票の整理および歯科健康診断会場の片づけをする。 ＜事前に各小・中学校の養護教諭と連携を図り歯科健康診断会場の設営をし、学校歯科医と綿密な打ち合わせをする。＞
2	【臨地実習：4コマ】フッ化物塗布および歯科保健指導実習（全担当教員・非常勤助手1名） （実習先） 柏原市内小学校 （対 象） 1・2・3年生 （内 容） 口腔健康管理の説明、フッ化物塗布を行う。 歯面にフッ化物を十分に作用させるために各クラス単位で集団ブラッシング指導を実施し、フッ化物塗布をおこなう。また、塗布後はフッ化物の効果や限界について指導する。
3	【臨地実習：4コマ】視覚障がい者への歯科保健指導実習（全担当教員） （実習先） 大阪市立視覚支援学校 （対 象） 小学生・中学生・高校生・社会人 （内 容） 口腔健康管理に関わる個別での口腔衛生指導およびブラッシング指導をおこなう。 対象者が安全かつリラックスして指導を受けられるよう配慮する。 対象者とコミュニケーションを図りながら、口腔内概診を実施し、口腔内状況を把握する。 そして、対象者に適した口腔衛生指導およびブラッシング指導をおこなう。 その際に効果的なブラッシングを継続できるようモチベーション向上につながる指導をする。
4	【臨地実習：5コマ、実習：2コマ】心身に障がいのある児童・生徒への歯科保健指導実習（全担当教員・非常勤助手9名） （実習先） 大阪市内の特別支援学校 （対 象） 小学生・中学生・高校生 （内 容） 対象者の問題を把握し口腔衛生指導およびブラッシング指導をおこなうための準備を行う。口腔健康管理に関わる口腔衛生指導およびブラッシング指導をおこなう。 対象者が安全かつリラックスして指導を受けられるよう配慮する。 対象者とコミュニケーションを図りながら、口腔内概診を実施し、口腔内状況を把握する。 対象者に適した口腔衛生指導およびブラッシング指導をおこなう。 その際に効果的なブラッシングを継続できるようモチベーション向上につながる指導をする。
5	【臨地実習：4コマ】大阪市西区保健福祉センターの乳幼児健康診査の見学および歯科保健指導実習（全担当教員・非常勤助手1名） （実習先・ 大阪市西区保健福祉センター（1歳6か月児または3歳児健康診査） 対 象） （内 容） ・大阪市西区保健福祉センター ・対象者および保護者に口腔健康管理（う蝕予防とブラッシングスキル）に関する歯科保健指導演習・見学をおこなう。 ・健診記録の実践を行う。 ・歯科健康診査およびフッ化物塗布を見学し、市町村保健センターで従事する歯科医師・歯科衛生士の役割について学ぶ。 母子保健法に基づく市町村保健センターで実施される健康診査要領の概要および乳幼児の成長発達段階を理解して臨む。

成績評価の方法

- ・実技試験.....80%
- ・取り組み姿勢.....10%
- ・日誌.....10%

※実習日誌は活動日に提出し、コメントをつけ返却。訂正がある場合は返却された日に再度提出する。

教科書

なし

随時資料を配布する（臨地実習ファイルを実習終了後提出するのでファイリングすること）

授業外学修（予習・復習）

事前学習 30分以上の実習活動班での綿密な事前打ち合わせ。

事後学習 実習での学びを振り返り日誌に書面化することで知識として定着させる。

その他

参考資料	歯科衛生士教育サブテキスト 臨地実習ハンドブック（クインテッセンス） ISBN：4781201083
------	--

受講生への要望等	実習オリエンテーションのルールを守ってください 全回、実習記録・日誌の提出を必ず行い、引率教員からの終了印を受けてください。 実習期間中、健康管理を怠らないように気を付けてください。 万が一現場に遅れる場合は、遅れる事態がわかった時点で活動班のメンバーにすぐ連絡し、当日朝引率教員にも連絡をしてください。 態度・身嗜み・服装・準備物などにおいて不備があったり、指導を受けても改善されない場合は実習が受けられなくなることもありますので気を付けてください。 実習の時期は実習先の都合により変更することがありますので順番は異なることがあります。 感染症流行の状況により実習先は変更になることがあります。 上記施設のいずれかで規定日数の出席・日誌完成が単位取得の要件となります。
授業の質問対応、連絡先	授業用SNS「melly」または教員室にて対応します

歯科診療補助実習Ⅳ

更新日：2026/01/08 21:10:30

開講年度	2026	学期	通年	科目コード	316220	授業コード	4H304
担当教員	寺島 雅子, 谷 亜希奈, 小正 聡, 藤田 暁, 藤田 淳一, 岡 隼人, 辻 則正, 谷本 啓彰, 奥村 瑛恵子						
備考	アクティブラーニング						
配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科					
	配当時期	4年	曜日/時限	－	単位	1	
	備考(配当)	必修科目					
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP		科目に関連する実務経験	
31610		1◎ H1○ H3○				歯科医師、歯科衛生士	

授業概要

歯科診療補助実習Ⅳでは、歯科診療補助論Ⅰ・実習Ⅰ～Ⅲで修得した知識・技能を基盤に、多職種や外国人の視点を取り入れた学びを通して高度な診療補助能力を身に付ける。また、グローバル化の進む歯科医療現場に対応できる能力を身に付ける。

到達目標

1	有病高齢者に対する安全かつ効率的な診療の補助ができる。
2	外国人患者を想定した概形印象採得実施のための英会話文が作成できる。
3	外国人患者を想定した概形印象採得時の診療の補助ができる。
4	術者（歯科医師）の視点で感染根管治療における安全かつ効率的な診療の補助ができる。
5	術者（歯科医師）の視点で根管充填における安全かつ効率的な診療の補助ができる。
6	患者の視点で歯科補助時の配慮が考えられる。
7	術者（歯科医師）の視点で補綴治療における安全かつ効率的な診療の補助ができる。
8	製作者（歯科技工士）の視点で作業を円滑にする石膏模型の製作ができる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	1	3	11	
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	1.2【実習：2コマ】直接修復実習（谷・寺島・他4人） 有病高齢者の配慮事項を理解し、安全かつ効率的な歯科診療の補助を考察し習得する。 ・有病高齢者に対する義歯製作時の歯科診療補助 ・有病高齢者に対する義歯装着時の患者指導
2	3.4【講義、演習：2コマ】英語での歯科診療の補助業務①（藤田淳一・岡・寺島・谷・他4人） ・概形印象採得時の患者に合わせた声掛けの列挙 ・概形印象採得時に必要な声掛けの英会話文の作成
3	5.6【実習：2コマ】英語での歯科診療の補助業務②（藤田淳一・岡・寺島・谷・他4人） ・英会話を使用しての患者誘導 ・英会話を使用しての処置説明（ナイトガード用の上顎概形印象採得） ・英会話を使用しての概形印象採得 ・動画撮影
4	7.8【実習：2コマ】歯内治療実習①（辻・寺島・谷・他4人） 模型歯を用いて、術者・補助者として直接修復実習を行うことで、歯科医師の視点を理解し、安全かつ効率的な診療の補助を考察し習得する。 ・感染根管治療 ・レポート作成
5	9.10【実習：2コマ】歯内治療実習②（辻・寺島・谷・他4人） 模型歯を用いて、術者・補助者として直接修復実習を行うことで、歯科医師の視点を理解し、安全かつ効率的な診療の補助を考察し習得する。 ・根管充填 ・レポート作成
6	11.12【演習：2コマ】対象者の多様な視点を理解する（寺島・谷・他2名） 歯科受診に対して精神的・身体的不安を抱えている人（家族や知人）にインタビューを行い、どのような対応が必要であるかを考察する。
7	13.14【実習：2コマ】支台築造実習（小正・寺島・谷・他4人） 模型歯を用いて、術者・補助者として直接修復実習を行うことで、歯科医師の視点を理解し、安全かつ効率的な診療の補助を考察し習得する。 ・支台築造 ・レポート作成
8	15【実習】石膏模型の製作（寺島・谷・他4人） ・13、14回で採得した印象体を用いて、石膏模型を作成する

成績評価の方法

- ・小テスト.....30%
- ・実技チェック…30% 1.2.5.6.7.8.9.10回は実技の相互チェックを行う。
- ・成果物 ……40% 発表、英語原稿、英語動画、印象体、石膏模型

教科書

最新歯科衛生士教本 「歯科診療補助論」 医歯薬出版（ISBN978-4-263-42840-5）
今までに配布したプリントを綴じたファイル

授業外学修（予習・復習）

臨床実習で学習したことを振り返って、不足している知識を30分以上は調べ学習しておくこと。

その他

参考資料	なし
受講生への要望等	全回出席すること。 欠席者は講義担当者に申し出て次回講義までに補講を受講すること。 配布資料は全てファイリングする。
授業の質問対応、連絡先	少しの質問であれば授業用SNS「melly」を利用してください。それ以外は直接研究室に来てください。

医学一般Ⅰ

更新日：2025/09/30 11:14:52

開講年度	2026	学期	前期	科目コード	318010	授業コード	30103
担当教員	大久保 直						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科， 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	3年	曜日/時限	一	単位	1
	備考(配当)	必修科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31801	H1◎ H2○	E1◎ E2○	医師

授業概要

医学とは、人間を病気から解放し健康に保つための学問である。遺伝子、細胞、器官レベルの解剖学・生理学・生化学の基礎の上に成り立ち、臨床医学と社会医学が含まれる。歯科医療専門職として仕事を行う上で、口腔内のみならず、全身の解剖学、生理学、生化学、更に各種疾患・病態の理解が必須になる。また医師や看護師などさまざまな他の医療専門職との円滑なコミュニケーションをとるうえで、医学的知識を共有することは必須である。本講義では、基礎医学の理解の上に、病気の分類と各疾患の説明を行う。

到達目標

1	基礎医学について説明できる。
2	臨床医学の各論について説明できる。
3	多職種連携において主体的に関われる能力を身につける。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】医学の基本と歴史 医学の基本と歴史について解説する。古代ギリシャ⇒ルネッサンス⇒近代と時系列に沿って、西洋医学の発展について講義形式で解説する。
2	【講義】人体の構造と機能 人体の解剖学・生理学について解説する。すでに2年生までに学んでいる内容ではあるが、復習を兼ねて、講義形式で学習する。細胞、組織、器官レベルで人体の構造と機能を見直す。
3	【講義】環境・文化と人間の健康 環境・文化と人間の健康について講義形式で解説する。公害や環境破壊についても説明する。
4	【講義】病気の基本 病気の原因を発症原因別、障害別、発症部位別に分け講義形式で説明する。また症状学や病理学にも言及する。
5	【講義】病因・病態別の病気の分類 病因・病態別に病気を分類し、解説する。遺伝病、外傷、感染症、アレルギー、腫瘍、代謝障害、変性などに分けて講義形式で説明する。
6	【講義】器官別の病気各論 (1) 器官別の病気各論を講義形式で説明する。(1)では、消化器、呼吸器、循環器に関する病気を取り扱う。
7	【講義】器官別の病気各論 (2) 器官別の病気各論を講義形式で説明する。(2)では、腎臓・泌尿器、血液、神経、精神科に関する病気を取り扱う。
8	【講義】器官別の病気各論 (3) 器官別の病気各論を講義形式で説明する。(3)では、皮膚、小児、高齢者、外科、整形外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科に関する病気を取り扱う。

成績評価の方法

科目試験100%

教科書

医学概論：医学のコンセプトと医療のエッセンス / 中島泉 南江堂 2015 ISBN:978-4-524-26751-4

授業外学修（予習・復習）

生理学、病理学、細菌学などの教科書を読みなおすこと。
予習・復習は、それぞれ30分程度行うこと。

その他

参考資料	生理学、解剖学、組織学などの2年次までの使用教科書
受講生への要望等	なし
授業の質問対応、連絡先	「melly」で対応します。

--	--

医学一般Ⅱ

更新日：2025/09/30 11:18:13

開講年度	2026	学期	後期	科目コード	318020	授業コード	30201
担当教員	大久保 直						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科， 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	3年	曜日/時限	一	単位	1
	備考(配当)	必修科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31802	H1◎ H2○	E1◎ E2○	医師

授業概要

医学とは、人間を病気から解放し健康に保つための学問である。遺伝子・細胞・器官レベルの解剖学・生理学・生化学の基礎の上に成り立ち、臨床医学と社会医学が含まれる。歯科医療専門職として仕事を行う上で、口腔内のみならず、全身の解剖学、生理学、生化学、更に各種疾患・病態の理解が必須になる。また医師や看護師などさまざまな他の医療専門職との円滑なコミュニケーションをとるうえで、医学的知識を共有することは必須である。本講義では、医学一般Ⅰに引き続き、病気の診断、治療と予防、医療の基本、医療の現場、公衆衛生学、医療法規などについて解説する。

到達目標

1	臨床診断学について説明できる。
2	医療関連の多職種連携に、主体的に関わることができる。
3	社会医学について説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】病気の診断 臨床診断学について解説する。生化学検査、血液学検査、微生物検査、遺伝子検査、画像診断、病理検査などについて講義形式で説明する。
2	【講義】病気の治療と予防 治療学総論・各論と予防医学について講義形式で解説する。
3	【講義】医療の基本 医療に関わる関係職種およびチーム医療について講義形式で解説する。
4	【講義】主要な病因・病態に対する医療の枠組み 主要な病因・病態に対する医療の枠組みを、診断・治療・予防に分けて講義形式で説明する。
5	【講義】一般診療における医療 診療科ごとに医療現場のありかたを講義形式で解説する。救急医療や総合診療などの診療科横断的な科についても説明する。
6	【講義】公衆衛生学と予防医学 疫学や公衆衛生学、健康診断・予防接種について講義形式で解説する。特に感染症や予防医学との関連について解説する。
7	【講義】社会の医療情勢と医療体制 現在の医療情勢と医療体制について講義形式で解説する。医療教育についても解説する。
8	【講義】医療法規と医療行政 医療法規・社会保障制度・医療施策について講義形式で解説する。医療経済との関係も説明する。

成績評価の方法

科目試験100%

教科書

医学概論：医学のコンセプトと医療のエッセンス / 中島泉 南江堂 2015 ISBN:978-4-524-26751-4

授業外学修（予習・復習）

日本の医療制度・医療法制に関わる資料を読んでおく。
予習・復習はそれぞれ30分程度行うこと。

その他

参考資料	厚生労働省ホームページで現在の日本の医療に関する資料を読んでおくこと
受講生への要望等	なし
授業の質問対応、連絡先	「melly」で対応します。

--	--

医療コミュニケーション学

更新日：2025/10/02 20:33:23

開講年度	2026	学期	前期	科目コード	318030	授業コード	20110
担当教員	前嶋 亜優子, 中塚 美智子, 藤井 孝政, 米澤 美保子, 亀井 直子, 宮坂 佳代, 方 思棋, 黄 育清						
備考	アクティブラーニング						
配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	2年	曜日/時限	—		単位	1
	備考(配当)	必修科目					
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP		科目に関連する実務経験	
31803		1○ 2◎		1○ 2○ E4◎		歯科医師・社会福祉士・歯科衛生士	

授業概要

歯科医療従事者は、医療の現場において多くの患者に接し、対応する。そのためには患者の心理状態を知り、適切なコミュニケーションをできる能力が必要です。

本教科では、患者と遭遇する様々な歯科医療の現場において、適正かつ迅速に対処できるようコミュニケーションの特性を学び、また実践できる能力を得ることを目的とします。

授業は講義及び演習を主体に行います。

到達目標

1	医療者がもつべき倫理観・態度が説明できる。
2	コミュニケーションの基本的なスキルが説明できる。
3	状況に即したコミュニケーションができる。
4	共感力を高めるために行うことが説明できる。
5	医療面接の概要を説明できる。
6	歯科衛生実践への動機づけができる。
7	医療コミュニケーションの方法を理解している。
8	医療面接においてコミュニケーションがとれる。
9	対象者と良好な関係を形成できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	4	4		
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	0	0		

授業計画

1	【講義】医療者がもつべき倫理観・態度（１）（中塚） 医療コミュニケーションの土台となる医療者の倫理 医療プロフェッショナリズムの定義 ロジカルシンキングの定義
2	【講義】医療者がもつべき倫理観・態度（２）（中塚） プロフェッショナリズム・アイデンティティの定義 形成ロジカルシンキングの実践
3	【講義】コミュニケーションの基本的なスキル（１）（米澤） 援助関係の形成
4	【講義】コミュニケーションの基本的なスキル（２）（米澤） 面接技法
5	【演習】状況に即したコミュニケーション１（前嶋・藤井・宮坂・亀井・方） テーマに沿ったグループディスカッション①
6	【演習】状況に即したコミュニケーション２（前嶋・藤井・宮坂・亀井・方） テーマに沿ったグループディスカッション②
7	【演習】状況に即したコミュニケーション３（前嶋・藤井・宮坂・亀井・黄） 医療面接演習① 動機づけ面接
8	【演習】状況に即したコミュニケーション３（前嶋・藤井・宮坂・亀井・黄） 医療面接演習②

成績評価の方法

小テスト 40%、演習の参加度 40%、レポート課題 20%
ただしコロナの状況により、演習の比率が下がる可能性があります。

試験やレポート等は、授業時にフィードバックします。

教科書

なし

授業外学修（予習・復習）

毎回復習をしてきてください。特に演習時に復習は必須です。復習に90分をあててください。

その他

参考資料	歯科衛生学シリーズ歯科予防処置論・歯科保健指導論第2版 以下は図書館で参照してください。 中村 俊/こころが動く医療コミュニケーション読本 内山 靖ほか/コミュニケーション論・多職種連携論 中野信子ほか/正しい恨みの晴らし方 南山堂/メディカルスタッフのための基礎からわかる人間関係論 マガジンハウス社/伝わるしくみ 医学書院/系統看護学講座 人間関係論 篠原出版/医療コミュニケーション 大修館/ヘルスコミュニケーション学入門 チーム医療/わかりやすい交流分析1 医療タイムス社/医療の接遇 大修館/行動変容のためのヘルスコミュニケーション 和田仁孝ほか/医療メディーエーション 医療タイムス社教育研修事業部/医療の接遇 廿日出庸治/患者に寄り添う医療コミュニケーション 國頭英夫/死にゆく患者(ひと)と、どう話すか Lloyd,M./事例で学ぶ医療コミュニケーション・スキル 水木さとみ/歯科医療コミュニケーション 小澤竹俊/死を前にした人にあなたは何かができますか？" 日本医療マネジメント学/臨床事例で学ぶコミュニケーションエラーの“心理学的”対処法 山本美保/医療現場の人間関係につまずき「ナース向いてないかも…」と思う前に試してみたいコミュニケーション術25 上谷 実礼/ナースのためのアドラー流勇気づけ医療コミュニケーション:メンタルヘルスの専門家・ミレイ先生が人間関係の悩みを解決！ 三瓶舞紀子/看護の現場ですぐに役立つ 患者接遇のキホン (ナースのためのスキルアップノート) 浅野 マリ子/笑顔の力 病院ボランティア経験でわかったコミュニケーションメソッド 園部浩司/ファシリテーション超技術 井上真一郎/「大人の発達障害」トリセツのつくりかた 島崎敢/心配学「本当の確率」となぜずれる？ 宮口幸治/ケーキの切れない非行少年たち 杉山登志郎/子ども虐待という第四の発達障害
受講生への要望等	机上で学ぶだけでなく実践することでコミュニケーションスキルは向上します。日頃からコミュニケーションを積極的に取るよう意識してください。
授業の質問対応、連絡先	質問等で連絡したいときは授業用SNS「melly」でお願いします。

臨床検査学

更新日：2026/02/10 13:45:15

開講年度	2026	学期	後期	科目コード	318040	授業コード	30202
担当教員	楠 博						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	3年	曜日/時限	一		単位	1
	備考(配当)	必修科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31804	H1◎ H2○	E1◎ E2○	医師

授業概要

歯科学領域では、主に口腔外科関係の診療科を受診する患者に対して、手術や麻酔の安全性を確認するために各種の臨床検査（血球計測、尿検査、血清生化学検査、止血凝固検査、呼吸機能検査、心電図、胸部レントゲン検査など）が行われる。また感染症の診断や院内感染防止の目的で細菌検査やウイルス検査も日常的に実施されている。さらに腫瘍性病変の診断には病理検査が欠かせない。これから歯科衛生士・歯科技工士を目指す学生諸君にとって、臨床検査学の概要を知っておくことは極めて重要である。本授業では、疾患別に臨床検査学の概要を学習する。

到達目標

1	臨床検査の概要が説明できる。
2	感染症検査・病理検査について検体処理方法が説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	8			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】臨床検査学総論、循環器疾患の検査 臨床検査とはどういうものかを説明する。臨床検査の意義と誤差について総説する。血液検査、尿検査、超音波（血管、腹部、心臓など）、画像（CT、レントゲン、MRIなど）、細菌検査、病理検査、心電図、シンチグラムなどについて各論を概説する。 次に循環器疾患とは、心臓、血管に関係する疾患である。最も基本的な検査は、心電図、心エコーであるが、さらに詳細に検査するには運動負荷心電図、心筋シンチ（安静時および運動負荷時）を実施する必要がある。血液検査からは、心筋逸脱酵素（WBC,GOT,LDH,H-FABP,Trop-T）などが参考になる。虚血性心疾患の鑑別には冠血管造影検査、心臓CTなどが用いられる。循環器疾患には感染症（感染性心内膜炎など）や膠原病（大動脈炎など）も含まれる。それらの説明も行う。また循環器疾患の治療法・予防法にも言及する。
2	【講義】呼吸器疾患の検査、消化管疾患の検査 呼吸器疾患とは肺・気管・気管支に関係する疾患である。最も基本的な検査は、胸部レントゲン、胸部CT、呼吸機能検査である。さらに詳細な検査として運動負荷心肺機能検査がある。気管支喘息などのアレルギー性疾患に対しては、IgE,IgE RAST抗体なども補足的に用いられる。細菌性肺炎に対しては、喀痰培養などの細菌学的検査が、肺がんなどの悪性腫瘍に対しては病理細胞診、病理組織診が有効である。また呼吸器疾患の治療法・予防法にも言及する。 次に消化管とは、口腔―食道―胃―十二指腸潰瘍―小腸―大腸とつながる管腔臓器である。最も基本的な検査は、造影検査、立位腹部単純レントゲン、腹部CTなどの画像検査であるが、最近は消化管エコー検査も多用されてきている。より詳細な形態学検査として、上部・下部消化管内視鏡も用いられる。また細菌感染症のための便培養、悪性腫瘍のための病理細胞診なども用いられる。また消化管疾患の治療法・予防法にも講義形式で言及する。
3	【講義】肝・胆・膵疾患の検査 消化器の中で消化管以外の実質臓器として肝・胆・膵があげられる。最も基本的な検査として、腹部CT、腹部エコーがあげられる。より詳細な検査としてERCPなどもある。生化学検査としての、肝酵素（AST,ALT）、胆道系酵素、消化酵素（アミラーゼなど）も重要である。悪性腫瘍のための病理組織診も用いられる。肝・胆・膵疾患の治療法・予防法にも講義形式で言及する。
4	【講義】感染症の検査、血液・造血器疾患の検査 感染症は、起炎菌から細菌性、ウィルス性に大きく分けられる。当然ながら、塗抹・培養による細菌学的検査が主になるが、検体として、喀痰・尿・便・血液などから選択する必要がある、そのためには感染症を起こしている部位の特定が必須である。そのためには、胸腹部レントゲン、胸腹部CT、腹部エコーなどによる形態学的検査や生化学・末梢血検査・尿検査などによる感染の有無や場所の同定も重要である。感染症の治療法・予防法にも言及する。 次に血液疾患は、大きく分けて赤血球疾患、白血球疾患、血小板疾患に大別される。診断に関わる臨床検査として、末梢血検査、マルク骨髄検査などがあげられる。血液疾患の治療法・予防法にも講義形式で言及する。
5	【講義】内分泌疾患の検査、腎・泌尿器疾患の検査、体液・電解質・酸塩基平衡の検査 内分泌疾患とは、視床下部・甲状腺・副甲状腺・副腎・精巣・卵巣などの内分泌臓器における疾患の総称であり、大きく機能亢進症と機能低下症に分類される。内分泌疾患に関わる臨床検査としては、CT、MRIなどの形態学的画像検査、腹部エコーなどの超音波検査、生化学検査、ホルモン負荷試験などがあげられる。疾患の治療法・予防法にも講義形式で言及する。 腎臓・泌尿器疾患は、腎臓・尿管・膀胱・尿路に関係する疾患であり、診断に関わる検査として、生化学検査、尿検査、骨盤CT、エコー検査などに加え、尿培養、尿細胞診などがあげられる。詳細な検査として、膀胱鏡、腎生検なども挙げられる。

6	【講義】体液、電解質、酸塩基平衡の検査、神経・運動疾患の検査 電解質・酸塩基平衡に関しては、血液ガス検査などがあげられる。疾患の治療法・予防法にも講義形式で言及する。 神経・運動運動疾患とは、神経・筋肉・骨関節などに関係する疾患であり、臨床検査として、MRI・CT・超音波などの形態学的検査、脳波・筋電図などの機能検査、筋原性酵素などの生化学検査を含む。
7	【講義】膠原病・免疫・アレルギー疾患の検査、代謝・栄養疾患の検査 膠原病・免疫・アレルギー疾患に関する臨床検査として、各種特異抗体、生化学検査などが含まれる。これらの疾患の治療法・予防法にも講義形式で言及する。 また代謝・栄養疾患とは、糖尿病・脂質異常症などの内分泌臓器異常あるいは標的臓器異常に起因する疾患である。CTなどの形態学的検査のみならず、生化学検査、ホルモン検査などが用いられる。
8	【講義】感覚器疾患の検査、中毒の検査、遺伝子・染色体異常の検査、悪性腫瘍の検査 感覚器疾患とは、眼科・耳鼻科疾患を含み、CTなどの形態学検査や視力・視野・聴力検査などの機能検査を含む。これらの疾患の治療法・予防法にも言及する。 遺伝子・染色体異常の検査には、遺伝子（DNA,RNA）および染色体の検査が含まれる。また悪性腫瘍検査には、各種検体からの細胞診、組織診および腫瘍マーカーなどが用いられる。これらの疾患の治療法・予防法にも講義形式で言及する。

成績評価の方法

科目試験100%

教科書

臨床検査医学総論 / 矢富裕 医学書院 2012 ISBN:978-4-260-01508-0

授業外学修（予習・復習）

テキストを熟読すること。画像アトラスやスライド（病理、微生物、病理など）を見ておくことも重要。
予習・復習にはそれぞれ、2時間程度行うこと。試験後のフィードバックは、補講や質疑応答で行う。

その他

参考資料	病気がみえる CT・MRI画像解剖ポケットアトラス 第4版 I巻 頭部・頸部 単行本 感染症ブラチナマニュアル
受講生への要望等	臨床検査学には、血液検査、尿検査、画像検査（レントゲン、CT、MRIなど）、超音波検査、病理検査、細菌検査など多くの内容を含みます。検査所見の解釈などに精通しておくことで、歯科衛生士や歯科技工士の業務に興味がわくことでしょう。
授業の質問対応、連絡先	楠 博 講義終了後またはメール kusunoki1019@yahoo.co.jpへ。

医科歯科連携学

更新日：2025/07/30 13:31:20

開講年度	2026	学期	前期	科目コード	318050	授業コード	30104
担当教員	糸田 昌隆, 高井 裕二						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	3年	曜日/時限	一		単位	1
	備考(配当)	必修科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31805	H1○ H2◎	E1○ E2◎	歯科医師

授業概要

保健・医療・福祉・介護現場において歯科と医科が緊密な連携を行い、相互の情報を共有し、多職種によるそれぞれの専門的知識と対応による相乗効果によって、患者を中心とした質の高い医療と安心と満足度の高い医療の提供が可能となる。今授業では歯科衛生士、歯科技工士として多職種と協働する際に必要な知識とチーム医療の重要性を理解し、医療従事者との連携を図る知識を学修する。多職種連携に関して、各医療職に分かれグループで職種についての役割りを協議し、症例についてグループ発表者による模擬カンファレンスを実施する。授業教材は適宜資料を配布する。

到達目標

1	保健・医療・福祉の連携を理解し、歯科衛生士、歯科技工士として役割と介入効果を説明できる。
2	多職種の役割とその介入内容の概要を説明できる。
3	他の医療従事者に必要に応じて援助を求める基準を説明できる。
4	地域の保健、医療、福祉と介護活動とネットワークの状況を説明できる。
5	各種医療・介護評価法を説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	5	3		
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】ガイダンス糸田 ・多職種連携の必要性と意義 ・多職種連携の種類 ・現在の医療政策、介護政策、福祉政策 ・医療保険・介護保険の概要
2	【講義】チーム医療での歯科衛生士・歯科技工士の役割 糸田 ・多職種連携効果のエビデンス ・歯科技工士のが行う連携とは。 ・歯科衛生士が医療介護連携を行うエビデンス
3	【講義】医療・介護・福祉コミュニケーション論基礎編Ⅰ 高井 ・各医療・介護・福祉関係職種 ・医療・介護保険・福祉政策における患者・利用者・対象者とのコミュニケーション法
4	【講義】医療・介護・福祉コミュニケーション論基礎編Ⅰ 高井 ・各医療・介護・福祉関係職種の ・医療・介護保険・福祉政策における患者・利用者・対象者とのコミュニケーション法
5	【講義】医療連携ツールと多職種が用いる代表的評価法と医療カンファレンス 糸田 ・地域連携クリティカルパスについて ・IT活用やデータ集積について ・FIM ・Bathel Index ・ハリスベネディクト ・MNA－SF ・歯科医療者を必要とするカンファレンス ・各カンファレンスの内容と意義 ・etc
6	【演習】ケーススタディーⅠグループワーク：各職種の役割りの協議（リハビリテーション対象症例提示・低栄養など）糸田 ・模擬カンファレンス1 ・模擬カンファレンス2

7	【演習】ケーススタディーIIグループワーク：各職種によるカンファレンス発言内容の協議（嚥下障害と脳卒中） 糸田 ・模擬カンファレンス3 ・口腔ケア・リハビリテーションの立案 各グループで作成したカンファレンスでの発表内容についてまとめを提出する。また模擬カンファレンス終了時に、症例の解説と発表内容の講評を行う。
8	【演習】ケーススタディーIII（終末期の栄養法と在宅への退院症例） 糸田 ・模擬カンファレンス4 ・終末期患者の問題点について ・終末期口腔管理の口腔介入法の検討 各自が考えた、終末期患者への対応や考え方をまとめ提出する。

成績評価の方法

第1回から8回までの内容に関する提出物の採点50%、グループワークへの参加の評価を30%、プレゼンテーションの評価を20%で行う。提出物について、提出直後に解説する。

教科書

授業に際し適宜資料を配布する。

授業外学修（予習・復習）

自身の生活の中で、周囲の医療・介護等々に関する情報や活動に興味を持ち、興味を持ったことについて調べておく。また授業内容で学んだことと、自身で調べた内容がどのように関連・連携しているかを考察すること。特に医科歯科連携実習に必要な知識について予習をしておくこと（予習・復習 各30～60分程度）。

その他

参考資料	「慢性期医療認定講座テキスト」日本慢性期医療協会慢性期医療認定委員会ほか 厚生科学研究所 2009 (ISBN978-4903368153)
受講生への要望等	身の回りの医療・介護・福祉分野にアンテナをはり、情報を収集すること。
授業の質問対応、連絡先	随時受け付ける。またはEM：m.itoda89@gmail.com まで質問要旨をまとめ送ってこと。

医科歯科連携学実習

更新日：2026/07/10 11:43:25

開講年度	2026	学期	通年	科目コード	318060	授業コード	30301
担当教員	島田 明子, 糸田 昌隆, 梶 貢三子, 緒方 智壽子, 小正 聡, 大森 あかね, 谷 亜希奈, 宮坂 佳代, 永久 景那, 今井 美季子, 貴島 真佐子, 藤田 暁, 中井 知己, 鶴木 叶恵						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科, 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	3年	曜日/時限	—	単位	1
	備考(配当)	必修科目				
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP		科目に関連する実務経験
31806		H2◎ H3○		E2◎ E3○		歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士、 各職種実務経験10年以上

授業概要

円滑なチーム医療が行える歯科医療者を目指し、医療施設での多職種連携の中での歯科衛生士/歯科技工士の役割と、多職種の業務内容を理解することを目的とする。医科歯科連携学を第3学年、前期で学習した基本知識をもとに、実際の大阪歯科大学附属病院・その他外部施設での歯科医療の可能性や必要性を実践可能な多職種の連携（多職種でのカンファレンスなど）について考える。また社会福祉コース履修者は社会福祉士の医療の中での役割を考える。

到達目標

1	医療現場における多職種連携医療を歯科医療従事者（歯科衛生士・歯科技工士および社会福祉士）の視点で説明できる。
2	多職種の役割を説明できる。
3	各種カンファレンス、ミーティングの役割りと意義を説明できる。
4	医療圏域と地域包括ケアシステムにおける病院・施設の機能と役割りを説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	4	2	10	
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	第1回 オリエンテーション【講義】 オリエンテーション【講義】 ・実習の概要 ・多職種連携とは ・附属病院、実習施設の概要と注意事項
2	第2・3回 医事課および地域連携室，受付業務などの見学【実習】 ・地域連携室および診療科受付業務見学 ・地域連携室の役割（地域連携室の業務：病院間連絡業務など、歯科衛生士と歯科技工士との関わりを考える） ・社会福祉士の役割りを考える（歯科医療連携での社会福祉士の役割りの考察）
3	第4～7回 院内オリエンテーションと院内医療業務の流れの理解【実習】 ・NST（Nutrition Support Team）の活動・カンファレンスなどの見学 ・ICT（Infection Control Team、感染対策チーム）の活動・カンファレンスなどの見学 ・その他、院内での多職種連携現場の活動の目的や、カンファレンスの見学など
4	第8～11回 病院での多職種連携（NST，ICT，その他）のカンファレンスの見学【実習】 ・各種リハビリテーション（理学療法、作業療法、言語聴覚療法）の見学 ・周術期口腔機能管理の見学 ・各種カンファレンスの見学
5	第12回 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の役割【講義】 ・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の業務 ・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が行うリハビリテーション ・歯科と各療法士との連携
6	第13回 看護師・管理栄養士の役割【講義】 ・看護師の業務 ・看護師が行う連携 ・歯科と看護師との連携 ・管理栄養士の業務 ・管理栄養士と栄養士 ・食支援と口腔健康管理/口腔内装置
7	第14回 医療職・社会福祉系・院内事務職の業務の理解【演習】 ・嚥下カンファレンスあるいは嚥下支援チームの活動見学（VF検査、VE検査、臨床検査、栄養課・厨房施設の見学） ・地域連携室の業務見学と役割の理解，病院事務の業務の理解 ・質疑応答とレポート作成

8	第15回 多職種によるカンファレンスと医科歯科連携演習【演習】 ・新入院評価・モニタリング ・嚥下カンファレンス ・NSTカンファレンス・ラウンド ・褥瘡回診など 歯科衛生士/歯科技工士と医科歯科連携 ・医科歯科連携における歯科衛生士の役割 ・医科歯科連携に求められる歯科衛生士の資質 ・医科歯科連携における歯科技工士の役割 ・医科歯科連携に求められる歯科技工士の資質
---	---

成績評価の方法

実習中の態度(20%)、日々の日誌およびレポート(80%)で評価する。医療現場であり、多職種協働の現場にでるため現場にそぐわない態度・意欲がみられた場合、実習中止・失格とする場合もある。これらを総合的に判断し評価を行う。

教科書

なし

授業外学修（予習・復習）

医科歯科連携学で配布した資料を都度確認すること。実習終了後に見学内容について日誌およびレポートを作成し提出すること。予習1時間程度（医科歯科連携学講義の確認と、実習現場の専門職種の役割など）

その他

参考資料	「地域包括ケアを支える医科歯科連携実践マニュアル」日本リハビリテーション病院・施設協会 口腔リハビリテーション推進委員会 三輪書店 2014 (ISBN978-4895904940) 「慢性期医療認定講座テキスト」日本慢性期医療協会慢性期医療認定委員会ほか 厚生科学研究所 2009 (ISBN978-4903368153)
受講生への要望等	多職種との連携ツール、共通言語は何かを確認すること。 実習施設では現場にそぐわない態度・意欲がみられた場合、実習中止・失格とする場合がある。
授業の質問対応、連絡先	学内等々で随時受けつける。 学内では糸田まで、質問事項をまとめメールまたは教員へ書面または口頭で質問して下さい。 e-mail：m.itoda89@gmail.com

臨床運動生理学

更新日：2025/07/30 13:31:21

開講年度	2026	学期	前期	科目コード	318070	授業コード	30105
担当教員	糸田 昌隆						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科， 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科					
	配当時期	3年	曜日/時限	一		単位	1
	備考(配当)	必修科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31807	H1◎ H2○	E1◎ E2○	歯科医師

授業概要

運動生理学とは、運動を行うことによって身体にどのような変化・現象を生じるかを知る学問であり、臨床運動学とは疾患や、疾患によってもたらされる正常とは異なる変化・現象を知るものである。臨床運動生理学とは、超高齢社会の疾構造に対応できる歯科衛生士が行う生活指導の基となる学問で、慢性期の疾患の予後を良好な状況に保つための運動処方と栄養処方などの基礎を学修する機会とする。講義の形式は、配信と対面授業を組み合わせ、スライドを用いて行う。資料はPDFデータで配布する。

到達目標

1	運動を説明できる
2	運動療法について説明できる
3	筋活動のメカニズムを説明できる
4	呼吸の役割を説明できる
5	呼吸と循環の関係を説明できる
6	慢性疾患と運動処方・栄養処方について説明できる

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	7	1		
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】ガイダンス、臨床運動生理学と臨床上の疾患の関わり 糸田 ・生理学と臨床運動生理学 ・運動生理の原則（ルーの法則など） ・運動とは ・慢性疾患の日本での現状 ・慢性疾患とは ・運動と慢性疾患 ・運動の種類
2	【講義】運動と筋骨格系 糸田 ・細胞の構造と役割 ・筋の種類 ・骨格筋の構造 ・筋繊維の種類 ・筋活動とエネルギー供給様相 など ・筋の収縮様相と筋力 ・筋力、筋パワー、筋持久力
3	【講義】運動と中枢と神経系（感覚と運動の関係） 糸田 ・神経系の役割 ・求心性入力と遠心性出力 ・錐体路と錐体外路 ・末梢神経の分類と役割（再度求心性と遠心性の理解） ・運動調整の仕組み（再度錐体路、錐体外路の理解）
4	【講義】運動（生活活動）のための呼吸の理解 糸田 ・呼吸の役割 ・胸郭と呼吸筋と呼吸補助筋 ・換気メカニズム ・酸素解離曲線 ・血液循環との関係

5	【講義】運動と循環の役割 糸田 ・循環系の配列 ・心筋と血管系の構造 ・一回拍出量、心拍数、心拍出量 ・循環系の配列 ・心筋と血管系の構造 ・一回拍出量、心拍数、心拍出量 ・運動による血流の再分配 ・酸素摂取量に影響する要因と因子 など
6	【講義】運動（活動＝代謝）と栄養 糸田 ・代謝と栄養とは ・食品の機能性と摂取基準と代謝 ・運動とストレスによるエネルギー消費（ハリスベネディクトの計算式） ・臨床栄養とは ・摂取食品のカロリー量 ・活動と消費カロリー・ ・必要カロリー など
7	【講義】運動強度と疾患によるストレス 糸田 ・運動強度とは ・臨床的ストレスとは ・運動処方考え方
8	【演習】臨床運動生理学総合演習 糸田 ・症例検討 ・運動処方の考え方 ・消費エネルギーの考え方 ・慢性疾患における有害事象 ・ディスカッション（まとめ）

成績評価の方法

本学学則、授業科目の履修方法、試験・評価規程および施行細則に従う。
単位試験を実施し、学習態度により総合的に評価を行う。

教科書

入門運動生理学 / 杏林書院

授業外学修（予習・復習）

解剖学、生理学、生化学の復習をして下さい。

その他

参考資料	ニュー運動生理学Ⅰ 宮村実晴 真興交易医書出版部 2014 (ISBN978-4880038865) ニュー運動生理学Ⅱ 宮村実晴 真興交易医書出版部 2015 (ISBN978-4880038902)
受講生への要望等	この領域は国家試験において難問となることが多い。基礎からの理解をすすめるためにも、復習を行い、わからないことは質問すること。
授業の質問対応、連絡先	随時受け付ける。メールでも可能。 E-mail：m.itoda89@gmail.com

看護学概論

更新日：2026/07/08 13:52:13

開講年度	2026	学期	後期	科目コード	318080	授業コード	3H203
担当教員	伊津美 孝子, 雄西 智恵美, 石原 逸子, 合田 加代子, 北尾 良太, 谷郷 智美, 水口 誠子						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科					
	配当時期	3年	曜日/時限	一		単位	1
	備考(配当)	必修科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31808	3◎ H2○		保健師・助産師・看護師

授業概要

チーム医療を推進するためには、多職種専門性や役割を知ることが重要となる。本科目では、保健・医療・福祉の場で連携することの多い看護職についてその役割や看護を提供するプロセスなどについて学ぶ。

到達目標

1	歯科衛生士の対象の捉え方と比較して看護の対象の捉え方の特徴を説明できる。
2	歯科衛生士と比較して看護の患者（利用者）に対するかかわり方の特徴を説明できる。
3	歯科衛生士と看護職の連携・協働の在り方について、講義内容をもとに自分の考えをまとめることができる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	7	1		
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	（講義）看護とは（役割、機能、看護職の種類など）、看護実践における法と倫理（水口 誠子）
2	（講義）看護の対象である人の捉え方と援助関係の形成（北尾 良太） 統合体としての人、生活者としての人、生涯発達とライフサイクル、ヒューマンケアリングなど
3	（講義）看護を提供するプロセス（石原 逸子） 看護過程、疾患にある人にどのようなプロセスで看護するか、観察、バイタルサイン、モニタリング含む
4	（講義）看護師の役割と活動の実際（就業場所を含む）（伊津美 孝子） 口腔健康管理における看護師の役割と多職種連携
5	（講義）チーム医療における看護の役割（雄西 智恵美）
6	（講義）保健師の役割と活動の実際（就業場所を含む）（合田 加代子） 口腔健康管理における保健師の役割と多職種連携
7	（講義）助産師の役割と活動の実際（就業場所を含む）（谷郷 智美） 口腔健康管理における助産師の役割と多職種連携
8	（演習）歯科衛生士と看護職の連携・協働の在り方（北尾 良太） グループワーク、発表

成績評価の方法

課題レポート 50％（ループリック評価）、グループワーク参加点20％、その資料30％

課題のフィードバックは授業内で実施する。

ディスカッション・試問のポイント、および課題に対するアプローチ・考え方の解説によりフィードバックを行う。

教科書

指定なし。各授業で資料を配布する。

授業外学修（予習・復習）

【予習】看護師・保健師・助産師の業務や活動、保健師助産師看護師法、生活者とは、ライフサイクル、ヒューマンケアリング、多職種連携、チーム医療などについて調べておく。60分

【復習】授業後、課題をまとめる。60分

その他

参考資料	なし
受講生への要望等	・看護に関する書籍や研究文献などを活用し主体的な学修への取り組みを期待する。 ・ペアワークやグループワークでは、積極的に自分の考えを概念化し述べるができる。 ・期限内に課題が提出できない場合は授業欠席となる。
授業の質問対応、連絡先	8回の対面講義はオムニバスであるため各担当教員で対応する。

--	--

在宅介護論

更新日：2025/12/03 13:20:23

開講年度	2026	学期	前期	科目コード	318090	授業コード	3H103
担当教員	狩谷 明美, 森田 雅子, 雄西 智恵美, 梶 貢三子, 鶴木 叶恵						
備考	ICTを活用した双方向型授業、アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科					
	配当時期	3年	曜日/時限	－		単位	1
	備考(配当)	必修科目					
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP		科目に関連する実務経験	
31809		H1◎ H2◎ H3○				看護師	

授業概要

地域保健医療活動における歯科衛生士の位置づけと在宅介護の目的を理解する。また、在宅介護の対象は地域で療養する者とその家族であり、その生活の場としての環境の理解を深める。在宅における歯科衛生士の役割と機能を学ぶため日常生活援助技術、医学的管理を伴う援助技術の習得を目指す。さらに在宅療養者を支える法律と制度を理解する。

到達目標

1	地域包括ケアシステムにおける歯科衛生士の役割が理解できる。
2	在宅介護に関わる法律・制度を理解できる。
3	在宅における歯科衛生活動と医療的ケアの必要性が理解できる。
4	日常生活技術援助の方法を習得する。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	7	8		
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】人権と尊厳を支える在宅介護（授業担当者 狩谷・森田） 1）人権と福祉についての基礎的理解を行い、在宅介護における権利擁護について概説する
2	【講義】在宅介護の特徴と実際（授業担当者 狩谷・森田） 1）これからの日本の高齢者・障害者の実態と対象理解について概説する 2）社会の変化と在宅介護ニーズの動向について説明する 3）少子高齢化と人口減少社会の現状から在宅介護の必要性について説明する
3	【講義・演習】在宅における日常生活援助：トランスファー（授業担当者 雄西 他） 1）ボディメカニクス理論について説明 2）自立支援の視点からの移乗・移動技術の理論について説明する 3）杖歩行の援助
4	【講義・演習】在宅における日常生活援助（授業担当者 雄西 他） 1）トランスファー ベットから車椅子 車いすからベットへ チェアーから車椅子 車いすからチェアー
5	【講義・演習】高齢者の理解 高齢者疑似体験 老年症候群（授業担当者 雄西 他） 1）ロコモティブシンドローム・サルコペニア・フレイル・廃用症候群について概説する 2）高齢者疑似体験装具を装着して、学内のバリアフリーを調査する
6	【講義・演習】在宅における日常生活援助（授業担当者 雄西 他） 1）車椅子の取り扱い・車椅子介助の実際 2）杖歩行援助の実際
7	【講義・演習】在宅における日常生活援助（授業担当者 雄西 他） 1）体位変換 体位変換技術の応用 仰臥位から座位
8	【講義・演習】在宅における日常生活援助（授業担当者 雄西 他） 1）患者の生活環境を整える 安否確認・服薬確認・ベッドメイキング等
9	【講義】介護保険制度（授業担当者 森田・狩谷） 1）在宅介護を支える医療・看護・福祉制度について概説する 2）在宅サービスの流れ、具体的な医療・看護・介護サービスの実際について説明する
10	【講義】在宅介護の課題（授業担当者 森田・狩谷） 1）地域包括ケアシステムにおける在宅介護の実際について概説する
11	【講義】高齢者の理解 高齢者と虐待（授業担当者 森田・狩谷） 1）高齢者への虐待の定義と実際について概説し、虐待が高齢者に与える影響を説明する

12	【講義】高齢者の理解 認知症高齢者の理解とコミュニケーションの取り方 （授業担当者 狩谷・森田） 1) 認知症の病態生理と周辺症状について概説する 2) 認知症高齢者とのコミュニケーションの実際について説明する
13	【演習】医学的管理を伴う援助技術1（授業担当者 狩谷・森田・雄西） 1) 口腔内吸引の基礎理解 2) 口腔内吸引の実際 3) 鼻腔内吸引の基礎理解 4) 鼻腔内吸引の実際
14	【演習】医学的管理を伴う援助技術2 （授業担当者 狩谷・森田・雄西） 1) 気管内吸引の基礎理解 2) 気管内吸引の実際 3) 経管栄養の実際 4) PEG栄養法の実際
15	【演習】在宅介護における歯科衛生士の役割 （授業担当者 雄西・狩谷・森田） 1) 在宅における歯科衛生活動と今後の課題についてグループワークをする

成績評価の方法

科目終了試験 50%
演習ワークシート 25%
課題発表 20%
360度評価 5%
mellyで点数報告する。

教科書

- ・介護の基本Ⅱ 第2版 介護福祉士養成講座編集委員会（編）
ISBN 978-4-8058-8393-8 中央法規出版
- ・毎回の授業で資料を配布する。

授業外学修（予習・復習）

講義で該当する項目を熟読し、授業に臨む。
授業中に配布した資料を十分に復習し、演習に臨むこと。

その他

参考資料	・介護の基本Ⅰ 第2版 介護福祉士養成講座編集委員会（編） ISBN 978-4-8058-8392-1 中央法規出版 ・生活支援技術Ⅰ 第2版 介護福祉士養成講座編集委員会（編） ISBN 978-4-8058-8395-2 中央法規出版 ・生活支援技術Ⅱ 第2版 介護福祉士養成講座編集委員会（編） ISBN 978-4-8058-8396-9 中央法規出版 ・生活支援技術Ⅲ 第2版 介護福祉士養成講座編集委員会（編） ISBN 978-4-8058-8397-6 中央法規出版 講義でも提示する
受講生への要望等	積極的に授業に参加し・スキルを習得すること。 技術演習時は学内演習ユニフォーム。白のソックス着用。爪は短く切り、ネイル禁止。長髪の学生はまとめ髪にすること。
授業の質問対応、連絡先	授業用SNS「melly」で対応可能である。

歯科心身医学

更新日：2025/11/21 11:57:08

開講年度	2026	学期	後期	科目コード	318100	授業コード	30203
担当教員	安彦 善裕						
備考	ICTを活用した双方向型授業						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科， 大阪歯科大学 医療保健学部 口腔工学科				
	配当時期	3年	曜日/時限	一	単位	1
	備考(配当)	必修科目				

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31810	H1○ H2◎	E1○ E2◎	歯科医師、公認心理師

授業概要

講義は全8回。教科書は使用せず全講義でプリントを配布する。
歯科臨床において心身医学的対応を行うべき場面は多い。すなわち、日常的な患者対応から始まり、歯科治療に恐怖を抱いている患者、口腔内に原因不明の痛みや症状を訴えている患者、歯磨きをしてくれない患者などへの対応が挙げられる。本科目では、歯科における心身医療についてその概要を理解する。

到達目標

1	心身医療について説明できる。
2	歯科心身症とはどのようなものかについて説明できる。
3	歯科心身症と鑑別すべき精神疾患について説明できる。
4	歯科心身症に関わることのある精神疾患について説明できる。
5	舌痛症、非定型歯痛、咬合違和感症候群について説明できる。
6	身体醜形障害、口臭恐怖症、原因不明の口腔乾燥症、歯科恐怖症について説明できる。
7	歯科における心身医学的対応、主に臨床心理学的アプローチについて説明できる。
8	歯科心身医学全般について説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	2			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	6			

授業計画

1	【対面講義】歯科心身医療概論 心身医療とは何か？ 歯科臨床で行うべき心身医療にはどのようなものがあるかについて理解する。
2	【対面講義】歯科心身症概論 歯科心身症とはどのようなものかについて理解する。
3	【遠隔講義】歯科心身症と鑑別すべき精神疾患（１） 気分障害、不安障害、統合失調症など、口腔症状を訴えることのある精神疾患について理解する。
4	【遠隔講義】歯科心身症と鑑別すべき精神疾患（２） 気分障害、不安障害、統合失調症など、口腔症状を訴えることのある精神疾患について理解する。
5	【遠隔講義】歯科心身症各論（１） 歯科臨床で遭遇することが比較的多い、舌痛症、非定型歯痛、咬合違和感症候群、口腔セネストパチーについて理解する。歯科矯正治療、審美歯科に関わる歯科心身症について、口臭恐怖症、原因不明の口腔乾燥症、歯科恐怖症について理解する。
6	【遠隔講義】歯科心身症各論（２） 歯科臨床で遭遇することが比較的多い、舌痛症、非定型歯痛、咬合違和感症候群、口腔セネストパチーについて理解する。歯科矯正治療、審美歯科に関わる歯科心身症について、口臭恐怖症、原因不明の口腔乾燥症、歯科恐怖症について理解する。
7	【対面講義】歯科医療従事者による心身医療 歯科における心身医学的対応の実践について理解する。主に臨床心理学的アプローチにより、歯磨きをしてくれない患者や、痛みを抱えている患者、口臭恐怖症を訴えている患者への対応の実践について理解する。への対応の実践について理解する。
8	【対面講義】歯科心身医学のまとめ 講義内容の要点をまとめて、理解を深める。

成績評価の方法

本試験日に記述・選択形式の試験をおこなう。
試験解答の評価を50%、オンデマンド課題の提出内容を50%で評価する。

教科書

教科書は使用しない。各回の講義にプリント配布を行う。

授業外学修（予習・復習）

心理学、高齢者歯科学、医療コミュニケーション学などで学習したコミュニケーションに関わる内容を復習し、授業に臨むこと。目安は予習30分、復習30分。

その他

参考資料	「歯科衛生士のための口腔内科」医歯薬出版 歯科衛生士講座「高齢者歯科学」永末書店
受講生への要望等	歯科心身症患者は日常の歯科臨床の中でもかなり多いが、口腔やその症状そのもののみに着目し、患者の背景を観察しないと見逃すことが多い。本授業から、歯科衛生士、歯科技工士として歯科心身医療へ貢献できる知識が身に付くことを望みます。
授業の質問対応、連絡先	安彦善裕へe-mailで。 yoshi-ab@hoku-iryo-u.ac.jp

口腔保健学総論Ⅰ

更新日：2025/10/30 11:52:28

開講年度	2026	学期	後期	科目コード	319010	授業コード	4H201
担当教員	神 光一郎, 糸田 昌隆, 島田 明子, 梶 貢三子, 米澤 美保子, 高井 裕二, 緒方 智壽子, 小正 聡, 前嶋 亜優子, 谷 亜希奈, 大森 あかね, 寺島 雅子, 宮坂 佳代, 亀井 直子, 荒井 昌海, 武輪 敬心, 鶴木 叶恵						
備考	アクティブラーニング						

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科					
	配当時期	4年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)	必修科目					
科目ナンバリング		口腔保健学科の関連DP		口腔工学科の関連DP		科目に関連する実務経験	
31901		5〇 H3◎				歯科医師、歯科衛生士、社会福祉士	

授業概要

授業では研究とは何か、どのように進めていくか、さらに研究に関わる研究倫理の重要性を学ぶ。論文作成法についてもその概要を学ぶ。さらにデジタルデンティストリーを中心とした最先端の歯科技術およびシステムについて学ぶ。演習では歯科衛生士の3大業務に加え多職種連携および訪問歯科診療についての問題点を考察し、実習先やボランティアで経験した事について自らテーマを決めて整理し、パワーポイント資料に成果をまとめ、発表および質疑応答を行う。加えて、これまでに学修した知識と技能を踏まえて解説し、学生（口腔保健学）としての向上心を養う。

到達目標

1	研究の概説を説明できる。
2	歯科医学の発展を説明できる。
3	研究テーマの設定を説明できる。
4	研究倫理を説明できる。
5	研究計画の立案を説明できる。
6	論文の構成を説明できる。
7	研究論文の作成を説明できる。
8	デジタルデンティストリーを説明できる。
9	これからの歯科医療を説明できる。
10	【演習】実習先やボランティアで参加した施設の地理的立地や環境について説明できる。
11	【演習】実習先やボランティアで参加した施設の設備や内部システムの特徴などを説明できる。
12	【演習】実習先やボランティアで参加した施設のスタッフなどとの関係について説明できる。
13	【演習】実習先やボランティアで参加した施設の総合的なイメージを説明できる。
14	【演習】テーマについてのプレゼンテーションを作成できる。
15	【演習】プレゼンテーションの特徴を考え、テーマについての発表ができる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	9	6		
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【講義】研究の概説（島田） ・オリエンテーション ・研究の目的 ・研究の必要性 ・研究の成果 ・歯科医学とは
2	【講義】歯科医学の発展（神） ・歯科医学とは ・歯科医学の歴史
3	【講義】研究データ（島田） ・データの収集・整理 ・統計解析 ・データの信頼性
4	【講義】研究倫理（神） ・ヒトを対象にした研究倫理 ・動物を対象とした研究倫理 ・自然を対象とした研究倫理 ・不正行為

5	【講義】研究計画の立案（小正） ・研究目的 ・文献検索 ・予備実験 ・具現性の確立 ・成果の見込みと意義
6	【講義】学術論文の構成（糸田） ・学術論文の基本的な構成 ・抄 録 ・緒 言 ・目 的 ・結 果 ・考 察 ・謝 辞 ・引用文献 ・図 表
7	【講義】学術論文の作成（島田） ・学術論文作成の手順 ・学術雑誌への投稿・査読 ・オープンサイエンスとは
8	【演習1】実習先やボランティア活動で経験した事案をまとめる（全員） ・5～6人を1班とする。 ・PowerPointを用いたプレゼンテーション作成のポイントなどを概説する。 ・附属病院、学外病院、外部実習またはボランティア活動からテーマを決定する。参加施設への交通手段、地理的な立地、設備、システムの概要をまとめる。さらに、患者やスタッフとの関係についても考察する。
9	【演習2】プレゼンテーションを作成する（全員） ・PowerPointを用いてプレゼンテーションを作成する。 ・配布された資料およびインターネットで情報を得る。 ・文章の作成、図表や写真の貼り付けなどを行う。 ・プレゼンテーションのレイアウトを完成させる。
10	【演習3】プレゼンテーションの準備を行う。（全員） ・プレゼンテーションの練習を行う。 ・質疑応答へ対応法について考える。
11	【演習4】テーマについてのプレゼンテーション①（全員） 前半グループがプレゼンテーションおよび質疑応答を行う。
12	【演習5】テーマについてのプレゼンテーション②（全員） 後半グループがプレゼンテーションおよび質疑応答を行う。
13	【演習6】プレゼンテーションの討議および総括 全グループのプレゼンテーションについての討議および総括を行う。
14	【講義】デジタルデンティストリーとは（荒井） デジタルデンティストリーでの技工および臨床技術についての説明する。
15	【講義】これからの歯科医療（荒井） これからの歯科医療および先進的な医療システムおよび医療機器についての説明する。

成績評価の方法

プレゼンテーションの作成、発表および質疑応答により総合的に評価する。

評価の比率

- ・プレゼンテーション：70%
- ・質疑応答：15%
- ・受講態度：15%

教科書

特定の教科書は無い。授業ごとにプリントなどの資料が配布される場合がある。

授業外学修（予習・復習）

講義の復習（毎回30分程度）を行い、「演習」では自分自身が興味を持ったテーマ・内容について研究します。訪問歯科診療、多職種連携およびボランティア活動に関する資料を集め整理する。インターネットなどで情報を集める。
口腔保健学科の教員の指導を受けながら研究を進めますので、授業が始まるまでに指導を受けたい教員と連絡を取りましょう。
演習で行うプレゼンテーション作成について、事前にPowerPointの基本的な使い方に慣れておくとスムーズです。

その他

参考資料	特になし。
受講生への要望等	自らの設定したテーマに基づいて、考えをまとめ、他者と共有するという学士としての素養を身につける科目です。しっかりとした成果をあげて、自らの学識を広げて下さい。
授業の質問対応、連絡先	質問がある場合は、対象の教員名を明記の上、授業用SNS「melly」に連絡してください。

--	--

口腔保健学総論 II

更新日：2026/06/04 10:00:51

開講年度	2026	学期	後期	科目コード	319020	授業コード	4H202
担当教員	神 光一郎, 中塚 美智子, 岡村 友玄, 福田 伊津子, 寒川 延子, 吉川 美弘, 戸田 伊紀						
備考							

配当	学部/学科	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科					
	配当時期	4年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)	必修科目					

科目ナンバリング	口腔保健学科の関連DP	口腔工学科の関連DP	科目に関連する実務経験
31902	DP1◎ H1○		歯科医師

授業概要

これまで4年間で学んできた教育内容を整理し、知識と技能をより確実なものとし修得する。特に口腔保健学で学習した基礎科目の内容を整理し、各科目の要点を全体としての統一した観点から学習し直して、知識を確実なものにする。

到達目標

1	大学の4年間で学んだ、それぞれの基礎科目の内容を説明できる。
2	歯科衛生士として必要となるそれぞれの基礎科目の知識と技能について説明できる。
3	歯科衛生士として必要となる総合的な知識や考え方について説明できる。

授業形態（コマ数カウント）

面接	講義	演習	実習	臨地・臨床実習
	16			
遠隔	講義	演習	実習	臨地・臨床実習

授業計画

1	【1-2：面接講義】生理学・口腔生理学のまとめ（寒川 延子） 生理学と口腔生理学の整理とまとめ。 予習：歯科衛生士国試対策集などの問題集をあらかじめ予習する（30分） 復習：間違えた問題を再度調べる（30分）
2	【3-4：面接講義】口腔衛生学・公衆衛生学・衛生行政学・衛生統計のまとめ（神 光一郎） 口腔衛生学、公衆衛生学、衛生行政学、衛生統計の整理とまとめ。 予習：歯科衛生士国試対策集などの問題集をあらかじめ予習する（30分） 復習：間違えた問題を再度調べる（30分）
3	【5-6：面接講義】免疫学・微生物学まとめ（真下 千穂） 免疫学と微生物学の整理とまとめ。 予習：歯科衛生士国試対策集などの問題集をあらかじめ予習する（30分） 復習：間違えた問題を再度調べる（30分）
4	【7-8：面接講義】解剖学のまとめ（戸田 伊紀） 解剖学の整理とまとめ。 予習：歯科衛生士国試対策集などの問題集をあらかじめ予習する（30分） 復習：間違えた問題を再度調べる（30分）
5	【9-10：面接講義】生化学・栄養学のまとめ（吉川 美弘） 生化学と栄養学の整理とまとめ。 予習：歯科衛生士国試対策集などの問題集をあらかじめ予習する（30分） 復習：間違えた問題を再度調べる（30分）
6	【11-12：面接講義】口腔解剖学のまとめ（中塚 美智子） 口腔解剖学の整理とまとめ。 予習：歯科衛生士国試対策集などの問題集をあらかじめ予習する（30分） 復習：間違えた問題を再度調べる（30分）
7	【13-14：面接講義】薬理学のまとめ（福田 伊津子） 薬理学の整理とまとめ。 予習：歯科衛生士国試対策集などの問題集をあらかじめ予習する（30分） 復習：間違えた問題を再度調べる（30分）
8	【15-16：面接講義】病理学・口腔病理学まとめ（岡村 友玄） 病理学と口腔病理学の整理とまとめ。 予習：歯科衛生士国試対策集などの問題集をあらかじめ予習する（30分） 復習：間違えた問題を再度調べる（30分）

成績評価の方法

各授業の最後に実施する小テストの結果を総合して評価（100％）する。
各授業で実施する小テストの内容に関して解説し、国家試験に向けた対策を講じる。

教科書

各科目で用いた教科書を用いる。

授業外学修（予習・復習）

各科目で学習した内容についての予習（30分）および復習（30分）を行うこと。

その他

参考資料	歯科衛生士のための主要3科 プラス専門分野 問題集 第4版 一般社団法人 口腔保健協会編集（ISBN978-4-89605-389-0） 歯科衛生士 国家試験予想問題集 第2版 医歯薬出版株式会社（ISBN978-4-263-42249-6） 歯科衛生士国試対策集 2025年対応 クインテッセンス出版株式会社（ISBN978-4-7812-1015-5）
受講生への要望等	1年生で学んだ科目であるので、本授業を集中して習得すること。特に苦手科目や領域をなくすように。
授業の質問対応、連絡先	授業用SNS「melly」で各先生に連絡すること。